



日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

1232-4684

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application:

2000年 2月15日

出願番号
Application Number:

特願2000-041359

出願人
Applicant(s):

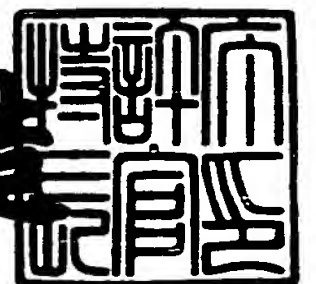
キヤノン株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 3月 9日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3016589

【書類名】 特許願

【整理番号】 4135048

【提出日】 平成12年 2月15日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04L 12/00

【発明の名称】 価格情報提供システム、価格情報提供方法及び記録媒体

【請求項の数】 41

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社
社内

 【氏名】 伊藤 寧夫

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社
社内

 【氏名】 吹田 光生

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社
社内

 【氏名】 松縄 敦

【特許出願人】

 【識別番号】 000001007

 【氏名又は名称】 キヤノン株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100090273

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 國分 孝悦

 【電話番号】 03-3590-8901

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 035493

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705348

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 価格情報提供システム、価格情報提供方法及び記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、各拠点での部品又は製品の価格情報を表示する表示手段を有する価格情報提供システム。

【請求項 2】 前記表示手段は、部品又は製品の単価情報を表示する請求項 1 記載の価格情報提供システム。

【請求項 3】 前記表示手段は、部品又は製品の単価情報及び総数量を表示する請求項 1 記載の価格情報提供システム。

【請求項 4】 前記表示手段は、部品又は製品の単価情報、総数量及び総金額を表示する請求項 1 記載の価格情報提供システム。

【請求項 5】 前記表示手段は、現地通貨の価格情報及び日本円換算の価格情報を表示する請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の価格情報提供システム。

【請求項 6】 前記表示手段は、さらに為替レートを表示する請求項 5 記載の価格情報提供システム。

【請求項 7】 前記表示手段は、同一の部品又は製品についての各拠点間の価格差を表示する請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の価格情報提供システム。

【請求項 8】 前記表示手段は、同一の部品又は製品についての各拠点間の単価の価格差を表示する請求項 2 ～ 4 のいずれかに記載の価格情報提供システム。

【請求項 9】 前記表示手段は、同一の部品又は製品についての各拠点間の総金額の価格差を表示する請求項 4 記載の価格情報提供システム。

【請求項 1 0】 前記表示手段は、同一の部品又は製品についての各拠点間の単価の価格差及び総金額の価格差を表示する請求項 4 記載の価格情報提供システム。

【請求項 1 1】 前記表示手段は、さらに、利用者の入力に応じてコストダウン後の価格を表示する請求項 1 ～ 1 0 のいずれかに記載の価格情報提供システム。

【請求項 1 2】 前記表示手段は、さらに、利用者の入力に応じてコストダウン交渉の結果を表示する請求項 1 ～ 1 0 のいずれかに記載の価格情報提供システム。

【請求項 1 3】 前記表示手段は、さらに、利用者の入力に応じてコストダウン後の価格及びコストダウン交渉の結果を表示する請求項 1 ～ 1 0 のいずれかに記載の価格情報提供システム。

【請求項 1 4】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品についての各拠点間の価格差を表示する表示手段を有する価格情報提供システム。

【請求項 1 5】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品について他の拠点よりも高い価格情報の有無を表示する表示手段を有する価格情報提供システム。

【請求項 1 6】 前記表示手段は、他の拠点よりも高い価格の部品又は製品の件数を表示する請求項 1 5 記載の価格情報提供システム。

【請求項 1 7】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品について他の拠点よりも安い価格情報の有無を表示する表示手段を有する価格情報提供システム。

【請求項 1 8】 前記表示手段は、他の拠点よりも安い価格の部品又は製品の件数を表示する請求項 1 7 記載の価格情報提供システム。

【請求項 1 9】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品について他の拠点よりも高い価格情報及び安い価格情報の有無を表示する表示手段を有する価格情報提供システム。

【請求項 2 0】 前記表示手段は、他の拠点よりも高い価格及び安い価格の部品又は製品の件数を表示する請求項 1 9 記載の価格情報提供システム。

【請求項 2 1】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースから、他の拠点の価格情報をダウンロードするダウンロード手段を有する価格情報提供システム。

【請求項 2 2】 さらに、前記他の拠点の価格情報を表示する表示手段を有

する請求項 2 1 記載の価格情報提供システム。

【請求項 2 3】 前記表示手段は、さらに、利用者の入力に応じてコストダウン後の価格又はコストダウン交渉の結果を表示する請求項 2 2 記載の価格情報提供システム。

【請求項 2 4】 さらに、前記コストダウン後の価格又はコストダウン交渉の結果をアップロードするアップロード手段を有する請求項 2 3 記載の価格情報提供システム。

【請求項 2 5】 さらに、前記他の拠点の価格情報及び利用者の入力に応じてコストダウン後の価格を表示する表示手段と、

前記コストダウン後の価格をアップロードするアップロード手段と、

前記コストダウン後の価格を基に各拠点の価格情報を集計する集計手段とを有する請求項 2 1 記載の価格情報提供システム。

【請求項 2 6】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、外部からの要求に応じて他の拠点の価格情報を送信する価格情報送信手段と、

コストダウン後の価格を外部から受信する受信手段と、

前記受信したコストダウン後の価格を基に各拠点の価格情報を集計する集計手段と

を有する価格情報提供システム。

【請求項 2 7】 さらに、前記集計した結果を外部に送信する集計結果送信手段を有する請求項 2 6 記載の価格情報提供システム。

【請求項 2 8】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、各拠点での部品又は製品の価格情報を表示するステップを有する価格情報提供方法。

【請求項 2 9】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品についての各拠点間の価格差を表示するステップを有する価格情報提供方法。

【請求項 3 0】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品について他の拠点よりも高い価格

情報の有無を表示するステップを有する価格情報提供方法。

【請求項 3 1】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品について他の拠点よりも安い価格情報の有無を表示するステップを有する価格情報提供方法。

【請求項 3 2】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品について他の拠点よりも高い価格情報及び安い価格情報の有無を表示するステップを有する価格情報提供方法。

【請求項 3 3】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースから、他の拠点の価格情報をダウンロードするステップを有する価格情報提供方法。

【請求項 3 4】 (a) 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、外部からの要求に応じて他の拠点の価格情報を送信するステップと、

(b) 前記コストダウン後の価格を外部から受信するステップと、

(c) 前記受信したコストダウン後の価格を基に各拠点の価格情報を集計するステップと

を有する価格情報提供方法。

【請求項 3 5】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、各拠点での部品又は製品の価格情報を表示する手順をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 3 6】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品についての各拠点間の価格差を表示する手順をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 3 7】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品について他の拠点よりも高い価格情報の有無を表示する手順をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 3 8】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品について他の拠点よりも安い価格情報の有無を表示する手順をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 3 9】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品について他の拠点よりも高い価格情報及び安い価格情報の有無を表示する手順をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 4 0】 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースから、他の拠点の価格情報をダウンロードする手順をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 4 1】 (a) 複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、外部からの要求に応じて他の拠点の価格情報を送信する手順と、

(b) 前記コストダウン後の価格を外部から受信する手順と、

(c) 前記受信したコストダウン後の価格を基に各拠点の価格情報を集計する手順と
をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、価格情報提供技術に関し、特にデータベースを基に価格情報を提供する技術に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

大企業は、複数の事業所を有する。各事業所は、独自に部品又は原材料の受発注を行っており、他の事業所の受発注の状況が分からない。各事業所は、異なる

取引先又は同一の取引先から異なる単価で部品又は原材料を購入していることがある。また、上記の受発注は、紙による注文書や伝票で取引が行われることが多い。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

企業の開発部門では、以下の問題点がある。（１）他の事業所で使用している部品又は原材料が分からない。（２）部品及び原材料の選択の幅が狭い。（３）代替品の情報が乏しい。（４）新製品情報を早く入手できない。

【 0 0 0 4 】

また、企業の調達部門では、以下の問題点がある。（１）各事業所の同一部品又は原材料の購入単価及び取引先が分からない。（２）代替品の情報が乏しい。（３）取引先的能力（例えば生産種類や生産量）及び状況が分からない。（４）自社グループ全体の購入状況が分からない。

本発明の目的は、容易かつ迅速に価格情報を提供することができる価格情報提供システム、価格情報提供方法及び記録媒体を提供することである。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

本発明の一観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、各拠点での部品又は製品の価格情報を表示する表示手段を有する価格情報提供システムが提供される。

【 0 0 0 6 】

本発明の他の観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品についての各拠点間の価格差を表示する表示手段を有する価格情報提供システムが提供される。

【 0 0 0 7 】

本発明のさらに他の観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品について他の拠点よりも高い価格情報の有無を表示する表示手段を有する価格情報提供システムが提供される。

【 0 0 0 8 】

本発明のさらに他の観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品について他の拠点よりも安い価格情報の有無を表示する表示手段を有する価格情報提供システムが提供される。

【 0 0 0 9 】

本発明のさらに他の観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品について他の拠点よりも高い価格情報及び安い価格情報の有無を表示する表示手段を有する価格情報提供システムが提供される。

【 0 0 1 0 】

本発明のさらに他の観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースから、他の拠点の価格情報をダウンロードするダウンロード手段を有する価格情報提供システムが提供される。

【 0 0 1 1 】

本発明のさらに他の観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、外部からの要求に応じて他の拠点の価格情報を送信する価格情報送信手段と、コストダウン後の価格を外部から受信する受信手段と、前記受信したコストダウン後の価格を基に各拠点の価格情報を集計する集計手段とを有する価格情報提供システムが提供される。

【 0 0 1 2 】

本発明のさらに他の観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、各拠点での部品又は製品の価格情報を表示するステップを有する価格情報提供方法が提供される。

【 0 0 1 3 】

本発明のさらに他の観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品についての各拠点間の価格差を表示するステップを有する価格情報提供方法が提供される。

【 0 0 1 4 】

本発明のさらに他の観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品について他の拠点よりも高い価格情報の有無を表示するステップを有する価格情報提供方法が提供される。

【 0 0 1 5 】

本発明のさらに他の観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品について他の拠点よりも安い価格情報の有無を表示するステップを有する価格情報提供方法が提供される。

【 0 0 1 6 】

本発明のさらに他の観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品について他の拠点よりも高い価格情報及び安い価格情報の有無を表示するステップを有する価格情報提供方法が提供される。

【 0 0 1 7 】

本発明のさらに他の観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースから、他の拠点の価格情報をダウンロードするステップを有する価格情報提供方法が提供される。

【 0 0 1 8 】

本発明のさらに他の観点によれば、（a）複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、外部からの要求に応じて他の拠点の価格情報を送信するステップと、（b）前記コストダウン後の価格を外部から受信するステップと、（c）前記受信したコストダウン後の価格を基に各拠点の価格情報を集計するステップとを有する価格情報提供方法が提供される。

【 0 0 1 9 】

本発明のさらに他の観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、各拠点での部品又は製品の価格情報を表示する手順をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体が提供される。

【 0 0 2 0 】

本発明のさらに他の観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品についての各拠点間の価格差を表示する手順をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体が提供される。

【 0 0 2 1 】

本発明のさらに他の観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品について他の拠点よりも高い価格情報の有無を表示する手順をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体が提供される。

【 0 0 2 2 】

本発明のさらに他の観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品について他の拠点よりも安い価格情報の有無を表示する手順をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体が提供される。

【 0 0 2 3 】

本発明のさらに他の観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、同一の部品又は製品について他の拠点よりも高い価格情報及び安い価格情報の有無を表示する手順をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体が提供される。

【 0 0 2 4 】

本発明のさらに他の観点によれば、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースから、他の拠点の価格情報をダウンロードする手順をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体が提供される。

【 0 0 2 5 】

本発明のさらに他の観点によれば、（a）複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベースを基に、外部からの要求に応じて他の拠

点の価格情報を送信する手順と、（b）前記コストダウン後の価格を外部から受信する手順と、（c）前記受信したコストダウン後の価格を基に各拠点の価格情報を集計する手順とをコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体が提供される。

【 0 0 2 6 】

本発明によれば、部品又は製品の価格情報を迅速かつ容易に取得し、部品や製品を迅速かつ効率良く選定および調達することができる。大企業は、各事業所の価格情報を入手し、その価格情報を基になるべく安く部品又は製品を購入することができる。また、各事業所の受発注を一括して行うことにより、多量の部品又は製品を安価で購入することができる。

【 0 0 2 7 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施形態を、実施例に沿って図面に基づいて説明する。

図 1 は、本発明の実施例による調達情報システム（調達情報提供システム）13 及び購買システム 21 の構成を示すブロック図である。購買システム 21 は、受発注システム 22 及び生産管理システム 23 を有する。調達情報システム 13 は、部品情報システム（部品情報提供システム）11、コストダウンサポートシステム 5、調達実績システム 6、取引先システム 12、取引先売込みシステム 9、及び掲示板メールシステム 10 を有する。部品情報システム 11 は、電子部品システム 1、原材料システム 2、メカ部品システム 3、及び全部番システム 4 を有する。取引先システム 12 は、取引先カード情報システム 7 及び取引先マップシステム 8 を有する。

【 0 0 2 8 】

電子部品システム 1 はデータベース 1a を有し、原材料システム 2 はデータベース 2a を有し、メカ部品システム 3 はデータベース 3a を有し、全部番システム 4 はデータベース 4a を有し、コストダウンサポートシステム 5 はデータベース 5a を有し、調達実績システム 6 はデータベース 6a を有し、取引先カード情報システム 7 はデータベース 7a を有し、取引先マップシステム 8 はデータベース 8a を有し、取引先売込みシステム 9 はデータベース 9a を有する。これらの

データベース 1 a ~ 9 a は、必ずしも個々のシステム毎に用意する必要はなく、1 つのデータベースとして各システムが共用してもよい。データベースを個々に用意すればデータベース内の検索を高速に行うことができ、データベースを共用すればデータを重複して持つ無駄を省くことができる。

【 0 0 2 9 】

電子部品システム 1 は、電子部品（半導体を含む）の調達情報（スペック情報及び品質情報を含む）を利用者に提供するシステムである。原材料システム 2 は、モールド及びプレス部品用の原材料の調達情報を利用者に提供するシステムである。メカ部品システム 3 は、メカ部品の調達情報を利用者に提供するシステムである。全部番システム 4 は、全部番（全部品）の調達情報を利用者に提供するシステムである。コストダウンサポートシステム 5 は、同一部品又は原材料の各事業者間の価格差情報を利用者に提供するシステムである。調達実績システム 6 は、自社グループの調達実績の集計情報を利用者に提供するシステムである。取引先カード情報システム 7 は、取引先のカード情報（取引先情報）を利用者に提供するシステムである。取引先マップシステム 8 は、取引先の地図情報（位置情報）、取引先の保有設備（加工設備）及び他社との取引関係（2 次下請け）を利用者に提供するシステムである。取引先売込みシステム 9 は、取引先やメーカーが登録した売込み情報を利用者に提供するシステムである。掲示板メールシステム 1 0 は、掲示板及びメールにより各種情報を利用者に提供するシステムである。

【 0 0 3 0 】

利用者のコンピュータ 3 1 は、例えば、パソコンであり、登録をした利用者のみが使用することができる。利用者は、例えば、自社の特定部門の社員であり、コンピュータ 3 1 を用いて調達情報システム 1 3 を活用することができる。ただし、利用者が所属する部門に応じて、提供される情報に制限がある。利用者は、例えばコンピュータ 3 1 内の Web ブラウザソフト（N e t s c a p e や I n t e r n e t E x p l o r e r）で調達情報システム 1 3 を活用することができる。

【 0 0 3 1 】

調達情報システム 1 3 は、世界中の部品及び材料を迅速かつ効率良く選定およ

び調達するための情報支援システムである。利用者は、コンピュータ 3 1 から WW (world wide web) で調達情報を検索することができる。

大企業は、複数の事業所を有し、各事業所が独自に部品又は材料の受発注を行っていることが多い。各事業所は、異なる取引先又は同一の取引先から異なる単価で部品又は材料を購入していることがある。受発注システム 2 2 は、各事業所の取引情報を入手し、その取引情報を基になるべく安く部品又は材料を購入することができる。また、受発注システム 2 1 は、各事業所の受発注を一括して行うことにより、多量の部品又は材料を安価で購入することができる。具体的には、受発注システム 2 2 は、部品情報システム 1 1、コストダウンサポートシステム 5 及び調達実績システム 6 とアクセスし、取引先のコンピュータ 3 2 に対して受発注を行う。

【 0 0 3 2 】

調達情報システム 1 3 は、企業の開発部門において以下の要求を満たすことができる。(1) 他の事業所で使用している部品及び材料を知りたい。(2) 幅広い情報から最適な部品及び材料を選択したい。(3) 代替品の情報を入手したい。(4) 新製品情報を早く入手したい。

【 0 0 3 3 】

また、調達情報システム 1 3 は、企業の調達部門において以下の要求を満たすことができる。(1) 各事業所の同一部品及び材料の購入単価及び取引先を知りたい。(2) 代替品の情報を素早く知りたい。(3) 取引先の能力(例えば生産種類や生産量)及び状況を知りたい。(4) 自社グループ全体の購入状況を知りたい。

【 0 0 3 4 】

調達情報システム 1 3 は、外部データベース 3 4 からデータを入力し、データベース 1 a ~ 9 a に登録することができる。外部データベース 3 4 は、例えば、産業タイムズ社発行の半導体産業新聞、外部データベース(電子デバイス情報サービス)、製品又は部品カタログ情報、各事業所のデータベースである。

【 0 0 3 5 】

取引先のコンピュータ 3 2 は、取引先の担当者の操作により、取引先カード情

報システム 7、取引先マップシステム 8 及び取引先売込みシステム 9 に、それぞれカード情報、地図情報及び売込み情報を提供する。

コンピュータ 3 3 は、情報提供者の操作により、掲示板メールシステム 1 0 に種々の情報を提供する。

【 0 0 3 6 】

利用者のコンピュータ 3 1、情報提供者のコンピュータ 3 3、取引先のコンピュータ 3 2 及び外部データベース 3 4 は、調達情報システム 1 3 に対して LAN や WAN 等のネットワークで接続されている。

図 2 は、調達情報システム 1 3 の処理を示すフローチャートである。利用者がコンピュータ 3 1 からログインすることにより、調達情報システム 1 3 を起動させることができる。ステップ S 1 では、利用者のコンピュータ 3 1 に調達情報システムのメニューを表示する。利用者は、メニュー項目として、電子部品システム、原材料システム、メカ部品システム、全部番システム、コストダウンサポートシステム、調達実績システム、取引先カード情報システム、取引先マップシステム、取引先売込みシステム、掲示板メールシステムの中から選択することができ、ステップ S 2 でどのシステムが選択されたかを判断し、その選択に応じて、それぞれステップ S 3、S 4、S 5、S 6、S 7、S 8、S 9、S 1 0、S 1 1、S 1 2 へ進み、各システムの処理を行う。

【 0 0 3 7 】

以下、調達情報システム 1 3 内の各システムについて説明する。

[1. 電子部品システム]

図 3 は、図 1 に示す電子部品システム 1 の構成を示すブロック図である。電子部品システム 1 は、Web サーバ 1 0 0 1、アプリケーションサーバ 1 0 0 2、Web 用データベースサーバ 1 0 0 3、画像サーバ 1 0 0 4、CD チェンジャ 1 0 0 5、運用マシン 1 0 0 6、更新用データベースサーバ 1 0 0 7、及び磁気テープ装置 1 0 0 8 を有する。データベースサーバ 1 0 0 3 は、データベース 1 a (図 1) を有する。

【 0 0 3 8 】

利用者のコンピュータ 3 1 は、例えばクライアントとなる標準パーソナルコン

ピュータであり、電子部品システム 1 に対してアクセス可能である。外部データベース 1 0 1 2 は、電子部品スペック情報及びカタログ画像情報を有する。カタログ画像情報は、紙に印刷されたカタログをイメージスキャナで読み込んだ画像情報である。これらの情報は、CD-ROM 又はネットワークを介して電子部品システム 1 に提供される。電子部品スペック情報は、運用マシン 1 0 0 6 に提供される。カタログ画像情報は、CD チェンジャ 1 0 0 5 に提供される。

【 0 0 3 9 】

情報源 1 0 1 5 は、半導体部品及び一般電子部品等の電子部品の推奨情報を有し、その情報はフロッピディスク又はネットワークを介して運用マシン 1 0 0 6 に供給される。情報源 1 0 0 6 は、半導体部品及びコンデンサ等の電子部品の品質認定情報を有し、その情報はフロッピディスク又はネットワークを介して運用マシン 1 0 0 6 に供給される。情報源（人事部門） 1 0 1 7 は、人事データを有し、そのデータはフロッピディスク又はネットワークを介して運用マシン 1 0 0 6 に供給される。人事データは人事異動の情報を含み、電子部品システム 1 は、登録された利用者が所属する部門の変更を自動的に行うことができる。また、必要に応じて、その異動した利用者の登録を抹消することができる。半導体産業新聞 1 0 1 8 は、日本国内の半導体及び液晶の市況価格情報を有し、その情報はオペレータのメンテナンス又はネットワークを介して運用マシン 1 0 0 6 に供給される。その他、販売されている半導体の代替部品の情報が磁気テープ又はネットワークを介して運用マシン 1 0 0 6 に供給される。運用マシン 1 0 0 6 は、それらの情報をデータベースサーバ 1 0 0 3 内のデータベース 1 a に登録する。なお、情報源 1 0 1 7 が供給する人事データは、電子部品システム 1 だけでなく、原材料システム 2 等の他のシステムにも同様に供給される。

【 0 0 4 0 】

工場及び生産関係会社 1 0 1 4 は、検収情報、注文予定情報、単価経歴情報、構成情報、製品名称情報、代替部品情報、一般購買検収情報、資材マスタ情報等を有する。これらの情報は、データ加工部門 1 0 1 3 でデータ加工され、磁気テープカートリッジにより磁気テープ装置 1 0 0 8 に供給される。なお、ネットワークを介してデータを転送する方法によっても構わない。運用マシン 1 0 0 6 は

、磁気テープ装置 1 0 0 8 により読み出されたカートリッジ内の情報をデータベースサーバ 1 0 0 3 内のデータベース 1 a に登録する。

【 0 0 4 1 】

なお、上記の情報は、運用マシン 1 0 0 6 に対してネットワークを介してオンラインで提供することが好ましい。

また、運用マシン 1 0 0 6 は、工場及び生産関係会社 1 0 1 4 に部番又は型番の調査を依頼し、その調査結果を工場及び生産関係会社 1 0 1 4 から受け取り、データベースサーバ 1 0 0 3 内のデータベース 1 a に登録する。

運用マシン 1 0 0 6 は、データベース 1 a の更新処理を更新用データベースサーバ 1 0 0 7 に依頼する。更新用データベースサーバ 1 0 0 7 は、それに応じて、データファイルを作成し、運用マシン 1 0 0 6 に供給する。運用マシン 1 0 0 6 は、データベースサーバ 1 0 0 3 内のデータベース 1 a を更新する。

【 0 0 4 2 】

画像サーバ 1 0 0 4 は、CDチェンジャ 1 0 0 5 によりCD-ROMから読み出されたカタログ画像情報を、Webサーバ 1 0 0 1 及びアプリケーションサーバ 1 0 0 2 に供給する。カタログ画像情報は、データベースサーバ 1 0 0 3 内のデータベース 1 a に登録することができる。

【 0 0 4 3 】

利用者のコンピュータ 3 1 は、Webサーバ 1 0 0 1 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。Webサーバ 1 0 0 1 は、アプリケーションサーバ 1 0 0 2 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。アプリケーションサーバ 1 0 0 2 は、データベースサーバ 1 0 0 3 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。Webサーバ 1 0 0 1 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、利用者が選択するための統一的なメニュー表示を行う。アプリケーションサーバ 1 0 0 2 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、電子部品システム 1 を動作させる。データベースサーバ 1 0 0 3 は、データベース 1 a を有し、そのデータベース 1 a の登録、削除、更新及び検索を管理する。

【0044】

図4は、データベースサーバ1003内のデータベース1aの構成を示す概略図である。データベース1aは、部番検収実績情報1aa、製品オーダー情報1ab、発注予定情報1ac、調達窓口連絡先情報1ad、部番別代替品情報1ae、全部門のマスター単価情報1af、部品品質認定情報1ag、推奨部品情報1ah、半導体及び液晶市場相場価格情報1ai、部品スペック情報1aj、部品代替品情報1ak、カタログ原文情報（カタログ画像情報）1al、為替レート情報1am、利用者情報（利用者ID、パスワード、利用者所属部門等）1an、及びセキュリティ情報1aoを有する。

【0045】

図5は、電子部品システム1の処理を示すフローチャートであり、図2のステップS3の処理に相当する。ステップSAA1では、図10に示す画面を利用者のコンピュータ31に表示し、利用者IDの入力及びパスワードの入力を待つ。利用者は、図10のエリア1101に利用者IDを入力し、エリア1102にパスワードを入力することができる。利用者ID1101及びパスワード1102を入力させることにより、セキュリティを強化し、不正者のログインを防止できる。

【0046】

表示エリア1105に表示されるように、セキュリティ強化のために、以下の2つの対策が取られる。（1）暦日90日間アクセス（ログイン）がない場合はアクセス権（ログイン権）を自動的に抹消する。その場合、利用時に再度、利用申請書の提出が必要になる。（2）利用者はセキュリティ保護のため、パスワード変更を月1回必ず実施する。パスワードの変更は、パスワード変更ボタン1104をマウスでクリックすることにより行うことができる。

【0047】

なお、これらのセキュリティ強化のための2つの処理は、電子部品システムの他、原材料システム等の他のシステムでも行われる。

利用者がログインボタン1103をマウスでクリックすると、入力した利用者ID及びパスワードが正しければ、ログインされ、ステップSAA2へ進む。

【0048】

ステップSAA2では、図11に示すメニュー画面が表示される。表示エリア1111には、何時の情報であるかが表示される。表示エリア1112には、ログインユーザID（利用者ID）が表示される。表示エリア1113には、ログインした年月日が表示される。表示エリア1114には、ログインしたIPアドレスが表示される。このIPアドレスを基に、どの部門の利用者かが分かる。これら表示エリア1112～1114の表示により、画面をハードコピーした時の出所を特定できるので、外部への情報漏れを防止することができる。すなわち、ハードコピーした利用者の情報が表示されているので、利用者がハードコピーすることを躊躇する効果がある。さらに、表示エリア1115に、「この情報は社外秘です。」と表示することにより、情報が外部に漏れることを防止できる。

【0049】

メニュー項目1116として、「1. 部番による検索」、「2. 型名による検索」、「3. 外部データベース情報検索」、「4. 部番による拠点別、親部番別、代替部品（代替可能な部番を表示）検索」、「5. 単価マスタ変更情報一覧」、「6. 単価マスタ履歴情報検索」、「7. 部番による発注予定情報検索」、「8. 型名による発注予定情報検索」、「9. 型名による特性上の代替部品の情報検索」、「10. 半導体及び液晶の価格相場による検索」、「61. 為替レート情報」、「SU1. ユーザメンテナンス」、及び「SU2. プリファレンス情報」が表示される。

【0050】

ユーザメンテナンス処理は、データベースに登録されているユーザ情報やログ情報を参照したり、ユーザ情報やセキュリティ管理の登録を行う。プリファレンス情報処理は、システムの稼動に必要な情報の設定を行う。

表示エリア1117には、セキュリティ強化のため、以下の2項目が表示される。（1）「機密保護の確約：許可なしに情報の複写を禁じます。また、利用者として登録した社員以外の使用を禁じます。」（2）「就業規則による制裁：調達情報システムの情報は社外秘です。社外へ漏洩すると社内規定により罰せられます。」

【 0 0 5 1 】

利用者は、上記のメニュー項目 1 1 1 6 の中から所望の項目を選択することができる。利用者が項目を選択すると、図 5 のステップ S A A 3 では、利用者がどの番号を選択したかをチェックする。1 番を選択すると、ステップ S A A 4 で部番による検索処理を行う。2 番を選択すると、ステップ S A A 5 で型名による検索処理を行う。3 番を選択すると、ステップ S A A 6 で外部データベース情報の検索処理を行う。1 0 番を選択すると、ステップ S A A 7 で半導体及び液晶の価格相場による検索処理を行う。6 1 番を選択すると、ステップ S A A 8 で為替レート情報の処理を行う。その他の番号を選択すると、ステップ S A A 9 でその他の番号の処理を行う。以下、ステップ S A A 4 ～ S A A 8 の各処理の詳細を説明する。

【 0 0 5 2 】

図 6 は、図 5 に示すステップ S A A 4 の部番による検索処理の詳細を示すフローチャートである。この処理は、部番をキーワードとして、電子部品を検索することができる。ステップ S A B 1 では、図 1 2 に示す条件入力画面をコンピュータ 3 1 上に表示する。図 1 2 のタイトルエリア 1 1 2 5 には、「(1) 部番による検索・条件入力画面」と表示される。表示エリア 1 1 1 1 ～ 1 1 1 5 は上記と同様である。表示エリア 1 1 2 6 には、「持ち部番／仮単価の情報は提供していません。」と表示し、利用者が所属する部門に応じて、情報にマスクをかけ、所定の情報のみを提供する。例えば、開発部門の利用者には、持ち部番及び仮単価の情報を提供しないことにより、それらの情報を基に設計及び見積もりを試算することを禁止することができる。

【 0 0 5 3 】

条件入力エリア 1 1 2 7 には、部番、環境問題を考慮したグリーン認定（例えば有害物質の有無やリサイクルの有無）、推奨情報（試作部門での在庫状況）、購入元、原産国名、品目品種コード（例えば半導体を示すコード）、取引先コード（販売店のコード）、取引先名、メーカーコード、メーカー名、実際に取引を行った検収単価（現地通貨）がいくら以上又はいくら以下であるかを、利用者が入力することができる。部番の他に、上記の条件の全部又は一部を入力すること

ができる。クリアボタン1129をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。検索（サーチ）ボタン1128をマウスでクリックすると、ステップSAB2を介してステップSAB3へ進み、データベース1aを基に上記の入力した条件を満足する電子部品を検索する。その後、ステップSAB4へ進む。なお、検索ボタン1128がクリックされず、ボタン1121～1124がクリックされたときにはステップSAB10へ進む。

【0054】

ステップSAB10は、ボタン1121～1124がクリックされたときの処理である。メニューボタン1121がクリックされると、図5のステップSAA2へ戻り、図11に示すメニュー画面を表示する。バックページボタン1122がクリックされると、1つ前の画面表示に戻る。ログアウトボタン1123がクリックされると、調達情報システムは終了する。メールボタン1124がクリックされると、メールの送信又は受信メールの確認等を行うことができる。

【0055】

上記の検索の後、ステップSAB4では、図13に示す検索結果の一覧画面を表示する。図13のボタン1121～1124がクリックされたときには、ステップSAB5を介してステップSAB10へ進み、上記と同様な処理を行う。表示エリア1111～1115、1126には上記と同様な表示が行われる。一覧表示エリア1135には、検索結果として例えば7件の電子部品の情報が表示される。具体的には、一覧表示エリア1135には、自社が決めた部番、寸法、メーカーが決めた型名、メーカー名、カタログ画像情報の有無、推奨（試作在庫状況）、品質認定、拠点名（事業所名）、取引先名（販売店名）、検収年月、検収単価、通貨、検収数量、図番、訂正番号、工程、小オーダー（部品オーダー）が表示される。なお、品質認定は、「合」が合格、「条」が条件付合格、否は不合格である。カタログ画像情報が「有」になっているときには、その「有」の部分をマウスでクリックすると、データベース1a（図4）を基にカタログ画像情報が表示される。カタログ画像情報は、紙に印刷されたカタログをイメージスキャナで読み込んだ画像情報である。

【0056】

画面の右には続きがある。スクロールバースイッチ 1 1 3 7 をマウスでクリックすると、画面は左にスクロールする。スクロールバースイッチ 1 1 3 8 をマウスでクリックすると、画面は右にスクロールし、図 1 4 に示す続きの画面を表示する。一覧表示エリア 1 1 3 5 には、上記の他、窓口、原産国名、品種名称、機能分類番号が表示される。

【 0 0 5 7 】

一覧表示エリア 1 1 3 5 内の 7 件の電子部品は、並び換えが可能である。まず、並び換え項目 1 1 3 2 として、例えば「部番」を選択する。次に、並び換え（ソート）ボタン 1 1 3 3 をマウスでクリックすると、一覧表示エリア 1 1 3 5 には部番の番号順に並び換えが行われる。並び換え項目として、部番以外の項目を選択して並び換えを行うこともできる。

【 0 0 5 8 】

図 1 3 に示すリンク先画面 1 1 3 4 として、「詳細画面」を選択して、電子部品番号 6 のボタン 1 1 3 6 をマウスでクリックすると、ステップ S A B 5 を介してステップ S A B 6 へ進み、データベース 1 a を基に電子部品番号 6 の詳細情報を検索する。次に、ステップ S A B 7 へ進み、図 1 5 に示すように、電子部品番号 6 の詳細情報の画面を表示する。なお、上記の「詳細画面」のみだけでなく、図 1 6 のリンク先 1 1 5 1 ～ 1 1 5 4 へリンクするための同一の項目を指定することもできる。

【 0 0 5 9 】

図 1 5 のタイトルエリア 1 1 4 1 には、「（１）部番による検索・詳細画面」と表示される。表示エリア 1 1 1 1 ～ 1 1 1 5 の表示は上記と同じである。部品情報エリア 1 1 4 4 には、部番、寸法、工程、図番、訂正番号、部品名、型名、メーカー名、原産国名、機能分類、保守日程、廃止日程を含む部品情報が表示される。スペック情報エリア 1 1 4 5 には、外部データベースのスペック情報が表示される。スペック情報がない場合には、図 1 5 に示すようにスペック情報がない旨が表示される。スペック情報がある場合には、例えば図 2 5 に示すようなスペック情報が表示される。図 2 5 に示すスペック情報は後に説明する。推奨品情報エリア 1 1 4 6 には、推奨ランク（試作在庫状況のランク）、箱番、データ登

録日が表示される。品質認定情報エリア 1147 には、品質認定、コメント、機能、構造、規模が表示される。この画面の下には続きがある。

【0060】

スクロールバースイッチ 1142 をマウスでクリックすると、画面は上にスクロールする。スクロールバースイッチ 1143 をマウスでクリックすると、画面は下にスクロールし、図 16 に示す続きの画面を表示する。表示画面には、上記の他、以下の表示が行われる。グリーン認定情報エリア 1148 には、グリーン認定情報、認定日、コメントが表示される。グリーン認定情報は、有害物質の有無及びリサイクルの有無に応じて、環境に優しいか否かで判断される。検収・買入単価情報エリア 1149 には、拠点（事業所）、窓口、小オーダー（部品オーダー）、検収年月、検収数量、参考として見積もり価格を示すマスター単価、検収単価、検収金額、通貨、単価区分、単価条件、取引先、品目品種が表示される。なお、利用者が開発部門に所属する場合には、上記の理由により、仮単価は表示しない。

【0061】

上記のように、まず検索結果の一覧画面を表示し、その後に個々の電子部品の詳細画面を表示することにより、検索速度を向上させることができる。すなわち、一覧画面でなるべく必要な表示を行い、その後は 1 対 1 で個々の電子部品の詳細画面を表示することができる。

【0062】

サブ画面へのリンクエリア 1150 では、4 つのボタン 1150～1154 がある。ボタン 1150～1154 のいずれかがマウスでクリックされると、ステップ SAB 8 を介してステップ SAB 9 へ進み、リンク処理を行う。なお、ボタン 1121～1124 がクリックされたときには、ステップ SAB 8 を介してステップ SAB 10 へ進み、上記と同様な処理を行う。

【0063】

図 7 は、図 6 に示すステップ SAB 9 のリンク処理の詳細を示すフローチャートである。図 16 の第 1 のボタン 1151 がマウスでクリックされると、ステップ SAC 1 の分岐処理を介してステップ SAC 2 へ進み、データベース 1a を基

に代替部品情報の検索を行う。次に、ステップ S A C 3 で、図 1 7 に示す代替部品一覧画面を表示する。

【 0 0 6 4 】

図 1 7 は、代替部品一覧画面を示す。タイトルエリア 1 1 6 1 には、「部番による代替部品検索結果一覧」と表示される。表示エリア 1 1 1 1 ～ 1 1 1 5 には上記と同様な表示が行われる。一覧表示エリア 1 1 6 3 には、例えば 2 件の電子部品の代替部品情報が表示されている。一覧表示エリア 1 1 6 3 の代替部品情報として、部番、寸法、取引先名、拠点、代替部番、代替寸法、代替取引先名、代替型名、代替メーカー名、親部番、寸法、親図番が表示される。代替部品情報を表示することにより、その電子部品を入手できなくなった場合等に、その電子部品に代わる電子部品はどれであるかを知ることができる。また、親部番及び親図番の情報を表示することにより、その電子部品が使われている製品を知ることができる。

【 0 0 6 5 】

一覧表示エリア 1 1 6 3 内の 2 件の電子部品は、並び換えが可能である。まず、並び換え項目 1 1 6 1 として、例えば「部番」を選択する。次に、並び換え（ソート）ボタン 1 1 6 2 をマウスでクリックすると、ステップ S A C 4 を介してステップ S A C 5 へ進み、部番の番号順に電子部品の並べ替え処理を行う。次に、ステップ S A C 3 へ戻り、一覧表示エリア 1 1 6 3 に並び換え後の電子部品の一覧を表示する。並び換え項目として、部番以外の項目を選択して並び換えを行うこともできる。なお、図 1 7 のボタン 1 1 2 1 ～ 1 1 2 4 がクリックされたときには、ステップ S A C 4 を介してステップ S A C 1 2 へ進み、図 6 のステップ S A B 1 0 と同様な処理を行う。

【 0 0 6 6 】

図 1 6 の第 2 のボタン 1 1 5 2 がマウスでクリックされると、図 7 のステップ S A C 1 の分岐処理を介してステップ S A C 6 へ進み、データベース 1 a を基に製品／商品情報の検索を行う。次に、ステップ S A C 7 で、図 1 8 に示す製品／商品情報画面を表示する。

【 0 0 6 7 】

図 1 8 は、製品／商品情報画面を示す。タイトルエリア 1 1 7 1 には、「製品／商品情報（製品／商品オーダー）」と表示される。表示エリア 1 1 1 1 ～ 1 1 1 5 には上記と同様な表示が行われる。製品／商品情報表示エリア 1 1 7 2 には、例えば所望部番（例えば W A 5 - 0 0 0 0 - 0 0 0）についての 6 件の製品／商品情報が表示される。具体的には、製品／商品情報表示エリア 1 1 7 2 には、オーダー番号、オーダー名称、支給、拠点名、員数（対象部品の部品数）、機種群、製品群が表示される。製品／商品情報を表示することにより、その電子部品がどの製品又は商品に使用されているかを知ることができる。その後、上記のステップ S A C 1 2 へ進み、図 1 8 のボタン 1 1 2 1 ～ 1 1 2 4 の処理を行う。

【 0 0 6 8 】

図 1 6 の第 3 のボタン 1 1 5 3 がマウスでクリックされると、図 7 のステップ S A C 1 の分岐処理を介してステップ S A C 8 へ進み、データベース 1 a を基に発注予定情報の検索を行う。次に、ステップ S A C 9 で、図 1 9 に示す発注予定情報画面を表示する。

【 0 0 6 9 】

図 1 9 は、発注予定情報画面を示す。タイトルエリア 1 1 8 1 には、「部番別発注予定情報一覧」と表示される。表示エリア 1 1 1 1 ～ 1 1 1 5 には上記と同様な表示が行われる。発注予定情報表示エリア 1 1 8 2 には、例えば所望部番（例えば W A 5 - 0 0 0 0 - 0 0 0）についての 6 件の発注予定情報が表示される。具体的には、発注予定情報表示エリア 1 1 8 2 には、拠点名、取引先名、型名、メーカー名、通貨、各年月の予定数量及び予定金額が表示される。発注予定情報を表示することにより、今後の月毎に、その電子部品の発注数量及び発注金額を知ることができる。その後、上記のステップ S A C 1 2 へ進み、図 1 9 のボタン 1 1 2 1 ～ 1 1 2 4 の処理を行う。

【 0 0 7 0 】

図 1 6 の第 4 のボタン 1 1 5 4 がマウスでクリックされると、図 7 のステップ S A C 1 の分岐処理を介してステップ S A C 1 0 へ進み、データベース 1 a を基に検収履歴情報の検索を行う。次に、ステップ S A C 1 1 で、図 2 0 に示す検収履歴情報画面を表示する。

【0071】

図20は、検収履歴情報画面を示す。タイトルエリア1191には、「検収単価履歴情報（最新含め24世代、仮単価は表示しない）」と表示される。表示エリア1111～1115には上記と同様な表示が行われる。検収単価履歴情報表示エリア1192には、例えば所望会社拠点（例えばA事業所）及び所望部番（例えばWA5-0000-000）及び所望取引先（例えばAAA）についての2件の検収単価履歴情報が表示される。具体的には、検収単価履歴情報表示エリア1192には、検収年月、検収単価、検収数量、検収金額、図番、訂正番号、小オーダー、通貨が表示される。検収単価履歴情報を表示することにより、過去の検収単価の推移を知ることができる。その後、上記のステップSAC12へ進み、図20のボタン1121～1124の処理を行う。

【0072】

図11に示すメニュー画面において「2. 型名による検索」を選択すると、図5に示すステップSAA5の型名による検索処理に進み、図21に示す条件入力画面を表示する。図21のタイトルエリア1201には、「型名による検索・条件入力画面」と表示される。表示エリア1111～1115には上記と同様な表示が行われる。条件入力エリア1202には、型名、グリーン認定情報、推奨情報、品質認定情報、メーカーコード、メーカー名、購入済情報を入力することができる。型名の他に、上記の条件の全部又は一部を入力することができる。クリアボタン1204をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。検索（サーチ）ボタン1203をマウスでクリックすると、データベース1aを基に上記の入力した条件を満足する電子部品を検索し、検索結果を表示する。その後の処理は、上記の部番による検索処理のステップSAA4と同様である。

【0073】

なお、型名は、外部データベース34（図1）で作成したものと自社内のデータベースで作成したものとで微妙に異なることがある。これは、外部データベース34が、カタログで使用している型名を使用するためである。この場合、電子情報システム1は、上記の2種類の型名情報をデータベース1a内に持ち、頭桁

の一部があてば、同じ型名である可能性が高いとして、それらの型名を候補として表示する。利用者は、これらの型名候補の中から一致するものを1つ選択するだけでよいので、検索負担が軽減される。この際、社内の型名とマッチしないものは表示するだけである。

【 0 0 7 4 】

図 1 1 に示すメニュー画面において「3. 外部データベース情報検索」を選択すると、図 5 に示すステップ S A A 6 の外部データベース情報検索処理に進む。図 8 は、図 5 に示すステップ S A A 6 の外部データベース情報検索処理の詳細を示すフローチャートである。ステップ S A D 1 では、図 2 2 に示す大分類選択画面を表示する。図 2 2 のタイトルエリア 1 2 1 1 には、「(3) 外部データベース情報検索－大分類」と表示される。大分類選択メニュー 1 2 1 2 には、「0 0 1. マイコン」、「0 0 2. 周辺／インタフェース」、・・・、「0 1 5. 光素子」等が表示される。利用者は、大分類選択メニュー 1 2 1 2 の中から1つを選択することができる。ボタン 1 1 2 1 ～ 1 1 2 4 又はボタン 1 2 1 3、1 2 1 4 がマウスでクリックされると、ステップ S A D 2 を介してステップ S A D 1 2 へ進む。ステップ S A D 1 2 では、メニューボタン 1 1 2 1、バックページボタン 1 1 2 2、ログアウトボタン 1 1 2 3、メールボタン 1 1 2 4 については上記と同様の処理を行う。ヘルプボタン 1 2 1 3 がマウスでクリックされたときには、利用者の操作を助けるヘルプ表示を行う。連絡先ボタン 1 2 1 4 をクリックすると、電子部品システムについての連絡先及び各工場／生産関係会社の調達部門の連絡先を表示する。

【 0 0 7 5 】

利用者が大分類選択メニュー 1 2 1 2 の中から例えば「0 1 5. 光素子」を選択すると、ステップ S A D 2 を介してステップ S A D 3 へ進み、図 2 3 に示す「光素子」の中分類（部品）選択画面を表示する。大分類の次に中分類を選択することにより、利用者は容易かつ迅速に所望の電子部品を選択することができる。図 2 3 のタイトルエリア 1 2 2 1 には、「(3) 外部データベース情報検索－中分類」と表示される。中分類選択メニュー 1 2 2 2 には、「0 1. 通信用 L E D」、「0 3. レーザダイオード／アレイ」、・・・、「0 7. フォトインタラプ

タ」等が表示される。利用者は、中分類選択メニュー 1 2 2 2 の中から 1 つを選択することができる。ボタン 1 1 2 1 ~ 1 1 2 4 又はボタン 1 2 1 3、1 2 1 4 がマウスでクリックされると、ステップ S A D 4 を介してステップ S A D 1 2 へ進み、上記と同様な処理を行う。

【 0 0 7 6 】

利用者が中分類選択メニュー 1 2 2 2 の中から例えば「0 7. フォトインタラプタ」を選択すると、ステップ S A D 4 を介してステップ S A D 5 へ進み、図 2 4 に示す「フォトインタラプタ」の条件入力画面を表示する。図 2 4 のタイトルエリア 1 2 3 1 には、「(3) 型名による検索・条件入力画面」と表示される。表示エリア 1 1 1 1 ~ 1 1 1 5 には上記と同様な表示が行われる。条件入力エリア 1 2 3 3 には、型名、メーカー、出力形式、受光形式、入力順電圧、入力順電流等を入力することができる。電子部品システムは、外部データベースから電子部品のスペック情報検索項目が供給され、そのスペック情報の項目を条件とする条件入力画面を作成する。利用者は、スペック情報の条件を入力することにより、その条件を満足する電子部品のみを検索指示することができる。

【 0 0 7 7 】

クリアボタン 1 2 3 5 をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。検索（サーチ）ボタン 1 2 3 4 をマウスでクリックすると、ステップ S A D 6 を介してステップ S A D 7 へ進み、データベース 1 a を基に上記の入力した条件を満足する電子部品を検索する。その後、ステップ S A D 8 へ進む。なお、図 2 4 のボタン 1 1 2 1 ~ 1 1 2 4、1 2 1 3、1 2 1 4 がクリックされたときにはステップ S A D 6 を介してステップ S A D 1 2 へ進み、上記と同様な処理を行う。

【 0 0 7 8 】

ステップ S A D 8 では、図 2 5 に示す検索結果一覧画面を表示する。図 2 5 のタイトルエリア 1 2 4 1 には、「(3) 外部データベース検索結果一覧（スペック）」と表示される。表示エリア 1 1 1 1 ~ 1 1 1 5 には上記と同様な表示が行われる。エラー表示エリア 1 2 3 2 は、検索結果にエラーが生じた場合にエラー内容を表示する。例えば、条件に該当する電子部品が見つからなかった場合には

、エラー表示エリア1232に、「該当データがありません」と表示する。総件数表示エリア1242には、条件に該当する電子部品（例えばフォトインタラプタ）の件数（例えば150件）が表示される。一覧表示エリア1246には、150件中の最初の6件のフォトインタラプタが表示される。具体的には、一覧表示エリア1246には、型名、メーカー、出力形式、受光形式、入力順電圧、入力順電流等のスペック情報が表示される。前リストボタン1243をマウスでクリックすると、現在表示中データの前の一覧を表示する。次リストボタン1244をマウスでクリックすると、現在表示中データの次の一覧を表示する。開始番号ボタン1245の左欄に開始番号を入力してボタン1245をマウスでクリックすると、その番号から一覧を表示する。一覧表示エリア1246内の電子部品番号1のボタン1247をクリックすると、ステップSAD9を介してステップSAD10へ進み、データベース1aを基に電子部品番号1の部品情報を検索する。その後、ステップSAD11へ進む。なお、図25のボタン1121～1124、1213、1214がクリックされたときにはステップSAD9を介してステップSAD12へ進み、上記と同様な処理を行う。

【0079】

ステップSAD11では、図26に示すように、検索結果を示す部品情報画面を表示する。図26のタイトルエリア1251には、「（3）外部データベース検索結果一覧」と表示される。表示エリア1111～1115には上記と同様な表示が行われる。エラー表示エリア1232、総件数表示エリア1242、前リストボタン1243、次リストボタン1244、開始番号ボタン1245は、上記と同じである。リンク先画面エリア1134、並び換えエリア1132、並び換え（ソート）ボタン1133は、図13に示すものと同じである。一覧表示エリア1255には、図13に示す一覧表示エリア1135と同様な部品情報が表示される。一覧表示エリア1255内の画像の「有」のエリア1256をマウスでクリックすると、そのカタログ画像情報を表示する。電子部品番号1のボタン1257をクリックすると、図15及び図16に示すように、電子部品番号1の部品詳細情報を表示する。その後、ステップSAD12へ進み、上記と同様な処理を行う。

【 0 0 8 0 】

図 1 1 に示すメニュー画面において「1 0. 半導体・液晶価格相場による検索」を選択すると、図 5 に示すステップ S A A 7 の半導体及び液晶価格相場による検索処理に進む。利用者が半導体及び液晶についての品目を指定すると、図 2 7 に示す半導体及び液晶価格画面が表示される。図 2 7 のタイトルエリア 1 2 8 1 には、「(1 0) 半導体・液晶価格相場による検索・品種一覧画面」と表示される。表示エリア 1 1 1 1 ～ 1 1 1 5 には上記と同様な表示が行われる。価格表示エリア 1 2 8 2 には、所望品目（例えば品目 A）についての例えば 7 品種の市場相場価格が表示される。具体的には、各品種についての品種名称、日付、最低相場価格、最高相場価格、及び価格動向が表示される。価格動向は、上昇又は下降が表示される。各品種のボタン 1 2 8 3 をマウスでクリックすると、その品種の過去の価格履歴が表示される。なお、図 2 7 のボタン 1 1 2 1 ～ 1 1 2 4 をクリックしたときには、上記と同様な処理を行う。

【 0 0 8 1 】

図 1 1 に示すメニュー画面において「6 1. 為替レート情報」を選択すると、図 5 に示すステップ S A A 8 の為替レート情報処理に進む。図 9 は、ステップ S A A 8 の為替レート情報処理の詳細を示すフローチャートである。ステップ S A E 1 では、図 2 8 に示す通貨一覧画面を表示する。図 2 8 のタイトルエリア 1 2 6 1 には、「(6 1) 為替レート情報・通貨一覧画面」と表示される。表示エリア 1 1 1 1 ～ 1 1 1 5 には上記と同様な表示が行われる。通貨一覧表示エリア 1 2 6 2 には、データベース 1 a を基に、各通貨について、変換元の通貨、変換先の通貨、レート、年月を表示する。例えば、1 オーストラリアドル (A U D) は 8 6 . 0 4 円 (J P Y) である。例えば、オーストラリアドルのボタン 1 2 6 3 をクリックすると、ステップ S A E 2 を介してステップ S A E 3 へ進む。なお、図 2 8 のボタン 1 1 2 1 ～ 1 1 2 4 をクリックしたときには、ステップ S A E 2 を介してステップ S A E 4 へ進み、図 6 のステップ S A B 1 0 と同様な処理を行う。

【 0 0 8 2 】

ステップ S A E 3 では、図 2 9 に示す為替レートの履歴画面を表示する。タイ

トルエリア 1271 には、「(61) 為替レート情報 (月平均ー過去 120 ヶ月分)」と表示される。表示エリア 1111~1115 には上記と同様な表示が行われる。履歴表示エリア 1272 には、データベース 1a を基に、オーストラリアドルから日本円への過去 120 ヶ月分の月平均の為替レートの履歴が表示される。その後、ステップ SAE4 へ進み、上記と同様な処理を行う。

【0083】

為替レートを表示することにより、現地で電子部品を購入した場合の価格を知ることができ、現地で購入した場合と日本で購入した場合を比較することができる。また、上記の電子部品の単価を表示する際に現地通貨での価格と日本円での価格との両方を表示させることができる。

【0084】

以上のように、電子部品システム 1 は、開発設計等において最適な電子部品を選定することができる。開発部門及び調達部門の利用者は、所望の電子部品を迅速かつ容易に検索することができる。電子部品の単価情報を提供することにより、電子部品のコストダウンを図ることができる。

【0085】

[2. 原材料システム]

図 30 は、図 1 に示す原材料システム (原材料情報提供システム) 2 の構成を示すブロック図である。原材料システム 2 は、Web サーバ 2001、アプリケーションサーバ 2002、Web 用データベースサーバ 2003、運用マシン 2006、及び更新用データベースサーバ 2007 を有する。データベースサーバ 2003 は、データベース 2a (図 1) を有する。利用者のコンピュータ 31 は、例えばクライアントとなる標準パーソナルコンピュータであり、原材料システム 2 に対してアクセス可能である。

【0086】

情報源 2011 は、メーカーコードや単価等の材料契約情報を有し、その情報は運用マシン 2006 に供給される。情報源 (人事部門) 2014 は、人事データを有し、そのデータは運用マシン 2006 に供給される。人事データは人事異動の情報を含み、原材料システム 2 は、登録された利用者が所属する部門の変更

を自動的に行うことができる。また、必要に応じて、その異動した利用者の登録を抹消することができる。

【 0 0 8 7 】

工場及び生産関係会社 2 0 1 3 は、検収情報、注文予定情報、製品を構成する原材料情報、製品名称情報、樹脂 (M O) 材料情報、金属 (P X) 材料情報、検収注文予定情報、色承認情報、スペック情報等を有する。これらの情報は、運用マシン 2 0 0 6 に供給される。

【 0 0 8 8 】

運用マシン 2 0 0 6 は、これらの情報をデータベースサーバ 2 0 0 3 内のデータベース 2 a に登録する。なお、上記の情報は、運用マシン 2 0 0 6 に対してネットワークを介してオンラインで提供することが好ましい。

【 0 0 8 9 】

運用マシン 2 0 0 6 は、データベース 2 a の更新処理を更新用データベースサーバ 2 0 0 7 に依頼する。更新用データベースサーバ 2 0 0 7 は、それに応じて、データファイルを作成し、運用マシン 2 0 0 6 に供給する。運用マシン 2 0 0 6 は、データベースサーバ 2 0 0 3 内のデータベース 2 a を更新する。

【 0 0 9 0 】

利用者のコンピュータ 3 1 は、Webサーバ 2 0 0 1 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。Webサーバ 2 0 0 1 は、アプリケーションサーバ 2 0 0 2 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。アプリケーションサーバ 2 0 0 2 は、データベースサーバ 2 0 0 3 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。Webサーバ 2 0 0 1 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、利用者が選択するための統一的なメニュー表示を行う。アプリケーションサーバ 2 0 0 2 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、原材料システム 2 を動作させる。データベースサーバ 2 0 0 3 は、データベース 2 a を有し、そのデータベース 2 a の登録、削除、更新及び検索を管理する。

【 0 0 9 1 】

図 3 1 は、データベースサーバ 2 0 0 3 内のデータベース 2 a の構成を示す概略図である。データベース 2 a は、材料価格情報 2 a a、材料購入実績情報 2 a b、製品オーダー情報 2 a c、材料使用量（重量）の実績及び予測情報 2 a d、材料金額の実績情報 2 a e、材料金額の予測情報 2 a f、材料スペック情報 2 a g、色承認情報 2 a h、利用者情報（利用者 I D、パスワード、利用者所属部門等） 2 a i、セキュリティ情報 2 a j、環境問題を考慮したグリーン認定情報 2 a k を有する。

【 0 0 9 2 】

図 3 2 は、原材料システム 2 の処理を示すフローチャートであり、図 2 のステップ S 4 の処理に相当する。ステップ S B A 1 では、図 4 2 に示すログイン画面を利用者のコンピュータ 3 1 に表示し、ログインネーム（利用者 I D）の入力及びパスワードの入力を待つ。利用者は、図 4 2 のエリア 2 1 0 1 に利用者 I D を入力し、エリア 2 1 0 2 にパスワードを入力することができる。利用者 I D 2 1 0 1 及びパスワード 2 1 0 2 を入力させることにより、セキュリティを強化し、不正者のログインを防止できる。

【 0 0 9 3 】

利用者はセキュリティ保護のため、パスワードの変更を月 1 回必ず実施する。パスワードの変更は、パスワード変更ボタン 2 1 0 4 をマウスでクリックすることにより行うことができる。

【 0 0 9 4 】

利用者がログインボタン 2 1 0 3 をマウスでクリックすると、入力した利用者 I D 及びパスワードが正しければ、ログインされ、ステップ S B A 2 へ進む。

ステップ S B A 2 では、図 4 3 に示すメニュー画面を表示する。表示エリア 2 1 1 1 には、何時の情報であるかが表示される。表示エリア 2 1 1 2 には、ログインユーザ I D（利用者 I D）が表示される。表示エリア 2 1 1 3 には、ログインした年月日が表示される。これら表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 の表示により、画面をハードコピーした時の出所を特定できるので、外部への情報漏れを防止することができる。なお、電子部品システムの場合と同様に、利用者 I D 及びログイン年月日の他、I P アドレスを表示してもよい。

【 0 0 9 5 】

メニュー項目 2 1 2 6 として、「1. 材料単価情報」、「2. 材料使用情報」、「3. 材質別サマリ情報」、「4. スペック情報」、「5. 色承認情報」、「I. ユーザメンテナンス」、「II. プレファレンス情報」が表示される。さらに、「1. 材料単価情報」は、「1 1 - 管理単価情報」、「1 2 - 管理／実質単価情報」、「1 3 - 実買単価情報」、「1 4 - 海外単価情報」に分けられ、「2. 材料使用情報」は、「2 1 - 部番別使用情報」、「2 2 - 部番別材料費明細情報」に分けられる。

【 0 0 9 6 】

ユーザメンテナンス処理は、データベースに登録されているユーザ情報やログ情報を参照したり、ユーザ情報やセキュリティ管理の登録を行う。プレファレンス情報処理は、システムの稼動に必要な情報の設定を行う。

【 0 0 9 7 】

利用者は、上記のメニュー項目 2 1 2 6 の中から所望の項目を選択することができる。その際には、MO ボタン 2 1 2 7 又は PX ボタン 2 1 2 8 等をマウスでクリックすることにより選択することができる。MO ボタン 2 1 2 7 は、樹脂（MO）材料を意味する。PX ボタン 2 1 2 8 は、金属（PX）材料を意味する。利用者が項目を選択すると、図 3 2 のステップ S B A 3 では、利用者がどの番号を選択したかをチェックする。1 番を選択すると、ステップ S B A 4 で材料単価情報処理を行う。図 3 3 に示すように、その細分類として、1 1 番を選択すると、ステップ S B A 1 0 で管理単価情報処理を行い、1 2 番を選択すると、ステップ S B A 1 1 で管理／実質単価情報処理を行い、1 3 番を選択すると、ステップ S B A 1 2 で実買単価情報処理を行い、1 4 番を選択すると、ステップ S B A 1 3 で海外単価情報処理を行う。

【 0 0 9 8 】

図 3 2 において、2 番を選択すると、ステップ S B A 5 で材料使用情報処理を行う。図 3 4 に示すように、その細分類として、2 1 番を選択すると、ステップ S B A 1 4 で部番別使用情報処理を行い、2 2 番を選択すると、ステップ S B A 1 5 で部番別材料費明細情報処理を行う。

【 0 0 9 9 】

図 3 2 において、3 番を選択すると、ステップ S B A 6 で材質別サマリ情報処理を行う。4 番を選択すると、ステップ S B A 7 でスペック情報処理を行う。5 番を選択すると、ステップ S B A 8 で色承認情報処理を行う。その他の番号を選択すると、ステップ S B A 9 でその他の番号の処理を行う。以下、ステップ S B A 4 ～ S B A 8 の各処理の詳細を説明する。なお、以下、樹脂 (M O) 材料を選択する場合を例に説明するが、金属 (P X) 材料の場合も同様である。

【 0 1 0 0 】

図 3 5 は、図 3 3 に示すステップ S B A 1 0 の管理単価情報処理の詳細を示すフローチャートである。この処理は、管理単価情報を条件入力して、原材料を検索することができる。ステップ S B B 1 では、図 4 4 に示す検索画面をコンピュータ 3 1 上に表示する。図 4 4 のタイトルエリア 2 1 3 6 には、「1 1. M O 材料 管理単価情報 検索画面」と表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 は上記と同様である。

【 0 1 0 1 】

検索条件入力エリア 2 1 3 2 には、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー (原材料の型番)、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバー、管理単価価格帯の幅を、利用者が入力することができる。管理単価情報の他に、上記の条件の全部又は一部を入力することができる。材質記号ボタン 2 1 3 1 をクリックすると、右にテーブルデータ 2 1 3 3 が表示される。テーブルデータ 2 1 3 3 は、材質記号の一覧を表示する。利用者は、テーブルデータ 2 1 3 3 の中から例えば 3 番の「A B S」を選択することができる。その他の項目のボタンをクリックすると、その項目のテーブルデータが表示され、その中から選択することができる。

【 0 1 0 2 】

条件クリアボタン 2 1 3 5 をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。検索ボタン 2 1 3 4 をマウスでクリックすると、ステップ S B B 2 を介してステップ S B B 3 へ進み、データベース 2 a を基に上記の入力した条件を満足する原材料を検索する。その後、ステップ S B B 4 へ進む。なお、検

索ボタン 2 1 3 4 がクリックされず、ボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 がクリックされたときにはステップ S B B 2 を介してステップ S B B 8 へ進む。

【 0 1 0 3 】

ステップ S B B 8 は、ボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 がクリックされたときの処理である。上記の電子部品システムの場合と同様に、メニューボタン 2 1 2 1 がクリックされると、図 3 2 のステップ S B A 2 へ戻り、図 4 3 に示すメニュー画面を表示する。バックページボタン 2 1 2 2 がクリックされると、1 つ前の表示画面に戻る。ログアウトボタン 2 1 2 3 がクリックされると、調達情報システムは終了する。ヘルプボタン 2 1 2 4 がクリックされると、ヘルプ画面が表示される。メールボタン 2 1 2 5 がクリックされると、メールの送信又は受信メールの確認等を行うことができる。

【 0 1 0 4 】

上記の検索の後、ステップ S B B 4 では、図 4 5 に示す検索結果の一覧画面を表示する。タイトルエリア 2 1 4 1 には、「1 1. M O 材料 管理単価情報」と表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 には上記と同様な表示が行われる。一覧表示エリア 2 1 5 1 には、検索条件を満たす原材料の情報が表示される。具体的には、一覧表示エリア 2 1 5 1 には、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバー、管理単価が表示される。

【 0 1 0 5 】

一覧表示エリア 2 1 5 1 内の情報は、ソートが可能である。第 1 ソートキー 2 1 4 3、第 2 ソートキー 2 1 4 4、第 3 ソートキー 2 1 4 5 に項目を入力する。その後に、昇順ソートボタン 2 1 4 6 をクリックすれば、情報が昇順にソートされ、降順ソートボタン 2 1 4 7 をクリックすれば、情報が降順にソートされる。例えば、材質記号、メーカーコード、グレードナンバーの順でソートさせることができる。

【 0 1 0 6 】

また、一覧表示エリア 2 1 5 内の情報の続きを表示させることができる。前リストボタン 2 1 4 8 をクリックすると、前の番号の原材料情報を表示させること

ができる。次リストボタン 2149 をクリックすると、次の番号の原材料情報を表示させることができる。ボタン 2150 の左のエリアに番号を入力し、ボタン 2150 をクリックすると、その番号から原材料情報を表示させることができる。ボタン 1121～1125 がクリックされたときには、ステップ SBB5 を介してステップ SBB8 へ進み、上記と同様な処理を行う。

【0107】

例えば原材料番号 1 のボタン 2152 をクリックすると、ステップ SBB5 を介してステップ SBB6 へ進み、データベース 2a を基に原材料番号 1 の詳細情報を検索する。次に、ステップ SBB7 へ進み、図 46 に示すように、原材料番号 1 の詳細情報の画面を表示する。

【0108】

図 46 のタイトルエリア 2155 には、「11. MO 材料 管理単価詳細情報」と表示される。表示エリア 2112 及び 2113 の表示は上記と同じである。材料情報エリア 2158 には、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバーが表示される。単価履歴情報エリア 2159 には、通貨単位、重量単位、取引先限定種別、ロット種別、並びに実施日及び管理単価が表示される。スペック情報エリア 2160 には、特徴、用途、充填材、加工方法（射出）、燃焼性クラス、板厚、密度、吸水率、引張降伏強度、引張弾性率、曲げ強度等が表示される。

【0109】

上記のように、まず検索結果の一覧画面を表示し、その後に個々の原材料の詳細画面を表示することにより、検索速度を向上させることができる。すなわち、一覧画面でなるべく必要な表示を行い、その後は 1 対 1 で個々の原材料の詳細画面を表示することができる。

【0110】

次に、一覧画面ボタン 2156 をクリックすると、ステップ SBB4 へ戻り、図 45 に示す一覧画面を表示する。また、検索画面ボタン 2157 をクリックすると、ステップ SBB1 へ戻り、図 44 に示す検索画面を表示する。また、ステップ SBB8 でボタン 2121～2125 がクリックされたときには、上記と同

様な処理を行う。

【 0 1 1 1 】

図 3 3 において、ステップ S B A 1 1 の管理／実質単価情報処理は、管理単価情報及び／又は実質単価情報を検索条件として検索を行うことができる。その検索処理は、上記のステップ S B A 1 0 の管理単価情報処理と同様である。ステップ S B A 1 2 の実買単価情報処理は、実買単価情報を検索条件として検索を行うことができる。その検索処理は、上記のステップ S B A 1 0 の管理単価情報処理と同様である。

【 0 1 1 2 】

図 4 3 に示すメニュー画面において「1 4 - 海外単価情報」を選択すると、図 3 3 に示すステップ S B A 1 3 の海外単価情報処理に進む。図 3 6 は、図 3 3 に示すステップ S B A 1 3 の海外単価情報処理の詳細を示すフローチャートである。ステップ S B C 1 では、図 4 7 に示す検索画面を表示する。タイトルエリア 2 1 6 5 には、「1 4 . M O 材料 海外事業所実買単価情報検索」と表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 は、上記と同様である。

【 0 1 1 3 】

検索条件入力エリア 2 1 6 6 には、拠点コード、材質記号、メーカー名称、グレードナンバー、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバーを、利用者が入力することができる。管理単価情報の他に、上記の条件の全部又は一部を入力することができる。

【 0 1 1 4 】

条件クリアボタン 2 1 6 8 をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。検索ボタン 2 1 6 7 をマウスでクリックすると、ステップ S B C 2 を介してステップ S B C 3 へ進み、データベース 2 a を基に上記の入力した条件を満足する海外事業所の原材料情報を検索する。その後、ステップ S B C 4 へ進む。なお、検索ボタン 2 1 6 7 がクリックされず、ボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 がクリックされたときにはステップ S B C 2 を介してステップ S B C 8 へ進む。ステップ S B C 8 は、ボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 がクリックされたときの上記と同様な処理である。

【0115】

上記の検索の後、ステップSBC4では、図48に示す検索結果の一覧画面を表示する。タイトルエリア2171には、「14. MO材料 海外事業所単価情報」と表示される。表示エリア2112及び2113は、上記と同様である。一覧表示エリア2175には、検索条件を満たす海外事業所の原材料の情報が表示される。具体的には、一覧表示エリア2175には、管理／実買単価、拠点、材質記号、メーカー名称、グレードナンバー、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバーが表示される。

【0116】

一覧表示エリア2175内の情報は、ソートが可能である。第1ソートキー2143、第2ソートキー2144、第3ソートキー2145に項目を入力し、その後に、昇順ソートボタン2146又は降順ソートボタン2147をクリックすれば、情報がソートされる。また、前リストボタン2148、次リストボタン2149、開始番号ボタン2150は、上記と同様である。例えば原材料番号1のボタン2174をクリックすると、その詳細情報の検索が行われ、図46に示す詳細画面と同様な画面が表示される。まず検索結果の一覧画面を表示し、その後に個々の原材料の詳細画面を表示することにより、検索速度を向上させることができる。

【0117】

図48のボタン2121～2125をクリックすると、ステップSBC5を介してステップSBC8へ進み、上記と同様な処理を行う。検索画面ボタン2172をクリックすると、ステップSBC5を介してステップSBC1へ戻り、図47の検索画面を表示する。為替レート表示ボタン2173をクリックすると、ステップSBC5を介してステップSBC6へ進み、データベース2aを基に為替レート情報を検索する。

【0118】

次に、ステップSBC7では、図49に示す為替レート画面を表示する。タイトルエリア2181には、「14. MO材料 海外事業所単価 為替レート」と表示される。表示エリア2112及び2113の表示は上記と同じである。為替

レートエリア 2184 には、通貨単位とその為替レートが表示される。例えば、原材料の単価を入力した時の 2 期分の為替レートを表示することができる。また、通貨単位と為替レートを入力することにより、各通貨単位の為替レートをデータベース 2a に登録することができる。

【0119】

次に、一覧画面ボタン 2182 をクリックすると、ステップ SBC4 へ戻り、図 48 に示す一覧画面を表示する。検索画面ボタン 2183 をクリックすると、ステップ SBC1 へ戻り、図 47 に示す検索画面を表示する。ボタン 2121 ～ 2125 をクリックすると、ステップ SBC8 で上記と同様な処理を行う。

【0120】

図 43 に示すメニュー画面において「21-部番別使用情報」を選択すると、図 34 に示すステップ SBA14 の部番別使用情報処理に進む。

図 37 は、図 34 に示すステップ SBA14 の部番別使用情報処理の詳細を示すフローチャートである。ステップ SBD1 では、図 50 に示す検索画面を表示する。タイトルエリア 2191 には、「21. MO 材料 部番別使用情報 検索画面」と表示される。表示エリア 2112 及び 2113 は、上記と同様である。

【0121】

検索条件入力エリア 2192 には、会社コード、拠点区分、使用部番、取引先コード、取引先名称、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバーを、利用者が入力することができる。使用部番の他に、上記の条件の全部又は一部を入力することができる。

【0122】

会社コードボタン 2196 をクリックすると、右にテーブルデータ 2193 が表示される。テーブルデータ 2193 は、会社コードの一覧を表示する。利用者は、テーブルデータ 2193 の中から所望の会社コードを選択することができる。その他の項目のボタンをクリックすると、その項目のテーブルデータが表示され、その中から選択することができる。

【0123】

条件クリアボタン2195をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。検索ボタン2194をマウスでクリックすると、ステップSBD2を介してステップSBD3へ進み、データベース2aを基に上記の入力した条件を満足する原材料使用情報を検索する。その後、ステップSBD4へ進む。なお、検索ボタン2194がクリックされず、ボタン2121～2125がクリックされたときにはステップSBD2を介してステップSBD10へ進み、図36のステップSBC8と同様な処理を行う。

【0124】

上記の検索の後、ステップSBD4では、図51に示す検索結果の一覧画面を表示する。タイトルエリア2201には、「21. MO材料 部番別使用情報」と表示される。表示エリア2112及び2113は、上記と同様である。一覧表示エリア2204には、検索条件を満たす原材料の使用情報が表示される。具体的には、一覧表示エリア2204には、会社、拠点区分、拠点、使用部番、寸法、工程図番、取引先コード、取引先名称、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバーが表示される。さらに、画面を右にスクロールすると、表示エリア2204には、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバー、実績重量、予定重量、実績金額、予定金額が表示される。

【0125】

一覧表示エリア2204内の原材料使用情報は、ソートが可能である。第1ソートキー2143、第2ソートキー2144、第3ソートキー2145に項目を入力し、その後に、昇順ソートボタン2146又は降順ソートボタン2147をクリックすれば、原材料使用情報がソートされる。また、前リストボタン2148、次リストボタン2149、開始番号ボタン2150は、上記と同様である。ボタン2121～2125をクリックすると、ステップSBD5を介してステップSBD10へ進み、上記と同様な処理を行う。例えば原材料番号1のボタン2203をクリックすると、ステップSBD5を介してステップSBD6へ進む。

【0126】

ステップSBD6では、データベース2aを基に、例えば原材料番号1の原材料の製品情報を検索する。次に、ステップSBD7では、図52に示す製品情報

画面が表示される。まず検索結果の一覧画面を表示し、その後に個々の原材料の製品情報を表示することにより、その原材料が使用されている製品を知ることができる。

【0127】

図52のタイトルエリア2211には、「21. MO材料 製品情報画面」と表示される。表示エリア2112及び2113の表示は上記と同じである。製品情報エリア2215には、上記で指定された使用部番（例えばFA2-8225-000）が使用されている製品情報が表示される。具体的には、製品情報エリア2215には、オーダ番号（製品番号）、拠点、オーダ名称、員数、製品群、機種群が表示される。

【0128】

次に、ボタン2121～2125をクリックすると、ステップSBD8を介してステップSBD10へ進み、上記と同様な処理を行う。一覧画面ボタン2212をクリックすると、ステップSBD8を介してステップSBD4へ戻り、図51に示す一覧画面を表示する。検索画面ボタン2213をクリックすると、ステップSBD8を介してステップSBD1へ戻り、図50に示す検索画面を表示する。材料費明細ボタン2214をクリックすると、ステップSBD8を介してステップSBD9へ進み、部番別材料費明細情報処理を行う。この部番別材料費明細処理は、図34に示すステップSBA15の処理と同じである。

【0129】

図43に示すメニュー画面において「22-部番別材料費明細情報」を選択すると、図34に示すステップSBA15の部番別材料費明細情報処理に進む。

図38は、図34に示すステップSBA15及び図37に示すステップSBD9の部番別材料費明細情報処理の詳細を示すフローチャートである。ステップSBE1では、図53に示す検索画面を表示する。タイトルエリア2221には、「22. MO材料 部番別材料費明細情報 検索画面」と表示される。表示エリア2112及び2113は、上記と同様である。

【0130】

検索条件入力エリア2223には、会社コード、拠点区分、使用部番、取引先

コード、取引先名称、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバーを、利用者が入力することができる。使用部番の他に、上記の条件の全部又は一部を入力することができる。

【0131】

上記と同様に、会社コードボタン2222をクリックすると、右にテーブルデータ2224が表示され、所望の会社コードを選択することができる。その他の項目のボタンをクリックすると、その項目のテーブルデータが表示され、その中から選択することができる。

【0132】

条件クリアボタン2226をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。検索ボタン2225をマウスでクリックすると、ステップSBE2を介してステップSBE3へ進み、データベース2aを基に、上記の入力した条件を満足する材料費明細情報を検索する。その後、ステップSBE4へ進む。なお、検索ボタン2225がクリックされず、ボタン2121～2125がクリックされたときにはステップSBE2を介してステップSBE10へ進み、図36のステップSBC8と同様な処理を行う。

【0133】

上記の検索の後、ステップSBE4では、図54に示す検索結果の一覧画面を表示する。タイトルエリア2231には、「22. MO材料 部番別材料費明細情報」と表示される。表示エリア2112及び2113は、上記と同様である。一覧表示エリア2233には、検索条件を満たす原材料の材料費明細情報が表示される。具体的には、一覧表示エリア2233には、会社、拠点区分、拠点、使用部番、寸法、工程図番、取引先コード、取引先名称、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバーが表示される。さらに、画面を右にスクロールすると、表示エリア2233には、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバー、重量区分、材料単価、材料使用重量、バージン率（リサイクル材が入っていないければ1）、不良率、材料管理費率、その他の費用、製品重量、付加重量（製品以外の部分に必要な材料の重量）、取個数、段取重量、成形ロットが表示

される。

【 0 1 3 4 】

一覧表示エリア 2 2 3 3 内の材料費明細情報は、ソートが可能である。第 1 ソートキー 2 1 4 3、第 2 ソートキー 2 1 4 4、第 3 ソートキー 2 1 4 5 に項目を入力し、その後に、昇順ソートボタン 2 1 4 6 又は降順ソートボタン 2 1 4 7 をクリックすれば、材料費明細情報がソートされる。また、前リストボタン 2 1 4 8、次リストボタン 2 1 4 9、開始番号ボタン 2 1 5 0 は、上記と同様である。検索画面ボタン 2 2 3 2 をクリックすると、ステップ S B E 5 を介してステップ S B E 1 へ戻り、図 5 3 に示す検索画面を表示する。また、ボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 をクリックすると、ステップ S B E 5 を介してステップ S B E 1 0 へ進み、上記と同様な処理を行う。また、例えば原材料番号 1 のボタン 2 2 3 4 をクリックすると、ステップ S B E 5 を介してステップ S B E 6 へ進む。

【 0 1 3 5 】

ステップ S B E 6 では、データベース 2 a を基に、例えば原材料番号 1 の原材料の製品情報を検索する。次に、ステップ S B E 7 では、図 5 5 に示す製品情報画面を表示する。原材料の製品情報を表示することにより、その原材料が使用されている製品を知ることができる。

【 0 1 3 6 】

図 5 5 のタイトルエリア 2 2 4 1 には、「2 2 . M O 材料 製品情報画面」と表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 の表示は上記と同じである。製品情報エリア 2 2 4 5 には、上記で指定された使用部番（例えば F A 2 - 8 2 2 5 - 0 0 0）が使用されている製品情報が表示される。具体的には、製品情報エリア 2 2 4 5 には、オーダ番号（製品番号）、拠点、オーダ名称、員数、製品群、機種群が表示される。

【 0 1 3 7 】

次に、一覧画面ボタン 2 2 4 2 をクリックすると、ステップ S B E 8 を介してステップ S B E 4 へ戻り、図 5 4 に示す一覧画面を表示する。検索画面ボタン 2 2 4 3 をクリックすると、ステップ S B E 8 を介してステップ S B E 1 へ戻り、図 5 3 に示す検索画面を表示する。ボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 をクリックすると

、ステップ S B E 8 を介してステップ S B E 1 0 へ進み、上記と同様な処理を行う。使用情報ボタン 2 2 4 4 をクリックすると、ステップ S B E 8 を介してステップ S B E 9 へ進み、部番別使用情報処理を行う。この部番別使用情報処理は、上記の図 3 4 に示すステップ S B A 1 4 の処理と同じである。

【 0 1 3 8 】

図 4 3 に示すメニュー画面において「3. 材質別サマリ情報（3 1 - 材質別サマリ情報）」を選択すると、図 3 2 に示すステップ S B A 6 の材質別サマリ情報処理に進む。

【 0 1 3 9 】

図 3 9 は、図 3 2 に示すステップ S B A 6 の材質別サマリ情報処理の詳細を示すフローチャートである。ステップ S B F 1 では、図 5 6 に示す検索画面を表示する。タイトルエリア 2 2 5 1 には、「3 1. MO 材料 材質別サマリ情報 検索画面」と表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 は、上記と同様である。

【 0 1 4 0 】

検索条件入力エリア 2 2 5 2 には、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバー、その原材料が使用されている拠点名称を、利用者が入力することができる。材質記号の他に、上記の条件の全部又は一部を入力することができる。

【 0 1 4 1 】

上記と同様に、材質記号ボタン 2 2 5 3 をクリックすると、右にテーブルデータ 2 2 5 3 が表示され、所望の材質記号を選択することができる。その他の項目のボタンをクリックすると、その項目のテーブルデータが表示され、その中から選択することができる。

【 0 1 4 2 】

条件クリアボタン 2 2 5 6 をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。金額ボタン 2 2 5 4 をマウスでクリックすると、ステップ S B F 2 を介してステップ S B F 3 へ進み、データベース 2 a を基に、上記の入力した条件を満足する原材料の金額情報を検索する。その後、ステップ S B F 4 へ進

み、図57に示す金額情報画面を表示する。一方、図56の重量ボタン2255をマウスでクリックすると、ステップSBF2を介してステップSBF6へ進み、データベース2aを基に、上記の入力した条件を満足する原材料の重量情報を検索する。その後、ステップSBF7へ進み、図58に示す重量情報画面を表示する。なお、図56のボタン2121～2125がクリックされたときにはステップSBF2を介してステップSBF9へ進み、図36のステップSBC8と同様な処理を行う。

【0143】

図57は、金額情報画面を示す。タイトルエリア2261には、「31. MO 材料 材質別サマリ情報（金額）」と表示される。表示エリア2112及び2113の表示は上記と同じである。金額情報エリア2264には、検索条件を満たす原材料の金額情報が表示される。具体的には、金額情報エリア2264には、メーカーコード、材質記号、グレードナンバー、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバー、拠点、月毎の使用原材料の金額（実績と予測）が表示される。

【0144】

金額情報エリア2264内の情報は、ソートが可能である。第1ソートキー2143、第2ソートキー2144、第3ソートキー2145に項目を入力し、その後に、昇順ソートボタン2146又は降順ソートボタン2147をクリックすれば、情報がソートされる。また、前リストボタン2148、次リストボタン2149、開始番号ボタン2150は、上記と同様である。また、検索画面ボタン2262をクリックすると、ステップSBF5を介してステップSBF1へ戻り、図56に示す検索画面を表示する。また、重量ボタン2263をクリックすると、ステップSBF5を介してステップSBF6へ進み、重量情報の検索を行い、次に説明する図58の重量情報画面を表示する。なお、ボタン2121～2125がクリックされたときにはステップSBF5を介してステップSBF9へ進み、上記と同様な処理を行う。

【0145】

図58は、重量情報画面を示す。タイトルエリア2271には、「31. MO 材料 材質別サマリ情報（重量）」と表示される。表示エリア2112及び21

1 3 の表示は上記と同じである。重量情報エリア 2 2 7 4 には、検索条件を満たす原材料の重量情報が表示される。具体的には、重量情報エリア 2 2 7 4 には、メーカーコード、材質記号、グレードナンバー、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバー、拠点、月毎の使用原材料の重量（実績と予測）が表示される。

【 0 1 4 6 】

重量情報エリア 2 2 7 4 内の情報は、ソートが可能である。第 1 ソートキー 2 1 4 3、第 2 ソートキー 2 1 4 4、第 3 ソートキー 2 1 4 5 に項目を入力し、その後に、昇順ソートボタン 2 1 4 6 又は降順ソートボタン 2 1 4 7 をクリックすれば、情報がソートされる。また、前リストボタン 2 1 4 8、次リストボタン 2 1 4 9、開始番号ボタン 2 1 5 0 は、上記と同様である。また、検索画面ボタン 2 2 7 2 をクリックすると、ステップ S B F 8 を介してステップ S B F 1 へ戻り、図 5 6 に示す検索画面を表示する。また、金額ボタン 2 2 7 3 をクリックすると、ステップ S B F 8 を介してステップ S B F 3 へ進み、上記の金額情報検索を行い、図 5 7 の金額情報画面を表示する。なお、ボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 がクリックされたときにはステップ S B F 8 を介してステップ S B F 9 へ進み、上記と同様な処理を行う。

【 0 1 4 7 】

図 4 3 に示すメニュー画面において「4. スペック情報（4 1 - スペック情報）」を選択すると、図 3 2 に示すステップ S B A 7 のスペック情報処理に進む。

図 4 0 は、図 3 2 に示すステップ S B A 7 のスペック情報処理の詳細を示すフローチャートである。ステップ S B G 1 では、図 5 9 に示す検索画面を表示する。タイトルエリア 2 2 8 1 には、「4 1. M O 材料 スペック情報 検索画面」と表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 は、上記と同様である。

【 0 1 4 8 】

検索条件入力エリア 2 2 8 2 には、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー、材料管理区分、充填材、加工方法、燃焼性クラス、ホットランナー実績、M F 試験条件、メルトフロー、特徴、用途（例えば複写機）を、利用者が入力することができる。上記の条件の全部又は一部を入力することができる。

【0149】

材質記号ボタン2283をクリックすると、右にテーブルデータ2284が表示され、所望の材質記号を選択することができる。その他の項目のボタンをクリックすると、その項目のテーブルデータが表示され、その中から選択することができる。

【0150】

条件クリアボタン2286をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。検索ボタン2285をマウスでクリックすると、ステップSBG2を介してステップSBG3へ進み、データベース2aを基に、上記の入力した条件を満足する原材料のスペック情報を検索する。その後、ステップSBG4へ進む。なお、ボタン2121～2125がクリックされたときにはステップSBG2を介してステップSBG9へ進み、図36のステップSBC8と同様な処理を行う。

【0151】

上記の検索の後、ステップSBG4では、図60に示す検索結果の一覧画面を表示する。タイトルエリア2291には、「41. MO材料 スペック情報」と表示される。表示エリア2112及び2113は、上記と同様である。一覧表示エリア2293には、検索条件を満たす原材料のスペック情報が表示される。具体的には、一覧表示エリア2293には、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー、材料管理区分、充填材、燃焼性クラス等が表示される。

【0152】

一覧表示エリア2293内の情報は、ソートが可能である。第1ソートキー2143、第2ソートキー2144、第3ソートキー2145に項目を入力し、その後に、昇順ソートボタン2146又は降順ソートボタン2147をクリックすれば、情報がソートされる。また、検索画面ボタン2292をクリックすると、ステップSBG5を介してステップSBG1へ戻り、図59に示す検索画面を表示する。また、ボタン2121～2125をクリックすると、ステップSBG5を介してステップSBG9へ進み、上記と同様な処理を行う。また、例えば原材

料番号 1 のボタン 2 2 9 4 をクリックすると、ステップ S B G 5 を介してステップ S B G 6 へ進む。

【 0 1 5 3 】

ステップ S B G 6 では、データベース 2 a を基に、例えば原材料番号 1 の原材料のスペック詳細情報を検索する。次に、ステップ S B G 7 では、図 6 1 に示すスペック詳細情報画面が表示される。まず検索結果の一覧画面を表示し、その後、個々の詳細情報を表示することにより、必要な場合にのみ詳細情報を提供し、検索速度の向上を図っている。

【 0 1 5 4 】

図 6 1 のタイトルエリア 2 3 0 1 には、「4 1. M O 材料 スペック情報詳細画面」と表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 の表示は上記と同じである。詳細情報エリア 2 3 0 2 には、上記で指定された原材料のスペック詳細情報が表示される。具体的には、詳細情報エリア 2 3 0 2 には、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー、材料管理区分、充填材、加工方法、燃焼性クラス、ホットランナー実績、特徴、用途の他、板厚、曲げ強度、曲げ弾性率等が表示される。

【 0 1 5 5 】

次に、管理単価情報画面ボタン 2 3 0 3 をクリックすると、図 3 3 のステップ S B A 1 0 の管理単価情報処理へ進む。管理／実質単価情報画面ボタン 2 3 0 4 をクリックすると、図 3 3 のステップ S B A 1 1 の管理／実質単価情報処理へ進む。検索画面ボタン 2 3 0 5 をクリックすると、ステップ S B G 8 を介してステップ S B G 1 へ戻り、図 5 9 の検索画面を表示する。一覧画面ボタン 2 3 0 6 をクリックすると、ステップ S B G 8 を介してステップ S B G 4 へ戻り、図 6 0 に示す一覧画面を表示する。ボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 をクリックすると、ステップ S B G 8 を介してステップ S B G 9 へ進み、上記と同様な処理を行う。

【 0 1 5 6 】

図 4 3 に示すメニュー画面において「5. 色承認情報（5 1 - 色承認情報）」を選択すると、図 3 2 に示すステップ S B A 8 の色承認情報処理に進む。色承認とは、各メーカーが自社の製品を表す独自の色として採用可能か否かの承認であ

り、色承認で合格の判定を受けた色のみを製品に採用することができる。

【 0 1 5 7 】

図 4 1 は、図 3 2 に示すステップ S B A 8 の色承認情報処理の詳細を示すフローチャートである。ステップ S B H 1 では、図 6 2 に示す検索画面を表示する。タイトルエリア 2 3 1 1 には、「5 1. M O 材料 色承認情報 検索画面」と表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 は、上記と同様である。

【 0 1 5 8 】

検索条件入力エリア 2 3 1 2 には、判定書管理ナンバー、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー、メーカー管理ナンバー、色彩番号、色彩名称、判定結果、判定日、主管部門、添付データ、コメントを、利用者が入力することができる。利用者は、上記の検索条件の全部又は一部を入力することができる。

【 0 1 5 9 】

材質記号ボタン 2 3 1 3 をクリックすると、右にテーブルデータ 2 3 1 4 が表示され、所望の材質記号を選択することができる。その他の項目のボタンをクリックすると、その項目のテーブルデータが表示され、その中から選択することができる。

【 0 1 6 0 】

条件クリアボタン 2 3 1 6 をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。検索ボタン 2 3 1 5 をマウスでクリックすると、ステップ S B H 2 を介してステップ S B H 3 へ進み、データベース 2 a を基に、上記の入力した条件を満足する原材料の色承認情報を検索する。その後、ステップ S B H 4 へ進む。なお、ボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 がクリックされたときにはステップ S B H 2 を介してステップ S B H 9 へ進み、図 3 6 のステップ S B C 8 と同様な処理を行う。

【 0 1 6 1 】

上記の検索の後、ステップ S B H 4 では、図 6 3 に示す検索結果の一覧画面を表示する。タイトルエリア 2 3 2 1 には、「5 1. M O 材料 色承認情報」が表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 は、上記と同様である。一覧表示エ

リア2327には、検索条件を満たす原材料の色承認情報が表示される。具体的には、一覧表示エリア2327には、コメントの有無、判定書管理ナンバー、メーカーコード、メーカー名称、材質記号、グレードナンバー、メーカー管理ナンバー、色彩番号、色彩名称、判定結果、判定日、主管部門、添付データ等が表示される。

【0162】

一覧表示エリア2327内の情報は、ソートが可能である。第1ソートキー2143、第2ソートキー2144、第3ソートキー2145に項目を入力し、その後に、昇順ソートボタン2146又は降順ソートボタン2147をクリックすれば、原材料の情報がソートされる。また、前リストボタン2148、次リストボタン2149、開始番号ボタン2150は、上記と同様である。

【0163】

原材料番号のラジオボタン2328をクリックすることにより、その原材料を選択することができる。選択後、次のボタンをクリックすることにより、選択された原材料についての処理が行われる。コメント画面ボタン2322をクリックすると、ステップSBH5を介してステップSBH6へ進み、データベース2aを基に、選択された原材料の色承認情報のコメントを検索する。次に、ステップSBH7で図64に示すコメント画面を表示する。また、図63の検索画面ボタン2323をクリックすると、ステップSBH5を介してステップSBH1へ戻り、図62に示す検索画面を表示する。管理単価画面ボタン2324をクリックすると、図33のステップSBA10の管理単価情報処理へ進む。管理／実質単価画面ボタン2325をクリックすると、図33のステップSBA11の管理／実質単価情報処理へ進む。実買単価画面ボタン2326をクリックすると、図33のステップSBA12の実買単価情報処理へ進む。ボタン2121～2125をクリックすると、ステップSBH5を介してステップSBH9へ進み、上記と同様な処理を行う。

【0164】

図64は、色承認情報のコメント画面である。タイトルエリア2331には、「51. MO材料 色承認情報コメント内容」と表示される。表示エリア211

2 及び 2 1 1 3 の表示は上記と同じである。コメントエリア 2 3 3 2 には、上記で指定された原材料の色承認情報のコメントが表示される。

【 0 1 6 5 】

次に、一覧画面ボタン 2 3 3 3 をクリックすると、ステップ S B H 8 を介してステップ S B H 4 へ戻り、図 6 3 に示す一覧画面を表示する。検索画面ボタン 2 3 3 4 をクリックすると、ステップ S B H 8 を介してステップ S B H 1 へ戻り、図 6 2 の検索画面を表示する。管理単価画面ボタン 2 3 3 5 をクリックすると、図 3 3 のステップ S B A 1 0 の管理単価情報処理へ進む。管理／実質単価情報画面ボタン 2 3 3 6 をクリックすると、図 3 3 のステップ S B A 1 1 の管理／実質単価情報処理へ進む。実買単価画面ボタン 2 3 3 7 をクリックすると、図 3 3 のステップ S B A 1 2 の実買単価情報処理へ進む。ボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 をクリックすると、ステップ S B H 8 を介してステップ S B H 9 へ進み、上記と同様な処理を行う。

【 0 1 6 6 】

なお、電子部品システムと同様に、図 3 1 のデータベース 2 a 内のグリーン認定情報 2 a k を基に、環境問題を考慮したグリーン認定情報を各原材料について表示することができる。例えば、グリーン認定情報は、有害物質の有無やリサイクルの有無等の環境問題を考慮して認定される。また、所定のグリーン認定情報を持つ原材料がどの製品に使われているかを表示させることができる。

【 0 1 6 7 】

以上のように、原材料システムは、原材料情報を利用者に提供することができる。例えば、わずかに色のみが異なる材料を各事業所が使用している場合には、色の統一を図り、同じ色の材料をまとめて大量購入することにより、低コストで原材料を購入することができる。また、ある原材料が製造元から入手不能になった場合には、他の事業所の在庫を調べ、他の事業所からその原材料を取り寄せることができる。

【 0 1 6 8 】

〔 3. メカ部品システム 〕

メカ部品システム 3 (図 1) は、メカ部品情報をデータベース 3 a に記憶し、

メカ部品情報を利用者に提供するものであり、そのシステム内容は上記の電子部品システム 1 と同様である。

【 0 1 6 9 】

[4 . 全部番システム]

図 1 5 4 は、図 1 に示す全部番システム（全部番情報提供システム） 4 の構成を示すブロック図である。全部番システム 4 は、Web サーバ 3 0 0 1、アプリケーションサーバ 3 0 0 2、Web 用データベースサーバ 3 0 0 3、運用マシン 3 0 0 4、及び更新用データベースサーバ 3 0 0 5 を有する。データベースサーバ 3 0 0 3 は、データベース 4 a（図 1）を有する。利用者のコンピュータ 3 1 は、例えばクライアントとなる標準パーソナルコンピュータであり、全部番システム 4 に対してアクセス可能である。

【 0 1 7 0 】

生産関係会社のコンピュータ 3 0 1 1 は、購入（検収）実績情報、単価経歴情報、注文予定情報を有し、これらの情報を運用マシン 3 0 0 4 に供給する。人事部門のコンピュータ 3 0 1 2 は、人事データを有し、人事データを運用マシン 3 0 0 4 に供給する。人事データは人事異動の情報を含み、全部番システム 4 は、登録された利用者が所属する部門の変更を自動的に行うことができる。また、必要に応じて、その異動した利用者の登録を抹消することができる。

【 0 1 7 1 】

運用マシン 3 0 0 4 は、これらの情報をデータベースサーバ 3 0 0 3 内のデータベース 4 a に登録する。なお、上記の情報は、運用マシン 3 0 0 4 に対してネットワークを介してオンラインで供給することが好ましい。

データベースサーバ 3 0 0 3 は、データベース 4 a に対して登録、検索、削除等の管理を行う。運用マシン 3 0 0 4 は、購入実績情報等を生産関係会社のコンピュータ 3 0 1 1 から受信すると、必要に応じて、データベース 4 a の更新処理を変更用データベースサーバ 3 0 0 5 に指示する。変換用データベース 3 0 0 5 は、更新用データファイルを作成し、運用マシン 3 0 0 4 に供給する。運用マシン 3 0 0 4 は、それに応じて、データベース 3 0 0 3 内のデータベース 4 a を更新する。

【 0 1 7 2 】

アプリケーションサーバ 3 0 0 2 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、全部番システム 4 を動作させる。Webサーバ 3 0 0 1 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、統一的な画面表示を行う。Webサーバ 3 0 0 1 は、アプリケーションサーバ 3 0 0 2 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。アプリケーションサーバ 3 0 0 2 は、データベースサーバ 3 0 0 3 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。

【 0 1 7 3 】

利用者のコンピュータ 3 1 は、例えばクライアントとなる標準パーソナルコンピュータであり、Webサーバ 3 0 0 1 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取ることができる。利用者のコンピュータ 3 1 は、例えば、所望の部番の購入実績情報等を検索し、閲覧することをWebサーバ 3 0 0 1 に指示することができる。Webサーバ 3 0 0 1 は、アプリケーションサーバ 3 0 0 2 を介して、データベース 4 a 内の購入実績情報等を検索し、その購入実績情報等を利用者のコンピュータ 3 1 の画面に表示する。利用者は、所望の購入実績情報等を迅速に得ることができる。

【 0 1 7 4 】

図 1 5 5 は、データベース 4 a の構成を示す概略図である。データベース 4 a は、全部番の購入（検収）実績情報 4 a a、単価経歴情報 4 a b、注文予定情報 4 a c、為替レート情報 4 a d、利用者情報（利用者 ID、パスワード、利用者所属部門等） 4 a e、セキュリティ情報 4 a f を有する。

【 0 1 7 5 】

図 1 5 6 は、全部番システム 4 の処理を示すフローチャートであり、図 2 のステップ S 6 の処理に相当する。ステップ S C A 1 では、図 1 5 7 に示すログイン画面を利用者のコンピュータ 3 1 に表示し、利用者 ID の入力及びパスワードの入力を待つ。利用者は、図 1 5 7 のエリア 3 1 0 1 に利用者 ID を入力し、エリア 3 1 0 2 にパスワードを入力することができる。利用者 ID 3 1 0 1 及びパスワード 3 1 0 2 を入力させることにより、セキュリティを強化し、不正者のログ

インを防止できる。

【0176】

利用者はセキュリティ保護のため、パスワード変更ボタン3104をマウスでクリックすることにより、パスワードを変更することができる。利用者がログインボタン3103をマウスでクリックすると、入力した利用者ID及びパスワードが正しければ、ログインされ、図156のステップSCA2へ進む。

【0177】

ステップSCA2では、図158に示すメニュー画面を表示する。表示エリア3111には、何時の情報であるかが表示される。表示エリア3112には、ログインユーザID（利用者ID）が表示される。表示エリア3113には、ログインした年月日が表示される。表示エリア3114には、ログインしたIPアドレスが表示される。このIPアドレスを基に、どの部門の利用者かが分かる。これら表示エリア3112～3114の表示により、画面をハードコピーした時の出所を特定できるので、外部への情報漏れを防止することができる。

【0178】

メニューボタン3121がマウスでクリックされると、図158に示すこのメニュー画面を表示する。バックページボタン3122がマウスでクリックされると、1つ前の表示画面に戻る。ログアウトボタン3123がマウスでクリックされると、調達情報システムは終了する。情報収集拠点ボタン3124がマウスでクリックされると、各拠点毎の購入実績情報等の収集状況を表示する。連絡先ボタン3125がマウスでクリックされると、全部番システム4のサポート窓口（各調達部門の窓口）の連絡先を表示する。メールボタン3126がクリックされると、メールの送信又は受信メールの確認等を行うことができる。

【0179】

選択メニュー項目3131として、「1. 購入（検収）実績情報（最新・履歴）検索」、「2. 単価経歴情報（最新・履歴）検索」、「3. 注文予定情報検索」、「4. 為替レート情報（最新・履歴）検索」を表示する。1番を選択すると、図156のステップSCA4へ進み、購入（検収）実績最新情報検索処理を行う。この処理では、図159に示す画面を表示する。2番を選択すると、図15

6のステップSCA7へ進み、単価経歴最新情報検索処理を行う。この処理では、図162に示す画面を表示する。3番を選択すると、図156のステップSCA10へ進み、注文予定情報検索処理を行う。この処理では、図165に示す画面を表示する。4番を選択すると、図156のステップSCA12へ進み、為替レート最新情報一覧表示処理を行う。この処理では、図167に示す画面を表示する。

【0180】

図159は、図156に示すステップSCA4の購入（検収）実績最新情報検索処理にて表示する画面を示す。表示エリア3111～3114の表示及びボタン3121～3126は上記と同様である。検索条件入力エリア3141には、部番、グリーン認定情報、型名（品番）、調達拠点、原産国、品目品種コード、取引先コード、取引先名称、メーカーコード、メーカー名称、検収単価（現地通貨）の範囲を入力することができる。クリアボタン3144をマウスでクリックすると、上記の検索条件をクリアすることができる。検索条件を入力後、検索ボタン3143をマウスでクリックすると、検索条件を満たす購入（検収）実績最新情報を検索し、図156のステップSCA5へ進む。ステップSCA5では、購入（検収）実績最新情報一覧表示処理を行う。なお、条件入力エリア3141の各項目の「参照」エリアをマウスでクリックすると、図156のステップSCA3へ進み、コードヘルプ処理を行う。

【0181】

図169は、図156のステップSCA3のコードヘルプ処理にて表示する別ウィンドウの画面を示す。この画面では、品目品種コード等を検索して表示し、図159の上記の品目品種コードの入力を容易にする。検索条件エリア3251には、テーブル（例えば品目品種）、検索項目（例えばコード）、一致タイプ（例えば前方一致）、入力エリア（検索条件のキーとなるデータの入力）を入力することができる。入力後、検索ボタン3252をマウスでクリックすると、検索結果エリア3253に検索条件を満たす項目を表示する。例えば、検索結果エリア3253には、品目品種コード及びその名称の一覧を表示する。前リストボタン3152をマウスでクリックすると、現在、検索結果エリア3253に表示し

ているリストの前のリストを表示する。次リストボタン 3 1 5 3 をマウスでクリックすると、現在、検索結果エリア 3 2 5 3 に表示しているリストの次のリストを表示する。入力ボックス 3 1 5 4 に表示したい先頭番号を入力し、ボタン 3 1 5 5 をマウスでクリックすると、その先頭番号からのリストを検索結果エリア 3 2 5 3 に表示する。検索結果の各項目のボタン 3 2 5 4 をマウスでクリックすると、その項目が上記の図 1 5 9 の条件入力エリア 3 1 4 1 に入力される。

【 0 1 8 2 】

図 1 6 0 は、図 1 5 6 のステップ S C A 5 の購入（検収）実績最新情報一覧表示処理にて表示する画面を示す。表示エリア 3 1 1 1 ～ 3 1 1 4 の表示及びボタン 3 1 2 1 ～ 3 1 2 6 は上記と同様である。上記の検索条件を満たす購入（検収）実績最新情報の検索の結果、該当する情報があれば検索結果エリア 3 1 6 2 にその該当する情報を表示し、該当する情報がなければエリア 3 1 5 1 に「該当する情報がありません。」と表示する。検索結果エリア 3 1 6 2 には、検収年月、検収単価、通貨、検収数量、原産国、品種、機能分類、図番、訂正番号、工程、オーダーの他、部番、寸法、型名、メーカー、画像の有無（電子部品システム 1 の画像を使用）、グリーン認定情報、推奨、認定、拠点名、窓口、取引先を表示する。前リストボタン 3 1 5 2、次リストボタン 3 1 5 3、入力ボックス 3 1 5 4、ボタン 3 1 5 5 は上記と同様である。検索結果エリア 3 1 6 2 の表示項目の並び換えを行うには、第 1 ソートキー 3 1 5 6、第 2 ソートキー 3 1 5 7、第 3 ソートキー 3 1 5 8 を入力することができる。その後、昇順ソートボタン 3 1 5 9 をマウスでクリックすると、ソートキー 3 1 5 6 ～ 3 1 5 8 をキーとして、昇順に購入（検収）実績最新情報をソートし、降順ソートボタン 3 1 6 0 をマウスでクリックすると、ソートキー 3 1 5 6 ～ 3 1 5 8 をキーとして、降順に購入（検収）実績最新情報をソートし、検索結果エリア 3 1 6 2 に表示する。

【 0 1 8 3 】

リンク先画面 3 1 6 1 では、各購入（検収）実績最新情報の番号ボタン 3 1 6 3 をマウスでクリックした際のリンク先を選択することができる。リンク先としては、購入（検収）実績履歴情報処理（図 1 5 6 のステップ S C A 6）、単価経歴最新情報一覧表示処理（ステップ S C A 8）、注文予定情報一覧表示処理（ス

テップSCA10)を選択することができる。例えば、リンク先画面3161として購入実績履歴情報処理を選択して、番号ボタン3163をマウスでクリックすると、図156のステップSCA6へ進み、その番号についての購入(検収)実績履歴情報(最新情報を含んだ履歴情報)処理を行う。

【0184】

図161は、図156に示すステップSCA6の購入(検収)実績履歴情報処理にて表示する画面を示す。表示エリア3112～3114の表示及びボタン3121～3126は上記と同様である。上記の表示エリア2111を表示してもよい。履歴情報エリア3171には、会社拠点、窓口、部番、寸法、工程、品目品種、部品名称、取引先、加工先コード、メーカー、型名、通貨名称、物品コードの他、環境問題を考慮したグリーン認定情報及び検収実績履歴情報を表示する。上記のグリーン認定情報としては、認定区分、認定名称、認定日及びコメントを表示する。上記の検収実績履歴情報としては、各検収年月毎の検収単価、検収数量、検収金額、図番、訂正番号、小オーダ、発注オーダの区分/名称、単価区分/名称、設定単価条件、材料費、加工費、管理費、物流費、有償支給区分/名称、有償支給金額を表示する。利用者は、各部番(部品又は原材料)の検収実績履歴情報を知ることができる。

【0185】

図162は、図156に示すステップSCA7の単価経歴最新情報検索処理にて表示する画面を示す。表示エリア3111～3114の表示及びボタン3121～3126は上記と同様である。条件入力エリア3181には、部番、型名、調達拠点、取引先コード、取引先名称、メーカーコード、メーカー名称、単価経歴最新適用日の範囲を入力することができる。各項目の「参照」エリアをマウスでクリックすると、図156のステップSCA3へ進み、上記で説明した図169のコードヘルプ画面を表示する。図162のクリアボタン3184をマウスでクリックすると、上記の検索条件をクリアすることができる。検索条件を入力後、検索ボタン3183をマウスでクリックすると、検索条件を満たす単価経歴最新情報を検索し、図156のステップSCA8へ進む。ステップSCA8では、単価経歴最新情報一覧表示処理を行う。

【0186】

図163は、図156のステップSCA8の単価経歴最新情報一覧表示処理にて表示する画面を示す。表示エリア3111～3114の表示及びボタン3121～3126は上記と同様である。上記の検索条件を満たす単価経歴最新情報の検索の結果、該当する情報があれば検索結果エリア3192にその該当する情報を表示し、該当する情報がなければエリア3191に「該当する情報がありません。」と表示する。検索結果エリア3192には、部番、寸法、工程、図番、切換日、通貨、マスター単価、材料費、加工費、管理費、物流費、見積区分コード、見積区分名称、会社拠点、窓口、取引先コード、取引先名称、当座コード、当座名、訂正番号、オーダー、型名、メーカー名称、登録日を表示する。前リストボタン3152、次リストボタン3153、入力ボックス3154、ボタン3155、ソートキー3156～3158、昇順ソートボタン3159、降順ソートボタン3160、リンク先画面3161は上記と同様である。

【0187】

リンク先画面3161として検収履歴情報処理を選択して、各単価経歴情報の番号ボタン3193をマウスでクリックすると、図156のステップSCA9へ進み、その番号についての単価経歴履歴情報（最新情報を含んだ履歴情報）処理を行う。

【0188】

図164は、図156に示すステップSCA9の単価経歴履歴情報処理にて表示する画面を示す。表示エリア3111～3114の表示及びボタン3121～3126は上記と同様である。履歴情報エリア3201には、会社拠点、窓口、部番、寸法、工程、部品名称、取引先、加工先コード、メーカー、型名、通貨名称の他、環境問題を考慮したグリーン認定情報及び単価マスター履歴情報を表示する。上記のグリーン認定情報としては、認定区分、認定名称、認定日及びコメントを表示する。上記の単価マスター履歴情報としては、各切換日毎（各年毎）のマスター単価、材料費、加工費、管理費、物流費、見積区分コード、当座コード、図番、訂正番号、オーダー、登録日を表示する。利用者は、各部番（部品又は原材料）の単価経歴履歴情報を知ることができる。

【 0 1 8 9 】

図 1 6 5 は、図 1 5 6 に示すステップ S C A 1 0 の注文予定情報検索処理にて表示する画面を示す。表示エリア 3 1 1 1 ～ 3 1 1 4 の表示及びボタン 3 1 2 1 ～ 3 1 2 6 は上記と同様である。検索条件として、部番 3 2 1 1 又は型名 3 2 1 2 を入力することができる。クリアボタン 3 2 1 4 をマウスでクリックすると、上記の検索条件をクリアすることができる。検索条件を入力後、検索ボタン 3 2 1 3 をマウスでクリックすると、検索条件を満たす注文予定情報を検索し、図 1 5 6 のステップ S C A 1 1 へ進む。ステップ S C A 1 1 では、注文予定情報一覧表示処理を行う。

【 0 1 9 0 】

図 1 6 6 は、図 1 5 6 のステップ S C A 1 1 の注文予定情報一覧表示処理にて表示する画面を示す。表示エリア 3 1 1 1 ～ 3 1 1 4 の表示及びボタン 3 1 2 1 ～ 3 1 2 6 は上記と同様である。上記の検索条件を満たす注文予定情報の検索の結果、該当する情報があれば検索結果エリア 3 2 2 1 にその該当する情報を表示する。検索結果エリア 3 2 2 1 には、部番、寸法、工程、図番、型名、メーカー、会社拠点、取引先名、加工先コード、通貨、各月毎の予定数量及び予定金額を表示する。前リストボタン 3 1 5 2、次リストボタン 3 1 5 3、入力ボックス 3 1 5 4、ボタン 3 1 5 5、ソートキー 3 1 5 6 ～ 3 1 5 8、昇順ソートボタン 3 1 5 9、降順ソートボタン 3 1 6 0、リンク先画面 3 1 6 1 は上記と同様である。

【 0 1 9 1 】

図 1 6 7 は、図 1 5 6 に示すステップ S C A 1 2 の為替レート最新情報一覧表示処理にて表示する画面を示す。表示エリア 3 1 1 1 ～ 3 1 1 4 の表示及びボタン 3 1 2 1 ～ 3 1 2 6 は上記と同様である。為替レート一覧エリア 3 2 3 1 には、データベース 4 a を基に、各通貨について、変換元の通貨、変換先の通貨、レート、年月を表示する。例えば、1 オーストラリアドル (A U D) は 9 1 . 8 5 円 (J P Y) である。各通貨のボタン 3 2 3 2 をマウスでクリックすると、図 1 5 6 のステップ S C A 1 3 へ進み、その通貨についての為替レート履歴情報処理を行う。

【 0 1 9 2 】

図 1 6 8 は、図 1 5 6 に示すステップ S C A 1 3 の為替レート履歴情報処理にて表示する画面を示す。表示エリア 3 1 1 1 ～ 3 1 1 4 の表示及びボタン 3 1 2 1 ～ 3 1 2 6 は上記と同様である。為替レート履歴エリア 3 2 4 1 には、例えば、アメリカドルから日本への為替レートの各月毎の履歴を表示する。為替レートを表示することにより、現地での価格を基に日本円に換算することができる。

【 0 1 9 3 】

以上のように、全部番システム 4 は、購入（検収）実績情報、単価経歴情報、注文予定情報、及び為替レート情報を利用者に提供することができる。購入実績情報、単価経歴情報及び注文予定情報は、所望のキーで検索した後に、該当するもののみの情報を表示させることができる。

【 0 1 9 4 】

〔 5. コストダウンサポートシステム 〕

図 6 5 は、図 1 に示すコストダウンサポートシステム（価格情報提供システム）5 の構成を示すブロック図である。コストダウンサポートシステム 5 は、Web サーバ 4 0 0 1、アプリケーションサーバ 4 0 0 2、Web 用データベースサーバ 4 0 0 3、運用マシン 4 0 0 4 及び 4 0 0 6 を有する。データベースサーバ 4 0 0 3 は、データベース 5 a（図 1）を有する。

【 0 1 9 5 】

各拠点（事業所）4 0 1 1 には、各拠点の価格情報を記憶するコンピュータ 4 0 1 2 及び利用者のコンピュータ 3 1 が配置される。各拠点のコンピュータ 4 0 1 2 は、自己の拠点の電子部品やメカ部品の検収単価等の価格情報を記憶し、運用マシン 4 0 0 4 に供給する。利用者のコンピュータ 3 1 は、例えばクライアントとなる標準パーソナルコンピュータであり、コストダウンサポートシステム 5 に対してアクセス可能である。

【 0 1 9 6 】

人事部門のコンピュータ 4 0 1 3 は、人事データを記憶し、そのデータは運用マシン 4 0 0 4 に供給される。人事データは人事異動の情報を含み、コストダウンサポートシステム 5 は、登録された利用者が所属する部門の変更を自動的に行

うことができる。また、必要に応じて、その異動した利用者の登録を抹消することができる。

【 0 1 9 7 】

なお、運用マシン 4 0 0 4 は、上記の情報をネットワークを介してオンラインで受信することが好ましい。

運用マシン 4 0 0 4 は、上記の情報を受け、電子部品やメカ部品の単価を各拠点毎に比較するための処理を行い、運用マシン 4 0 0 6 に供給する。運用マシン 4 0 0 6 は、必要な情報をデータベースサーバ 4 0 0 3 内のデータベース 5 a に登録する。

【 0 1 9 8 】

データベースサーバ 4 0 0 3 は、データベース 5 a を有し、そのデータベース 5 a の登録、削除、更新及び検索を管理する。アプリケーションサーバ 4 0 0 2 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、コストダウンサポートシステム 5 を動作させる。Webサーバ 4 0 0 1 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、統一的な画面表示を行う。Webサーバ 4 0 0 1 は、アプリケーションサーバ 4 0 0 2 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。アプリケーションサーバ 4 0 0 2 は、データベースサーバ 4 0 0 3 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。利用者のコンピュータ 3 1 は、Webサーバ 4 0 0 1 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。例えば、利用者のコンピュータ 3 1 は、価格情報をWebサーバ 4 0 0 1 からダウンロードし、その情報を編集してWebサーバ 4 0 0 1 にアップロードすることができる。Webサーバ 4 0 0 1 は、アップロードされた情報を運用マシン 4 0 0 6 に供給する。運用マシン 4 0 0 6 は、その情報を基に、各拠点の価格情報を自動集計し、利用者のコンピュータ 3 1 に電子メールで送信する。

【 0 1 9 9 】

利用者は、他の拠点が同じ電子部品やメカ部品を購入している価格を知ることができる。また、自己の拠点よりも安く購入している他の拠点での購入価格等の情報をダウンロードすることができる。利用者は、その情報を基に、コストダウ

ンのための交渉を取引先に対して行うことができる。また、その交渉結果をWebサーバ4001にアップロードすることにより、次の交渉戦略をたてることができる。

【0200】

図66は、データベースサーバ4003内のデータベース5aの構成を示す概略図である。データベース5aは、各拠点の電子部品やメカ部品についての部番5aa、工程5ab、図番5ac、取引先5ad、検収（購入）年月5ae、検収総数5af、検収単価5ag、為替レート5ah、コストダウン情報5ai、マスタ（見積もり）単価等のマスタ情報5aj、利用者情報（利用者ID、パスワード、利用者所属部門等）5ak、及びセキュリティ情報5alを有する。

【0201】

図67は、コストダウンサポートシステム5の処理を示すフローチャートであり、図2のステップS7の処理に相当する。ステップSDA1では、図68に示すログイン画面を利用者のコンピュータ31に表示し、利用者IDの入力及びパスワードの入力を待つ。利用者は、図68のエリア4101に利用者IDを入力し、エリア4102にパスワードを入力することができる。利用者ID4101及びパスワード4102を入力させることにより、セキュリティを強化し、不正者のログインを防止できる。

【0202】

表示エリア4105に表示されるように、セキュリティ強化のために、以下の2つの対策が取られる。（1）暦日90日間アクセス（ログイン）がない場合はアクセス権（ログイン権）を自動的に抹消する。その場合、利用時に再度、利用申請書の提出が必要になる。（2）利用者はセキュリティ保護のため、パスワード変更を月1回必ず実施する。パスワードの変更は、パスワード変更ボタン4104をマウスでクリックすることにより行うことができる。

【0203】

利用者がログインボタン4103をマウスでクリックすると、入力した利用者ID及びパスワードが正しければ、ログインされ、ステップSDA2へ進む。

ステップSDA2では、図69に示す一覧画面が表示される。表示エリア41

1 1 には、何時の情報であるかが表示される。表示エリア 4 1 1 2 には、ログインユーザ I D（利用者 I D）が表示される。表示エリア 4 1 1 3 には、ログインした年月日が表示される。表示エリア 4 1 1 4 には、ログインした I P アドレスが表示される。この I P アドレスを基に、どの部門の利用者かが分かる。これら表示エリア 4 1 1 2 ～ 4 1 1 4 の表示により、画面をハードコピーした時の出所を特定できるので、外部への情報漏れを防止することができる。すなわち、ハードコピーした利用者の情報が表示されているので、利用者がハードコピーすることを躊躇する効果がある。なお、表示エリア 4 1 1 1 ～ 4 1 1 4 は、後に示す図 7 0 ～ 図 7 2 にも表示させることができる。

【 0 2 0 4 】

タイトルエリア 4 1 3 1 には、「コストダウンサポートデータ件数一覧」と表示される。一覧エリア 4 1 3 3 には、各会社拠点について他の拠点よりも高い部番の検収（購入）データ、及び他の拠点よりも安い部番の検収データが表示される。各検収データとして、その件数と部品の種類が表示される。例えば、B 事業所について他の拠点よりも高い部番は、メカ部品について 6 3 件あることを示す。

【 0 2 0 5 】

利用者は、キーボードのシフトキーを押しながら、例えばメカ部品のダウンロードボタン 4 1 3 4 をマウスでクリックすると、図 6 7 のステップ S D A 3 を介してステップ S D A 4 へ進み、ダウンロード処理を行う。メカ部品のダウンロードボタン 4 1 3 4 をクリックすると、B 事業所が他の拠点よりも高いメカ部品の部番（部品）についての他の拠点の検収データをダウンロードすることができる。電子部品のダウンロードボタン 4 1 3 5 をクリックすると、B 事業所が他の拠点よりも高い電子部品の部番についての他の拠点の検収データをダウンロードすることができる。メカ部品のダウンロードボタン 4 1 3 6 をクリックすると、B 事業所が他の拠点よりも安いメカ部品の部番についての他の拠点の検収データをダウンロードすることができる。電子部品のダウンロードボタン 4 1 3 7 をクリックすると、B 事業所が他の拠点よりも安い電子部品の部番についての他の拠点の検収データをダウンロードすることができる。ダウンロードは、図 6 5 の W e

bサーバ4001が運用マシン4006から検収データを受信し、Webサーバ4001から利用者のコンピュータ31に検収データがダウンロードされて記憶される。

【0206】

図70は、ダウンロード後にコンピュータ31に表示される検収データ画面を示す。検収データの一覧エリア4141には、会社拠点4141a、当該部品についての部番4141b、工程4141c、図番4141d、取引先4141e、検収年月4141f、通貨4141gが表示される。

【0207】

図71は、図70に示す一覧エリア4141の右に続く検収データ画面である。一覧エリア4141には、上記の項目の他、当該部品についての該当月内累計の検収総数量4141h、現地通貨の最新検収単価4141i、現地通貨の検収総金額（月額合計）4141j、該当月の平均為替レート（通貨4141gが日本円るときには1である）4141k、日本円換算の最新検収単価（現地通貨の最新検収単価×平均為替レート）4141l、日本円換算の検収総金額（現地通貨の検収総金額×平均為替レート）4141mが表示される。

【0208】

図72は、図71に示す一覧エリア4141の右に続く検収データ画面である。一覧エリア4141には、上記の項目の他、比較対象の部品についての日本円換算の検収単価の差額（自己の事業所の検収単価－他の事業所での最安値の検収単価）4141n、比較対象の部品についての日本円換算の検収総金額の差額（検収単価の差額×検収総数量）4141o、現地通貨でのコストダウン後の単価4141p、入力年月日4141q、コストダウン交渉結果4141rが表示される。

【0209】

検収単価の差額4141n及び検収総金額の差額4141oを参照することにより、自己の事業所の検収価格と他の事業所の検収価格との差額を知ることができ、取引先に対してコストダウン交渉をする価値があるか否かを判断することができる。コストダウン交渉をした場合には、各事業所の利用者がコストダウン後

の単価 4 1 4 1 p と入力年月日 4 1 4 1 q とコストダウン交渉結果 4 1 4 1 r を入力する。入力すると、図 6 7 のステップ S D A 5 へ進み、入力処理を行う。コストダウン交渉結果 4 1 4 1 r には、交渉が成立した場合には例えば「1998 年 10 月からコストダウン後の価格を適用する」旨を入力し、交渉が成立しなかった場合には例えば協定価格によりコストダウン不可等の理由を入力する。各事業所は、交渉結果 4 1 4 1 r を基に次回のコストダウン交渉の戦略を立てることができる。

【0210】

また、コストダウン交渉が成立した場合には、各事業所の利用者がコストダウン後の単価 4 1 4 1 p を入力し、コストダウン後の単価 4 1 4 1 p 及び／又はコストダウン交渉結果 4 1 4 1 r を入力した年月日 4 1 4 1 q を入力する。

【0211】

一覧エリア 4 1 4 1 の表示を終了させると、図 6 7 のステップ S D A 2 へ戻り、図 6 9 の一覧画面を表示する。図 6 9 のアップロードボタン 4 1 3 2 をマウスでクリックすると、図 6 7 のステップ S D A 3 を介してステップ S D A 6 へ進み、アップロード処理を行う。すなわち、図 7 0 ～図 7 2 に示す一覧エリア 4 1 4 1 の検収データは、図 6 5 に示す利用者のコンピュータ 3 1 から W e b サーバ 4 0 0 1 にアップロードされる。W e b サーバ 4 0 0 1 は、アップロードされたコストダウン後の単価やコストダウン交渉の結果等を利用者のコンピュータ 3 1 から受信し、運用マシン 4 0 0 6 に転送する。

【0212】

次に、図 6 7 のステップ S D A 7 では、運用マシン 4 0 0 6 が、アップロードされた情報を基に各拠点の価格情報を自動集計し、翌月以降のデータに反映させる。また、運用マシン 4 0 0 6 は、利用者のコンピュータ 3 1 に対して集計結果を電子メールで送信する。その後、ステップ S D A 2 へ戻り、図 6 9 に示す一覧画面を表示する。

【0213】

図 6 9 において、メニューボタン 4 1 2 1、バックページボタン 4 1 2 2、ログアウトボタン 4 1 2 3、ヘルプボタン 4 1 2 4、メールボタン 4 1 2 5 をマウ

スでクリックすると、図 6 7 のステップ S D A 3 を介してステップ S D A 8 へ進む。メニューボタン 4 1 2 1 がクリックされると、図 6 9 に示すこの一覧画面を表示する。バックページボタン 4 1 2 2 がクリックされると、1 つ前の表示画面に戻る。ログアウトボタン 4 1 2 3 がクリックされると、調達情報システムは終了する。ヘルプボタン 4 1 2 4 がクリックされると、ヘルプ画面を表示する。メールボタン 4 1 2 5 がクリックされると、メールの送信又は受信メールの確認等を行うことができる。これらのボタン 4 1 2 1 ～ 4 1 2 5 は、図 7 0 ～ 図 7 2 の検収データ画面にも表示させることができる。

【 0 2 1 4 】

以上のように、コストダウンサポートシステム 5 によれば、各事業所間で部品コストや製品コストにばらつきがある場合に、各事業所間での同一部品についてのコストの差額を各事業所の利用者に提供することができる。各事業所は、他の事業所との間のコストの差額情報を入手することにより、取引先に対して効率的に部品のコストダウン交渉を行うことができる。また、その交渉結果をアップロードすることにより、効果的に次回の交渉戦略を立てることができる。

【 0 2 1 5 】

なお、コストダウンサポートシステム 5 は、過去の検収価格のみならず、マスタ（見積もり）価格についても同様に適用することができる。また、部品の価格のみならず、製品の価格に適用することができる。

【 0 2 1 6 】

〔 6. 調達実績システム 〕

図 7 3 は、図 1 に示す調達実績システム（取引実績情報提供システム）6 の構成を示すブロック図である。調達実績システム 6 は、W e b サーバ 5 0 0 1、アプリケーションサーバ 5 0 0 2、W e b 用データベースサーバ 5 0 0 3、及び運用マシン 5 0 0 4 を有する。データベースサーバ 5 0 0 3 は、データベース 6 a（図 1）を有する。

【 0 2 1 7 】

各拠点（事業所）のコンピュータ 5 0 1 1 は、自己の拠点の検収データ（検収金額を含む）及び有償支給データ（有償支給額を含む）を記憶し、運用マシン 5

0 0 4 に供給する。検収金額は、購入済みの部品等の金額である。有償支給額は、自社が有償で購入し、それを取引先に引き渡す際の購入金額である。取引先は、自社が複数の取引先の部品等をまとめ買いしてコストを下げたり、部品等を安定供給するため等、種々の理由で、有償支給が行われたりする。また、各拠点のコンピュータ 5 0 1 1 は、調達実績システム 6 に対してアクセス可能である。

【 0 2 1 8 】

人事部門のコンピュータ 5 0 1 2 は、人事データを記憶し、そのデータは運用マシン 5 0 0 4 に供給される。人事データは人事異動の情報を含み、調達実績システム 6 は、登録された利用者が所属する部門の変更を自動的に行うことができる。また、必要に応じて、その異動した利用者の登録を抹消することができる。

【 0 2 1 9 】

なお、運用マシン 5 0 0 4 は、上記の情報をネットワークを介してオンラインで受信することが好ましい。

運用マシン 5 0 0 4 は、上記の情報を受け、検収データ及び有償支給データをデータベースサーバ 5 0 0 3 内のデータベース 6 a に登録する。

【 0 2 2 0 】

データベースサーバ 5 0 0 3 は、データベース 6 a を有し、そのデータベース 6 a の登録、削除、更新及び検索を管理する。アプリケーションサーバ 5 0 0 2 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、調達実績システム 6 を動作させる。Webサーバ 5 0 0 1 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、統一的な画面表示を行う。Webサーバ 5 0 0 1 は、アプリケーションサーバ 5 0 0 2 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。アプリケーションサーバ 5 0 0 2 は、データベースサーバ 5 0 0 3 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。各拠点のコンピュータ 5 0 1 1 は、Webサーバ 5 0 0 1 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。例えば、各拠点の利用者のコンピュータ 5 0 1 1 は、所定の条件でデータベース 6 a 内の検収データ又は有償支給データの検索をWebサーバ 5 0 0 1 に指示する。アプリケーションサーバ 5 0 0 2 は、所定の条件でデータベース 6 a 内の検収データ及び有償

支給データを検索し、上期、下期、年間毎に集計処理する。Webサーバ5001は、上記の条件を満たす検索の結果を各拠点のコンピュータ5011の画面に表示する。各拠点の利用者は、拠点別、取引先別、又は品目別の検収データ及び有償支給データを知ることができる。

【0221】

図74は、データベースサーバ5003内のデータベース6aの構成を示す概略図である。データベース6aは、各拠点別／取引先別／品目別の検収データ6aa、各拠点別／取引先別の有償支給データ6ab、利用者情報（利用者ID、パスワード、利用者所属部門等）6ac、セキュリティ情報6adを有する。

【0222】

図75は、調達実績システム6の処理を示すフローチャートであり、図2のステップS8の処理に相当する。ステップSEA1では、図77に示すログイン画面を利用者のコンピュータ5011（図73）に表示し、利用者IDの入力及びパスワードの入力を待つ。利用者は、図77のエリア5101に利用者IDを入力し、エリア5102にパスワードを入力することができる。利用者ID5101及びパスワード5102を入力させることにより、セキュリティを強化し、不正者のログインを防止できる。

【0223】

表示エリア5105に表示されるように、セキュリティ強化のために、以下の2つの対策が取られる。（1）暦日90日間アクセス（ログイン）がない場合はアクセス権（ログイン権）を自動的に抹消する。その場合、利用時に再度、利用申請書の提出が必要になる。（2）利用者はセキュリティ保護のため、パスワード変更を月1回必ず実施する。パスワードの変更は、パスワード変更ボタン5104をマウスでクリックすることにより行うことができる。

【0224】

利用者がログインボタン5103をマウスでクリックすると、入力した利用者ID及びパスワードが正しければ、ログインされ、ステップSEA2へ進む。

ステップSEA2では、図78に示すメニュー画面が表示される。表示エリア5111には、何時の情報であるかが表示される。表示エリア5112には、ロ

ログインユーザID（利用者ID）が表示される。表示エリア5113には、ログインした年月日が表示される。表示エリア5114には、ログインしたIPアドレスが表示される。このIPアドレスを基に、どの部門の利用者かが分かる。これら表示エリア5112～5114の表示により、画面をハードコピーした時の出所を特定できるので、外部への情報漏れを防止することができる。すなわち、ハードコピーした利用者の情報が表示されているので、利用者がハードコピーすることを躊躇する効果がある。通常の利用者は、パスワード入力後、図78ではなく図79が表示される。

【0225】

メニュー項目として、「I. 調達実績検索」、「II. ユーザメンテナンス」、「III. プレファレンス情報」が表示される。調達実績検索の表示ボタン5131をマウスでクリックすると、図75のステップSEA4へ進み、調達実績検索処理を行う。調達実績検索処理は、所定の条件を満たす検収データ又は有償支給データを検索し、集計処理する。ユーザメンテナンスの更新ボタン5132をマウスでクリックすると、図75のステップSEA5へ進み、ユーザメンテナンス処理を行う。ユーザメンテナンス処理は、データベース6aに登録されているユーザ情報やログ情報を参照したり、ユーザ情報やセキュリティ管理の登録を行う。プレファレンス情報の更新ボタン5133をマウスでクリックすると、図75のステップSEA6へ進み、プレファレンス情報処理を行う。プレファレンス情報処理は、調達実績システムの稼動に必要な情報の設定を行う。

【0226】

メニューボタン5121、バックページボタン5122、ログアウトボタン5123、又はメールボタン5124をマウスでクリックすると、図75のステップSEA7へ進み、その他の処理を行う。メニューボタン5121がクリックされると、図78に示すこのメニュー画面を表示する。バックページボタン5122がクリックされると、1つ前の表示画面に戻る。ログアウトボタン5123がクリックされると、調達情報システムは終了する。メールボタン5124がクリックされると、メールの送信又は受信メールの確認等を行うことができる。

【0227】

図 7 6 は、図 7 5 に示すステップ S E A 4 の調達実績検索処理の詳細を示すフローチャートである。ステップ S E B 1 では、図 7 9 に示す検索画面を表示する。表示エリア 5 1 1 2 ～ 5 1 1 4 及びボタン 5 1 2 1 ～ 5 1 2 4 は、上記と同様である。検索画面は、集計方法選択エリア 5 1 4 1、条件入力エリア 5 1 4 2、及び条件入力補助画面エリア 5 1 4 3 を有する。

【 0 2 2 8 】

図 8 0 は、上記の集計方法選択エリア 5 1 4 1 の拡大図である。利用者は、まず、集計方法選択エリア 5 1 4 1 にて、調達実績の集計方法を選択する。選択項目として、「A. 品目別窓口別購入実績」、「B. 品目別取引先別購入実績」、「C. 品目別窓口別取引先別購入実績」、「D. 品目別取引先別窓口別購入実績」、「E. 窓口別取引先別購入実績」、「F. 窓口別取引先別購入実績（有償支給）」、「G. 窓口別品目別購入実績」、「H. 窓口別取引先別品目別購入実績」、「I. 窓口別品目別取引先別購入実績」、「J. 取引先別窓口別購入実績」、「K. 取引先別窓口別購入実績（有償支給）」、「L. 取引先別品目別購入実績」、「M. 取引先別窓口別品目別購入実績」、「N. 取引先別品目別窓口別購入実績」が表示される。各項目のボタン 5 1 5 1 をマウスでクリックすることにより、各項目を選択することができる。

【 0 2 2 9 】

図 8 1 は、上記の条件入力エリア 5 1 4 2 及び条件入力補助画面エリア 5 1 4 3 の拡大図である。条件入力エリア 5 1 4 2 では、実績年度、品目品種、取引先、対象範囲、対象窓口を入力することができる。これら条件を直接入力する他、条件入力補助画面エリア 5 1 4 3 を用いて条件を入力することができる。例えば、品目品種ボタン 5 1 6 1 をマウスでクリックすると、条件入力補助画面エリア 5 1 4 3 には品目品種のコードと名称が表示される。この条件入力補助画面エリア 5 1 4 3 の中から所望の品目品種を選択することができる。例えば、条件入力補助画面エリア 5 1 4 3 の中の 2 9 番のボタンをマウスでクリックすると、条件入力エリア 5 1 4 2 の品目品種として「M 2 9 0」が自動的に入力される。利用者は、条件入力補助画面エリア 5 1 4 3 を利用することにより、容易かつ簡単に条件項目を入力することができる。取引先の条件についても、条件入力補助画面

エリア 5 1 4 3 を用いることができる。条件クリアボタン 5 1 6 3 をマウスでクリックすると、条件入力エリア 5 1 4 2 の条件をクリアすることができる。検索ボタン 5 1 6 2 をマウスでクリックすると、図 7 6 のステップ S E B 2 へ進み、上記の条件を満足する調達実績（取引実績）情報を検索する。その後、ステップ S E B 3 へ進み、図 8 2 に示す検索結果画面を表示する。

【 0 2 3 0 】

図 8 2 は、検索結果画面を示す。表示エリア 5 1 1 2 ～ 5 1 1 4 及びボタン 5 1 2 1 ～ 5 1 2 4 は、上記と同様である。検索結果画面は、検索条件表示エリア 5 1 7 1 及び検索集計結果エリア 5 1 7 2 を有する。

【 0 2 3 1 】

図 8 3 は、上記の検索条件表示エリア 5 1 7 1 の拡大図である。集計方法表示エリア 5 1 8 1 には、図 8 0 の集計方法選択エリア 5 1 4 1 で選択した集計方法を表示する。検索条件表示エリア 5 1 8 3 には、図 8 1 の条件入力エリア 5 1 4 2 で入力した条件を表示する。金額単位エリア 5 1 8 3 には、図 8 2 の検索集計結果エリア 5 1 7 2 に表示される金額の単位を表示する。

【 0 2 3 2 】

図 8 4 は、図 8 2 の検索集計結果エリア 5 1 7 2 の拡大図である。検索集計結果エリア 5 1 7 2 には、上記の条件を満たす検索結果の金額が、各拠点、各月、上期、下期、年間毎に集計して表示される。金額は、例えば 1 0 0 0 円単位である。例えば、上期は、1 月～ 6 月であり、下期は 7 月～ 1 2 月である。各月の金額を横 1 列に表示すると、1 つの画面又は 1 枚の紙に 1 年分の金額を全て表示することができずにはみ出てしまう。上期を上段に表示し、下期を下段に表示し、1 年分の金額を複数段に分けて表示することにより、1 つの画面又は 1 枚の紙に 1 年分の金額を全て表示でき、金額の比較も容易になる。

【 0 2 3 3 】

図 8 2 のメニューボタン 5 1 2 1、バックページボタン 5 1 2 2、ログアウトボタン 5 1 2 3、メールボタン 5 1 2 4 をマウスでクリックすると、図 7 6 のステップ S E B 4 へ進み、上記と同様な各ボタンの処理を行う。

【 0 2 3 4 】

以上のように、調達実績システムによれば、所定の条件の調達実績（取引実績）情報を検索し、集計処理する。この調達実績情報は、検収金額及び有償支給額を含む。利用者は、この集計結果を参照することにより、種々の取引戦略をたてることができる。例えば、取引先毎の集計をとり、各取引先の取引割合を算出することにより、特定の取引先への取引集中による危険性を回避するため、取引割合を分散させるための戦略をたてることができる。また、各取引先の取引割合を基に、取引先の数を増減させることができる。また、調達実績の時間推移を解析することにより、将来の調達を予測したり、調整することができる。

【0235】

図85は、調達実績データ管理システムの処理を示すフローチャートである。この調達実績データ管理システムは、上記の調達実績システム6で使用する調達実績データを管理するためのシステムである。ステップSEC1では、図86に示すメニュー画面を表示する。メニュー項目として、「登録」、「メンテナンス」、「期末処理」、「印刷」、「ログ情報」、「終了」が表示される。登録ボタン5191をマウスでクリックすると、図85のステップSEC3へ進み、登録処理を行う。登録処理は、実績、有償実績、品目品種、取引先情報の登録を行う。メンテナンスボタン5192をマウスでクリックすると、図85のステップSEC4へ進み、メンテナンス処理を行う。メンテナンス処理は、会社拠点テーブルのメンテナンスを行う。期末処理ボタン5193をマウスでクリックすると、図85のステップSEC5へ進み、期末処理を行う。期末処理は、実績、有償実績データを削除し、削除したデータのバックアップをとる。期末処理の詳細は、後に図87を参照しながら説明する。印刷ボタン5194をマウスでクリックすると、図85のステップSEC6へ進み、印刷処理を行う。印刷処理は、品目品種、会社拠点、取引先情報を印刷する。ログ情報ボタン5195をマウスでクリックすると、図85のステップSEC7へ進み、ログ情報処理を行う。ログ情報処理は、ログ情報の出力又は削除を行う。終了ボタン5196をマウスでクリックすると、図85のステップSEC8へ進み、調達実績データ管理システムを終了する。

【0236】

図 8 7 は、上記のステップ S E C 5 の期末処理の表示画面であり、図 8 6 の期末処理ボタン 5 1 9 3 をマウスでクリックすることにより表示される。過去の調達実績データの全てをデータベース 6 a に保存していると、データ量が多くなるため、検索速度が遅くなり、データベース 6 a の記憶容量が足りなくなる。そこで、4 年前以前の調達実績データを削除すると共にバックアップをとる。データベース 6 a には、過去 3 年間の調達実績データのみを保存しておく。期末処理画面には、第 1 のエリア 5 2 0 7 及び第 2 のエリア 5 2 0 8 が表示される。

【 0 2 3 7 】

年度欄 5 2 0 1 に 4 年前の西暦を自動表示することにより、原則として 4 年前の調達実績データを削除すると共に、テキスト形式のバックアップをとる。年度欄 5 2 0 1 には、他の年度を入力してもよい。調達実績データは、年単位で削除される。なお、所定の時以前の調達実績データを全て削除するようにしてもよい。第 1 のエリア 5 2 0 7 には、削除のチェック欄、削除するデータの名前、及び件数が表示される。削除チェック欄 5 2 0 2 をマウスでクリックすることにより、削除及びバックアップをとるデータを選択することができる。具体的には、検収データ及び／又は有償支給データを選択することができる。第 2 のエリア 5 2 0 8 には、選択のチェック欄、テキスト形式でバックアップをとるデータの名前、及び件数が表示される。選択チェック欄 5 2 0 3 をマウスでクリックすることにより、バックアップをとるデータを選択することができる。具体的には、取引先データ、品目品種データ、及び／又は会社拠点名称データを選択することができる。

【 0 2 3 8 】

次に、実行ボタン 5 2 0 5 をマウスでクリックすると、上記の削除チェック欄 5 2 0 2 及び選択チェック欄 5 2 0 3 でチェックしたデータの処理を実行する。設定ボタン 5 2 0 4 をマウスでクリックすると、バックアップをとるファイルのパス名を設定することができる。ボタン 5 2 0 6 をマウスでクリックすると、期末処理を終了する。

【 0 2 3 9 】

以上のように、期末処理を行うことにより、過去 4 年前以前の調達実績データ

を削除すると共にバックアップをとることができるので、記憶装置の空き容量を増やし、検索速度を向上させることができる。

【 0 2 4 0 】

[7. 取引先カード情報システム]

図 8 8 は、図 1 に示す取引先カード情報システム（取引先カード情報提供システム）7 の構成を示すブロック図である。取引先カード情報システム 7 は、Web サーバ 6 0 0 1、アプリケーションサーバ 6 0 0 2、Web 用データベースサーバ 6 0 0 3、運用マシン 6 0 0 4、及びイメージスキャナ 6 0 0 5 を有する。データベースサーバ 6 0 0 3 は、データベース 7 a（図 1）を有する。

【 0 2 4 1 】

取引先 6 0 1 1 は、取引先情報を紙媒体の取引先カードに記入し、取引先カード情報システム 7 に提供する。運用マシン 6 0 0 4 は、イメージスキャナ 6 0 0 5 により紙媒体の取引先カードを読み取り、G I F 形式の画像情報に変換し、データベースサーバ 6 0 0 3 内のデータベース 7 a に登録する。データベース 7 a には、取引先カードの画像情報の他、取引先名等も登録される。

【 0 2 4 2 】

人事部門のコンピュータ 6 0 1 2 は、人事データを記憶し、そのデータは運用マシン 6 0 0 4 に供給される。人事データは人事異動の情報を含み、取引先カード情報システム 7 は、登録された利用者が所属する部門の変更を自動的に行うことができる。また、必要に応じて、その異動した利用者の登録を抹消することができる。なお、運用マシン 6 0 0 4 は、上記の人事データをネットワークを介してオンラインで受信することが好ましい。

【 0 2 4 3 】

データベースサーバ 6 0 0 3 は、データベース 7 a を有し、そのデータベース 7 a の登録、削除、更新及び検索を管理する。アプリケーションサーバ 6 0 0 2 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、取引先カード情報システム 7 を動作させる。Web サーバ 6 0 0 1 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、統一的な画面表示を行う。Web サーバ 6 0 0 1 は、アプリケーションサーバ 6 0 0 2 に対し

て、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。アプリケーションサーバ 6 0 0 2 は、データベースサーバ 6 0 0 3 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。

【 0 2 4 4 】

利用者のコンピュータ 3 1 は、例えばクライアントとなる標準パーソナルコンピュータであり、Webサーバ 6 0 0 1 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取ることができる。例えば、所望の取引先の取引先カードの検索を指示することができる。Webサーバ 6 0 0 1 は、アプリケーションサーバ 6 0 0 2 及びデータベースサーバ 6 0 0 3 を介して、その取引先の取引先カードを検索し、利用者のコンピュータ 3 1 の画面にその取引先カードの画像情報を表示する。自社内の利用者は、所望の取引先の取引先カードを瞬時に入手することができる。

【 0 2 4 5 】

図 8 9 は、データベースサーバ 6 0 0 3 内のデータベース 7 a の構成を示す概略図である。データベース 7 a は、各取引先についての取引先情報 6 0 2 0、利用者情報（利用者 ID、パスワード、利用者所属部門等） 7 a h、及びセキュリティ情報 7 a i を有する。各取引先の取引先情報 6 0 2 0 は、取引先カードの画像情報 7 a g の他、取引先コード 7 a a、取引先名称 7 a b、取引先名称（カナ） 7 a c、法人コード 7 a d、カード番号 7 a e、登録年度 7 a f を含む。

【 0 2 4 6 】

図 9 0 は、取引先カード情報システムの処理を示すフローチャートであり、図 2 のステップ S 9 の処理に相当する。ステップ S F A 1 では、図 9 2 に示すログイン画面を利用者のコンピュータ 3 1（図 8 8）に表示し、利用者 ID の入力及びパスワードの入力を待つ。利用者は、図 9 2 のエリア 6 1 0 1 に利用者 ID を入力し、エリア 6 1 0 2 にパスワードを入力することができる。利用者 ID 6 1 0 1 及びパスワード 6 1 0 2 を入力させることにより、セキュリティを強化し、不正者のログインを防止できる。

【 0 2 4 7 】

利用者はセキュリティ保護のため、パスワード変更ボタン 6 1 0 4 をマウスで

クリックすることにより、パスワードの変更を行うことができる。利用者がログインボタン 6 1 0 3 をマウスでクリックすると、入力した利用者 I D 及びパスワードが正しければ、ログインされ、ステップ S F A 2 へ進む。

【 0 2 4 8 】

ステップ S F A 2 では、図 9 3 に示すメニュー画面を表示する。これは、通常の利用者には表示されない画面であり、管理者に表示される画面である。表示エリア 6 1 1 1 には、何時の情報であるかが表示される。表示エリア 6 1 1 2 には、ログインユーザ I D (利用者 I D) が表示される。表示エリア 6 1 1 3 には、ログインした年月日が表示される。表示エリア 6 1 1 4 には、ログインした I P アドレスが表示される。この I P アドレスを基に、どの部門の利用者かが分かる。これら表示エリア 6 1 1 2 ~ 6 1 1 4 の表示により、画面をハードコピーした時の出所を特定できるので、外部への情報漏れを防止することができる。すなわち、ハードコピーした利用者の情報が表示されているので、利用者がハードコピーすることを躊躇する効果がある。

【 0 2 4 9 】

メニュー項目として、「I. 取引先カード情報検索」、「I I. ユーザメンテナンス」、「I I I. プレファレンス情報」が表示される。取引先カード情報検索の表示ボタン 6 1 3 1 をマウスでクリックすると、図 9 0 のステップ S F A 4 へ進み、取引先カード情報検索処理を行う。取引先カード情報検索処理は、所定の条件を満たす取引先カードを検索して表示する。ユーザメンテナンスの更新ボタン 6 1 3 2 をマウスでクリックすると、図 9 0 のステップ S F A 5 へ進み、ユーザメンテナンス処理を行う。ユーザメンテナンス処理は、データベース 7 a に登録されているユーザ情報やログ情報を参照したり、ユーザ情報やセキュリティ管理の登録を行う。プレファレンス情報の更新ボタン 6 1 3 3 をマウスでクリックすると、図 9 0 のステップ S F A 6 へ進み、プレファレンス情報処理を行う。プレファレンス情報処理は、取引先カード情報システムの稼動に必要な情報の設定を行う。

【 0 2 5 0 】

メニューボタン 6 1 2 1、バックページボタン 6 1 2 2、ログアウトボタン 6

1 2 3、又はメールボタン 6 1 2 4 をマウスでクリックすると、図 9 0 のステップ S F A 7 へ進み、各ボタンの処理を行う。メニューボタン 6 1 2 1 がクリックされると、図 9 3 に示すこのメニュー画面を表示する。バックページボタン 6 1 2 2 がクリックされると、1 つ前の表示画面に戻る。ログアウトボタン 6 1 2 3 がクリックされると、調達情報システムは終了する。メールボタン 6 1 2 4 がクリックされると、メールの送信又は受信メールの確認等を行うことができる。

【 0 2 5 1 】

図 9 1 は、図 9 0 に示すステップ S F A 4 の取引先カード情報検索処理の詳細を示すフローチャートである。ステップ S F B 1 では、図 9 4 に示す検索画面を表示する。表示エリア 6 1 1 2 ～ 6 1 1 4 の表示は、上記と同様である。条件入力エリア 6 1 4 1 には、年度 6 1 4 2、取引先コード 6 1 4 3、取引先名 6 1 4 4、仮名表記の取引先名 6 1 4 5 を入力することができる。なお、取引先コード 6 1 4 3、取引先名 6 1 4 4、仮名表記の取引先名 6 1 4 5 を全て入力する必要はなく、いずれか 1 つを入力すれば足りる。条件クリアボタン 6 1 4 7 をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。上記の条件入力を補助するために、検索ボタン 6 1 4 6 を使用することができる。検索ボタン 6 1 4 6 をマウスでクリックすると、右に検索結果一覧表 6 1 5 2 が表示される。検索結果一覧表 6 1 5 2 には、取引先コード、取引先名、仮名表記の取引先名の一覧表が表示される。利用者は、検索結果一覧表 6 1 5 2 の中から所望の取引先を選択することができる。具体的には、取引先コードのボタン 6 1 5 3 をマウスでクリックすることにより、そのボタンに対応する取引先コード、取引先名、仮名表記の取引先名が、左の条件入力エリア 6 1 4 1 に自動的に入力及び表示される。利用者は、一覧表 6 1 5 2 の中から取引先を選択することにより、容易に条件入力エリア 6 1 4 1 に条件を入力することができる。

【 0 2 5 2 】

次に、「取引先カードを見る」のボタン 6 1 6 1 をマウスでクリックすると、図 9 1 のステップ S F B 2 で上記の条件を満たす取引先カード情報を検索し、ステップ S F B 3 で図 9 5 に示す取引先カード閲覧画面を表示する。一方、図 9 4 の「ログアウト」のボタン 6 1 6 2 をマウスでクリックすると、調達情報システ

ムは終了する。

【 0 2 5 3 】

図 9 5 は、取引先カード閲覧画面を示す。表示エリア 6 1 1 2 ～ 6 1 1 4 の表示は上記と同様である。条件表示エリア 6 1 7 9 には、上記の条件入力画面で入力した取引先コード、取引先名、仮名表記の取引先名が表示される。また、画面の中央部には、取引先カードをイメージスキャナで読み取った画像 6 1 8 1 が表示される。取引先カードの画像 6 1 8 1 は、上記の条件入力画面で入力された取引先の取引先カードの画像である。その取引先カードには、作成年月日、作成者、取引先コード、会社名、本社代表電話番号、F A X 番号、本社所在地、資本金、従業員数、代表者、株主名、役員、沿革、所在地の地図等が記載されている。取引先カードには、取引先の所在地の地図等が記載されているので、紙媒体の取引先カードをイメージスキャナで読み取った画像情報を利用者に提供する価値が高い。また、紙媒体の利便性を考慮すると、紙媒体を基にした画像情報を使用する価値は高い。また、取引先カードの情報をコンピュータのオンライン通信により取引先から受信してもよい。ただし、コンピュータ通信設備が整っていない取引先がある場合には、紙媒体の取引先カードを取引先から受け取る方法が好ましい。

【 0 2 5 4 】

年度エリア 6 1 7 7 には、その取引先カードが登録された年度が表示される。取引先カードは、毎年、更新されたものが取引先から提出される。したがって、各取引先について各年毎に複数の取引カードが存在し得る。年度エリア 6 1 7 7 に年度を入力すると、入力した年度の取引先カードの画像 6 1 8 1 が表示される。年度エリア 6 1 7 7 に他の年度を入力すると、図 9 1 のステップ S F B 4 を介してステップ S F B 5 へ進み、取引先（取引先コード）を基に検索するのではなく、法人（法人コード）を基に取引先カードの検索を行う。その理由を説明する。1 つの法人コードに複数の取引先コードが所属する場合、すなわち、例えば 1 つの会社（法人）に複数の事業所（取引先）が所属する場合に、その複数の取引先について 1 つの取引先カードしかない場合がある。また、会社の事業所組織が変更することがある。例えば、図 9 6 に示すように、1 9 9 7 年の A 会社（法人

）には、3つの取引先であるA事業所とB事業所とC事業所とが存在していたとする。しかし、1998年には、C事業所がなくなり、D事業所が新たに設立する場合がある。すなわち、1998年のA会社は、A事業所とB事業所とD事業所の3つの取引先が存在する。この場合、1998年のD事業所の取引先カードを表示している状態で、年度を1997年に切り換えるとD事業所が存在しないことになってしまい、不都合が生じる。そこで、この場合には、D事業所の法人コード（A会社）を基に、年度を切り換えて検索を行い、1997年のA会社の取引先カードを表示することとする。検索後は、図91のステップSFB3へ戻って、取引先カードの表示を行う。

【0255】

図95において、検索画面ボタン6171、先頭頁ボタン6172、前頁ボタン6173、次頁ボタン6174、最終頁ボタン6175、拡大／縮小ボタン6176、ログアウトボタン6178をマウスでクリックしたときには、図91のステップSFB4を介してステップSFB6へ進み、各ボタンの処理を行う。検索画面ボタン6171をクリックすると、図91のステップSFB1へ戻り、図94の検索画面を表示する。先頭頁ボタン6175をクリックすると、全ての取引先カードの中の先頭の取引先カードを表示する。前頁ボタン6173をクリックすると、前頁の取引先カードを表示する。次頁ボタン6174をクリックすると、次頁の取引先カードを表示する。最終頁ボタン6175をクリックすると、全ての取引先カードの中の最終の取引先カードを表示する。拡大／縮小ボタン6176をクリックすると、取引先カードの画像6181の拡大表示と縮小表示とを切り換えることができる。ログアウトボタン6178をクリックすると、調達情報システムを終了する。

【0256】

以上のように、取引を開始する際には、取引先に取引先カードの内容を記載して提出してもらう。取引を継続する場合には、毎年、取引先カードを更新記入して提出してもらう。それらの取引先カードは、イメージスキャナで読み取り、画像情報を生成し、データベース7aに登録する。自社内の利用者は、取引先カード情報システムを利用することにより、所望の取引先の取引先カードを閲覧し、

取引先カードに記載されている取引先情報を知ることができる。取引先カードは、取引先カード情報システム7により一括管理され、各利用者がそれぞれ所持する必要がなくなる。

【0257】

〔8. 取引先マップシステム〕

図97は、図1に示す取引先マップシステム（地図情報提供システム）8の構成を示すブロック図である。取引先マップシステム8は、Webサーバ7001、運用マシン7002、及び各拠点のコンピュータ7005を有する。運用マシン7002は、データベース8a、SQLサーバ7003及びMapInfoサーバ7004を有する。

【0258】

取引先7011は、工場情報（工場を受け持つ自己（取引先）の情報を含む）を記載した調査表を取引先マップシステム8に供給する。各拠点のコンピュータ7005は、例えば担当者が扱う標準パーソナルコンピュータである。上記の調査表の工場情報を各拠点のコンピュータ7005に入力し、電子データの工場情報を生成する。各拠点のコンピュータ7005は、工場情報を運用マシン7002に供給する。なお、取引先7011が、直接、運用マシン7002に電子データの工場情報を供給してもよい。

【0259】

SQLサーバ7003は、上記の工場情報をデータベース8aに登録する。データベース8aには、工場情報の他に、地図情報及び貸与資産情報が記憶されている。工場情報と地図情報は、関連付けられて記憶される。すなわち、各工場は、地図上の何処に位置するのかが分かるようになっている。SQLサーバ7003は、データベース8a内の工場情報及び貸与資産情報の登録及び検索等の管理を行う。MapInfoサーバ7004は、データベース8a内の地図情報の登録及び検索等の管理を行う。

【0260】

人事部門のコンピュータ7012は、人事データを記憶し、そのデータは運用マシン7002に供給される。人事データは人事異動の情報を含み、取引先マッ

プシステム 8 は、登録された利用者が所属する部門の変更を自動的に行うことができる。また、必要に応じて、その異動した利用者の登録を抹消することができる。

【 0 2 6 1 】

運用マシン 7 0 0 2 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、取引先マップシステム 8 を動作させる。Web サーバ 7 0 0 1 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、統一的な画面表示を行う。Web サーバ 7 0 0 1 は、運用マシン 7 0 0 2 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。運用マシン 7 0 0 2 は、各拠点のコンピュータ 7 0 0 5 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。

【 0 2 6 2 】

利用者のコンピュータ 3 1 は、例えばクライアントとなる標準パーソナルコンピュータであり、Web サーバ 7 0 0 1 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取ることができる。例えば、所定の工場設備を有し、かつ利用者の所属する事業所（工場）の近辺に所在する工場の検索を指示することができる。Web サーバ 7 0 0 1 は、運用マシン 7 0 0 2 を介して、工場を検索し、その工場の工場情報及び地図情報を利用者のコンピュータ 3 1 の画面に表示する。利用者は、所望の工場の工場情報及び地図情報を迅速に得ることができる。

【 0 2 6 3 】

図 9 8 は、データベース 8 a の構成を示す概略図である。データベース 8 a は、工場情報（工場が属する取引先の情報を含む）8 a a、地図情報 8 a b、貸与資産情報 8 a c、利用者情報（利用者 I D、パスワード、利用者所属部門等）8 a d、及びセキュリティ情報 8 a e を有する。工場情報 8 a a と地図情報 8 a b とはリンクして記憶されている。工場情報 8 a a は、業種別及び取引先別の設備情報（製造設備、加工設備、検索設備等の情報）、2 次加工先情報、再外製先（孫受け以降の取引先）情報を含む。

【 0 2 6 4 】

図 9 9 は、取引先マップシステムの処理を示すフローチャートであり、図 2 の

ステップ S 1 0 の処理に相当する。ステップ S G A 1 では、図 1 0 0 に示すログイン画面を利用者のコンピュータ 3 1（図 9 7）に表示し、利用者 I D の入力及びパスワードの入力を待つ。利用者は、図 1 0 0 のエリア 7 1 0 1 に利用者 I D を入力し、エリア 7 1 0 2 にパスワードを入力することができる。利用者 I D 7 1 0 1 及びパスワード 7 1 0 2 を入力させることにより、セキュリティを強化し、不正者のログインを防止できる。

【 0 2 6 5 】

利用者はセキュリティ保護のため、パスワード変更ボタン 7 1 0 4 をマウスでクリックすることにより、パスワードの変更を行うことができる。利用者がログインボタン 7 1 0 3 をマウスでクリックすると、入力した利用者 I D 及びパスワードが正しければ、ログインされ、ステップ S G A 2 へ進む。ステップ S G A 2 では、図 1 0 1 に示す登録状況表示画面を表示する。

【 0 2 6 6 】

図 1 0 1 は、登録状況表示画面を示す。マップエリア 7 1 3 1 には、世界地図が画面いっぱいに表示される。地図上の任意の箇所をマウスでクリックすると、クリックされた箇所を中心にして、ズームエリア 7 1 3 2 に入力されたズーム値で地図を拡大して再表示する。日本を拡大すれば、県単位の地図を表示することができる。ズーム値は、例えば 5 0 0 ～ 4 2, 0 0 0 k m である。集計表 7 1 3 3 には、マップエリア 7 1 3 1 に表示されている各地域における業種別の工場数が集計されて表示される。業種は、例えば、モールド、プレス等である。ズーム値に応じて、国別又は県別の集計を表示する。集計値は、マップエリア 7 1 3 1 上の対応する位置に棒グラフで表示される。

【 0 2 6 7 】

検索条件ボタン 7 1 3 4 をマウスでクリックすると、図 9 9 のステップ S G A 4 へ進み、図 1 0 3 に示す検索条件／結果表示画面を表示する。また、経路検索ボタン 7 1 3 5 をマウスでクリックすると、図 9 9 のステップ S G A 1 0 へ進み、図 1 0 9 に示す経路検索（入力）画面を表示する。また、工場（加工先）検索ボタン 7 1 3 6 をマウスでクリックすると、図 9 9 のステップ S G A 3 へ進み、図 1 0 2 に示す工場（加工先）検索画面を表示する。

【 0 2 6 8 】

図 1 0 2 は、図 9 9 に示すステップ S G A 3 の工場（加工先）検索画面を示す。工場名エリア 7 1 4 1 には、検索したい工場名をカタカナで入力する。工場は、取引先の下請け工場に相当する。検索ボタン 7 1 4 2 をマウスでクリックすると、工場名エリア 7 1 4 1 に入力された工場名を例えば前方一致で検索し、検索結果エリア 7 1 4 4 に表示する。検索結果エリア 7 1 4 4 には、検索された工場の一覧が表示される。具体的には、検索結果エリア 7 1 4 4 には、工場ナンバー、工場名、工場種類、工場住所、工場連絡先電話番号、取引先コード、取引先名を表示する。ここで、A 製作所（工場）は、B 製作所（取引先）の下請け工場に相当する。すなわち、取引先とその下請け工場の関係を知ることができる。登録状況表示ボタン 7 1 4 3 をマウスでクリックすると、図 9 9 のステップ S G A 2 へ戻り、図 1 0 1 の登録状況表示画面を表示する。

【 0 2 6 9 】

図 1 0 3 は、図 9 9 に示すステップ S G A 4 の検索条件／結果表示画面を示す。検索条件の指定項目として、取引先指定 7 1 5 1、地域指定 7 1 5 2、購入拠点指定 7 1 5 3、業種指定 7 1 5 4、機械設備（製造設備及び加工設備を含む）指定 7 1 5 5、検査設備等の指定 7 1 5 6 を指定することができる。これらの指定により、検索する工場を絞り込むことができる。指定を行わない場合は、全ての工場が検索される。

【 0 2 7 0 】

取引先指定 7 1 5 1 では、「条件なし」、「取引先コード」、「取引先名」のいずれかを指定することができる。地域指定 7 1 5 2 では、「条件なし」、「地域指定」、「基準点指定」のいずれかを指定することができる。「地域指定」は、2 つの地域を O R 条件で指定することができる。「基準点指定」は、基準となる自社の工場から、指定した半径内に所在する工場を検索することができる。その際、スケール（k m）を指定することができる。

【 0 2 7 1 】

購入拠点指定 7 1 5 3 では、購入拠点を指定することができる。納入実績情報を基に検索をすることができる。業種指定 7 1 5 4 には、業種を指定することが

できる。機械設備指定 7 1 5 5 では、機械設備及びそのスペック（設備能力）を指定することができる。機械設備は、製造設備及び加工設備を含む。機械設備のスペックは、例えば、樹脂モールドの射出成形設備での成形可能なトン数である。検査設備等の指定 7 1 5 6 では、検査設備及びその他の設備を指定することができる。

【 0 2 7 2 】

検索開始ボタン 7 1 5 7 をマウスでクリックすると、上記の指定条件の基に検索を行い、下部の検索結果エリア 7 1 6 5 に検索結果の一覧を表示する。なお、検索条件クリアボタン 7 1 5 8 をマウスでクリックすると上記の指定条件はクリアされ、ヘルプボタン 7 1 5 9 をマウスでクリックすると図 9 9 のステップ S G A 5 へ進み、図 1 0 4 に示すヘルプ画面を表示する。

【 0 2 7 3 】

図 1 0 3 の検索結果エリア 7 1 6 5 には、上記の指定条件を満たす工場が表示される。具体的には、検索結果エリア 7 1 6 5 には、ラジオボタン、工場ナンバー、取引先コード、日系／非日系、取引先名、状況、工場コード、工場名、工場所在地、工場種類、業種を表示する。N e x t ボタン 7 1 6 4 をマウスでクリックすると、現在表示している 1 0 工場の次の 1 0 工場を表示する。前の 1 0 工場が存在する場合には、P r e v ボタンが表示され、その P r e v ボタンをマウスでクリックすると、前の 1 0 工場を表示する。

【 0 2 7 4 】

地図表示ボタン 7 1 6 0 をマウスでクリックすると、図 9 9 のステップ S G A 6 へ進み、図 1 0 5 に示す地図表示画面を表示する。また、地図全体表示ボタン 7 1 6 1 をマウスでクリックすると、同じく、ステップ S G A 6 へ進み、図 1 0 5 に示す地図全体表示の地図表示画面を表示する。また、工場情報ボタン 7 1 6 2 をマウスでクリックすると、ステップ S G A 7 へ進み、図 1 0 6 に示す工場情報画面を表示する。また、経路検索ボタン 7 1 6 3 をマウスでクリックすると、ステップ S G A 9 へ進み、図 1 0 8 に示す経路検索（選択）画面を表示する。

【 0 2 7 5 】

図 1 0 4 は、図 9 9 に示すステップ S G A 5 のヘルプ画面を示す。ヘルプ画面

には、ステップ S G A 4 の検索条件／結果表示画面（図 1 0 3）での検索条件指定方法の説明が表示される。「戻る」のボタン 7 1 7 0 をマウスでクリックすると、図 9 9 のステップ S G A 4 へ戻り、図 1 0 3 の検索条件／結果表示画面を表示する。

【 0 2 7 6 】

図 1 0 5 は、図 9 9 に示すステップ S G A 6 の地図表示画面を示す。マップエリア 7 1 7 1 には、図 1 0 3 の検索条件／結果表示画面において地図表示ボタン 7 1 6 0 又は地図全体表示ボタン 7 1 6 1 がクリックされた場合に、該当する工場の位置を示す地図が表示される。基準点が指定されている場合には、基準となる工場を中心にしてズーム値を 5 k m にして表示する。スケールが指定されている場合には、基準となる工場を中心にして指定されたスケールで円を表示する。基準点の指定がない場合には、指定された工場を中心にしてズーム値を 5 k m にして地図を表示する。地図全体表示ボタン 7 1 6 1 （図 1 0 3）がクリックされた場合には、検索されたすべての工場を表示する。

【 0 2 7 7 】

ズームエリア 7 1 7 4 には、例えば、0. 5 ～ 4 0. 0 0 0 k m の範囲でズーム値を入力することができる。スケールエリア 7 1 7 5 には、図 1 0 3 の検索条件／結果表示画面の「指定地域」でスケールが指定された場合には、そのスケール値を表示する。マップエリア 7 1 7 1 には、そのスケールの円を表示する。

【 0 2 7 8 】

マップエリア 7 1 7 1 内の任意の箇所がクリックされると、クリックされた箇所を中心にして所定の半径の円を表示し、その円の中に工場があるか否かを検索して表示する。そして、工場がマウスでクリックされて選択された場合には、図 9 9 のステップ S G A 7 へ進み、図 1 0 6 の工場情報画面を表示する。一方、工場が選択されなかった場合には、クリックされた箇所を中心にして、指定されたズーム値で地図を再表示する。

【 0 2 7 9 】

「初期表示に戻す」のボタン 7 1 7 2 をマウスでクリックすると、上記の初期のマップエリア 7 1 7 1 を再表示する。「検索条件」ボタン 7 1 7 3 をマウスで

クリックすると、図99のステップSGA4へ戻り、図103の検索条件／結果表示画面を表示する。

【0280】

図106は、図99に示すステップSGA7の工場情報画面を示す。工場情報画面には、取引先概要7181、工場概要7182、及び工場設備7183が表示される。取引先概要7181には、調査日、更新日、取引先コード、取引先名称、日系／非日系、グローバル協力会の加盟／非加盟、会社状況、本社郵便番号、本社住所、国籍、調査事業所名、資本金、上場区分、下請け区分、ホームページURL、営業担当者名、営業担当者役職、営業担当者電話番号、営業担当者FAX番号、営業担当者E-mailを表示する。

【0281】

工場概要7182には、調査日、更新日、工場コード、工場名称、工場種類、日系／非日系、資本金、工場郵便番号、工場住所、工場所在地、工場連絡先電話番号、従業員数、工場連絡先FAX番号、主要納入品目、業種、納入実績を表示する。

【0282】

工場設備7183には、設備番号、設備種類、機械種類、スペック（モールド及びプレスの場合はトン数、挽物及びヘッダーの場合はmm）、プレス機械仕様、機械設備メーカー名、機械型式、設備台数を表示する。

【0283】

検索条件ボタン7184をマウスでクリックすると、図99のステップSGA4へ戻り、図103の検索条件／結果表示画面を表示する。また、2次加工ボタン7185をマウスでクリックすると、図99のステップSGA8へ進み、図107に示す2次加工画面を表示する。

【0284】

図107は、図99に示すステップSGA8の2次加工画面を示す。2次加工画面には、取引先概要7191、工場概要7192、2次加工及び加工可能特殊材料7193を表示する。取引先概要7191には、図106に示す取引先概要7181と同様の項目を表示する。工場概要7192には、図106に示す工場

概要と同様の項目を表示する。2次加工及び加工可能特殊材料 7193 には、2次加工分類名（PX（プレス）、PX材料等）、2次加工名（スポット溶接、アーク溶接等）を表示する。表中の○印は自工場で加工実績があることを示し、△印は自工場以外でのみ加工実績があることを示し、◎印は両方加工実績があることを示す。検索条件ボタン 7194 をマウスでクリックすると、図 99 のステップ SGA4 へ戻り、図 103 の検索条件／結果表示画面を表示する。

【0285】

図 108 は、図 99 に示すステップ SGA9 の経路検索（選択）画面を示す。経路検索（選択）画面には、目的拠点 7201 及び出発拠点 7202 を表示する。目的拠点 7201 には、図 103 の検索条件／結果表示画面において「基準点指定」が指定されている場合には、その拠点を表示する。「基準点指定」が指定されていない場合には、所定の拠点名を表示する。出発拠点 7202 には、検索された工場のトータル件数（Total）、チェックボックス、検索された工場の番号（No）、業種、取引先コード、取引先コード、取引先名、工場名を表示する。目的拠点 7201 には、所望の目的拠点（例えば自社の工場）を入力又は選択することができる。出発拠点 7202 には、上記のチェックボックスをチェックすることにより、所望の出発拠点（取引先の下請け工場）を選択することができる。

【0286】

経路検索ボタン 7203 をマウスでクリックすると、上記のチェックボックスのチェック状態を判定し、1つもチェックされていない場合にはエラーメッセージを表示し、1つ以上チェックされている場合には、図 99 のステップ SGA11 へ進み、図 110 に示す経路表示画面を表示する。一方、図 108 の検索条件ボタン 7204 をマウスでクリックすると、図 99 のステップ SGA4 へ戻り、図 103 の検索条件／結果表示画面を表示する。

【0287】

図 109 は、図 99 に示すステップ SGA10 の経路検索（入力）画面を示す。経路検索（入力）画面には、経路検索（入力）7211 及び取引先コード検索 7214 を表示する。経路検索（入力）7211 には、目的拠点及び出発拠点（

取引先コード及び工場コード)を入力することができる。目的拠点及び出発拠点は、図 1 0 8 に示す目的拠点 7 2 0 1 及び出発拠点 7 2 0 2 と同様である。

【 0 2 8 8 】

経路検索ボタン 7 2 1 2 をマウスでクリックすると、上記で入力された目的拠点、取引先コード、工場コードを基に経路を検索し、図 9 9 のステップ S G A 1 1 へ進み、図 1 1 0 の経路表示画面を表示する。また、登録状況表示ボタン 7 2 1 3 をマウスでクリックすると、図 9 9 のステップ S G A 2 へ戻り、図 1 0 1 の登録状況表示画面を表示する。

【 0 2 8 9 】

取引先コード検索 7 2 1 4 において、取引先名称 7 2 1 5 又は取引先コード 7 2 1 6 のいずれかのラジオボタンをクリックして、取引先名称 7 2 1 5 又は取引先コード 7 2 1 6 を入力する。次に、取引先検索ボタン 7 2 1 7 をマウスでクリックすると、取引先名称 7 2 1 5 又は取引先コード 7 2 1 6 を基にその取引先に属する工場を検索し、検索結果エリア 7 2 1 8 に表示する。この検索結果エリア 7 2 1 8 には、検索結果として、取引先コード、取引先名、工場コード、工場名を表示する。検索結果エリア 7 2 1 8 を参照することにより、経路検索 (入力) 7 2 1 1 の取引先コード及び工場コードを簡便に入力することができる。

【 0 2 9 0 】

図 1 1 0 は、図 9 9 に示すステップ S G A 1 1 の経路表示画面を示す。マップエリア 7 2 2 1 には、図 1 0 8 の経路検索 (選択) 画面又は図 1 0 9 の経路検索 (入力) 画面で指定した目的拠点工場及び各出発拠点工場がすべて表示されるズームで地図が表示される。また、マップエリア 7 2 2 1 には、各出発拠点工場から目的拠点工場までの経路を赤い実線で表示し、その間の車での経路距離と所要時間をその経路上に表示する。

【 0 2 9 1 】

ズームエリア 7 2 2 4 には、例えば 0 . 5 ~ 3 , 0 0 0 k m の範囲でズーム値を入力することができる。マップエリア 7 2 2 1 内の任意の箇所をマウスでクリックすると、クリックされた箇所を中心にしてズームエリア 7 2 2 4 で入力されたズーム値で地図を再表示する。

【 0 2 9 2 】

「初期表示に戻す」のボタン 7 2 2 2 をマウスでクリックすると、ズーム値を入力する前の初期のマップエリア 7 2 2 1 の表示に戻る。「検索条件」ボタン 7 2 2 3 について説明する。図 9 9 のステップ S G A 9 の経路検索（選択）画面からステップ S G A 1 1 の経路表示画面に遷移した場合、「検索条件」ボタン 7 2 2 3 をマウスでクリックすると、ステップ S G A 4 に戻り、図 1 0 3 の検索条件／結果表示画面を表示する。一方、図 9 9 のステップ S G A 1 0 の経路検索（入力）画面からステップ S G A 1 1 の経路表示画面に遷移した場合、「検索条件」ボタン 7 2 2 3 をマウスでクリックすると、ステップ S G A 2 に戻り、図 1 0 1 の登録状況表示画面を表示する。

【 0 2 9 3 】

次に、貸与資産の所在情報について説明する。例えば、モールド加工に使用する型が貸与資産であり、取引先又は工場に貸与される。例えば、取引先等が倒産しそうなときには、貸与資産を回収する必要があるため、貸与資産の所在情報を把握しておくことは重要である。型（貸与資産）の番号、モールド加工に使用する原材料の部番、モールド加工により完成された部品の部番、モールド加工を行った工場の工場コード、取引先の取引先コードをデータベース 8 a に登録しておくことにより、その型の所在情報を検索して、その型が所在する地図上の位置を利用者に提供することができる。利用者は、その所在情報を基に、必要な貸与資産を直ちに回収することができる。

【 0 2 9 4 】

また、地震等の災害が発生した場合には、その周辺の工場は機能しなくなる可能性が高い。その場合、災害発生地点を基準地点として、その所定半径以内の工場を検索することにより、被害を被る可能性のある工場の情報を探し出し、災害対策をたてることができる。

【 0 2 9 5 】

以上のように、工場情報（取引先情報を含む）と地図情報をリンクしてデータベースに記憶させることにより、工場情報を基に地図情報を知ることができ、また、地図情報を基に工場情報を知ることができる。例えば、工場の位置情報や工

場の設備情報を基に工場の検索を行い、検索条件を満たす工場を利用者に知らせることができる。また、出発拠点から目的拠点までの経路を地図上で示し、その経路の距離及び所要時間を知らせることができる。

【 0 2 9 6 】

[9. 取引先売込みシステム]

図 1 1 1 は、図 1 に示す取引先売込みシステム 9 の構成を示すブロック図である。取引先売込みシステム 9 は、Web サーバ 8 0 0 1、アプリケーションサーバ 8 0 0 2、Web 用データベースサーバ 8 0 0 3、運用マシン 8 0 0 4、変換用データベースサーバ 8 0 0 5、メールサーバ 8 0 0 6、及び管理者のコンピュータ 8 0 0 7 を有する。データベースサーバ 8 0 0 3 は、データベース 9 a を有する。

【 0 2 9 7 】

各取引先のコンピュータ 8 0 1 1 は、取引先売込みシステム 9 の利用申請書を管理者のコンピュータ 8 0 0 7 に送信する。管理者のコンピュータ 8 0 0 7 は、その利用申請に応じて、取引先売込みシステム 9 に基づいて売込みを行うためのセットアッププログラムを取引者のコンピュータ 8 0 1 1 に提供（送信）する。取引者のコンピュータ 8 0 1 1 は、そのセットアッププログラムをインストールすることにより、自己（取引先）の売込み情報を運用マシン 8 0 0 4 に送信することができる。売込み情報は、例えば、最新部品情報や代替部品情報や担当者情報等である。運用マシン 8 0 0 4 は、売込み情報を受信すると、データベースサーバ 8 0 0 3 内のデータベース 9 a に売込み情報を登録する。また、運用マシン 8 0 0 4 が新たな売込み情報を受信すると、メールサーバ 8 0 0 6 は利用者のコンピュータ 3 1 に最新売込み情報の到着をメールにて知らせる。

【 0 2 9 8 】

人事部門のコンピュータ 8 0 1 2 は、人事データを記憶し、そのデータは運用マシン 8 0 0 4 に供給される。人事データは人事異動の情報を含み、取引先売込みシステム 9 は、登録された利用者が所属する部門の変更を自動的に行うことができる。また、必要に応じて、その異動した利用者の登録を抹消することができる。

【 0 2 9 9 】

データベースサーバ 8 0 0 3 は、データベース 9 a に対して登録、検索、削除等の管理を行う。運用マシン 8 0 0 4 は、売込み情報を取引先のコンピュータ 8 0 1 1 から受信すると、必要に応じて、データベース 9 a の更新処理を変更用データベースサーバ 8 0 0 5 に指示する。変換用データベース 8 0 0 5 は、更新処理を行い、ログファイルを作成し、データ転送を運用マシン 8 0 0 4 に依頼する。運用マシン 8 0 0 4 は、それに応じて、データベース 8 0 0 3 内のデータベース 9 a を更新する。

【 0 3 0 0 】

アプリケーションサーバ 8 0 0 2 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、取引先売込みシステム 9 を動作させる。Webサーバ 8 0 0 1 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、統一的な画面表示を行う。Webサーバ 8 0 0 1 は、アプリケーションサーバ 8 0 0 2 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。アプリケーションサーバ 8 0 0 2 は、データベースサーバ 8 0 0 3 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。

【 0 3 0 1 】

利用者のコンピュータ 3 1 は、例えばクライアントとなる標準パーソナルコンピュータであり、Webサーバ 8 0 0 1 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取ることができる。利用者のコンピュータ 3 1 は、例えば、所望の売込み情報を検索し、閲覧することをWebサーバ 8 0 0 1 に指示することができる。Webサーバ 8 0 0 1 は、アプリケーションサーバ 8 0 0 2 を介して、データベース 9 a 内の売込み情報を検索し、その売込み情報を利用者のコンピュータ 3 1 の画面に表示する。利用者は、所望の売込み情報を迅速に得ることができる。また、利用者のコンピュータ 3 1 は、その売込み情報を基に、取引先のコンピュータ 8 0 1 1 にメールを送信したり、取引先のホームページにアクセスして表示することができる。

【 0 3 0 2 】

図 1 1 2 は、データベース 9 a の構成を示す概略図である。データベース 9 a

は、部品売込み情報 9 a a、代替部品情報 9 a b、耳寄り情報 9 a c、担当者情報 9 a d を含む売込み情報の他、利用者情報（利用者 I D、パスワード、利用者所属部門等） 9 a e 及びセキュリティ情報 9 a f を有する。

【0303】

図 1 1 3 は、取引先のコンピュータ 8 0 1 1（図 1 1 1）における取引先売込み情報登録処理を示すフローチャートである。ステップ S H A 1 では、図 1 1 4 に示すメニュー画面を表示する。メニュー項目として、「1. 電子部品情報」、「2. 耳寄り情報」、「3. 担当者情報」が表示される。電子部品情報の登録ボタン 8 1 3 1 をマウスでクリックすると、図 1 1 3 のステップ S H A 2 へ進み、図 1 1 5 に示す部品情報登録画面を表示する。また、耳寄り情報の登録ボタン 8 1 3 2 をマウスでクリックすると、図 1 1 3 のステップ S H A 5 へ進み、図 1 1 8 に示す耳寄り情報登録画面を表示する。また、担当者情報の登録ボタン 8 1 3 3 をマウスでクリックすると、図 1 1 9 の担当者情報登録画面を表示する。その後、送信ボタン 8 1 3 4 をマウスでクリックすると、図 1 1 1 の取引者のコンピュータ 8 0 1 1 から運用マシン 8 0 0 4 に上記の 3 つの項目の売込み情報のうちの登録したものが送信される。終了ボタン 8 1 3 5 をマウスでクリックすると、処理は終了する。なお、上記の電子部品情報は、部品情報の一例であり、メカ部品等の他の部品情報や原材料情報に適用することができる。

【0304】

図 1 1 5 は、図 1 1 3 に示すステップ S H A 2 の部品情報登録画面を示す。部品情報登録画面では、部品情報 8 1 4 1、原産国 8 1 4 2、日程情報 8 1 4 3、紹介文 8 1 4 4 を登録することができる。部品情報 8 1 4 1 では、タイトル、型名、メーカー、機能分類を入力することができる。原産国 8 1 4 2 では、前工程の国、後工程の国、規制物資、製品状態を入力することができる。日程情報 8 1 4 3 では、保守日程、廃止日程、サンプル日程、仕様書日程を入力することができる。フラグ 8 1 4 5 は、進捗フラグ（送信済み、送信対象、承認待ち、承認却下）及び削除フラグを示す。進捗フラグを「送信対象」に設定して登録すれば、入力した情報は送信可能になる。削除フラグをチェックして送信すれば、登録されている内容を削除することができる。

【0305】

入力情報クリアボタン8149をマウスでクリックすると、上記の入力情報をクリアすることができる。登録ボタン8150をマウスでクリックすると、上記の入力情報を登録することができる。終了ボタン8151をマウスでクリックすると、図113のステップSHA1へ戻り、図114のメニュー画面を表示する。部番情報ボタン8147をマウスでクリックすると、図113のステップSHA3へ進み、図116に示す部番情報登録画面を表示する。置換情報ボタン8148をマウスでクリックすると、図113のステップSHA4へ進み、図117に示す置換情報登録画面を表示する。

【0306】

図116は、図113に示すステップSHA3の部番情報登録画面を示す。部番情報登録画面では、部品情報8161、我社内部番情報8162、商品情報8163、参考価格／月8164を登録することができる。部品情報8161では、タイトル、型名、メーカー、機能分類を入力することができる。我社内部番情報8162では、部番及び寸法を入力することができる。商品情報8163では、パッケージ、品質規格情報、生産情報、納期情報、納入梱包形態、環境配慮、通貨、数量単位を入力することができる。フラグ8145は、進捗フラグ（送信済み、送信対象、承認待ち、承認却下）及び削除フラグを示す。

【0307】

入力情報クリアボタン8149をマウスでクリックすると、上記の入力情報をクリアすることができる。登録ボタン8150をマウスでクリックすると、上記の入力情報を登録することができる。終了ボタン8151をマウスでクリックすると、図113のステップSHA1へ戻り、図114のメニュー画面を表示する。部品情報ボタン8146をマウスでクリックすると、図113のステップSHA2へ戻り、図115に示す部品情報登録画面を表示する。置換情報ボタン8148をマウスでクリックすると、図113のステップSHA4へ進み、図117に示す置換情報登録画面を表示する。

【0308】

図117は、図113に示すステップSHA4の置換情報（代替品情報）登録

画面を示す。置換情報登録画面では、部品情報 8171、置換情報 8172 を登録することができる。部品情報 8171 では、タイトル、型名、メーカー、機能分類を入力することができる。置換情報（代替品情報） 8172 では、置換可能な型名、メーカー名称、置換条件を入力することができる。取引者は、他メーカーの部品や製品に置換可能な部品や製品を売込むことができる。フラグ 8145 は、進捗フラグ（送信済み、送信対象、承認待ち、承認却下）及び削除フラグを示す。

【0309】

入力情報クリアボタン 8149 をマウスでクリックすると、上記の入力情報をクリアすることができる。登録ボタン 8150 をマウスでクリックすると、上記の入力情報を登録することができる。終了ボタン 8151 をマウスでクリックすると、図 113 のステップ SHA1 へ戻り、図 114 のメニュー画面を表示する。部品情報ボタン 8146 をマウスでクリックすると、図 113 のステップ SHA2 へ戻り、図 115 に示す部品情報登録画面を表示する。部番情報ボタン 8147 をマウスでクリックすると、図 113 のステップ SHA3 へ進み、図 116 に示す部番情報登録画面を表示する。

【0310】

図 118 は、図 113 に示すステップ SHA5 の耳寄り情報登録画面を示す。耳寄り情報登録画面では、耳寄り情報 8181 を登録することができる。耳寄り情報 8181 では、情報内容、対象期間、タイトル、詳細内容、ホームページアドレス、情報削除希望年月を入力することができる。上記の情報内容としては、新製品の紹介の他、会社近況／トピックス、定期刊行誌／カタログ、展示会／研究会開催案内、最新技術情報（固有技術）、新規設備紹介、生産／販売状況、市場動向（逼迫、余剰部品）、環境保証対応等を選択（入力）することができる。登録ボタン 8150 をマウスでクリックすると、上記の入力情報を登録することができる。終了ボタン 8151 をマウスでクリックすると、図 113 のステップ SHA1 へ戻り、図 114 のメニュー画面を表示する。

【0311】

図 119 は、図 113 に示すステップ SHA6 の担当者情報登録画面を示す。

担当者情報登録画面では、担当者情報 8 1 9 1、我社内の担当地区及び事業 8 1 9 2、我社に対しての主要取扱品目 8 1 9 3、取扱メーカー 8 1 9 4、コメント 8 1 9 5 を登録することができる。担当者情報 8 1 9 1 では、担当者の氏名、Eメール（電子メール）アドレス、役職名、担当者コード、所属部署名、連絡先の住所、電話番号、FAX 番号、ホームページアドレスを入力することができる。フラグ 8 1 9 6 は、送信フラグ（送信対象、送信済み）及び削除フラグを示す。登録ボタン 8 1 5 0 をマウスでクリックすると、上記の入力情報を登録することができる。終了ボタン 8 1 5 1 をマウスでクリックすると、図 1 1 3 のステップ S H A 1 へ戻り、図 1 1 4 のメニュー画面を表示する。

【 0 3 1 2 】

図 1 2 0 は、取引先から売込み情報を受信した際の取引先売込みシステム 9 の処理を示すフローチャートである。ステップ S H B 1 では、上記の取引先が登録して送信した売込み情報を運用マシン 8 0 0 4（図 1 1 1）が受信する。ステップ S H B 2 では、運用マシン 8 0 0 4 がデータベース 8 0 0 3 内のデータベース 9 a に、受信した売込み情報を登録する。ステップ S H B 3 では、運用マシン 8 0 0 4 が、毎日、取引先売込みシステム 9 の管理者のコンピュータ 8 0 0 7（図 1 1 1）に、何件の売込み情報の受信があったかをメールで知らせる。また、運用マシン 8 0 0 4 は、利用者のコンピュータ 3 1（図 1 1 1）に、新たに提供された売込み情報の概要をメールで知らせる。各利用者は、メールで受け取る情報の種類を指定することができる。例えば、電子部品の担当者は、メカ部品の情報は不要であり、電子部品の情報のみをメールで受け取ることができる。利用者は、そのメールにより、最新の売込み情報の概要を知り、その詳細は、次に示す取引先売込みシステム 9 にアクセスして知ることができる。

【 0 3 1 3 】

図 1 2 1 は、利用者がアクセスした際の取引先売込みシステム 9 の処理を示すフローチャートである。利用者のコンピュータ 3 1（図 1 1 1）が取引先売込みシステム 9 にアクセスすると、取引先売込みシステム 9 は以下の処理を行う。ステップ S H C 1 では、図 1 2 2 に示すログイン画面を利用者のコンピュータ 3 1（図 1 1 1）に表示し、利用者 I D の入力及びパスワードの入力を待つ。利用者

は、図122のエリア8201に利用者IDを入力し、エリア8202にパスワードを入力することができる。利用者ID8201及びパスワード8202を入力させることにより、セキュリティを強化し、不正者のログインを防止できる。

【0314】

利用者はセキュリティ保護のため、パスワード変更ボタン8204をマウスでクリックすることにより、パスワードの変更を行うことができる。利用者がログインボタン8203をマウスでクリックすると、入力した利用者ID及びパスワードが正しければ、ログインされ、ステップSHC2へ進む。ステップSHC2では、図123に示すメニュー画面を表示する。

【0315】

図123は、図121にステップSHC2のメニュー画面を示す。表示エリア8111には、何時の情報であるかが表示される。表示エリア8112には、ログインユーザID（利用者ID）が表示される。表示エリア8113には、ログインした年月日が表示される。表示エリア8114には、ログインしたIPアドレスが表示される。このIPアドレスを基に、どの部門の利用者かが分かる。これら表示エリア8112～8114の表示により、画面をハードコピーした時の出所を特定できるので、外部への情報漏れを防止することができる。すなわち、ハードコピーした利用者の情報が表示されているので、利用者がハードコピーすることを躊躇する効果がある。

【0316】

メニュー項目8211として、「1. 部品売り込み最新情報」、「2. 代替部品情報検索」、「3. 耳寄り最新情報」、「4. 取引先担当者最新情報及び情報検索」が表示される。利用者は、この4項目の中から所望の項目を選択することができる。項目の1番を選択すると、図121のステップSHC3へ進み、部品情報一覧画面を表示する。項目の2番を選択すると、図121のステップSHC6へ進み、図126に示す代替部品情報検索画面を表示する。項目の3番を選択すると、図121のステップSHC9へ進み、図129に示す耳寄り情報一覧画面を表示する。項目の4番では、「取引先担当者最新情報」と「取引先担当者最新検索」の2つのうちのいずれかを選択すると、図121のステップSHC12

へ進み、図 1 3 3 の取引先担当者情報・一覧画面又は図 1 3 2 の取引先担当者検索画面を表示する。

【 0 3 1 7 】

図 1 2 1 のステップ S H C 3 では、部品情報一覧画面を表示する。部品情報一覧画面は、後に示す図 1 2 8 の一覧画面と同様であり、部品情報の一覧を表示する。その一覧画面において、部品情報の検索ボタンをマウスでクリックすると、ステップ S H C 4 へ進み、図 1 2 4 に示す部品情報検索画面を表示する。また、所定の部品情報の詳細表示ボタンをマウスでクリックすると、ステップ S H C 5 へ進み、図 1 2 5 に示す部品情報詳細画面を表示する。

【 0 3 1 8 】

図 1 2 4 は、図 1 2 1 に示すステップ S H C 4 の部品情報検索画面を示す。表示エリア 8 1 1 1 ～ 8 1 1 4 の表示は上記と同様である。メニューボタン 8 1 2 1 がクリックされると、図 1 2 3 に示すメニュー画面を表示する。バックページボタン 8 1 2 2 がクリックされると、1 つ前の表示画面に戻る。ログアウトボタン 8 1 2 3 がクリックされると、調達情報システムは終了する。メールボタン 8 1 2 4 がクリックされると、メールの送信又は受信メールの確認等を行うことができる。

【 0 3 1 9 】

検索条件入力エリア 8 2 2 1 には、業種、メーカーコード、メーカー名、型名、機能分類コード、部品状態、規制物資、前工程の原産国、後工程の原産国、取引先コード、取引先名称、我社部番、更新年月日を入力することができる。各項目の「参照」をマウスでクリックすれば、各項目を検索して表示するので、所望の項目を容易に入力することができる。クリアボタン 8 2 2 3 をマウスでクリックすると、上記の入力条件をクリアすることができる。検索ボタン 8 2 2 2 をマウスでクリックすると、上記の入力条件を満たす部品情報を検索し、図 1 2 1 のステップ S H C 3 へ進み、部品情報一覧画面を表示する。部品情報一覧画面において、所定の部品情報の詳細表示を指示すると、図 1 2 1 のステップ S H C 5 へ進み、図 1 2 5 に示す部品情報詳細画面を表示する。

【 0 3 2 0 】

図125は、図121に示すステップSHC5の部品情報詳細画面を示す。表示エリア8111～8114の表示及びボタン8121～8124は上記と同様である。部品情報の詳細表示エリア8231には、タイトル、型名、メーカー、業種、機能分類、情報番号、取引先名称、取引先コード、管理部署名、担当者氏名、担当者コード、前工程の原産国、後工程の原産国、規制物資、製品状態、保守日程、廃止日程、サンプル日程、仕様書日程、紹介文、我社部番、我社寸法、パッケージを表示する。

【0321】

図126は、図121に示すステップSHC6の代替部品情報検索画面を示す。表示エリア8111～8114の表示及びボタン8121～8124は上記と同様である。検索条件入力エリア8241には、代替検索したい型名、代替検索したい機能分類コード、代替検索したいメーカー名称を入力することができる。クリアボタン8244をマウスでクリックすると、上記の入力条件をクリアすることができる。検索ボタン8243をマウスでクリックすると、上記の入力条件を満たす代替部品を検索し、ステップSHC7へ進み、図128に示す代替部品情報一覧画面を表示する。

【0322】

なお、上記の機能分類コードの「参照」エリア8242をマウスでクリックすると、図121のステップSHC16へ進み、図127に示すコードヘルプ画面を表示する。条件入力エリア8251には、テーブル、検索項目、一致タイプ、検索キーワードを入力することができる。その後、検索ボタン8252をマウスでクリックすると、上記の入力条件を満たす機能分類コード等を検索して表示する。これにより、機能分類コード等の入力が容易になる。機能部類コード以外の項目も検索することができる。

【0323】

図128は、図121に示すステップSHC7の代替部品情報一覧画面を示す。表示エリア8111～8114の表示及びボタン8121～8124は上記と同様である。一覧エリア8266には、上記の入力条件を満たす代替部品情報の一覧を表示する。具体的には、一覧エリア8266には、更新年月日、検索型名

、機能分類、メーカー、代替部品の型名、メーカー等を表示する。前リストボタン 8 2 6 1 をマウスでクリックすると、現在表示されている代替部品情報の前のリストを表示する。先頭番号エリア 8 2 6 2 に表示したい代替部品情報の先頭番号を入力し、ボタン 8 2 6 3 をマウスでクリックすると、その先頭番号から代替部品情報を表示する。並び換え項目 8 2 6 4 を入力し、ソートボタン 8 2 6 5 をマウスでクリックすると、その項目の順で代替部品情報をソートして表示する。各代替部品情報のボタン 8 2 6 7 をマウスでクリックすると、図 1 2 1 のステップ S H C 8 へ進み、図 1 2 5 と同様の代替部品情報詳細画面を表示する。代替部品情報詳細画面は、図 1 2 5 の詳細画面と同様である。また、検索画面ボタン 8 2 6 8 をマウスでクリックすると、図 1 2 1 のステップ S H C 6 へ戻り、図 1 2 6 の代替部品情報検索画面を表示する。利用者は、現在使用している部品に代わる有利な部品を探すことができる。

【 0 3 2 4 】

図 1 2 9 は、図 1 2 1 に示すステップ S H C 9 の耳寄り情報一覧画面を示す。表示エリア 8 1 1 1 ～ 8 1 1 4 の表示及びボタン 8 1 2 1 ～ 8 1 2 4 は上記と同様である。一覧エリア 8 2 8 1 には、耳寄り情報の一覧を表示する。具体的には、一覧エリア 8 2 8 1 には、耳寄り情報の番号、担当者名、更新年月日、業種、タイトル、取引先、情報内容、ホームページアドレス、対象期間（開始日）、対象期間（終了日）を表示する。並び換え項目 8 2 8 4 を入力し、ソートボタン 8 2 8 5 をマウスでクリックすると、その項目の順で耳寄り情報をソートして表示する。各耳寄り情報の担当者名エリア 8 2 8 3 をマウスでクリックすると、その取引先担当者の連絡先を表示する。また、各耳寄り情報の番号ボタン 8 2 8 2 をマウスでクリックすると、図 1 2 1 のステップ S H C 1 1 へ進み、図 1 3 1 に示す耳寄り情報詳細画面を表示する。また、検索画面ボタン 8 2 8 6 をマウスでクリックすると、図 1 2 1 のステップ S H C 1 0 へ進み、図 1 3 0 の耳寄り情報検索画面を表示する。

【 0 3 2 5 】

図 1 3 0 は、図 1 2 1 に示すステップ S H C 1 0 の耳寄り情報検索画面を示す。表示エリア 8 1 1 1 ～ 8 1 1 4 の表示及びボタン 8 1 2 1 ～ 8 1 2 4 は上記と

同様である。条件入力エリア8271には、業種、取引先コード、取引先名、情報内容、タイトル、更新年月日を入力することができる。各項目の「参照」エリア8272をマウスでクリックすることにより、図121のステップSHC16へ進み、コードヘルプ画面（図127）を表示する。また、クリアボタン8275をマウスでクリックすると、上記の入力条件はクリアされる。条件入力後、検索ボタン8274をマウスでクリックすると、上記の入力条件を満たす耳寄り情報を検索し、図121のステップSHC9へ進み、図129の耳寄り情報一覧画面を表示する。

【0326】

図131は、図121に示すステップSHC11の耳寄り情報詳細画面を示す。表示エリア8111～8114の表示及びボタン8121～8124は上記と同様である。詳細表示エリア8291には、上記で指定された所定の耳寄り情報の詳細を表示する。具体的には、詳細表示エリア8291には、取引先名称、取引先コード、所属部署名、管理部署コード、担当者氏名、担当者コード、業種、情報番号、情報内容、ホームページアドレス、タイトル、詳細文、対象期間（開始日）、対象期間（終了日）、削除希望年月日を表示する。取引先売込みシステム9は、原則として削除希望年月日に、その耳寄り情報をデータベース9aから削除する。検索画面ボタン8292をマウスでクリックすると、図121のステップSHC10へ戻り、図130の耳寄り情報検索画面を表示する。

【0327】

図132は、図121に示すステップSHC12の取引先担当者検索画面を示す。表示エリア8111～8114の表示及びボタン8121～8124は上記と同様である。条件入力エリア8301には、業種、取引先コード、取引先名、取扱メーカーコード、取扱メーカー名称を入力することができる。各項目の「参照」エリア8302をマウスでクリックすると、図121のステップSHC16へ進み、コードヘルプ画面（図127）を表示する。また、クリアボタン8304をマウスでクリックすると、上記の入力条件をクリアする。また、検索ボタン8303をマウスでクリックすると、上記の入力条件を満たす取引先担当者情報を検索し、図121のステップSHC13へ進み、図133に示す取引先担当者

一覧画面を表示する。

【0328】

図133は、図121に示すステップSHC13の取引先担当者一覧画面を示す。表示エリア8111～8114の表示及びボタン8121～8124は上記と同様である。一覧エリア8311には、上記の入力条件を満たす取引先担当者情報の一覧を表示する。具体的には、一覧エリア8311には、取引先担当者情報の番号、更新年月日、取引先コード、取引先名称、業種、担当者氏名、電話番号、Eメールアドレス、管理者マークを表示する。各担当者情報のEメールアドレスエリア8313をマウスでクリックすると、図121のステップSHC17へ進み、そのEメールアドレス宛のメール送信を行うことができる。また、各担当者情報の番号ボタン8312をマウスでクリックすると、図121のステップSHC14へ進み、図134に示す取引先担当者詳細画面を表示する。また、検索画面ボタン8314をマウスでクリックすると、図121のステップSHC12へ戻り、図132の取引先担当者検索画面を表示する。

【0329】

図134は、図121に示すステップSHC14の取引先担当者詳細画面を示す。表示エリア8111～8114の表示及びボタン8121～8124は上記と同様である。詳細表示エリア8321には、上記で指定された所定の担当者情報の詳細を表示する。具体的には、詳細表示エリア8321には、業種、取引先名称、取引先コード、所属部署名、管理部署コード、担当者役職名、管理者マーク、担当者氏名、住所、郵便番号、電話番号、FAX番号、Eメールアドレス、ホームページアドレス、担当地区又は事業所、主要取扱製品、取扱メーカー、コメント、更新年月日、参加申請日を表示する。Eメールアドレスエリア8322をマウスでクリックすると、図121のステップSHC17へ進み、そのEメールアドレス宛にメール送信することができる。また、ホームページアドレスエリア8323をマウスでクリックすると、図121のステップSHC15へ進み、そのホームページアドレスのホームページを表示する。また、検索画面ボタン8324をマウスでクリックすると、図121のステップSHC12へ戻り、図132の取引先担当者検索画面を表示する。

【0330】

以上のように、取引先は、取引先売込みシステム9に対して積極的に売込みを行うことができる。取引先売込みシステム9を有する自社の社員は、取引先からの売込み情報を時間的及び距離的制約にとらわれずに閲覧することができる。また、売込み情報を共有化することにより、貴重な情報資源を有意義に活用することができる。また、自社の社員は、取引先に赴かなくても、最新の動向及び情報を知り、先手の活動を行うことができる。取引先売込みシステム9は、取引先の営業活動をも支援するものであり、取引先が売込み情報を登録して送信することにより、全社員に一括して情報を提供することができる。

【0331】

また、ある部品が生産中止になるとの情報を受け取ったときには、自社内の設計部門の設計図面作成用データベースにその情報を提供すれば、その設計部門では、その部品を今後は使用しないように設計対象からその部品を削除することができる。

【0332】

なお、上記の売込み情報は、部品情報のみならず、原材料情報及び製品情報にも適用することができる。また、上記では取引先のホームページアドレスを表示し、そのアドレスを指定すると、そのアドレスのホームページを表示する例を示したが、該当する製品案内等が取引先のホームページにあれば、その製品案内等が掲載されているホームページアドレスを表示し、そのアドレスを指定すると、そのアドレスが示す製品案内等のホームページを表示することもできる。

【0333】

また、インターネットを介して自社と取引のあるところ（契約：有）とまだ取引がないところ別に、情報を登録することができる。さらに、登録時には、自社の誰（事業部門別等）に送りたいのかを指定できるようにすることができる。このインターネットでは、取引先カード情報システム、取引先マップシステム、部品又は製品の型名、メーカー情報、環境情報等も登録、変更、削除できるようにすることができる。

【0334】

[1 0 . 掲 示 板 メール シ ス テ ム]

図 1 3 5 は、図 1 に示す掲示板メールシステム 1 0 の構成を示すブロック図である。掲示板メールシステム 1 0 は、W e b サーバ 9 0 0 1、及びスクリプトサーバ 9 0 0 2 を有し、掲示板情報提供システム及び取引先評価システムに分けることができる。W e b サーバ 9 0 0 1 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って掲示板情報提供システムを動作させ、第 1 のサービス 9 0 0 3 及び第 2 のサービス 9 0 0 4 を提供する。第 1 のサービス 9 0 0 3 は、電子会議室のサービスを有する。第 2 のサービス 9 0 0 4 は、メンバー表一覧、会議開催案内、議事録一覧、フリートーク、オンラインマニュアル等のサービスを有する。第 1 のサービス 9 0 0 3 及び第 2 のサービス 9 0 0 4 は、部品又は原材料の掲示板情報である。スクリプトサーバ 9 0 0 2 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って取引先評価システムを動作させ、第 3 のサービス 9 0 0 5 を提供する。第 3 のサービス 9 0 0 5 は、取引先評価のサービスを有する。

【 0 3 3 5 】

利用者のコンピュータ 3 1 は、W e b サーバ 9 0 0 1 にアクセスすることにより、第 1 のサービス（電子会議室） 9 0 0 3 を介して他のメンバーとの間で意見交換を行ったり、第 2 のサービス（メンバー表一覧等） 9 0 0 4 を介して種々の資料を閲覧することができる。また、各拠点の利用者のコンピュータ 3 1 は、取引先評価シートに各取引先の評価点を入力してスクリプトサーバ 9 0 0 2 に送信する。スクリプトサーバ 9 0 0 2 は、各拠点から取引先評価シートを受信すると、全拠点の取引先評価シートに入力された評価点を自動集計する。利用者のコンピュータ 3 1 は、スクリプトサーバ 9 0 0 2 からメール等により各取引先の評価結果を受信したり、スクリプトサーバ 9 0 0 2 にアクセスすることにより、各取引先の評価結果を閲覧して活用することができる。

【 0 3 3 6 】

図 1 3 6 は、掲示板情報提供システム（W e b サーバ 9 0 0 1）の処理を示すフローチャートである。利用者のコンピュータ 3 1（図 1 3 5）が W e b サーバ 9 0 0 1（掲示板情報提供システム）にアクセスすると、掲示板情報提供システ

ムは以下の処理を行う。ステップS I A 1では、図1 3 9に示すログイン画面を利用者のコンピュータ3 1に表示し、利用者I Dの入力及びパスワードの入力を待つ。利用者は、図1 3 9のエリア9 1 0 1に利用者I Dを入力し、エリア9 1 0 2にパスワードを入力することができる。利用者I D 9 1 0 1及びパスワード9 1 0 2を入力させることにより、セキュリティを強化し、不正者のログインを防止できる。

【0 3 3 7】

利用者はセキュリティ保護のため、パスワード変更ボタン9 1 0 4をマウスでクリックすることにより、パスワードの変更を行うことができる。利用者がログインボタン9 1 0 3をマウスでクリックすると、入力した利用者I D及びパスワードが正しければ、ログインされ、ステップS I A 2へ進む。ステップS I A 2では、図1 4 0に示すメニュー画面を表示する。

【0 3 3 8】

図1 4 0は、図1 3 6に示すステップS I A 2のメニュー画面を示す。表示エリア9 1 3 1には、タイトルを表示する。表示エリア9 1 3 2には、アクセス件数を表示する。メニューエリア9 1 3 3には、選択メニュー項目として、「1. 電子会議室」、「2. メンバー一覧」、「3. 会議開催案内」、「4. 議事録一覧」、「5. フリートーク」、「6. オンラインマニュアル」、「7. サポート窓口」を表示する。各番号を選択すると、ステップS I A 3の判断ステップを介して、ステップS I A 4～S I A 1 0のいずれかに進む。

【0 3 3 9】

1 番を選択すると、ステップS I A 4へ進み、電子会議室処理を行う。電子会議室処理は、情報交換を目的とした電子掲示板であり、利用者が自由に書き込みを行うことができ、他の利用者の全員がその書き込み内容を見ることができる。2 番を選択すると、ステップS I A 5へ進み、メンバー一覧処理を行う。メンバー一覧処理は、各組織のメンバー表を表示する。3 番を選択すると、ステップS I A 6へ進み、会議開催案内処理を行う。会議開催案内処理は、会議開催案内の掲示板情報を提供する。4 番を選択すると、ステップS I A 7へ進み、議事録一覧処理を行う。議事録一覧処理は、会議の議事録を保存しておき、利用者の閲覧

を可能にする。5番を選択すると、ステップS I A 8へ進み、フリートーク処理を行う。フリートーク処理は、自由な意見交換を目的とした電子掲示板であり、利用者が自由に書き込みを行うことができ、その書き込みを他の利用者の全員が共有することができる。6番を選択すると、ステップS I A 9へ進み、オンラインマニュアル処理を行う。オンラインマニュアル処理は、掲示板情報提供システムの使用方法の取扱説明書をオンラインで提供する。7番を選択すると、ステップS I A 10へ進み、サポート窓口処理を行う。サポート窓口処理は、掲示板情報提供システムのサポート窓口への連絡方法を知らせ、Eメール等によりサポート窓口への問い合わせを可能にする。

【0340】

図137は、図136に示すステップS I A 4の電子会議室処理を示すフローチャートである。ステップS I B 1では、図141に示す電子会議室のメニュー画面を表示する。表示エリア9131～9133の表示は上記と同様である。電子会議室の選択メニュー項目として、新規発言9141、カテゴリ別9142、作成者別9143、作成日順9144を表示する。各項目を選択すると、ステップS I B 2の判断ステップを介して、ステップS I B 3～S I B 6のいずれかに進む。カテゴリ別9142を選択すると、ステップS I B 3へ進み、カテゴリ別処理を行う。作成者別処理9143を選択すると、ステップS I B 4へ進み、作成者別処理を行う。作成日順9144を選択すると、ステップS I B 5へ進み、作成日順処理を行う。新規発言9141を選択すると、ステップS I B 6へ進み、新規発言処理を行う。

【0341】

図138は、図137に示すステップS I B 3のカテゴリ別処理の詳細を示すフローチャートである。ステップS I C 1では、図142に示すカテゴリ別の電子会議室画面を表示する。表示エリア9131～9133の表示は上記と同様である。カテゴリ別エリア9154には、カテゴリ別に分類された電子会議室の項目を列挙表示する。入力ボックス9151に検索したい語句を入力し、検索ボタン9152をマウスでクリックすると、入力した語句が含まれる文書を持つ電子会議室を検索してカテゴリ別エリア9154に表示する。カテゴリ別エリア91

54内の所望の電子会議室項目のエリアをマウスでクリックすると、図138のステップSIC2の判断ステップを介してステップSIC3へ進み、図143に示す発言内容画面を表示する。

【0342】

図143は、図138に示すステップSIC3の発言内容画面を示す。表示エリア9131～9133の表示は上記と同様である。発言内容エリア9161には、上記で選択した電子会議室での発言内容を表示する。カテゴリ別エリア9162をマウスでクリックすると、図138のステップSIC1へ戻り、図142のカテゴリ別画面を表示する。また、作成者別エリア9163をマウスでクリックすると、図137のステップSIB4へ進む。また、作成日順エリア9164をマウスでクリックすると、図137のステップSIB5へ進む。また、この電子会議室の文書への返答を行う場合には、レスポンスエリア9165をマウスでクリックすれば、図138のステップSIC4へ進み、図144に示すレスポンス画面を表示する。

【0343】

図144は、図138に示すステップSIC4のレスポンス画面を示す。表示エリア9131～9133の表示は上記と同様である。レスポンス画面では、タイトル9171、作成者9172、返答内容9173を入力することができる。入力後、送信ボタン9177をマウスでクリックすると、その入力した内容を返信（送信）する。なお、カテゴリ別エリア9174をマウスでクリックすると、図138のステップSIC1へ戻り、図142のカテゴリ別画面を表示する。また、作成者別エリア9175をマウスでクリックすると、図137のステップSIB4へ進む。また、作成日順エリア9176をマウスでクリックすると、図137のステップSIB5へ進む。

【0344】

図142のカテゴリ別画面において、新規発言エリア9153をマウスでクリックすると、図138のステップSIC2を介してステップSIC5へ進み、図145に示す新規発言画面を表示する。また、図137のステップSIB6においても、図145に示す新規発言画面を表示する。

【 0 3 4 5 】

図 1 4 5 は、新規発言画面を示す。表示エリア 9 1 3 1 ～ 9 1 3 3 の表示は上記と同様である。新規発言画面では、必須入力項目 9 1 8 1、入力項目 9 1 8 2、発言内容 9 1 8 3 を入力することができる。必須入力項目 9 1 8 1 では、タイトル、作成者、カテゴリを入力することができる。入力項目 9 1 8 2 では、取引先コード、取引先名称、メーカーコード、メーカー名称、部番、型名を入力することができる。リセットボタン 9 1 8 5 をマウスでクリックすると、入力した内容をリセットすることができる。また、登録ボタン 9 1 8 4 をマウスでクリックすると、図 1 3 8 のステップ S I C 6 へ進み、図 1 4 6 に示す登録画面を表示する。

【 0 3 4 6 】

図 1 4 6 は、図 1 3 8 に示すステップ S I C 6 の登録画面を示す。表示エリア 9 1 3 1 ～ 9 1 3 3 の表示は上記と同様である。上記の登録された発言内容は送信され、約 5 分後に電子会議室に登録されて反映される。約 5 分後に再読み込みを行えば、送信した発言内容が電子掲示板に表示される。カテゴリ別エリア 9 1 9 1 をマウスでクリックすると、図 1 3 8 のステップ S I C 1 へ戻り、図 1 4 2 のカテゴリ別画面を表示する。また、作成者別エリア 9 1 9 2 をマウスでクリックすると、図 1 3 7 のステップ S I B 4 へ進む。また、作成日順エリア 9 1 9 3 をマウスでクリックすると、図 1 3 7 のステップ S I B 5 へ進む。

【 0 3 4 7 】

以上、図 1 3 7 に示すステップ S I B 3 のカテゴリ別処理の詳細を説明したが、ステップ S I B 4 の作成者別処理及びステップ S I B 5 の作成日順処理は、作成者別及び作成日順に電子会議室を表示する点を除けば、上記のカテゴリ別処理と同様である。

【 0 3 4 8 】

図 1 4 7 は、図 1 3 6 に示すステップ S I C 5 のメンバー一覧処理において表示するメンバー表画面を示す。表示エリア 9 1 3 1 ～ 9 1 3 3 の表示は上記と同様である。メンバー表画面には、各組織のメンバー表 9 2 0 1 を表示する。例えば、メンバー表 9 2 0 1 には、メンバー番号、役職、事業所名、所属部名、所属

課名、氏名等を表示する。

【 0 3 4 9 】

図 1 4 8 は、図 1 3 6 に示すステップ S I C 6 の会議開催案内処理において表示する会議開催案内画面を示す。表示エリア 9 1 3 1 ～ 9 1 3 3 の表示は上記と同様である。会議開催案内エリア 9 2 1 3 には、会議開催案内の項目を列挙表示する。具体的には、会議開催案内エリア 9 2 1 3 には、各項目の連絡事項及び発行日付を表示する。入力ボックス 9 2 1 1 に検索したい語句を入力し、検索ボタン 9 2 1 2 をマウスでクリックすると、入力した語句が含まれる文書を持つ会議開催案内を検索して会議開催案内エリア 9 2 1 3 に表示する。会議開催案内エリア 9 2 1 3 内の所望の会議開催案内の項目をマウスでクリックすると、図 1 4 9 に示す会議開催案内の内容画面を表示する。

【 0 3 5 0 】

図 1 4 9 は、会議開催案内の内容画面を示す。表示エリア 9 1 3 1 ～ 9 1 3 3 の表示は上記と同様である。会議開催案内 9 2 2 1 には、例えば、会議開催の日時、場所、議題等の会議開催案内の内容を表示する。この会議開催案内 9 2 2 1 を印刷することもできる。

【 0 3 5 1 】

図 1 5 0 は、取引先評価システムの処理を示すフローチャートである。ステップ S I D 1 では、利用者が取引者の評価シートを入力を要求すると、図 1 5 1 に示す評価シートの入力画面が利用者のコンピュータ 3 1 に表示される。利用者は、評価対象の取引先 9 2 3 1、評価者 9 2 3 2、取引先の評価点 9 2 4 1 を入力する。評価点 9 2 4 1 は、具体的には、品質の評価点 9 2 3 3、コストの評価点 9 2 3 4、納期の評価点 9 2 3 5、対応力（営業力）の評価点 9 2 3 6、技術力の評価点 9 2 3 7 を入力する。対応力の評価点は、例えば図面の設計変更に対応可能であるか否か、又は対応可能である場合の対応力の評価である。評価点 9 2 3 3 ～ 9 2 3 7 は、例えばそれぞれ 1 0 点満点で評価する。また、評価者は、評価点数を入力する他、評価項目をチェックするだけでよく、それらチェック項目を基に自動的に評価点を付けるようにしてもよい。送信ボタン 9 2 3 8 をマウスでクリックすると、図 1 5 0 のステップ S I D 2 へ進み、評価シートをスクリプ

トサーバ 9 0 0 2 (図 1 3 5) に送信する。また、クリアボタン 9 2 3 9 をマウスでクリックすると、上記の入力をクリアすることができる。また、終了ボタン 9 2 4 0 をマウスでクリックすると、処理を終了する。

【 0 3 5 2 】

図 1 5 2 は、スクリプトサーバ 9 0 0 2 (図 1 3 5) が行う取引先評価システムの処理を示すフローチャートである。ステップ S I E 1 では、スクリプトサーバ 9 0 0 2 が、上記の評価シートを各拠点の利用者のコンピュータ 3 1 から受信する。ステップ S I E 2 では、各拠点から受信した評価シートを自動集計し、取引先毎の評価点を算出し、取引先のランキング付けを行う。ステップ S I E 3 では、利用者の要求に応じて、図 1 5 3 に示す評価結果画面を利用者のコンピュータ 3 1 に表示する。評価結果表 9 2 5 1 には、取引先のランキング、取引先名、総合評価点を表示する。利用者は、他の拠点を含めた各取引先の総合評価を知り、今後の対応を検討することができる。なお、上記の評価結果表 9 2 5 1 を E メールで利用者のコンピュータ 3 1 に送信してもよい。

【 0 3 5 3 】

以上のように、掲示板情報提供システムは、電子会議室、メンバー表一覧、会議開催案内、議事録一覧、フリートークを含む部品又は原材料の掲示板情報を利用者に提供することにより、利用者は、種々の情報を共有したり意見交換することができ、種々の情報を迅速に入手することができる。なお、利用者が掲示板情報提供システムにログインすると、利用者が所属する組織毎に、又は利用者が扱う部品又は原材料の種類毎に、別の電子会議室、メンバー表一覧、会議開催案内、議事録一覧、フリートーク、オンラインマニュアル、サポート窓口にアクセスするようにしてもよい。例えば、電子部品とメカ部品に分けることができる。

【 0 3 5 4 】

取引先評価システムは、各拠点における取引先の評価を集計し、取引先毎の総合評価点を算出し、ランキング付けすることにより、取引先の客観的な評価を行うことができる。各拠点の利用者は、他の拠点における各取引先の評価を含めた総合評価を知ることができる。その評価は、今後の取引先との取引における重要な参考資料となる。

【 0 3 5 5 】

以上のように、調達情報システム 1 3 は、世界中の部品及び原材料を迅速かつ効率良く選定および調達することができる。大企業は、各事業所が異なる取引先又は同一の取引先から異なる単価で部品又は原材料を購入していることがあるが、調達情報システム 1 3 によれば、各事業所の調達情報を入手し、その調達情報を基になるべく安く部品又は原材料を購入することができる。また、各事業所の受発注を一括して行うことにより、多量の部品又は原材料を安価で購入することができる。

【 0 3 5 6 】

また、調達情報システム 1 3 は、企業の開発部門において以下の要求を満たすことができる。（１）他の事業所で使用している部品及び原材料を知りたい。（２）幅広い情報から最適な部品及び原材料を選択したい。（３）代替品の情報を入手したい。（４）新製品情報を早く入手したい。

【 0 3 5 7 】

また、調達情報システム 1 3 は、企業の調達部門において以下の要求を満たすことができる。（１）各事業所の同一部品及び原材料の購入単価及び取引先を知りたい。（２）代替品の情報を素早く知りたい。（３）取引先的能力（例えば生産種類や生産量）及び状況（市況を含めた世の中の動向を含む）を知りたい。（４）自社グループ全体の購入状況を知りたい。

【 0 3 5 8 】

なお、上記実施例の機能を実現するためのソフトウェアのプログラムコードをシステムに供給し、そのシステムのコンピュータ（CPUあるいはMPU）に格納されたプログラムに従って上記各種デバイスを動作させることによって実施したものも、本発明の範疇に含まれる。

【 0 3 5 9 】

この場合、上記ソフトウェアのプログラムコード自体が上述した実施例の機能を実現することになり、そのプログラムコード自体、およびそのプログラムコードをコンピュータに供給するための手段、例えばかかるプログラムコードを格納した記録媒体は本発明を構成する。かかるプログラムコードを記憶する記録媒体

としては、例えばフロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、磁気テープ、不揮発性のメモ리카ード、ROM等を用いることができる。

【0360】

上記実施例は、何れも本発明を実施するにあたっての具体化のほんの一例を示したものに過ぎず、これらによって本発明の技術的範囲が限定的に解釈されてはならないものである。すなわち、本発明はその精神、またはその主要な特徴から逸脱することなく、様々な形で実施することができる。

【0361】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、部品又は製品の価格情報を迅速かつ容易に取得し、部品や製品を迅速かつ効率良く選定および調達することができる。大企業は、各事業所の価格情報を入手し、その価格情報を基になるべく安く部品又は製品を購入することができる。また、各事業所の受発注を一括して行うことにより、多量の部品又は製品を安価で購入することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施例による調達情報システムの構成を示すブロック図である。

【図2】

本実施例による調達情報システムの処理を示すフローチャートである。

【図3】

本実施例による電子部品システムの構成を示すブロック図である。

【図4】

電子部品システムのデータベースの内容を示す概略図である。

【図5】

電子部品システムの処理を示すフローチャートである。

【図6】

図5に示す部番による検索処理の詳細を示すフローチャートである。

【図7】

図6に示すリンク処理の詳細を示すフローチャートである。

【図8】

図5に示す外部データベース情報検索処理の詳細を示すフローチャートである。

【図9】

図5に示す為替レート情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図10】

ログイン画面を示す図である。

【図11】

メニュー画面を示す図である。

【図12】

部番による検索を行う際の条件入力画面を示す図である。

【図13】

部番による検索結果の一覧画面を示す図である。

【図14】

部番による検索結果の続きの一覧画面を示す図である。

【図15】

部番による検索結果の詳細画面を示す図である。

【図16】

部番による検索結果の続きの詳細画面を示す図である。

【図17】

部番による代替部品の検索結果の一覧画面を示す図である。

【図18】

製品／商品情報画面を示す図である。

【図19】

部番別発注予定情報一覧画面を示す図である。

【図20】

検収単価履歴情報画面を示す図である。

【図21】

型名による検索を行う際の条件入力画面を示す図である。

【図 2 2】

外部データベース情報を検索する際の大分類選択画面を示す図である。

【図 2 3】

外部データベース情報を検索する際の中分類選択画面を示す図である。

【図 2 4】

外部データベース情報を検索する際の条件入力画面を示す図である。

【図 2 5】

外部データベース情報の検索結果の一覧画面を示す図である。

【図 2 6】

外部データベース情報の検索結果の部品情報画面を示す図である。

【図 2 7】

半導体及び液晶市場相場価格画面を示す図である。

【図 2 8】

為替レート通貨一覧画面を示す図である。

【図 2 9】

為替レート推移画面を示す図である。

【図 3 0】

本実施例による原材料システムの構成を示すブロック図である。

【図 3 1】

原材料システムのデータベースの内容を示す概略図である。

【図 3 2】

原材料システムの処理を示すフローチャートである。

【図 3 3】

図 3 2 に示す材料単価情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 3 4】

図 3 2 に示す材料使用情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 3 5】

図 3 3 に示す管理単価情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 3 6】

図 3 3 に示す海外単価情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 3 7】

図 3 4 に示す部番別使用情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 3 8】

図 3 4 に示す部番別材料費明細情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 3 9】

図 3 2 に示す材質別サマリ情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 4 0】

図 3 2 に示すスペック情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 4 1】

図 3 2 に示す色承認情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 4 2】

ログイン画面を示す図である。

【図 4 3】

メニュー画面を示す図である。

【図 4 4】

管理単価情報処理の検索画面を示す図である。

【図 4 5】

管理単価情報処理の検索結果の一覧画面を示す図である。

【図 4 6】

管理単価情報処理の検索結果の詳細画面を示す図である。

【図 4 7】

海外事業所実買単価情報処理の検索画面を示す図である。

【図 4 8】

海外事業所実買単価情報処理の検索結果の一覧画面を示す図である。

【図 4 9】

海外事業所実買単価情報処理の為替レート画面を示す図である。

【図 5 0】

部番別使用情報処理の検索画面を示す図である。

【図 5 1】

部番別使用情報処理の検索結果画面を示す図である。

【図 5 2】

部番別使用情報処理の製品情報画面を示す図である。

【図 5 3】

部番別材料費明細情報処理の検索画面を示す図である。

【図 5 4】

部番別材料費明細情報処理の検索結果画面を示す図である。

【図 5 5】

部番別材料費明細情報処理の製品情報画面を示す図である。

【図 5 6】

材質別サマリ情報処理の検索画面を示す図である。

【図 5 7】

材質別サマリ情報処理の金額情報画面を示す図である。

【図 5 8】

材質別サマリ情報処理の重量情報画面を示す図である。

【図 5 9】

スペック情報処理の検索画面を示す図である。

【図 6 0】

スペック情報処理の検索結果の一覧画面を示す図である。

【図 6 1】

スペック情報処理の検索結果の詳細画面を示す図である。

【図 6 2】

色承認情報処理の検索画面を示す図である。

【図 6 3】

色承認情報処理の検索結果画面を示す図である。

【図 6 4】

色承認情報処理のコメント画面を示す図である。

【図 6 5】

本実施例によるコストダウンサポートシステムの構成を示すブロック図である。

【図 6 6】

コストダウンサポートシステムのデータベースの内容を示す概略図である。

【図 6 7】

コストダウンサポートシステムの処理を示すフローチャートである。

【図 6 8】

ログイン画面を示す図である。

【図 6 9】

検収データ一覧画面を示す図である。

【図 7 0】

検収データ画面を示す図である。

【図 7 1】

検収データ画面を示す図である。

【図 7 2】

検収データ画面を示す図である。

【図 7 3】

本実施例による調達実績システムの構成を示すブロック図である。

【図 7 4】

調達実績システムのデータベースの内容を示す概略図である。

【図 7 5】

調達実績システムの処理を示すフローチャートである。

【図 7 6】

調達実績検索処理を示すフローチャートである。

【図 7 7】

ログイン画面を示す図である。

【図 7 8】

メニュー画面を示す図である。

【図 7 9】

調達実績検索画面を示す図である。

【図 8 0】

集計方法選択エリアを示す図である。

【図 8 1】

条件入力エリア及び条件入力補助画面エリアを示す図である。

【図 8 2】

調達実績検索結果画面を示す図である。

【図 8 3】

検索条件表示エリアを示す図である。

【図 8 4】

集計結果エリアを示す図である。

【図 8 5】

調達実績データ管理システムの処理を示すフローチャートである。

【図 8 6】

メニュー画面を示す図である。

【図 8 7】

期末処理画面を示す図である。

【図 8 8】

本実施例による取引先カード情報システムの構成を示すブロック図である。

【図 8 9】

取引先カード情報システムのデータベースの内容を示す概略図である。

【図 9 0】

取引先カード情報システムの処理を示すフローチャートである。

【図 9 1】

取引先カード情報検索処理を示すフローチャートである。

【図 9 2】

ログイン画面を示す図である。

【図 9 3】

メニュー画面を示す図である。

【図 9 4】

取引先カード情報検索画面を示す図である。

【図 9 5】

取引先カード情報検索結果画面を示す図である。

【図 9 6】

年度と法人と取引先の関係を示す図である。

【図 9 7】

本実施例による取引先マップシステムの構成を示すブロック図である。

【図 9 8】

取引先マップシステムのデータベースの内容を示す概略図である。

【図 9 9】

取引先マップシステムの処理を示すフローチャートである。

【図 1 0 0】

ログイン画面を示す図である。

【図 1 0 1】

登録状況表示画面を示す図である。

【図 1 0 2】

工場（加工先）検索画面を示す図である。

【図 1 0 3】

検索条件／結果表示画面を示す図である。

【図 1 0 4】

ヘルプ画面を示す図である。

【図 1 0 5】

地図表示画面を示す図である。

【図 1 0 6】

工場情報画面を示す図である。

【図 1 0 7】

2 次加工画面を示す図である。

【図 1 0 8】

経路検索（選択）画面を示す図である。

【図 1 0 9】

経路検索（入力）画面を示す図である。

【図 1 1 0】

経路表示画面を示す図である。

【図 1 1 1】

本実施例による取引先売込みシステムの構成を示すブロック図である。

【図 1 1 2】

取引先売込みシステムのデータベースの内容を示す概略図である。

【図 1 1 3】

取引先売込み情報登録処理を示すフローチャートである。

【図 1 1 4】

メニュー画面を示す図である。

【図 1 1 5】

部品情報登録画面を示す図である。

【図 1 1 6】

部番情報登録画面を示す図である。

【図 1 1 7】

置換（代替）情報登録画面を示す図である。

【図 1 1 8】

耳寄り情報登録画面を示す図である。

【図 1 1 9】

担当者情報登録画面を示す図である。

【図 1 2 0】

取引先売込みシステムの処理を示すフローチャートである。

【図 1 2 1】

取引先売込みシステムの処理を示すフローチャートである。

【図 1 2 2】

ログイン画面を示す図である。

【図 1 2 3】

メニュー画面を示す図である。

【図 1 2 4】

売込み情報検索画面を示す図である。

【図 1 2 5】

売込み情報詳細画面を示す図である。

【図 1 2 6】

代替部品情報検索画面を示す図である。

【図 1 2 7】

コードヘルプ画面を示す図である。

【図 1 2 8】

代替部品情報一覧画面を示す図である。

【図 1 2 9】

耳寄り情報一覧画面を示す図である。

【図 1 3 0】

耳寄り情報検索画面を示す図である。

【図 1 3 1】

耳寄り情報詳細画面を示す図である。

【図 1 3 2】

担当者情報検索画面を示す図である。

【図 1 3 3】

担当者情報一覧画面を示す図である。

【図 1 3 4】

担当者情報詳細画面を示す図である。

【図 1 3 5】

本実施例による掲示板メールシステムの構成を示すブロック図である。

【図 1 3 6】

掲示板情報提供システムの処理を示すフローチャートである。

【図137】

電子会議室処理の詳細を示すフローチャートである。

【図138】

カテゴリ別処理の詳細を示すフローチャートである。

【図139】

ログイン画面を示す図である。

【図140】

掲示板情報提供システムのメニュー画面を示す図である。

【図141】

電子会議室のメニュー画面を示す図である。

【図142】

カテゴリ別画面を示す図である。

【図143】

発言内容画面を示す図である。

【図144】

レスポンス画面を示す図である。

【図145】

新規発言画面を示す図である。

【図146】

登録画面を示す図である。

【図147】

メンバー一覧画面を示す図である。

【図148】

会議開催案内画面を示す図である。

【図149】

会議開催案内の詳細画面を示す図である。

【図150】

取引先評価システムの処理を示すフローチャートである。

【図151】

取引先の評価入力画面を示す図である。

【図 1 5 2】

取引先評価システムの処理を示すフローチャートである。

【図 1 5 3】

取引先評価結果画面を示す図である。

【図 1 5 4】

本実施例による全部番システムの構成を示すブロック図である。

【図 1 5 5】

全部番システムのデータベースの内容を示す概略図である。

【図 1 5 6】

全部番システムの処理を示すフローチャートである。

【図 1 5 7】

ログイン画面を示す図である。

【図 1 5 8】

メニュー画面を示す図である。

【図 1 5 9】

購入（検収）実績最新情報検索画面を示す図である。

【図 1 6 0】

購入（検収）実績最新情報一覧画面を示す図である。

【図 1 6 1】

購入（検収）実績履歴情報画面を示す図である。

【図 1 6 2】

単価経歴最新情報検索画面を示す図である。

【図 1 6 3】

単価経歴最新情報一覧画面を示す図である。

【図 1 6 4】

単価経歴履歴情報画面を示す図である。

【図 1 6 5】

注文予定情報検索画面を示す図である。

【図 1 6 6】

注文予定情報一覧画面を示す図である。

【図 1 6 7】

為替レート最新情報一覧画面を示す図である。

【図 1 6 8】

為替レート履歴情報画面を示す図である。

【図 1 6 9】

コードヘルプ画面を示す図である。

【符号の説明】

- 1 電子部品システム
- 2 原材料システム
- 3 メカ部品システム
- 4 全部番システム
- 5 コストダウンサポートシステム
- 6 調達実績システム
- 7 取引先カード情報システム
- 8 取引先マップシステム
- 9 取引先売込みシステム
- 1 0 掲示板メールシステム
- 1 a ~ 9 a データベース
- 1 1 部品情報システム
- 1 2 取引先システム
- 1 3 調達情報システム
- 2 1 購買システム
- 2 2 受発注システム
- 2 3 生産管理システム
- 3 1 利用者のコンピュータ
- 3 2 取引先のコンピュータ
- 3 3 情報提供者のコンピュータ

- 3 4 外部データベース
- 1 0 0 1 W e b サーバ
- 1 0 0 2 アプリケーションサーバ
- 1 0 0 3 データベースサーバ
- 1 0 0 4 画像サーバ
- 1 0 0 5 C D チェンジャ
- 1 0 0 6 運用マシン
- 1 0 0 7 更新用データベースサーバ
- 1 0 0 8 磁気テープ装置
- 1 0 1 2 外部データベース
- 1 0 1 3 データ加工部門
- 1 0 1 4 生産関係会社
- 1 0 1 5, 1 0 1 6, 1 0 1 7 情報源
- 1 0 1 8 半導体産業新聞
- 2 0 0 1 W e b サーバ
- 2 0 0 2 アプリケーションサーバ
- 2 0 0 3 データベースサーバ
- 2 0 0 6 運用マシン
- 2 0 0 7 更新用データベースサーバ
- 2 0 1 3 生産関係会社
- 2 0 1 1, 2 0 1 4 情報源
- 3 0 0 1 W e b サーバ
- 3 0 0 2 アプリケーションサーバ
- 3 0 0 3 データベースサーバ
- 3 0 0 4 運用マシン
- 3 0 0 5 更新用データベースサーバ
- 3 0 1 1 生産関係会社のコンピュータ
- 3 0 1 2 人事部門のコンピュータ
- 4 0 0 1 W e b サーバ

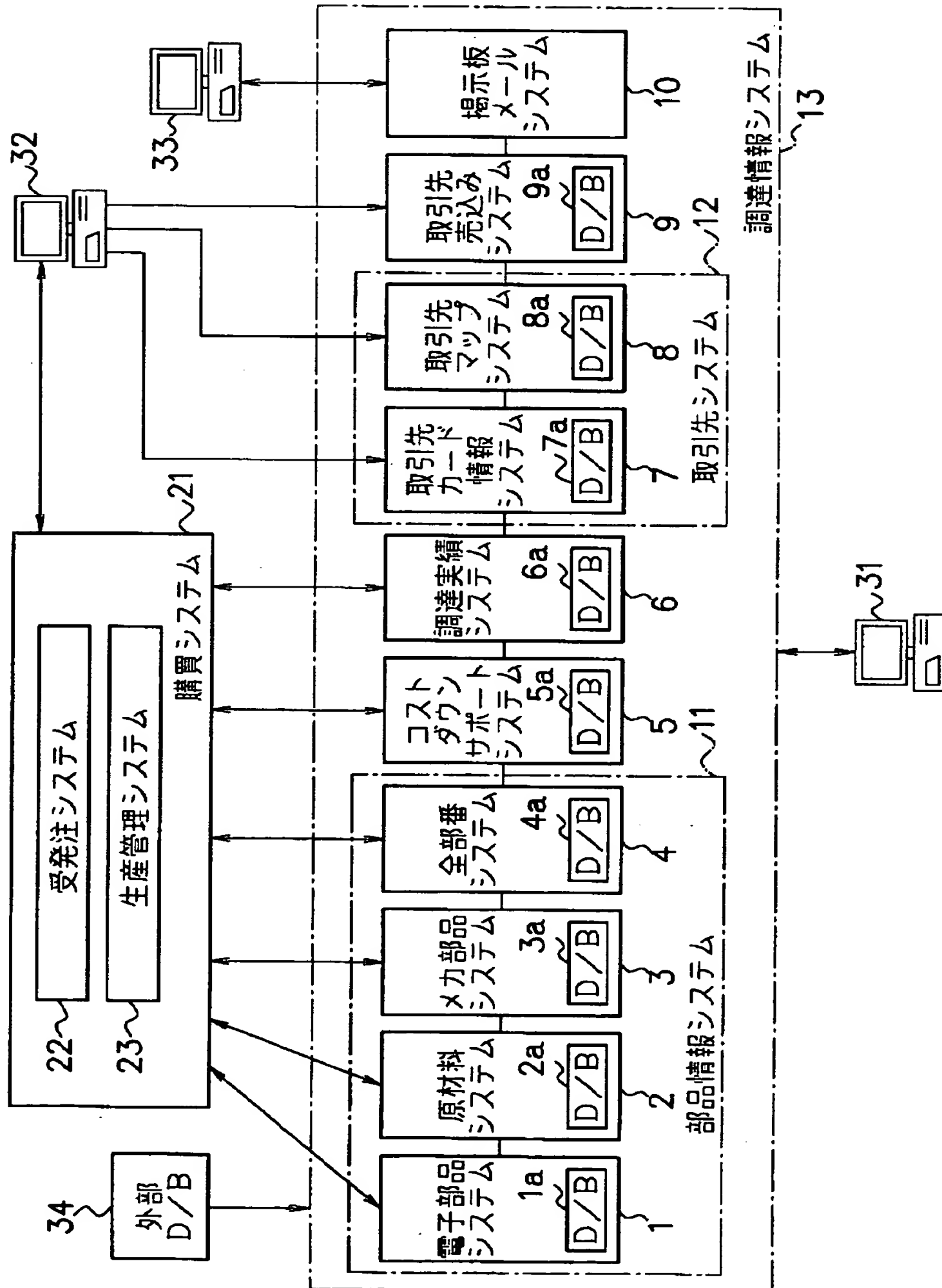
4 0 0 2 アプリケーションサーバ
 4 0 0 3 データベースサーバ
 4 0 0 4 運用マシン
 4 0 0 6 運用マシン
 4 0 1 1 各拠点
 4 0 1 2 各拠点のコンピュータ
 4 0 1 3 人事部門のコンピュータ
 5 0 0 1 W e bサーバ
 5 0 0 2 アプリケーションサーバ
 5 0 0 3 データベースサーバ
 5 0 0 4 運用マシン
 5 0 1 1 各拠点のコンピュータ
 5 0 1 2 人事部門のコンピュータ
 6 0 0 1 W e bサーバ
 6 0 0 2 アプリケーションサーバ
 6 0 0 3 データベースサーバ
 6 0 0 4 運用マシン
 6 0 0 5 イメージスキャナ
 6 0 1 1 取引先
 6 0 1 2 人事部門のコンピュータ
 7 0 0 1 W e bサーバ
 7 0 0 2 運用マシン
 7 0 0 3 S Q Lサーバ
 7 0 0 4 M a p I n f oサーバ
 7 0 0 5 各拠点のコンピュータ
 7 0 1 1 取引先
 7 0 1 2 人事部門のコンピュータ
 8 0 0 1 W e bサーバ
 8 0 0 2 アプリケーションサーバ

8 0 0 3 データベースサーバ
8 0 0 4 運用マシン
8 0 0 5 データベースサーバ
8 0 0 6 メールサーバ
8 0 0 7 管理者のコンピュータ
8 0 1 1 取引先のコンピュータ
8 0 1 2 人事部門のコンピュータ
9 0 0 1 W e b サーバ
9 0 0 2 スクリプトサーバ
9 0 0 3 第 1 のサービス
9 0 0 4 第 2 のサービス
9 0 0 5 第 3 のサービス

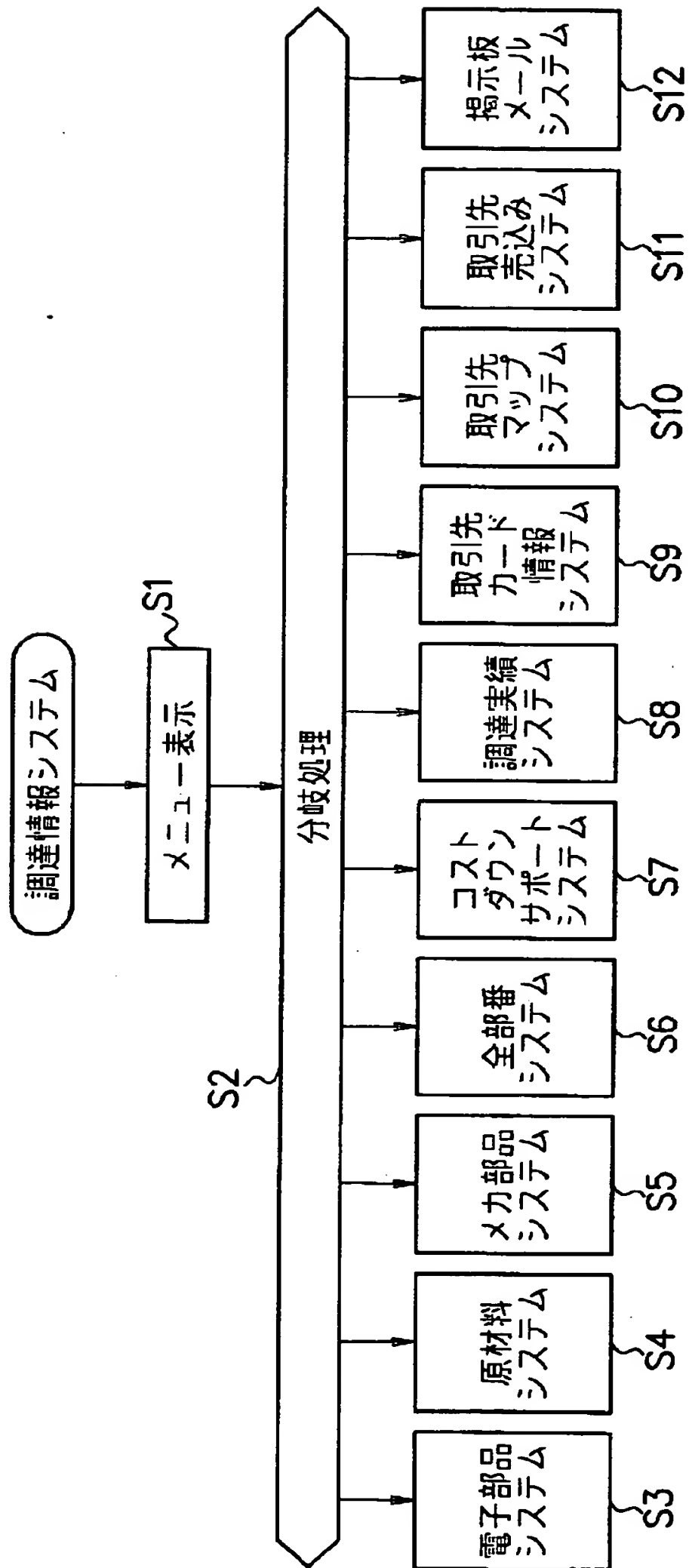
【書類名】

図面

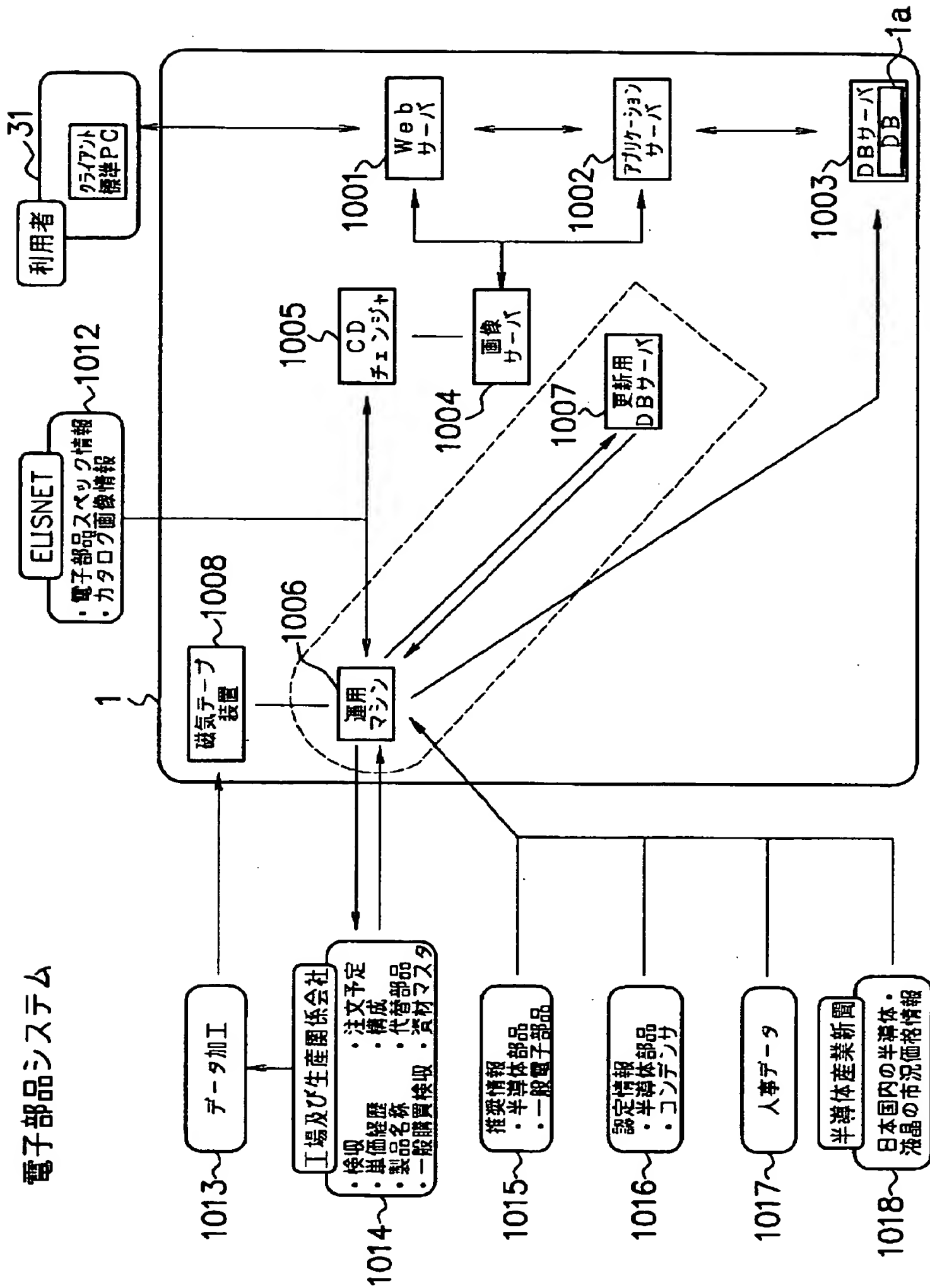
【図 1】



【図 2】



【図 3】

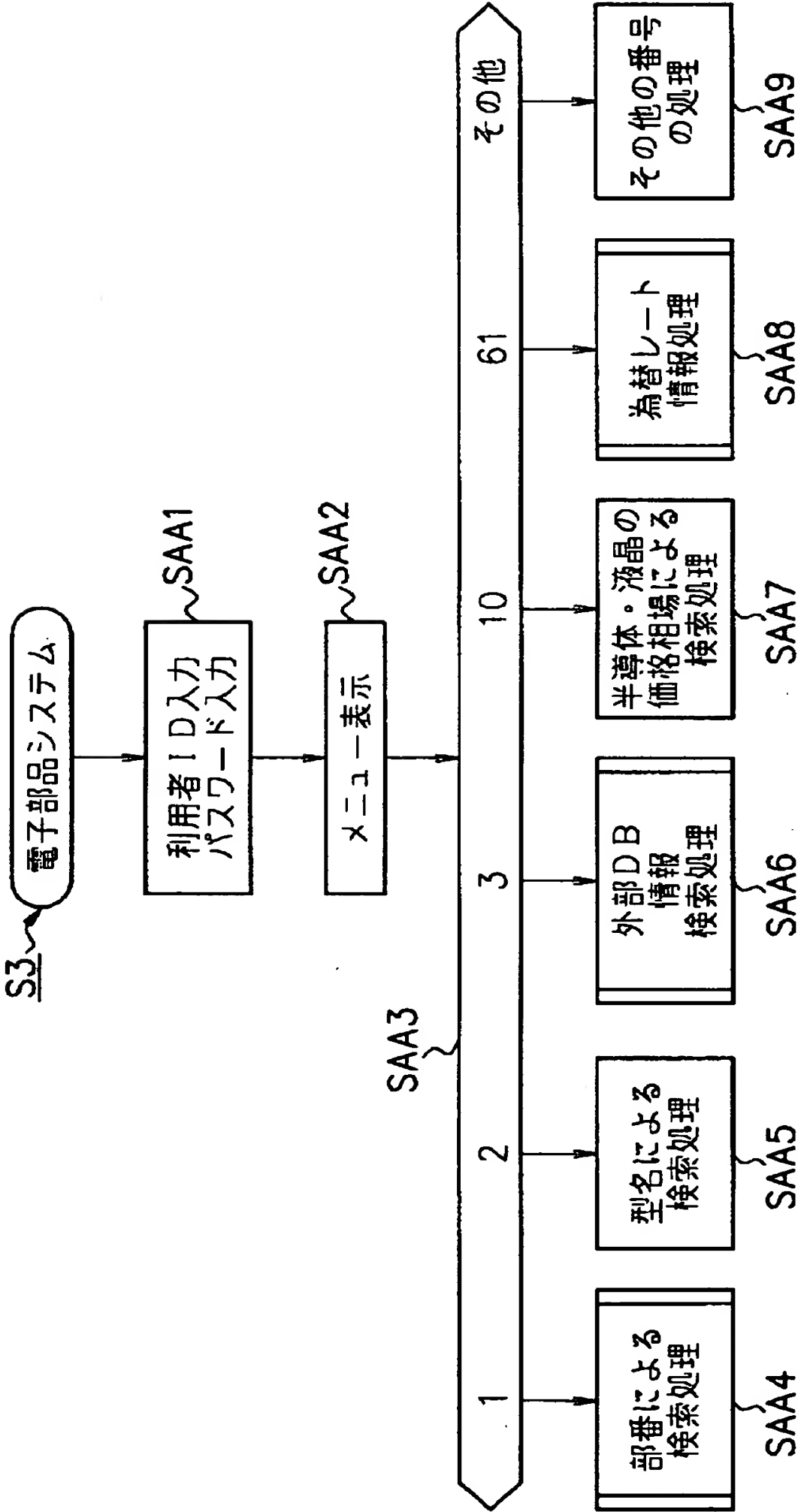


【図 4】

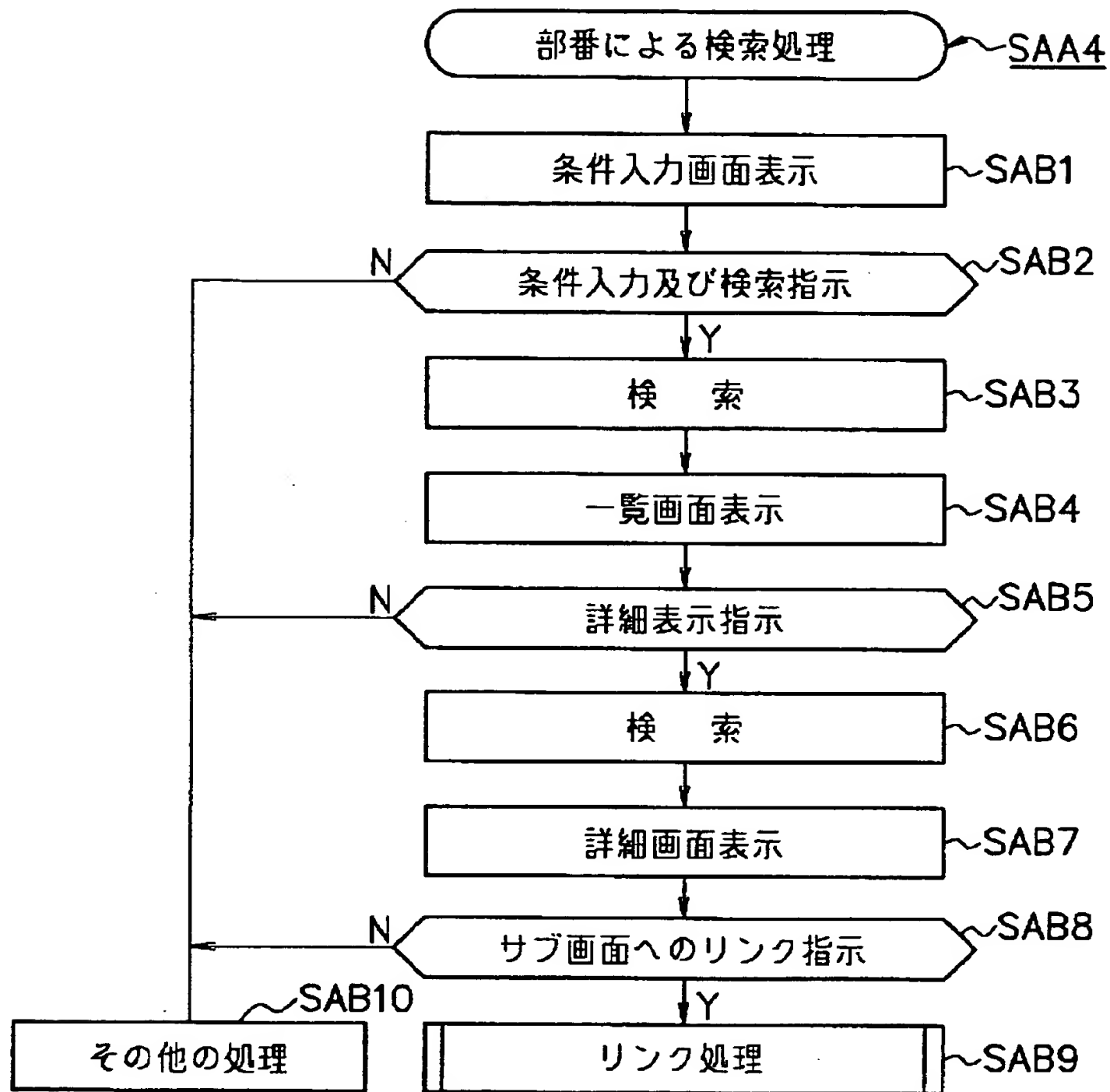
データベース

1a	部番検収実績	1aa
	製品オーダー	1ab
	発注予定	1ac
	調達窓口連絡先	1ad
	部番別代替品	1ae
	マスター単価（全部門）	1af
	部品品質認定	1ag
	推奨部品	1ah
	半導体及び液晶相場価格	1ai
	部品スペック	1aj
	部品代替品	1ak
	カタログ原文	1al
	為替レート	1am
	利用者	1an
	セキュリティ	1ao

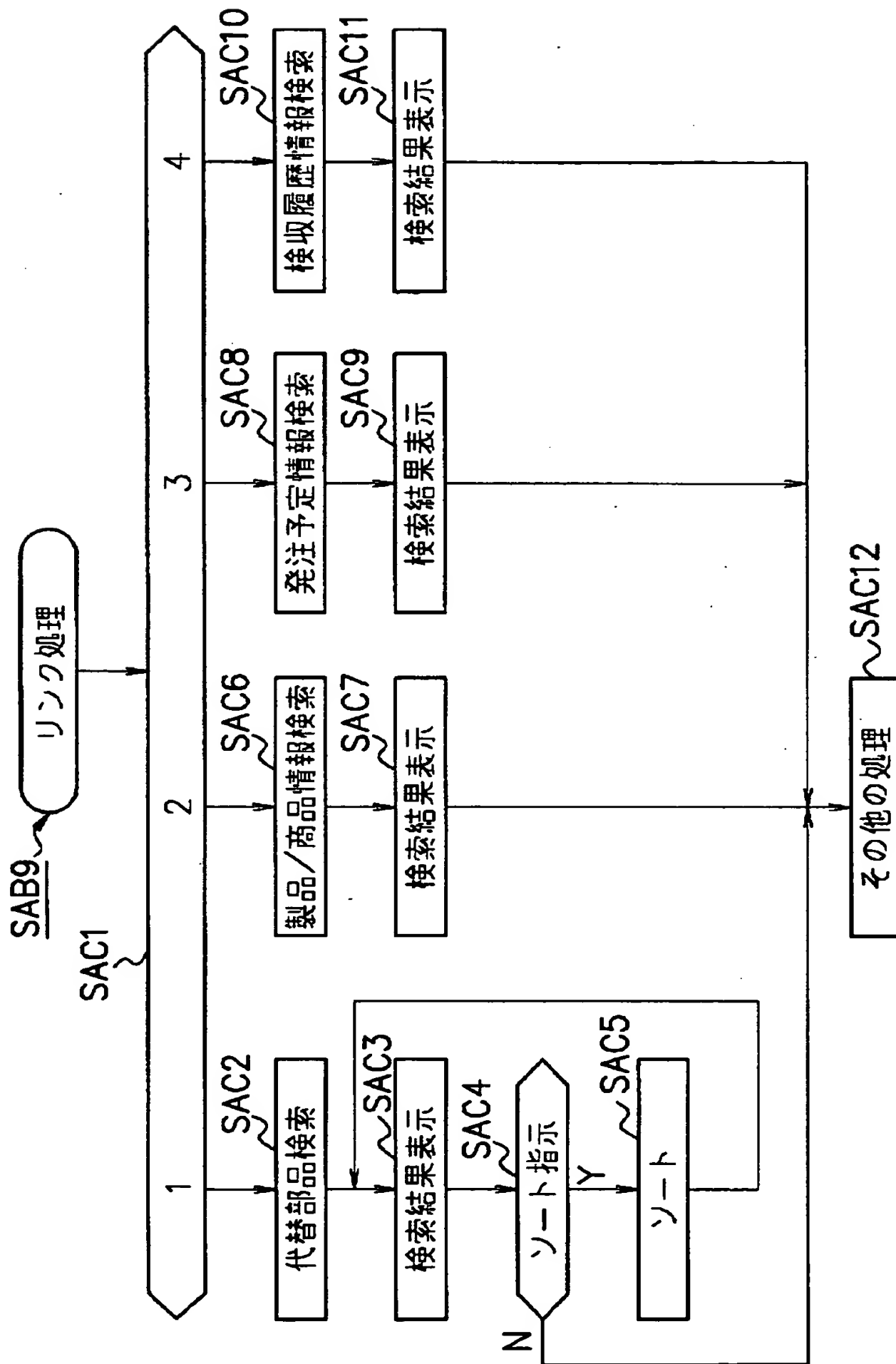
【図 5】



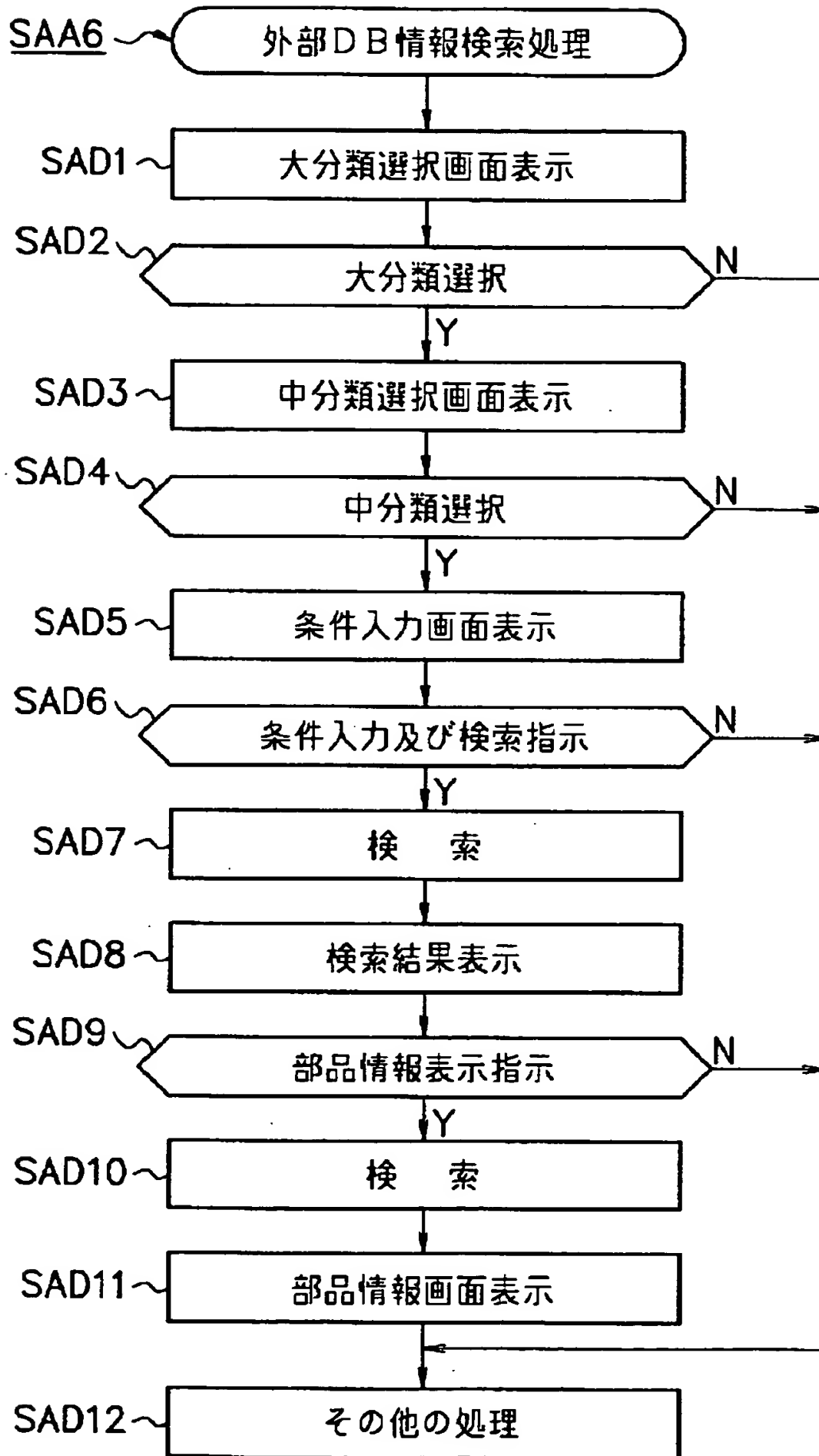
【図 6】



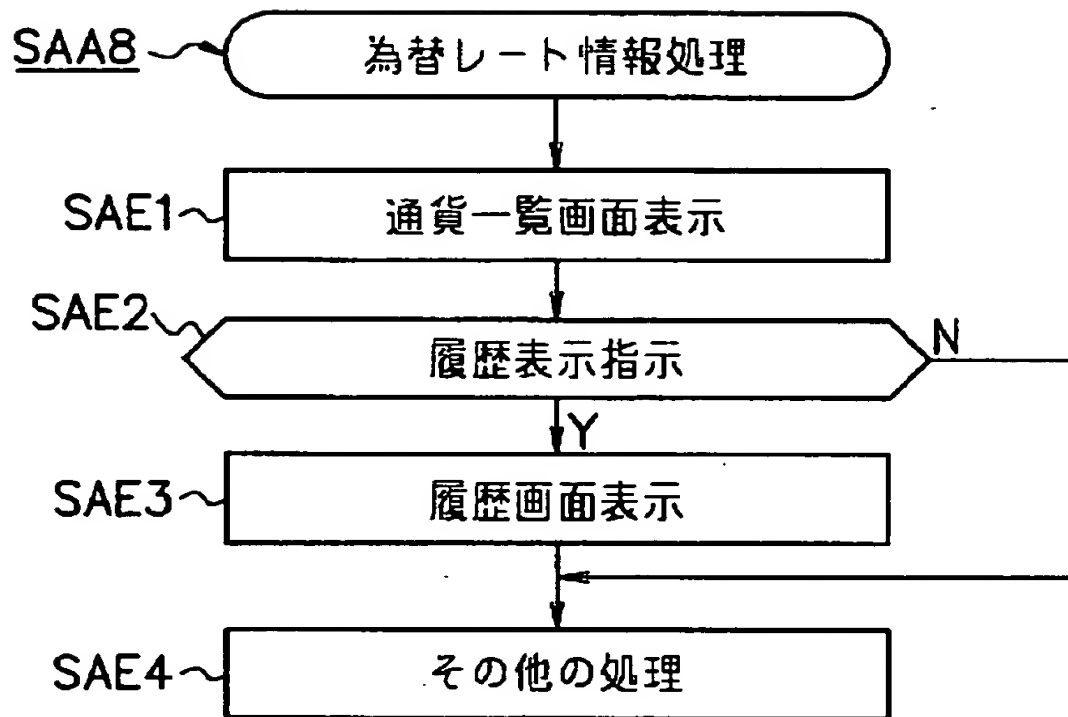
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【図 1 0】

電子部品システム

1101 ～ 利用者ID :

1102 ～ パスワード :

1103 ～ ログイン パスワード変更 1104

1105 ～

1. 暦日90日アクセスがない場合は、アクセス権を自動的に抹消させていただきます。
（御利用時に再度、利用申請書の提出が必要になります。）

2. 利用者はセキュリティ保護の為、パスワード変更を月1回必ず実施してください。

【図 1 1】

1112

1113

1114

LoginUser: pmc

LoginDate: 1998/10/26

IPAddress: 150.61.245.99

* 1998年9月現在 ~ 1111

この情報は社外秘です。 ~ 1115

* 電子部品、スペック & 購入価格情報

1. 「部品」による検索

2. 「型名」による検索

3. 「外部DB情報」検索

4. 「部品」による「拠点別 親部番号 代替部品（代替可能な部番を表示）」検索

5. 「単価マスタ」変更情報一覧

6. 「単価マスタ」履歴情報検索

7. 「部品」による「発注予定情報」検索

8. 「型名」による「発注予定情報」検索

9. 「型名」による「代替く特性上>部品の情報」検索

10. 「半導体・液晶 価格相場」による検索

61. 「為替レート」情報

SU1. ユーザーメンテナンス

SU2. プリファレンス情報

1116

1117

「機密保護の確約」

「就業規則による制裁」

： 許可なしに情報の複写を禁じます。また、利用者として登録した社員以外
の使用を禁じます。

： 調査情報システムの情報は社外秘です。社外へ漏洩すると社内規定により罰せ
られます。

【図 1 2】

1121 ~ 1122 ~ 1123 ~ 1124

MenuBackPageLog OutMail

1112 ~ 1113 ~ 1114 ~ 1115

1112 1113 1114 1115

LoginUser: pmc LoginDate: 1998/10/26 IPAddress: 150.61.245.99

(1)「部番」による検索・条件入力画面 ~ 1125

x 1998年9月末現在 ~ 1111

この情報は社外秘です。 ~ 1115

持ち部番 / 仮単価の情報は提供しておりません。 ~ 1126

1127 ~ 1128 ~ 1129

部番: W

グリーン認定: ▼

推奨情報: ▼

購入元: ▼

原産国名: ▼

品目品種コード: 参照

取引先コード: 参照

取引先名: 参照

メーカーコード: 参照

メーカー名: 参照

検収単価 (現地通貨): >=

検収単価 (現地通貨): <=

Search Clear

1128 1129

【図 1 3】

1121 ~ 1122 ~ 1123 ~ 1124

MenuBackPageLog OutMail

111211131114

LoginUser:pmc LoginDate:1998/10/26 IPAddress:150.61.245.99

総件数: 7 1134

リンク先画面:詳細画面並び換え:部番Sort

(1)「部番」による検索・一覧画面 ~ 1131

*1998年9月末現在 ~ 1111

この情報は社外秘です。 ~ 1115

持ち部番/仮単価の情報は提供しておりません。 ~ 1126

No.	部番	寸法	型名	メーカー名	画像	推奨	認定	拠点名	取引先名	検収年月	検収単価	通貨	検収数量	図番	訂番	工役小オ
1	WAS-0000-000	000	ZZZZ	A社	無	その他	否	C事業所	取引先ACN	1998/09	32.00	YEN	30.00	W99001	01	PG:982J
2	WAS-0000-000	000	ZZZZ	A社	無	推奨品	合	D事業所	取引先ACQ	1998/09	33.00	YEN	30.00	W99001	01	PG:982J
3	WAS-0000-000	000	ZZZZ	A社	無	標準推奨品	条	海外1	取引先CBM	1998/09	34.00	US DOLLAR	30.00	W99001	01	PG:982J
4	WAS-0000-000	000	ZZZZ	A社	無	その他	否	海外2	取引先CCC	1998/09	35.00	US DOLLAR	30.00	W99001	01	PG:982J
5	WAS-0000-000	000	ZZZA	B社	無	推奨品	合	A事業所	取引先AAA	1998/09	31.00	YEN	30.00	W99001	01	PG:982J
6	WAS-0000-000	000	ZZZZ	A社	無	推奨品	合	A事業所	取引先AAA	1998/09	0.00	YEN		W99001	01	PG:982J
7	WAS-0000-000	000	ZZZZ	A社	無	標準推奨品	条	B事業所	取引先AAA	1998/09		YEN	30.00	W99001	01	PG:982J

1136

1137

1138

【図 1 4】

1124
Mail

1114
*1998年9月末現在~1111
IPAddress: 150.61.245.99
この情報は社外秘です。~1115
持ち部番/仮単価の情報は提供しておりません。~1126

1132
並び換え: 部番 Sort 1133

1135
1137
1138

通関	税関	品名	税点名	取引先名	取引年月	税収単価	通貨	税収数量	図番	訂番	工種	小タ	窓口	原産国名	品種	機能分類
無	その他	否	C 事業所	取引先 ACN	1998/09	32.00	YEN	30.00	W99001	01	PG	982J	KB	JAPAN	TTL	LSシリ-701101
無	推奨品	合	D 事業所	取引先 ACQ	1998/09	33.00	YEN	30.00	W99001	01	PG	982J	KB	JAPAN	TTL	LSシリ-701101
無	標準製品	条	海外 1	取引先 CBM	1998/09	34.00	US DOLLAR	30.00	W99001	01	PG	982J	KB	JAPAN	TTL	LSシリ-701101
無	その他	否	海外 2	取引先 CCC	1998/09	35.00	US DOLLAR	30.00	W99001	01	PG	982J	KB	JAPAN	TTL	LSシリ-701101
無	推奨品	合	A 事業所	取引先 AAA	1998/09	31.00	YEN	30.00	W99001	01	PG	982J	KB	JAPAN	TTL	LSシリ-701101
無	推奨品	合	A 事業所	取引先 AAA	1998/09	0.00	YEN		W99001	01	PG	982J	KB	JAPAN	TTL	LSシリ-701101
無	標準製品	条	B 事業所	取引先 AAA	1998/09		YEN	30.00	W99001	01	PG	982J	KB	JAPAN	TTL	LSシリ-701101

【図 1 5】

1121 ~ 1122 ~ 1123 ~ 1124

Menu

BackPage

Log Out

Mail

1112

1113

1114

1115

(1)「部番」による検索・詳細画面 ~ 1141

*1998年9月末現在 ~ 1111

LoginUser:pmc LoginDate:1998/10/26 IPAddress:150.61.245.99 この情報は社外秘です。 ~ 1115

部番 WA5-0000-000 寸法 000 工程 JPG

図番 W99001 台番 01

部品名 *TC5090AP (A/Dコンバータ)

型名 ZZZZZ

メーカー名 001220 A社 原産国名 JAPAN

機能分類 01101 TTL系

保守日程 廃止日程

1144

部番 WA5-0000-000 寸法 000 工程 JPG

図番 W99001 台番 01

部品名 *TC5090AP (A/Dコンバータ)

型名 ZZZZZ

メーカー名 001220 A社 原産国名 JAPAN

機能分類 01101 TTL系

保守日程 廃止日程

1145

このデータにリンクする「外部DBスペック情報」はありません。

1146

推奨品情報 > ~ 1146

推奨ランク A 推奨品 台番 12000/01/01

1147

品質認定情報 > ~ 1147

品質認定 台番 コメント メーカー認定による認定結果です。

機能 01101 TTL系

製造 12000/01/01

1143

【図 16】

1142

1143

1147〜<品質認定情報>

品質認定	合	コメント	メーカー認定による認定結果です。
機能	01101	TTL系	
構造			
規模			

1148〜<グリーン認定情報>

グリーン認定推奨	認定日	1998/09
コメント	優良	

1149〜<検収・買入単価情報>

<仮単価は表示しません。単価は検収適用月時点のものです。>

拠点	AAAA: A事務所	窓口	KB	小オーダー	982J
検収年月	1998/09	検収数量		(参考: マスター単価)	
検収単価		検収金額		通貨	YEN
単価区分	0*nil*	単価条件	CIF		
取引先	T111 取引先AAA				
品目品種	P213 半導体部品	TTL・LSシリーズ			

1150〜<サブ画面へのリンク>

代替部品一覧	
製品/商品情報	
発注予定情報	
検収履歴情報	

1151〜

1152〜

1153〜

1154〜

【図 1 7】

1121 ~ 1122 ~ 1123 ~ 1124

Menu

BackPage

Log Out

Mail

「部番」による代替部品検索結果一覧 ~ 1161

1112
LoginUser: pmc

1113
LoginDate: 1998/10/26

1114
* 1998年9月末現在

1115
IPAddress: 150.61.245.99

この情報は社外秘です。

総件数: 2 1161

並び換え: 部番

▼

 Sort

1162

 1163

No.	部番	寸法	取引先名	拠点	代替部番	代替寸法	代替取引先名	代替型名	代替メ-カ-名	親部番	寸法	親図番
1	WA5-0000-000000	T111	取引先 AAA	A 事業所	WA5-0000-000000	T111	取引先 AAA	ZZZZZ	A 社	WA5-0000-000000	000000	W99001
2	WA5-0000-000000	T111	取引先 AAA	A 事業所	WA5-0000-000000	T111	取引先 AAA	ZZZZZ	A 社	WA5-0000-000000	000000	W99001

【図 1 8】

1121 ~ 1122 ~ 1123 ~ 1124

MenuBackPageLog OutMail

製品/商品情報 (製品/商品オ-ダ-) ~ 1171

1112 1113 1114 ~

LoginUser:pmc LoginDate:1998/10/26 IPAddress:150.61.245.99

LoginDate:1998/10/26 x1998年9月末現在 ~ 1111 この情報は社外秘です。 ~ 1115

総件数 : 6

部番 : WA5-0000-000 寸法 : 000

1172 ~

No.	オ-ダ-番号	オ-ダ-名称	支給	拠点名	品数	機種群	製品群
1	ZZZZZ	オ-ダ-名称AAAA	待ち	AAAA : A事業所	1.00	機種群AAAA	製品群AAAA
2	ZZZZZ	オ-ダ-名称AAAI	待ち	AAAI : B事業所	0.00	機種群AAAI	製品群AAAI
3	ZZZZZ	オ-ダ-名称ACN	待ち	ACN : C事業所	1.00	機種群ACN	製品群ACN
4	ZZZZZ	オ-ダ-名称ACQ	待ち	ACQ : D事業所	1.00	機種群ACQ	製品群ACQ
5	ZZZZZ	オ-ダ-名称CBM	待ち	CBM : 海外1	1.00	機種群CBM	製品群CBM
6	ZZZZZ	オ-ダ-名称CCC	待ち	CCC : 海外2	1.00	機種群CCC	製品群CCC

【図 19】

1121 ~ 1122 ~ 1123 ~ 1124

MenuBackPageLog OutMail

1112
LoginUser: pmc

1113
LoginDate: 1998/10/26

1114
IPAddress: 150.61.245.99

1115
この情報は社外秘です。

部番号 WA5-0000-000 寸法: 000 工程信号: PG

1182 ~ 1181
1181
1180
1179
1178
1177
1176
1175
1174
1173
1172
1171
1170
1169
1168
1167
1166
1165
1164
1163
1162
1161
1160
1159
1158
1157
1156
1155
1154
1153
1152
1151
1150
1149
1148
1147
1146
1145
1144
1143
1142
1141
1140
1139
1138
1137
1136
1135
1134
1133
1132
1131
1130
1129
1128
1127
1126
1125
1124
1123
1122
1121
1120
1119
1118
1117
1116
1115
1114
1113
1112
1111
1110
1109
1108
1107
1106
1105
1104
1103
1102
1101
1100
1099
1098
1097
1096
1095
1094
1093
1092
1091
1090
1089
1088
1087
1086
1085
1084
1083
1082
1081
1080
1079
1078
1077
1076
1075
1074
1073
1072
1071
1070
1069
1068
1067
1066
1065
1064
1063
1062
1061
1060
1059
1058
1057
1056
1055
1054
1053
1052
1051
1050
1049
1048
1047
1046
1045
1044
1043
1042
1041
1040
1039
1038
1037
1036
1035
1034
1033
1032
1031
1030
1029
1028
1027
1026
1025
1024
1023
1022
1021
1020
1019
1018
1017
1016
1015
1014
1013
1012
1011
1010
1009
1008
1007
1006
1005
1004
1003
1002
1001
1000

総件数: 6

No.	拠点名	取引先名	型名	メ-カ-	通貨	98年07月 予定数量	98年08月 予定数量	98年09月 予定数量
1	AAAA: A事業所	(T111)取引先AAA	ZZZZ	A社	YEN	25,000.00	25,000.00	25,000.00
2	AAAI: B事業所	(T111)取引先AAA	ZZZZ	A社	YEN	25,000.00	25,000.00	25,000.00
3	ACN: C事業所	(T111)取引先ACN	ZZZZ	A社	YEN	25,000.00	25,000.00	25,000.00
4	ACQ: D事業所	(T111)取引先ACQ	ZZZZ	A社	YEN	25,000.00	25,000.00	25,000.00
5	CBM: 海外1	(T111)取引先CBM	ZZZZ	A社	US DOLLAR	25,000.00	25,000.00	25,000.00
6	CCC: 海外2	(T111)取引先CCC	ZZZZ	A社	US DOLLAR	25,000.00	25,000.00	25,000.00

出証特 2001-3016589

19

【図 2 1】

1121 ~ 1122 ~ 1123 ~ 1124

MenuBackPageLog OutMail

1112
1113
1114
1115

検収単価履歴情報 (最新含め24世代, 仮単価は表示しない) ~ 1191

1114 ~ 1115
* 1998年9月末現在 ~ 1111

LoginUser: pmc LoginDate: 1998/10/26 IPAddress: 150.61.245.99 この情報は社外秘です。 ~ 1115

総件数: 2

会社拠点: AAAA: A事業所 窓口: KB 部番: WA5-0000-000 寸法: 000
工程: PG 取引先: (T111)取引先AAA

1192 ~ 1193 ~ 1194 ~ 1195

検収年月検収単価検収数量検収金額 国番 訂番 小オ-タ-通貨

1 200010 30.00 30.00 30.00 W9900101 982J YEN
2 199810 30.00 30.00 30.00 W9900101 982J YEN

【図 2 0】

1121

Menu

1122

BackPage

1123

Log Out

1124

Mail

1112

LoginUser: 29611

1113

LoginDate: 1998/10/26

1114

IPAddress: 150.61.245.99

1115

この情報は社外秘です。

(2)『型名』による検索・条件入力画面

1201

1202

型名:

ZZZZZ

グリーン認定:

推奨情報:

認定情報:

メ-カ-コード:

メ-カ-名:

購入済:

参照

参照

参照

参照

Search

Clear

1203

1204

【図22】

1121

Menu

1122

BackPage

1123

Log Out

1213

CodeHelp

1214

連絡先

1124

Mail

(3)『外部DB情報』検索-大分類 ~1211

【半導体】

001. マイコン

002. 周辺/インタフェース

003. メモリ

004. セミカスタム

005. 通信機器用

006. OA機器用

007. モータ/メカ周辺デバイス

008. 民生用

010. イメージセンサ

011. ロジック

012. アナログ/センサ

013. 表示素子

014. Gas FET

015. 光素子

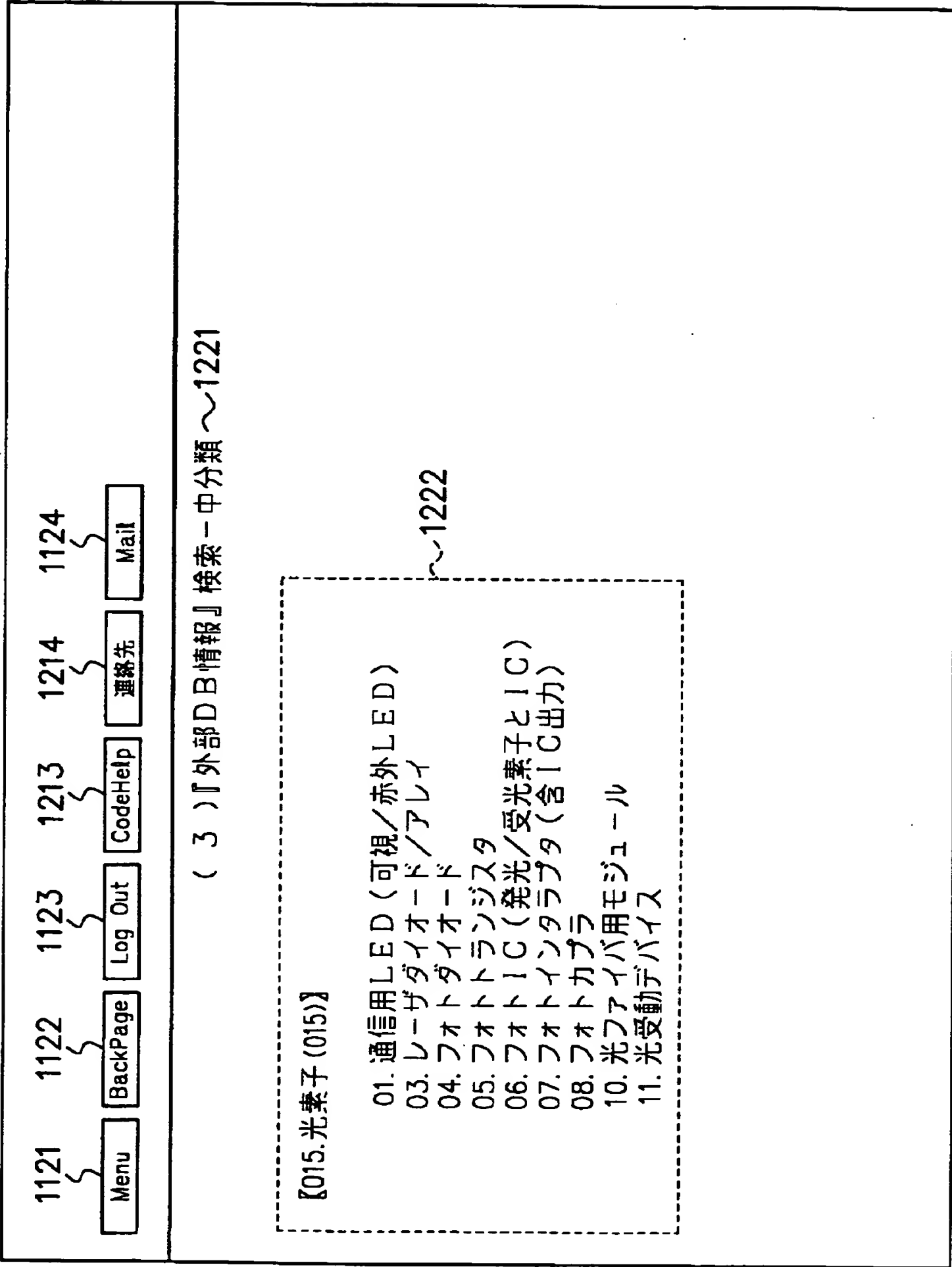
016. トランジスタ

017. ダイオード

018. パワー素子

~1212

【図 23】



【図 2 4】

1121 { Menu BackPage Log Out CodeHelp 連絡先 Mail 1124 }

1122 { 1123 1213 1214 1124 }

1112 { LoginUser: 29611 この情報は社外秘です。 1115 1997年8月末現在 1111 (3) 型名による検索・条件入力画面 1231 1232 }

1113 { LogInDate: 1997/05/27 1113 }

1114 { IPADdress: 150.61.245.150 }

1233 { フォトインタラタ(含IC出力) }

型名	
メーカ	
出力形式	
受光形式	
入力順電圧V(max)	<
入力順電流mA(max)	<
CTR(Ic/If)%(typ)	<
コレクタ飽和電圧V(max)	<
受光コレクタ電流mA(max)	<
立上り時間us(typ)	<
立下り時間us(typ)	<

1234 { Search Clear } 1235

【図 2 5】

1121 1122 1123 1213 1214 1124

Menu BackPage Log Out CodeHelp 連絡先 Mail

1112 (3) 外部 D B 検索結果一覧 (スペック) ~1241

LogInUser: 29611 この情報は社外秘です。 ~1115

LogInDate: 1997/05/27 ~1113

IPAddress: 150.61.245.150 ~1232

1114 フォトインテグラータ (含 I C 出力)

1243 総件数 : 150

1242 1244

1247 ▲前リスト ▼次リスト 1 番目から表示 ~1245

1246

No	型名	メーカー	出力形式	受光形式	入力順電圧 V(max)	入力順電流 mA(max)	CTR(Ic/I _f)*(typ)	コレクタ飽和電圧 V(max)
1	OPU872QP	D 社	シングルランジスタ	透過型	2.000000	60.000000	0.000000	0.000000
2	OPU813	D 社	シングルランジスタ	反射型	1.800000	40.000000	0.000000	0.000000
3	OPU813R	D 社	シングルランジスタ	反射型	2.200000	30.000000	0.000000	0.000000
4	OPU817	D 社	シングルランジスタ	反射型	2.000000	100.000000	0.000000	0.000000
5	OC808	D 社	シングルランジスタ	反射型	2.000000	100.000000	0.000000	0.000000
6	OC800	D 社	シングルランジスタ	反射型	2.000000	100.000000	0.000000	0.000000

【図 2 6】

1121 1122 1123 1213 1214 1124

Menu BackPage Log Out CodeHelp 連絡先 Mail

1112 (3) 外部DB検索結果一覧 ~1251

LoginUser: 29611

LoginDate: 1997/05/27 この情報は社外秘です。 ~1115

IPADdress: 150.61.245.150 ~1113

1197年8月稼働 ~1111

1242 1114 1244

総件数: 4

1134

フォトインタラプタ(含IC出力)

1245

1132 1133

1243

リンク先画面: 詳細画面 並び換え: 部番 Sort

1257

1255

No	型名	メーカー	部番	寸法	画像	グリーン認定	推奨	認定	拠点名	窓	取引先
1	0PU872CP	D社			有						
検収年月 検収単価 通貨 検収数量 原産国 品種 機能分類 図番 訂番 工程 小 オ ダ ー											

【図 27】

1121

Menu

1122

BackPage

1123

Log Out

1124

Mail

1112

(10)「半導体・液晶 価格相場」による検索・品種一覧画面 ~1281

1113

LoginUser:pmc LoginDate:1998/10/26 IPAddress:150.61.245.99 この情報は社外秘です。~1115

1114

1282

対象品種名称	日付	相場From~To	動向
1283 品種1	1998 07 22	50.00 ~	60.00 →
品種2	1998 07 22	130.00 ~	140.00 →
品種3	1998 07 22	190.00 ~	210.00 →
品種4	1998 07 22	180.00 ~	250.00 →
品種5	1998 07 22	250.00 ~	350.00 →
品種6	1998 07 22	200.00 ~	270.00 →
品種7	1998 07 22	10,000.00 ~	1,200.00 →

【図 28】

1121 1122 1123 1124
Menu BackPage Log Out Mail

1112 1113 1114 *1998年9月末現在~1111
LoginUser: pmc LoginDate: 1998/10/27 IPAddress: 150.61.245.99 この情報は社外秘です。~1115

(61)『為替レポート』情報・通貨一覧画面~1261

1262

1263

FROM	TO	RATE	年月
AUD(AUSTRALIAN)	JPY(YEN)	86.04	1998/07
AVB(THAILAND B)	JPY(YEN)	3.09	1998/07
AVW(*nil*)	JPY(YEN)	0.09	1998/07
CAD(CANADIAN D)	JPY(YEN)	94.82	1998/07
CHF(SWISS FRAN)	JPY(YEN)	81.13	1998/07
DCY(*nil*)	JPY(YEN)	15.82	1998/07
DEM(GERMAN MAR)	JPY(YEN)	76.70	1998/07
FRF(FRENCH FRA)	JPY(YEN)	22.88	1998/07
GBP(POUND)	JPY(YEN)	229.62	1998/07
HKD(HONGKONG DO)	JPY(YEN)	17.99	1998/07
JPY(YEN)	JPY(YEN)	1.00	1998/07
MYR(RINGGIT MA)	JPY(YEN)	35.28	1998/07
NLG(DUTCH GUIL)	JPY(YEN)	68.04	1998/07
NZD(NEWZEALAND)	JPY(YEN)	72.13	1998/07
THB(THAILAND B)	JPY(YEN)	3.36	1998/07
TWD(NT SOLLAR)	JPY(YEN)	4.06	1998/07
USD(US DOLLAR)	JPY(YEN)	139.36	1998/07

【図 29】

1121

1122

1123

1124

Menu

BackPage

Log Out

Mail

1112

1113

1114

1115

LogInUser:pmc

LogInDate:1998/10/26

IPAddress:150.61.245.99

(61)『為替レポート』情報 (月平均-過去120ヶ月分) ~1271

*1998年9月末現在 ~1111

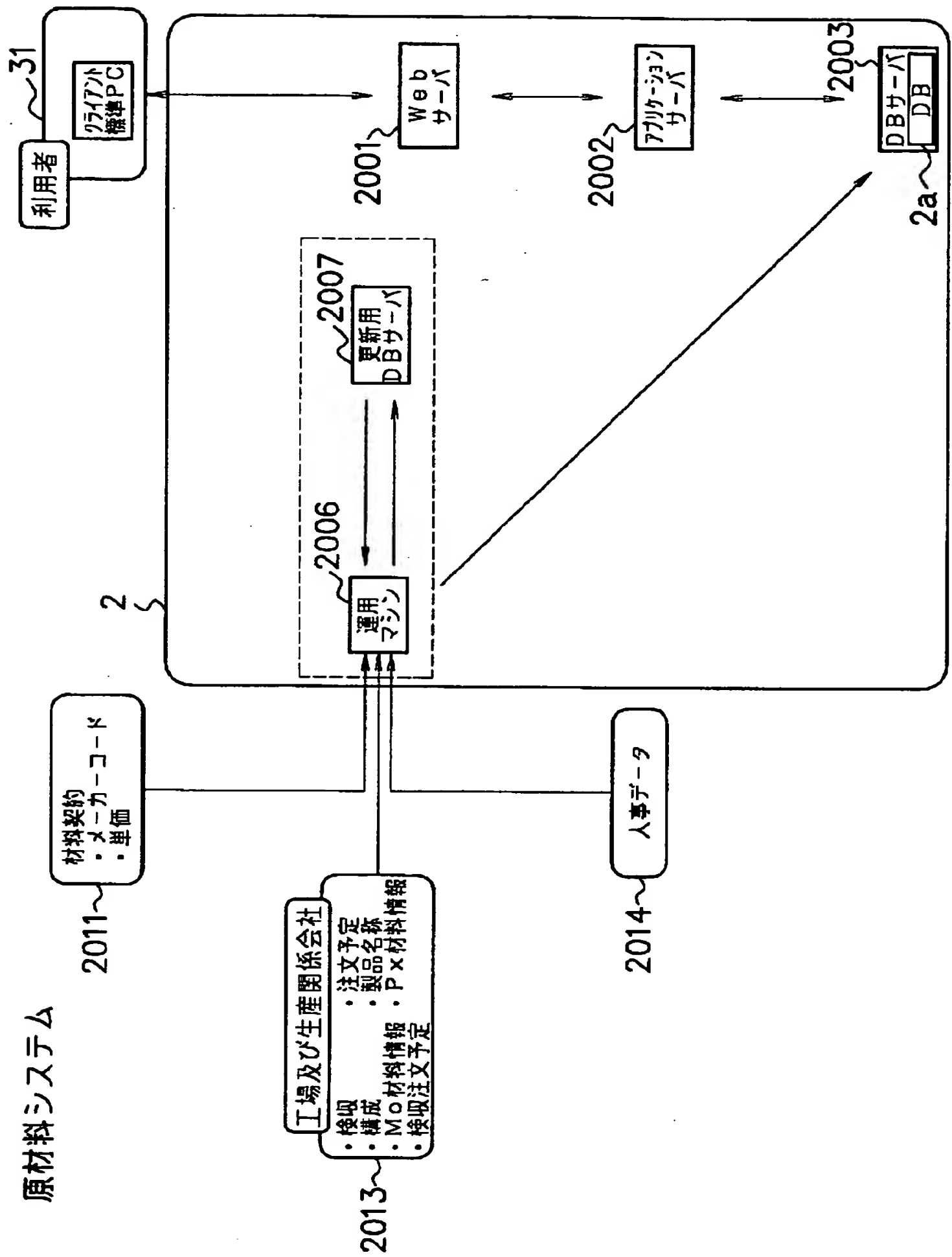
この情報は社外秘です。 ~1115

1272

通貨 : AUD (AUSTRALIAN) -JPY (YEN)

年	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1998	84.97	84.80	86.23	86.15	85.11	84.72	86.04							
1997	91.85	94.51	96.75	97.84	92.37	86.28	85.58	87.52	87.57	87.22	87.05	86.00		
1996	78.52	79.92	81.75	84.65	84.97	86.25	86.35	84.46	87.08	89.07	89.49	90.86		
1995	76.44	73.35	66.89	61.65	61.93	60.93	63.40	70.19	75.77	76.43	76.11	75.57		
1994	77.65	76.08	74.84	74.09	75.54	75.35	72.43	73.93	73.33	72.70	73.94	77.54		
1993	84.31	82.70	82.87	79.99	76.99	72.52	73.03	70.32	68.77	70.63	71.67	73.80		
1992	93.56	95.97	100.70	102.09	98.84	95.96	93.70	91.81	88.62	86.70	85.58	85.60		

【図 3 0】

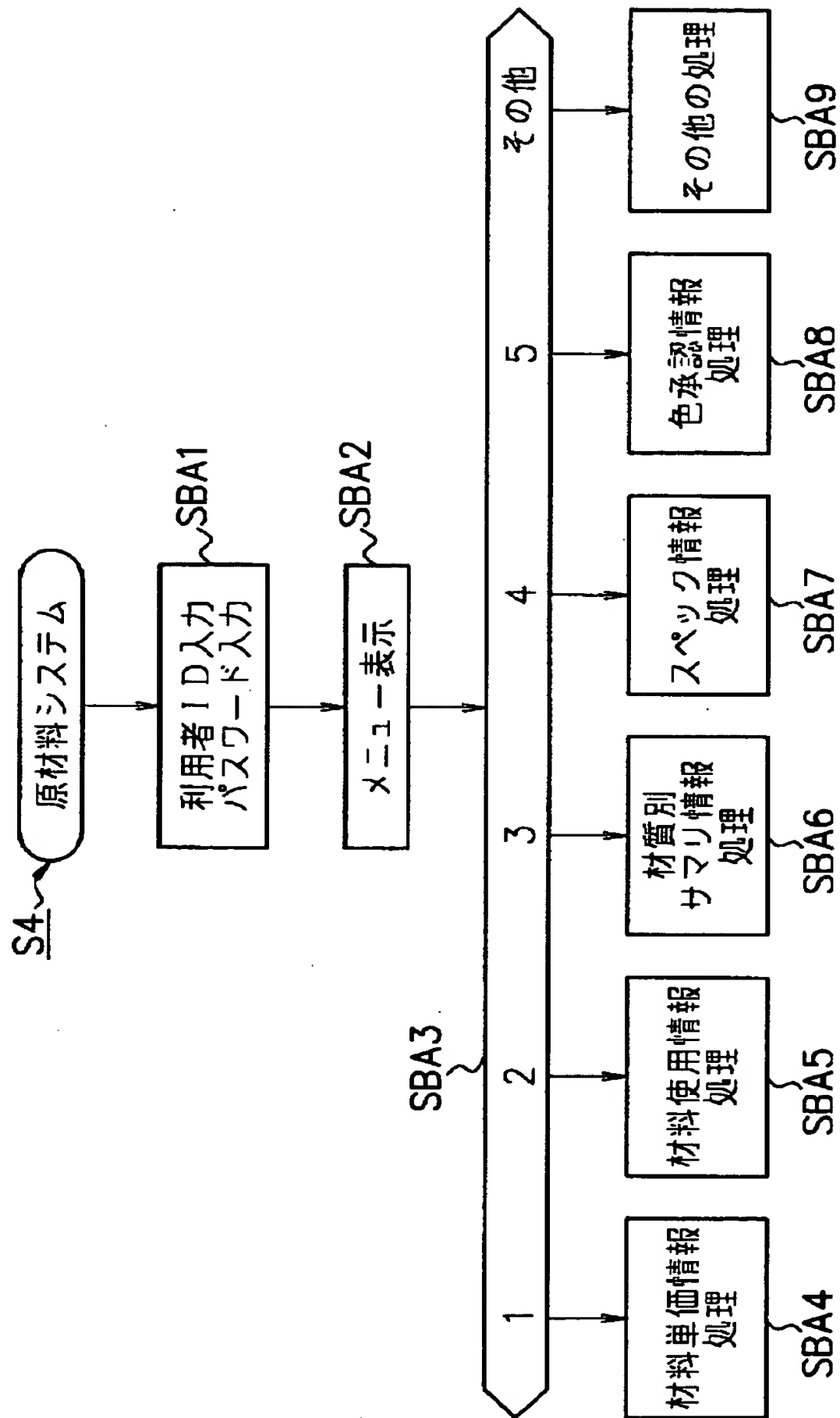


【図 3 1】

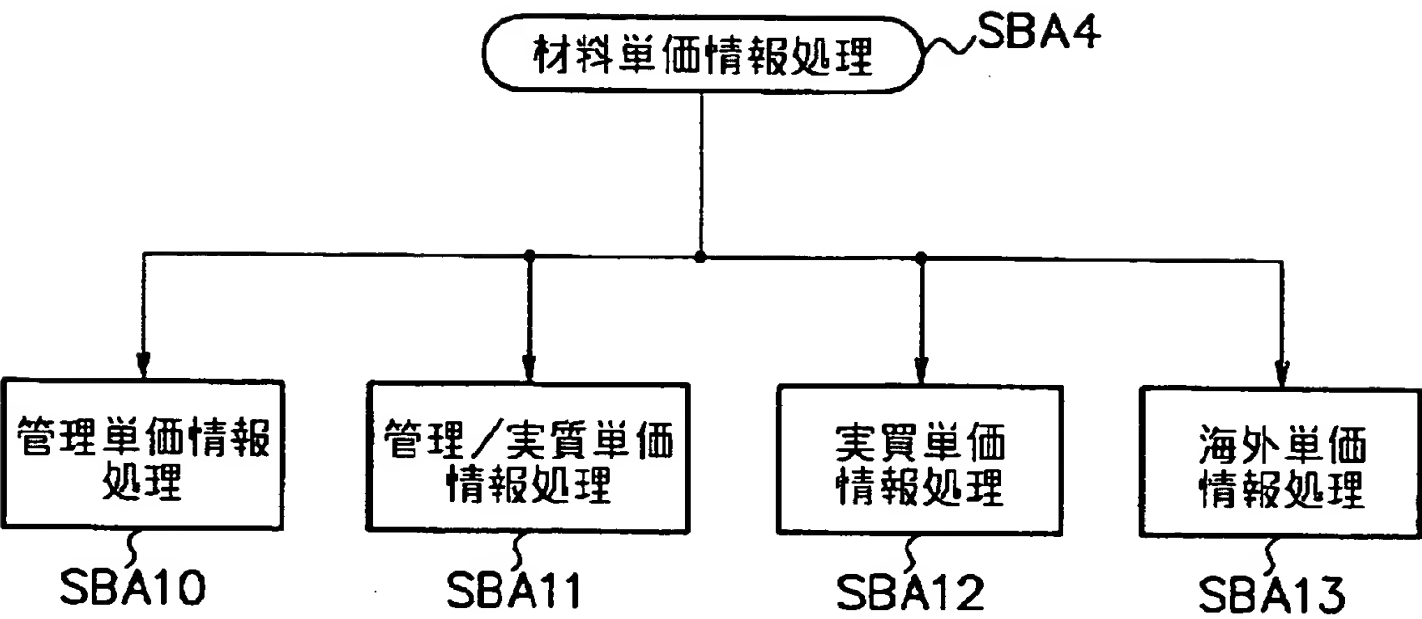
データベース

2a	材料価格	〜2aa
	材料購入実績	〜2ab
	製品オーダー	〜2ac
	材料使用量の実績／予測	〜2ad
	材料金額の実績	〜2ae
	材料金額の予測	〜2af
	材料スペック	〜2ag
	色承認	〜2ah
	利用者	〜2ai
	セキュリティ	〜2aj
	グリーン認定	〜2ak

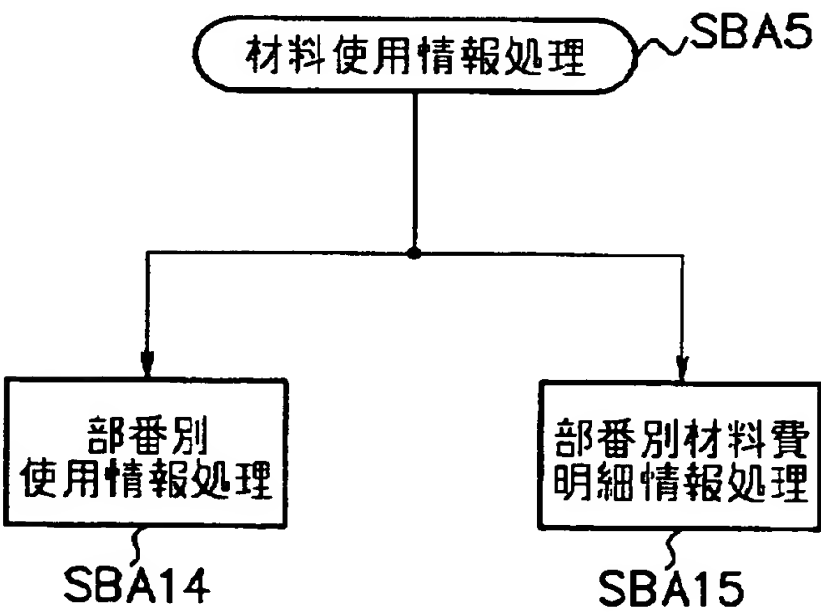
【図 3 2】



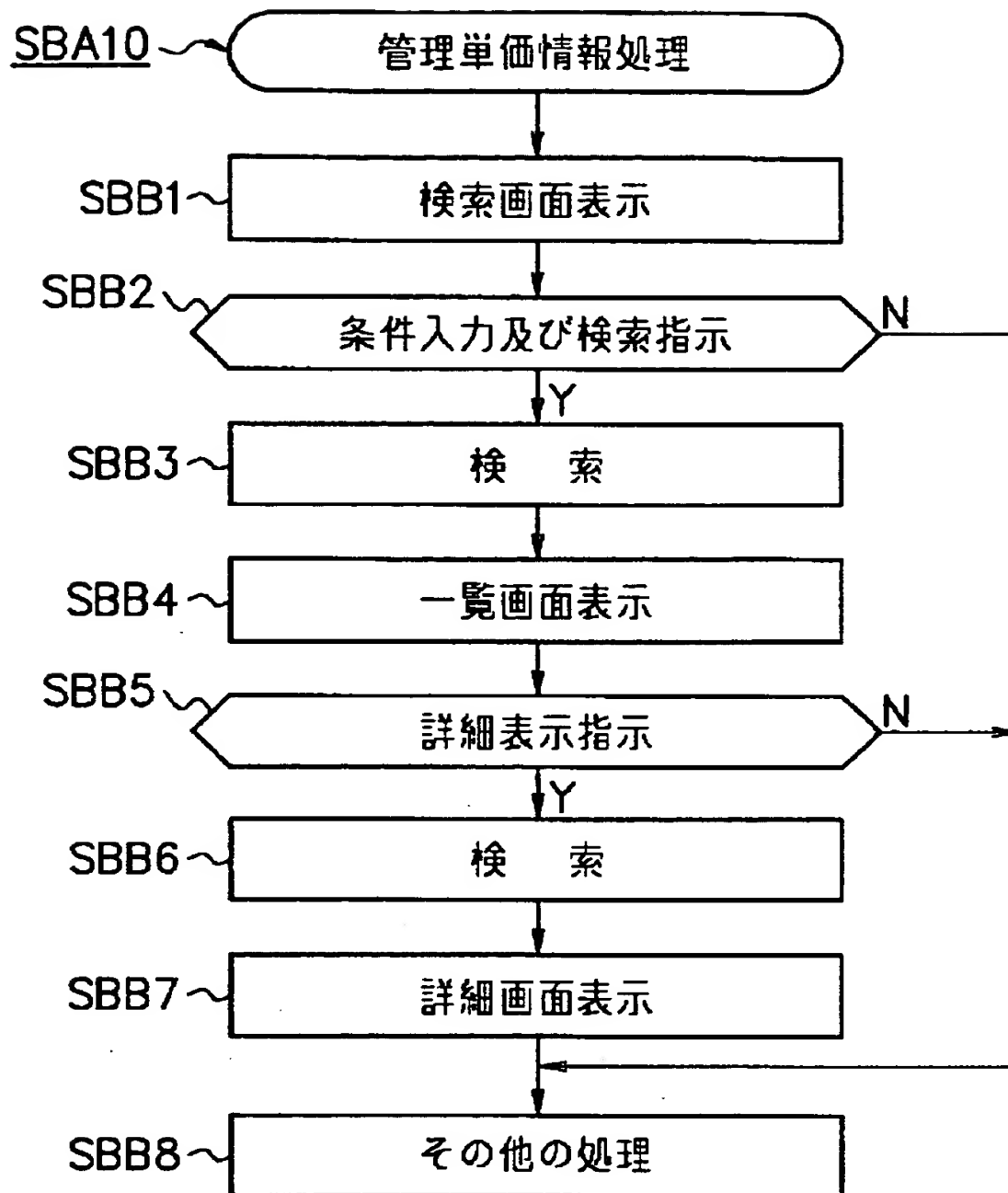
【図 3 3】



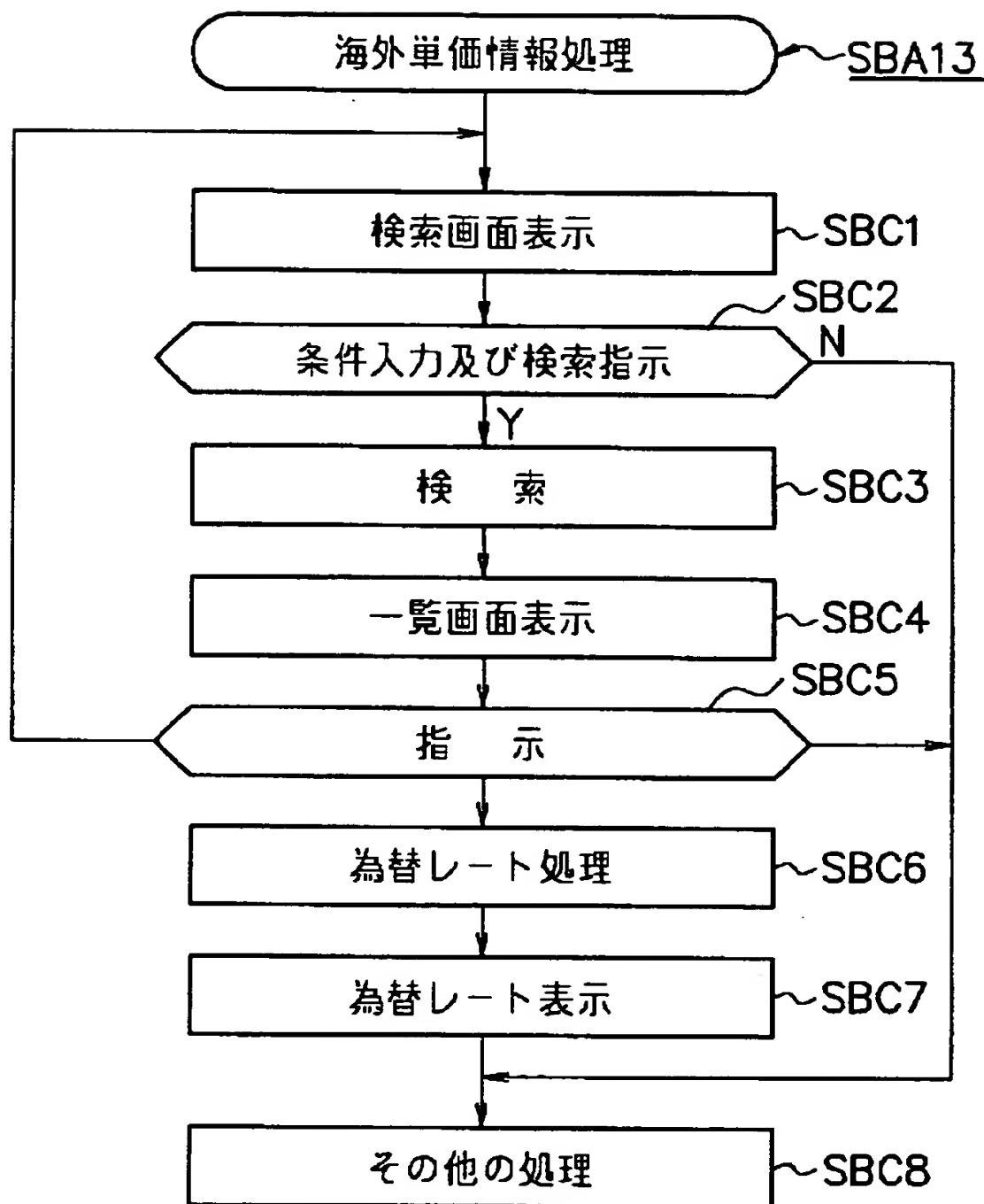
【図 3 4】



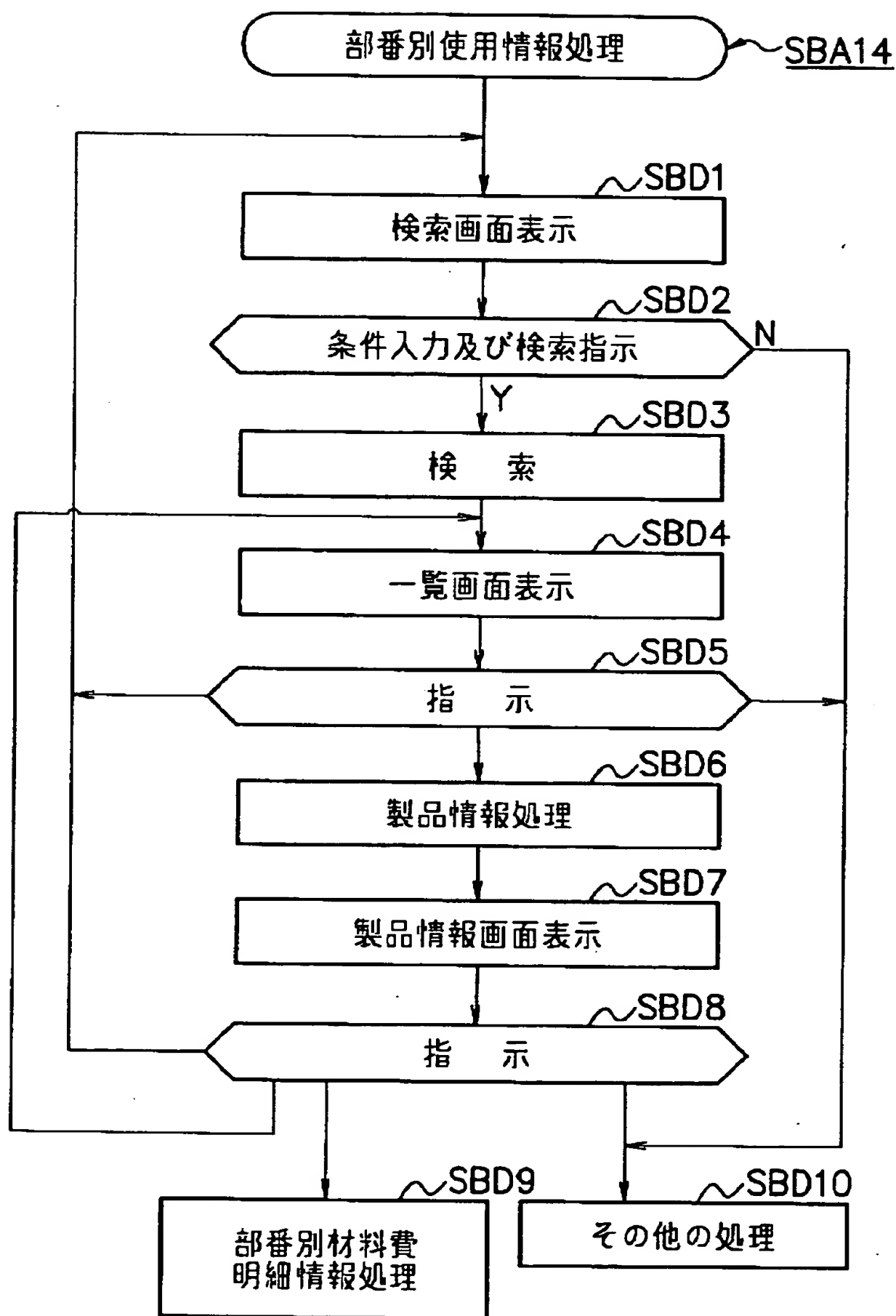
【図 3 5】



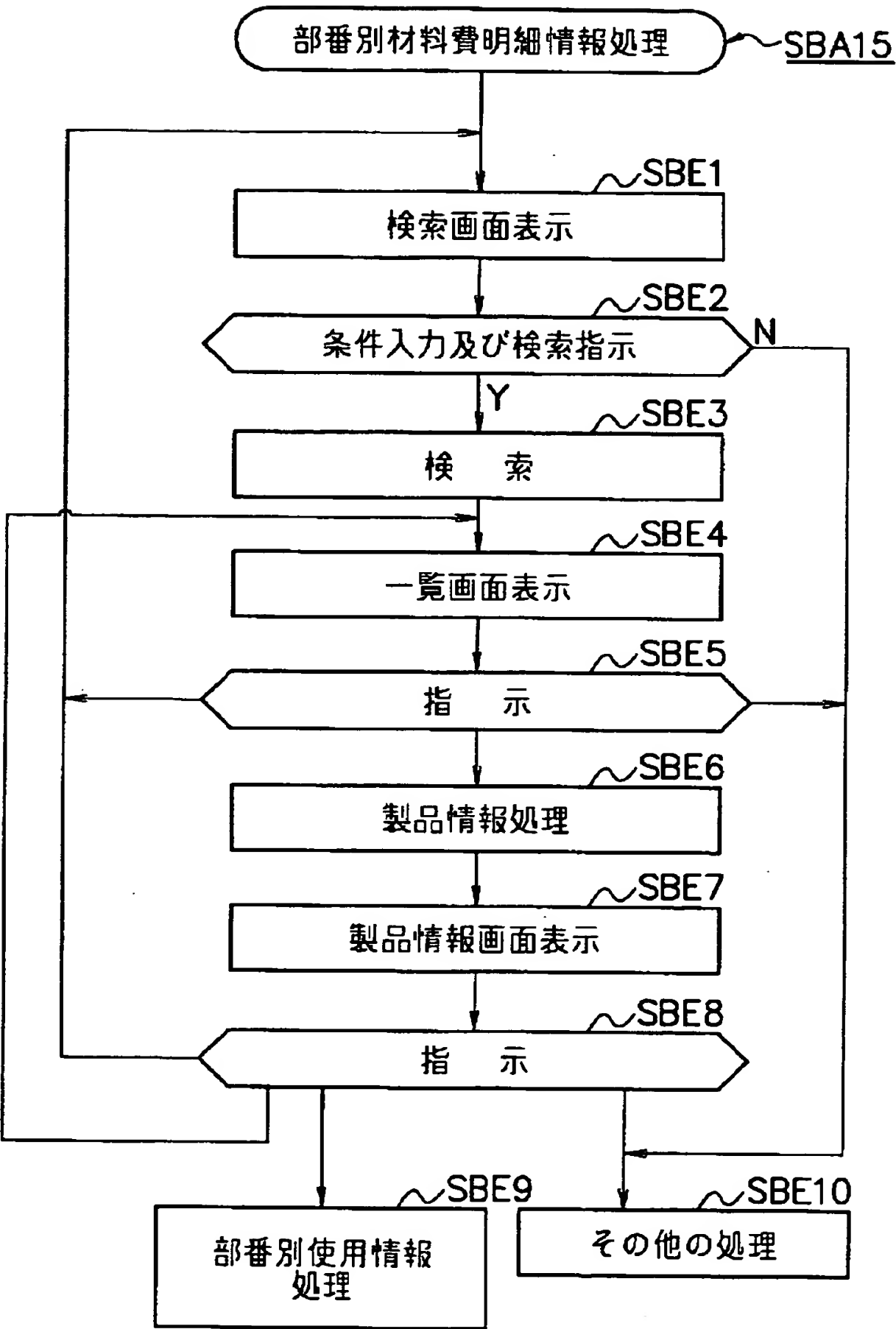
【図 3 6】



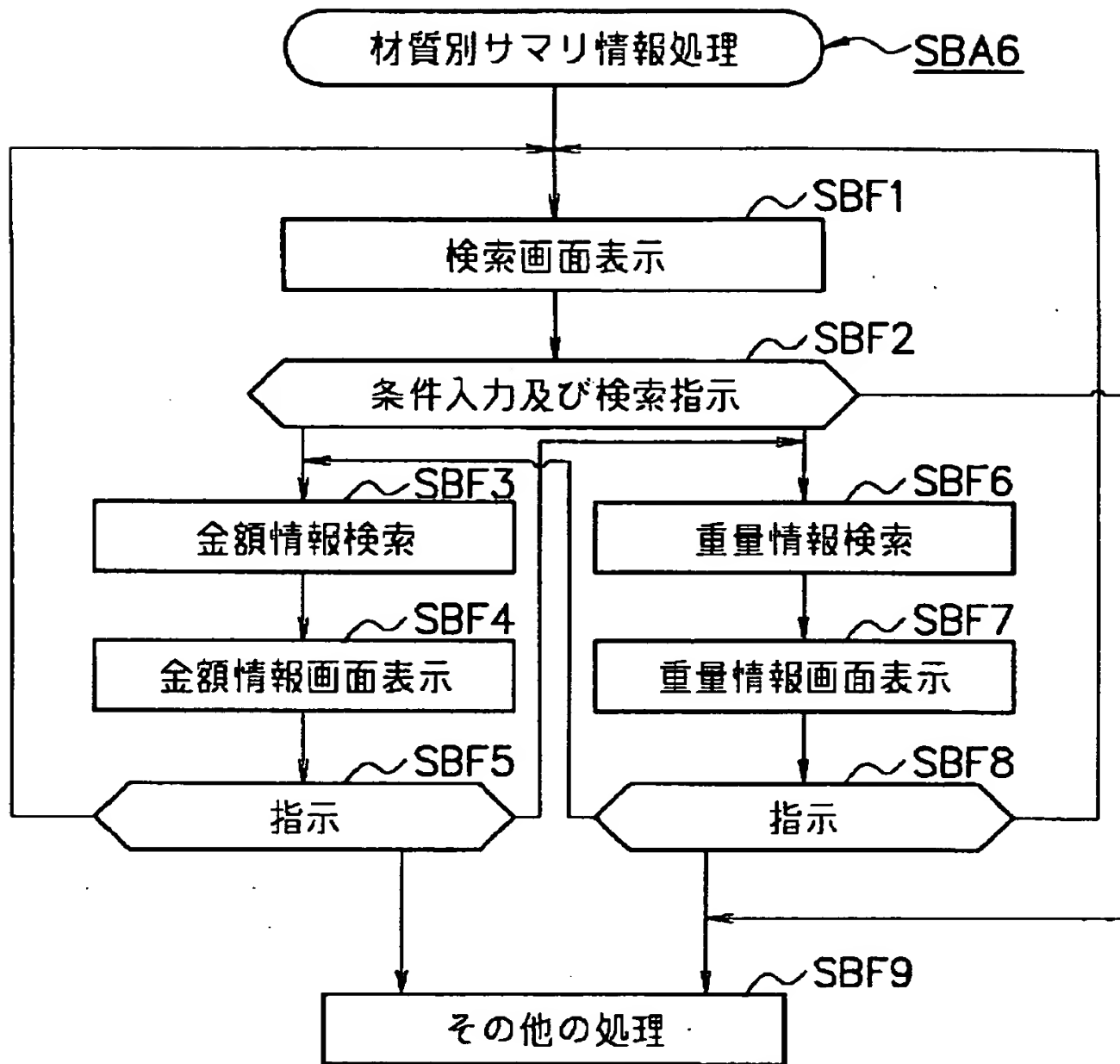
【図 3 7】



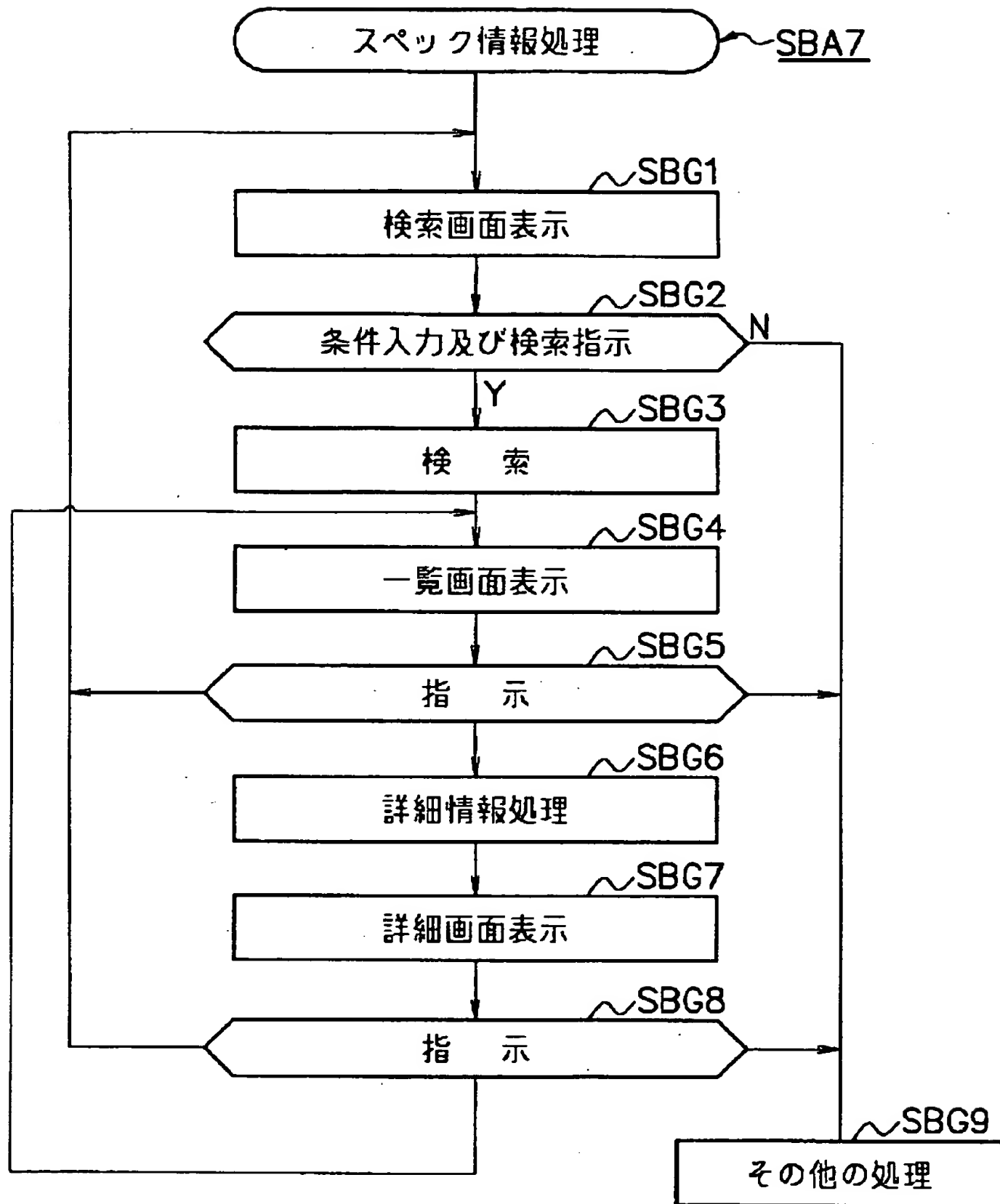
【図 3 8】



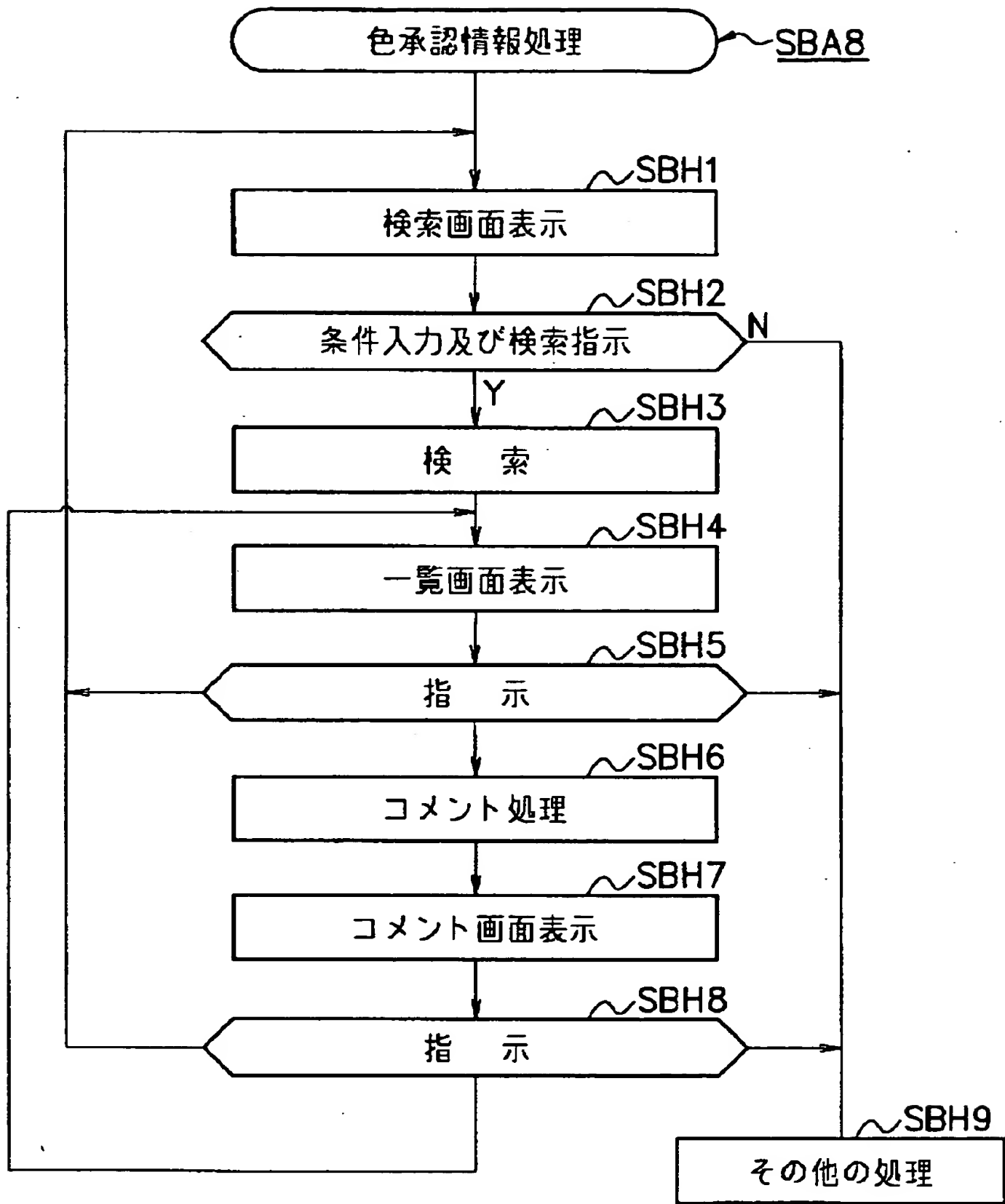
【図 3 9】



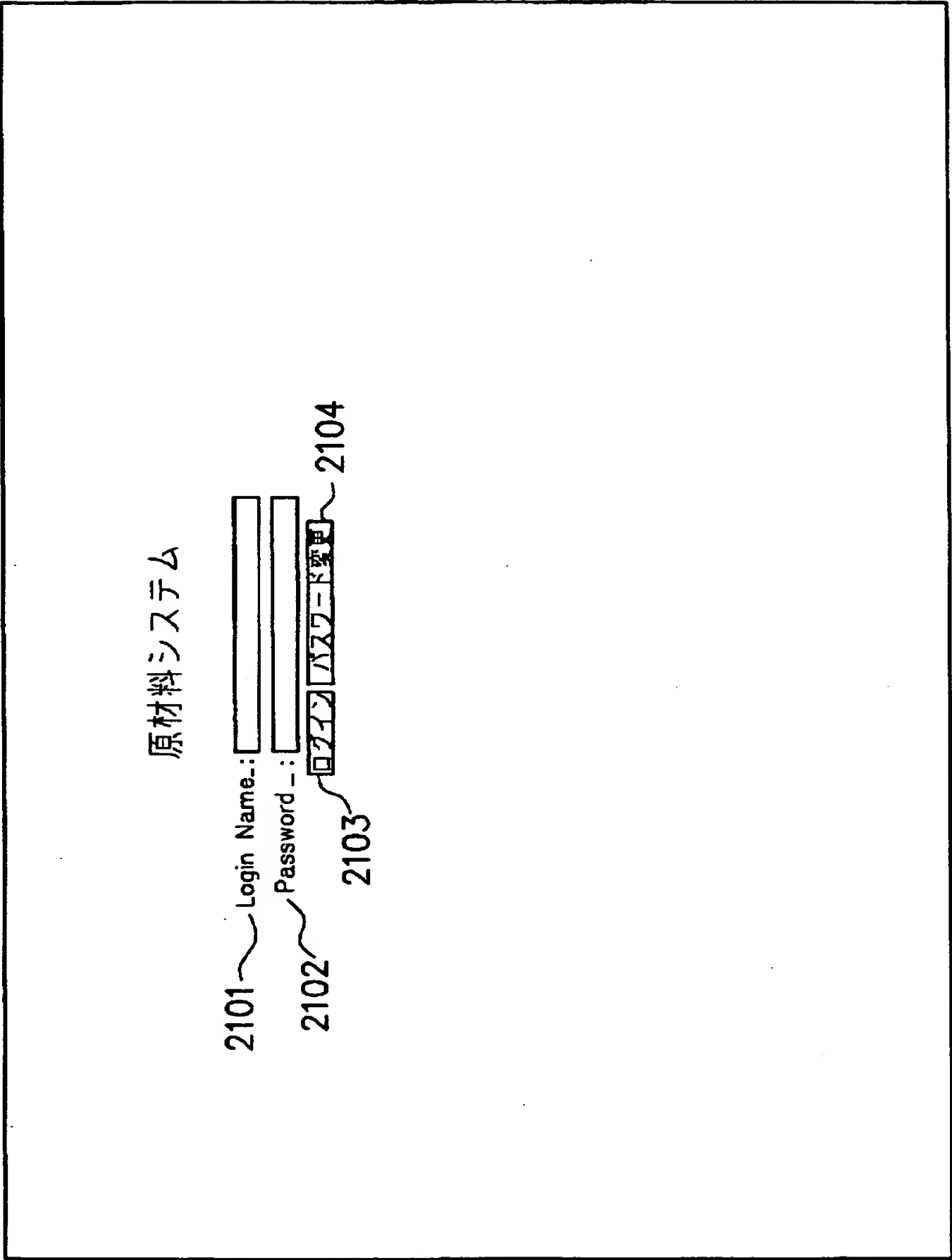
【図 4 0】



【図 4 1】



【図 4 2】



【図 4 3】

2121 { Menu BackPage Log Out Help Mail }

2122 2123 2124 2125 { }

2112 { LoginUser: 99999 }

2113 { LoginDate: 1998/01/13 }

2126 { 1. 材料単価情報 11-管理単価情報 2127~2128 12-管理/実質単価情報 13-実買単価情報 14-海外単価情報 2. 材料使用情報 21-部番別使用情報 22-部番別材料費明細情報 3. 材質別サマリ情報 31-材質別サマリ情報 4. スペック情報 41-スペック情報 5. 色承認情報 51-色承認情報 I. ユーザメンテナンス I. フレファレンス情報 }

原材料料システム

1996年5月6日現在 2111

【図 4 4】

2122 2123 2124 2125

2121 Menu BackPage Log Out Help Mail

2112 Login User: 99999

2113 Login Date: 1998/01/13

11. MO材料管理単価情報検索画面 ~ 2136

検索条件

2131 材質記号 ABS

2132 メーカーコード

メーカー名称

グレードNo.

カラー識別

着色No.

社内着色No.

管理価格帯

検索 条件クリア

2134 2135

テーブルデータ

	コード	名称
1	A/EPDM/S	アクリロニトリル/エチレンプロピレン ジェン/スチレン
2	A/SI/S	アクリロニトリル/シリコン/スチレン
3	ABS	ABSジェン
4	ABS+PBT	ABSポリブチレンテレフタレートアロイジェン
5	ABS+PMMA	ABSポリメチルメタクリレートアロイジェン
6	AS	ASジェン
7	LCP	エキシヨウポリマー
8	PA	ポリアミド
9	PBT	ポリブチレンテレフタレート
10	PC	ポリカーボネート
11	PC+ABS	ポリカーボネートABSアロイジェン
12	PC+PET	ポリカーボネートポリエチレンテレフタ レートアロイジェン
13	RE	ポリエチレン
14	PEEK	ポリエーテルエーテルケトン

2133

【図 4 5】

2121 Menu

2122 2123 2124 2125

2112 BackPage

2113 Log Out

Help

Mail

LoginUser: 99999

LoginDate: 1998/01/14

11. MO材料管理単価情報

検索結果件数: 1684

検索画面へ

2142

2143

2144

2145

2146

2147

昇順にソート

降順にソート

2148

2149

2150

2151

2152

材質記号	メーカーコード	メーカー名称	グレードNo.	カラ-差別	若色No.	社内若色No.
1 ABS	AA00	A社	100	SB	S43303	
2 ABS	AA00	A社	101	SB	S43303	
3 ABS	AA00	A社	120	SB	S43303	
4 ABS	AA00	A社	121	CB	5S33382	
5 ABS	AA00	A社	121	CB	5S33383	NU-0063
6 ABS	AA00	A社	121	CB	7S33342	NU-0063
7 ABS	AA00	A社	121	CB	7S43319	
8 ABS	AA00	A社	121	CB	RS33387	NU-0063
9 ABS	AA00	A社	121	CC	1S35149	RE-0007
10 ABS	AA00	A社	121	CC	1S35562-H	RE-0012
11 ABS	AA00	A社	121	CC	2S38110	DIC F42
12 ABS	AA00	A社	121	CC	3S345686	1737171 CF8089

【図 4 6】

2121 Menu 2122 2123 2124 2125 { BackPage Log Out Help Mail }

2112 LoginUser: 99999 2156 2157 { }

2113 LoginDate: 1998/01/13 11. MO材料管理単価詳細情報 { 一覧画面へ 検索画面へ }

2158 { 材料情報 単位履歴情報 実施日 199602 管理単価 325.00 }

2159 { 通貨単位 JPY 重量単位 KG 取引先限定種別 00 ロット種別 0 }

登録日: 1997/12/17 更新内容: 新規追加

更新日: 1997/12/22 コメント: テストデータ

特徴 耐候性

用途 外装小物

材料管理区分	01	充填材	GF20	加工方法	射出	ホットランナー実績有		
燃焼性クラス1	HB	板厚1	0.01	燃焼性クラス2		板厚2		
密度(スベック)(g/cm ³)	2.42	吸水率(%)	32.10	引張降伏強(Mpa)	33	引張弾性率(Mpa)	4	
曲げ強度(Mpa)	33	曲げ弾性率(Mpa)	44	アイソット衝撃強(KI/m ²)	28.20	シャルピー衝撃強(KI/m ²)	2	
破壊伸(%)	28	ロックウェルR	230	ロックウェルM	2340	耐光性	3	
耐薬品性	型合腐蝕試験データ有				RAL-UZ外装適合(1:合 2:NG)		1	
MF試験条件	F20-M40				メルトフロー(g/10min)		線膨張係数(R-5/℃)	2
成形収縮率(%)	234.00	成形収縮直(%)	221.00		荷重たわみ18K(℃)	220	荷重たわみ4,5K(℃)	3
誘電率	202.0	体積抵抗値	292.0		体積抵抗値乗数	101		

【図 4 7】

2121
Menu

2122
BackPage

2123
Log

2124
Out

2125
Help

2125
Mail

LoginUser: 99999
LoginDate: 1998/01/14

1 4. MO材料海外事業所実買単価情報検索 ～ 2165

検索条件

拠点コード	
材質記号	
メーカー名	
グレードNo.	
カラー識別	
増色No.	
社内増色No.	

2166 ～

検索

条件クリア

2167 2168

【図 4 8】

2121 Menu 2122 2123 2124 2125 BackPage Log Out Help Mail

2112 LoginUser: 99999 2113 LoginDate: 1998/01/17 1 4. MO材料海外事業所単価情報 検索結果件数: 205 2171

2143 2144 2145 2146 2147 2172 検索画面へ 為替レート表示 昇順にソート 降順にソート

2148 前リスト 次リスト 番目から表示 2150 2149

管理/実質単価	地点	材質記号	メーカー名称	グレードNo.	カラー識別	着色No.	社内着色No.
1		ABS	ASAHI CHEMICAL	VA-29	CC	NSF2107	
2		ABS	BASF				
3		ABS	BAYER	P2HAT	B		
4		ABS	CHIMEI	PA707	CC		
5		ABS	CHIMEI	PA757	B		
6		ABS	GE	CYCOLACDFAR	B		
7		ABS	GE	CYCOLAC GPM5500	CC		
8		ABS	GE	CYCOLAC VW300	CC		
9		ABS	GE	CYCOLAC VW300	CC		
10		ABS	TECHINOPOLYMER	#38	B		

【図 4 9】

2121
2112
2113

2122 2123 2124 2125
Menu BackPage Log Out Help Mail
LoginUser: 99999
LoginDate: 1998/01/17

14. MO材料海外事業所単価為替レート
検索結果件数: 2
2182 ~ 一覧画面へ 検索画面へ 2183
登録レート一覧
通貨単位 レート
1 HK\$ 1996/07/01 2000/01/01 12.00 20.00
2 JPY 1.00
2184

【図 50】

2122 2123 2124 2125

Menu BackPage Log Out Help Mail

LoginUser: 99999
LoginDate: 1998/01/13

21. MO材料部番別使用情報検索画面 ~ 2191

テーブルデータ データを選択するには左のボタンをクリックして下さい。

検索条件

会社コード	
拠点区分	
使用部番	
取引先コード	
取引先名称	
材質記号	
メーカーコード	
メーカー名称	
クレードNo.	
カラー識別	
若色No.	
社内若色No.	

検索 条件クリア

コード 名称

2193

2192

2194 2195

【図 5 1】

2121 { Menu BackPage Log Out Help Mail }

2112 { LoginUser: 99999 }

2113 { LoginDate: 1998/01/13 }

2122 2123 2124 2125 { }

21. MO材料部番別使用情報 { 検索結果件数: 2156件 }

2143 { 第1ソートキー - 指定なし } { 第2ソートキー - 指定なし } { 第3ソートキー - 指定なし } { 昇順にソート } { 降順にソート }

2144 { 検索画面へ } { 2202 }

2145 { 2146 2147 }

2148 ~ { 前リスト } { 次リスト } { 1 } { 番号から表示 }

2149 { 2150 }

	会社	拠点区分	拠点	使用部番	寸法	工程図番	取引先コード	取引先名称	材質記号	メーカーコード	メーカー名称	グレード No.
1	AAA	B	A事業所	AB0-0275-000	000	FG9003	M232		ABS	TA10	B社	NC119
2	AAA	B	A事業所	AB0-0277-000	000	FG9001	M232		ABS	TA10	B社	NC119
3	AAA	B	A事業所	AB0-0278-000	000	G99003	T631	BB	ABS	TA10	B社	NC119
4	AAA	B	A事業所	AB0-0278-000	000	G99004	T631	BB	ABS	TA10	B社	NC119
5	AAA	B	A事業所	AB0-0282-000	000	FG9002	F036		ABS	TA10	B社	NC119
6	AAA	B	A事業所	AB0-0282-000	000	FG9004	F036		ABS	TA10	B社	NC119
7	AAA	B	A事業所	AB0-0283-000	000	FG9002	F036		ABS	TA10	B社	NC119
8	AAA	B	A事業所	AB0-0283-000	000	FG9004	F036		ABS	TA10	B社	NC119
9	AAA	B	A事業所	AB0-0293-000	000	G99002	K557	CC	ABS	TA10	B社	NC119
10	AAA	B	A事業所	AB0-0294-000	000	G99001	K557	CC	ABS	TA10	B社	NC119
11	AAA	B	A事業所	AB0-0311-000	000	G99003	T583	DD	ABS	TA10	B社	NC471(CA)

2203 { 1 ~ 11 }

2204 { }

【図 5 2】

2121 Menu BackPage Log Out Help Mail

2122 2123 2124 2125

2112 LoginUser: 99999

2113 LoginDate: 1998/01/13

21. MO 材料製品情報画面 ~ 2211 検索結果件数: 336 件

2212 ~ 一覧画面へ 検索画面へ 材料費明細へ ~ 2214

2213 寸法: 000

2215

オーダー番号	拠点	オーダー名称	数量	製品群	機種群
F12-7208-001	日本研究所	*** NP6062 115V イコン	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7238-001	日本研究所	*** NP6062 115V イントレリアリ	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7239-001	日本研究所	*** NP6062 115V イントレリアン	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7268-001	日本研究所	*** NP6062 230V CA	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7248-001	日本研究所	*** NP6062 230V ッパン	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7222-001	日本研究所	*** RFA ヲキ (カンコク)	2	NP-6060/6050/6062	
F13-1011-001	日本研究所	*** S-R ヲキ CPT ナイ	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1042-001	日本研究所	*** SRF ズンツキ イッパン	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1052-001	日本研究所	*** SRF ズンツキ エイコク	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1092-001	日本研究所	*** SRF ズンツキ オウシュウ	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1062-001	日本研究所	*** SRF ズンツキ ゴウコク	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1082-001	日本研究所	*** SRF ズンツキ トクコク	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1072-001	日本研究所	*** SRF ズンツキ フツコク	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1032-001	日本研究所	*** SRF ズンツキ ホクベイ	2	NP-6085/MT-5316	
F12-8512-001	日本研究所	*** SX N350 115V ッパン	2	NP-6060/6050/6062	
F12-4952-001	日本研究所	1010 オリベ ヲキ 240/50 UK	2	NP-1010/1020/6010	
F12-4972-001	日本研究所	1010 オリベ ヲキ 220/50	2	NP-1010/1020/6010	
F12-4972-003	日本研究所	1010 オリベ ヲキ 220/50 OTH	2	NP-1010/1020/6010	
F12-4972-002	日本研究所	1010 オリベ ヲキ 220/50 ITA	2	NP-1010/1020/6010	
F12-9231-001	日本研究所	3050 OC 115V BRAZIL	2	NP-3030/3050/3050EK	NP-3000
F12-9271-001	日本研究所	3050 OC 230V FRN	2	NP-3030/3050/3050EK	
F12-9291-001	日本研究所	3050 OC 230V ITALY	2	NP-3030/3050/3050EK	
F12-9251-001	日本研究所	3050 OC 230V UK	2	NP-3030/3050/3050EK	

【図 5 3】

2122 2123 2124 2125

Menu BackPage Log Out Help Mail

2112 LoginUser: 99999

2113 LoginDate: 1998/01/13

22. MO材料部番別材料費明細情報検索画面 ~ 2221

テーブルデータ テーブルを選択するには左のボタンをクリックして下さい。

コード	名称
2224	

2222

会社コード	
拠点区分	
使用部番	
取引先コード	
取引先名称	
材質記号	
メーカーコード	
メーカー名称	
グレードNo.	
カラー識別	
若色No.	
社内若色No.	

2223

検索 条件クリア

2225 2226

【図 5 4】

2122 2123 2124 2125

Menu BackPage Log Out Help Mail

2112 LoginUser: 99999

2113 LoginDate: 1998/01/14

22 2. MO材料部番別材料費明細情報

検索結果件数: 2156件

2143 2144 2145 2146 2147

第1ソートキー 指定なし 第2ソートキー 指定なし 第3ソートキー 指定なし 昇順にソート 降順にソート

検索画面へ 2231

2148 2149 2150

前リスト 次リスト 番号から表示

	会社	拠点区分	拠点	使用部番	寸法	工程番号	取引先	取引先名称	材質記号	メーカー	メーカー名称	グレード No.
1	AAA	B	A事業所	AB0-0275-000	000	FG9003	M232		ABS	TA10	B社	NC119
2	AAA	B	A事業所	AB0-0277-000	000	FG9001	M232		ABS	TA10	B社	NC119
3	AAA	B	A事業所	AB0-0278-000	000	G99003	T631	BB	ABS	TA10	B社	NC119
4	AAA	B	A事業所	AB0-0278-000	000	G99004	T631	BB	ABS	TA10	B社	NC119
5	AAA	B	A事業所	AB0-0282-000	000	FG9002	F036		ABS	TA10	B社	NC119
6	AAA	B	A事業所	AB0-0282-000	000	FG9004	F036		ABS	TA10	B社	NC119
7	AAA	B	A事業所	AB0-0283-000	000	FG9002	F036		ABS	TA10	B社	NC119
8	AAA	B	A事業所	AB0-0283-000	000	FG9004	F036		ABS	TA10	B社	NC119
9	AAA	B	A事業所	AB0-0293-000	000	G99002	K557	CC	ABS	TA10	B社	NC119
10	AAA	B	A事業所	AB0-0294-000	000	G99001	K557	CC	ABS	TA10	B社	NC119
11	AAA	B	A事業所	AB0-0311-000	000	G99003	T583	DD	ABS	TA10	B社	NC471(CA

2122 2123 2124 2125

Menu BackPage Log Out Help Mail

LoginUser: 99999

LoginDate: 1998/01/13

22. MO材料製品情報画面

検索結果件数: 336件

2242

一覧画面へ

2243

検索画面へ

2244

使用情報へ

番号: FA2-8225-000

寸法: 000

オーダー番号	拠点	オーダー名称	数量	製品群	細分類
F12-7208-001	B事業所	*** NP6062 115V イワン	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7238-001	B事業所	*** NP6062 115V イシトレイアリ	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7239-001	B事業所	*** NP6062 115V イシトレイナシ	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7268-001	B事業所	*** NP6062 230V CA	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7248-001	B事業所	*** NP6062 230V ッパン	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7222-001	B事業所	*** RFAVキ (カンコク)	2	NP-6060/6050/6062	
F13-1011-001	B事業所	*** S-RPキ CFFPナイ	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1042-001	B事業所	*** SRF ズンツキ イッパン	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1052-001	B事業所	*** SRF ズンツキ エイコク	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1092-001	B事業所	*** SRF ズンツキ オウシュウ	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1062-001	B事業所	*** SRF ズンツキ コウコク	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1082-001	B事業所	*** SRF ズンツキ ドクコク	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1072-001	B事業所	*** SRF ズンツキ フツコク	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1032-001	B事業所	*** SRF ズンツキ ホクペイ	2	NP-6085/MT-5316	
F12-8512-001	B事業所	*** SX N350 115V ッパン	2	NP-6060/6050/6062	
F12-4952-001	B事業所	1010オリベッティ 240/50 UK	2	NP-1010/1020/6010	
F12-4972-001	B事業所	1010オリベッティ 220/50	2	NP-1010/1020/6010	
F12-4972-003	B事業所	1010オリベッティ 220/50 OTH	2	NP-1010/1020/6010	
F12-4972-002	B事業所	1010オリベッティ 220/50 ITA	2	NP-1010/1020/6010	
F12-9231-001	B事業所	3050 OC 115V BRAZIL	2	NP-3030/3050/3050EK	NP-3000
F12-9271-001	B事業所	3050 OC 230V FRN	2	NP-3030/3050/3050EK	
F12-9291-001	B事業所	3050 OC 230V ITALY	2	NP-3030/3050/3050EK	
F12-9251-001	B事業所	3050 OC 230V UK	2	NP-3030/3050/3050EK	

2121
2112
2113

2245

【図 5 6】

2122 2123 2124 2125

Menu BackPage Log Out Help Mail

LoginUser: 99999
LoginDate: 1998/01/13

31. MO材料材質別サマリ情報検索画面 ~ 2251

検索条件

材質記号	
メーカーコード	
メーカー名称	
クレードNo.	
カラー識別	
若色No.	
社内着色No.	
拠点名称	

テーブルデータ

コード	名称
	2253

金額 重量 条件クリア

2254 2255 2256

2121 2112 2113 2253 2252

【図 5 7】

2121 Menu

2112 BackPage

2113 Log Out

2122 2123 2124 2125

2125 Help

2125 Mail

LoginUser: 99999

LoginDate: 1998/01/14

31. MO材料材質別サマリ情報 (金額)

検索結果件数: 616件

2143 2144 2145 2146 2147

2262 2263 2261

2148 2149 2150

2148 2149 2150

第1ソートキー 指定なし

第2ソートキー 指定なし

第3ソートキー 指定なし

昇順にソート

降順にソート

重量

検索画面へ

番号から表示

No.	品名	材質記号	グレードNo.	カラー識別	着色No.	社内着色No.	拠点	1997/05	1997/06	1997/07	使
1	UA00 ABS	ABS	VW8	SB	450		B事業所	11588	156815	111571	
2	UA00 ABS	ABS	VW8	SB			B事業所	0	67058	204744	
3	UA00 ABS	ABS	VW8	NC	11001		B事業所	139	36906	125677	
4	UA00 ABS	ABS	VW8	CC	090423-3		B事業所	0	0	0	
5	UA00 ABS	ABS	VW8	CC	050701-1	ブルーベリ-	B事業所	17071	62660	43778	
6	UA00 ABS	ABS	VW8	CC	050655	PB-0004	B事業所	155232	233318	1611857	
7	UA00 ABS	ABS	VW8	CC	036181-1		B事業所	0	0	0	
8	UA00 ABS	ABS	VW8	CC	036180		B事業所	0	0	0	
9	UA00 ABS	ABS	VW8	CC	035234	ワックス-2#2グレイ	B事業所	2186451	7250513	3327704	
10	UA00 ABS	ABS	VW8	CC	035157-1	NU-0122	B事業所	84160	314964	418821	
11	UA00 ABS	ABS	VW8	CC	035114	パールホワイト	B事業所	1844494	248763	1051737	
12	UA00 ABS	ABS	VW8	CC	034631-1	NU-0008	B事業所	6420599	6838963	6371900	
13	UA00 ABS	ABS	VW8	CC	034631		B事業所	379771	404868	491477	
14	UA00 ABS	ABS	VW8	CC	034108	クォーツグレイ	B事業所	92540093	62686447	69956365	
15	UA00 ABS	ABS	VW8	CC	031529		B事業所	126505	147837	35284	
16	UA00 ABS	ABS	VW8	CC			B事業所	1285842	1256427	1350975	
17	UA00 ABS	ABS	VW7	SB	450		B事業所	7863014	8955238	8644983	

【図 5 9】

2122 2123 2124 2125

Menu BackPage Log Out Help Mail

LoginUser: 99999

LoginDate: 1998/01/14

41. MO材料スペック情報検索画面 ~ 2281

検索条件

材料記号

メーカーコード

メーカー名

グレードNo.

材料管理区分

充填材

加工方法

燃焼性クラス

ホットランナー実績

MF試験条件

メルトフロー

特徴1

特徴2

特徴3

特徴4

用途1

用途2

コード

名称

2284

2285 2286

検索 条件クリア

2121 Menu 2122 2123 2124 2125 2112 BackPage Log Out Help Mail 2113 LoginUser: 99999 LoginDate: 1998/01/14 41. MO材料スペック情報 検索結果件数: 23

検索画面へ 2143 2144 2145 2146 2147 昇順にソート 降順にソート

材質記号	メーカーコード	メーカー名称	グレードNo.	管理区分	充填材	燃焼性クラス
1 A/EPDM/S	UA00	A社	EDF20	01	GF20	H3
2 A/SI/S	AA00	B社	100Z	01	GF20	AH2
3 A/SI/S	TA00	C社	SX-E105	01	GF20	HB
4 A/SI/S	TA00	C社	SXE105	01	GF20	HB
5 A/SI/S	TA00	C社	SXH105	01	GF20	HB
6 A/SI/S	TA00	C社	SXN476	01	GF20	HB
7 ABS	AA00	B社	100	01	GF20	HB
8 ABS	AA00	B社	1000	01	GF20	HB
9 ABS	AA00	B社	100AZ	01	GF20	HB
10 ABS	AA00	B社	100P	01	GF20	H10
11 ABS	AA00	B社	100V	01	GF20	H1
12 ABS	AA00	B社	100Z	01	GF20	HB
13 ABS	TA00	C社	SXE105	01	GF20	HB

【図 6 1】

2121 { Menu BackPage Log Out Help Mail }

2122 { 2122 2123 2124 2125 }

2112 { LoginUser: 99999 }

2113 { LoginDate: 1998/01/14 }

41. MO材料スペック情報詳細画面 ~ 2301

材質記号	A/EPDM/S	メーカーコード	UA00	メーカー名称	A社
グレードNo.	EDF20	材料管理区分	01	充填材	GF20
加工方法	射出	ホットランナー実装	無		

燃焼性クラス1	板厚1	燃焼性クラス2	板厚2
密度 (g/cm ³)	2.42	引張強度 (Mpa)	33
曲げ強度 (Mpa)	33	引張弾性率 (Mpa)	42
破断伸 (%)	28	引張弾性率 (Mpa)	28.30
耐薬品性	型合成形試験データ有	引張弾性率 (Mpa)	3
MF試験条件	F20-M40	引張弾性率 (Mpa)	1
成形収縮率 (%)	234.00	引張弾性率 (Mpa)	202.0
荷重たわみ 18K	202.0	引張弾性率 (Mpa)	101

特徴	耐候性
用途	外装小物

登録変更日 1998/01/07 登録内容 新規追加

コメント テストデータ

管理画面情報画面へ

管理/実質価情報画面へ

検索画面へ

一覧画面へ

2302 { 2303 2304 2305 2306 }

【図 6 2】

2121 Menu 2122 BackPage 2123 Log Out 2124 Help 2125 Mail

2112 LoginUser: 99999 51. MO材料色承認情報検索画面 ~ 2311

2113 LoginDate: 1998/01/14

検索条件

判定書管理No.	
材質記号	
メーカーコード	
メーカー名称	
グレードNo.	
メーカー管理No.	
色彩番号	
色彩名称	
判定結果	
判定日	
主管部門	
添付データ	
コメント	

テーブルデータ

コード	名称
	2314

検索 条件クリア

2315 2316

2313 { 2312 {

【図 6 3】

2121 Menu 2122 2123 2124 2125 2112 BackPage Log Out Help Mail 2113 LoginUser: 99999 LoginDate: 1998/01/14

51. MO材料色承認情報 2321 検索結果件数: 122件

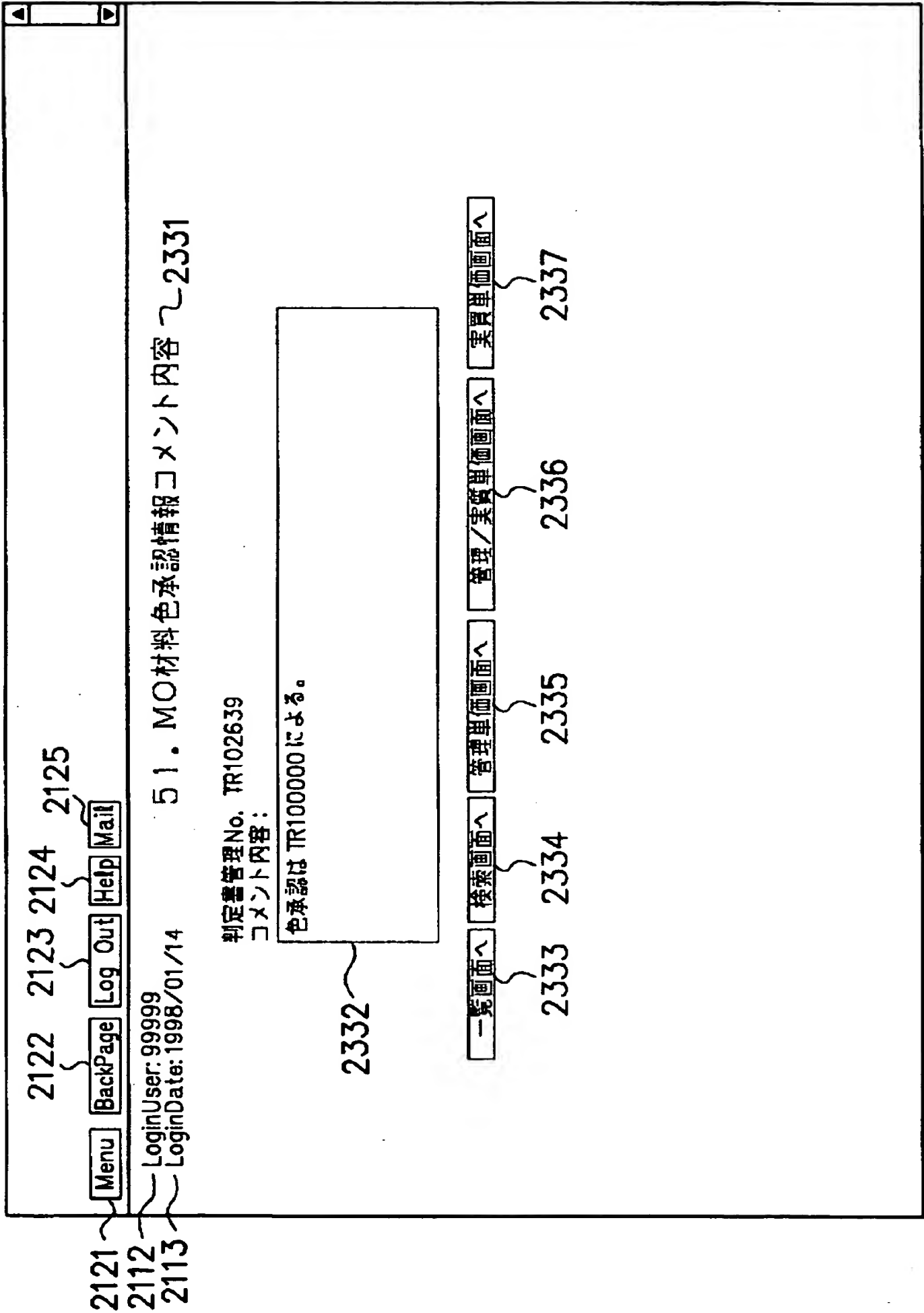
2143 2144 2145 2146 2147 2148 2149 2150

2322 2323 2324 2325 2326

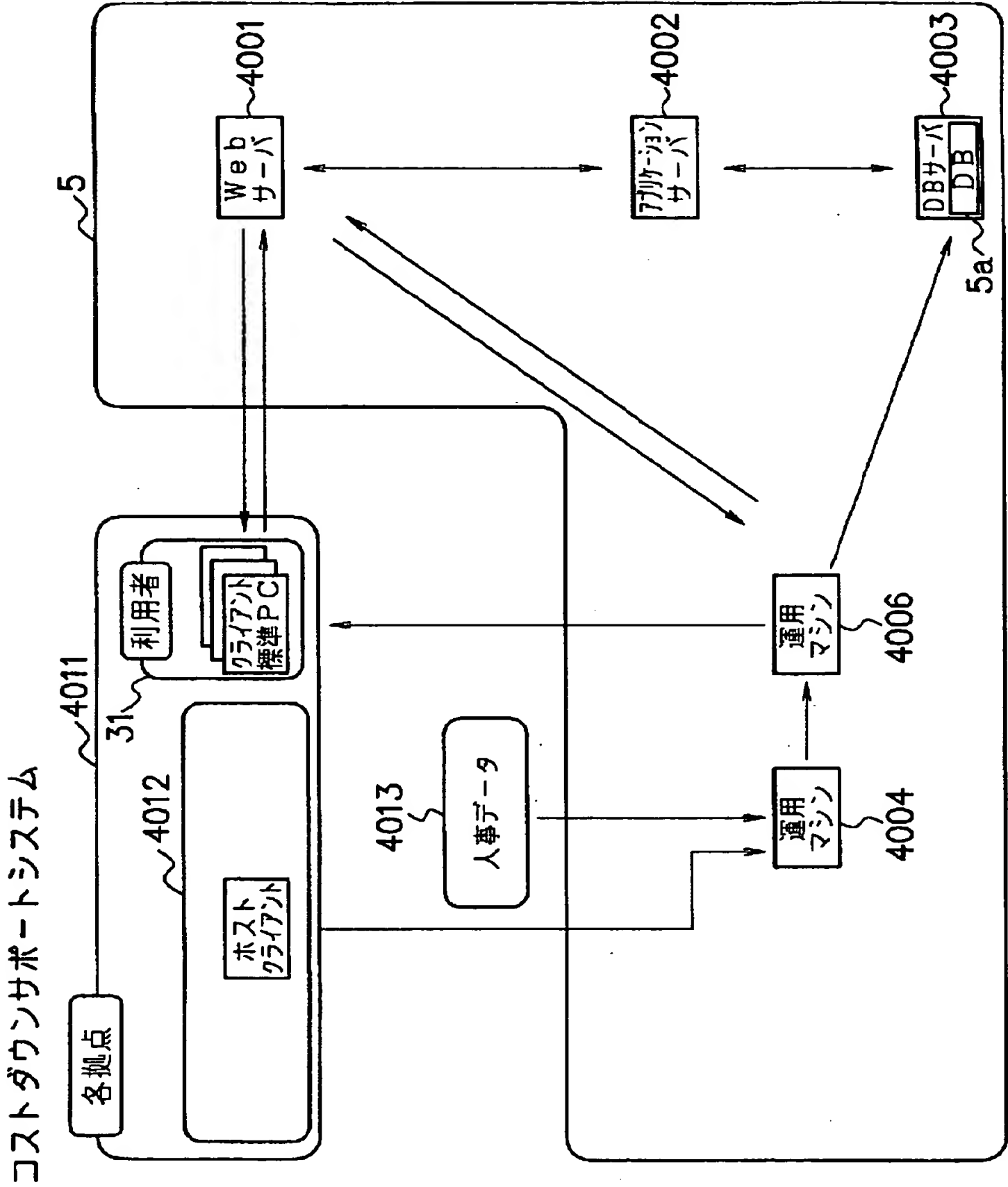
2327 2328

コメント	判定番号	メーカーコード	メーカー名称	材質記号	グレードNo.	メーカー管理No.	色彩番号	色彩名称	判定結果
01 無	TR102840	AA00	A社	ABS	100	S43303	NU-0138	コールグレイ	合格
02 有	TR102639	AA10	A社	ABS	12	8DB660		PANTONE Pro.Yellow C	条件付合格
03 無	TR102650	AA10	A社	ABS	12	8U2051	NU-0008	アートグレイ7.5	合格
04 無	TR102654	AA10	A社	ABS	12	920100	NU-0008	アートグレイ7.5	合格
05 有	TR102655	AA10	A社	ABS	12	935980	NU-0008	アートグレイ7.5	合格
06 無	TR102619	AA10	A社	ABS	12	0D3160	NU-0008	アートグレイ7.5	条件付合格
07 有	TR102618	AA10	A社	ABS	12	0D2420	NU-0008	アートグレイ7.5	条件付合格
08 無	TR102644	AA10	A社	ABS	12	8E9940	NU-0015	グレイッシュジャスパーグリーン	合格
09 無	TR102649	AA10	B社	ABS	12	8U1391	NU-0138	コールグレイ	合格
010 無	TR102438	AA10	B社	ABS	12	NAT	NU-0142	シールグレイ	合格
011 無	TR102637	AA10	B社	ABS	12	8D9750	NU-0122	ミスティグレイ	合格

【図 6 4】



【図 6 5】

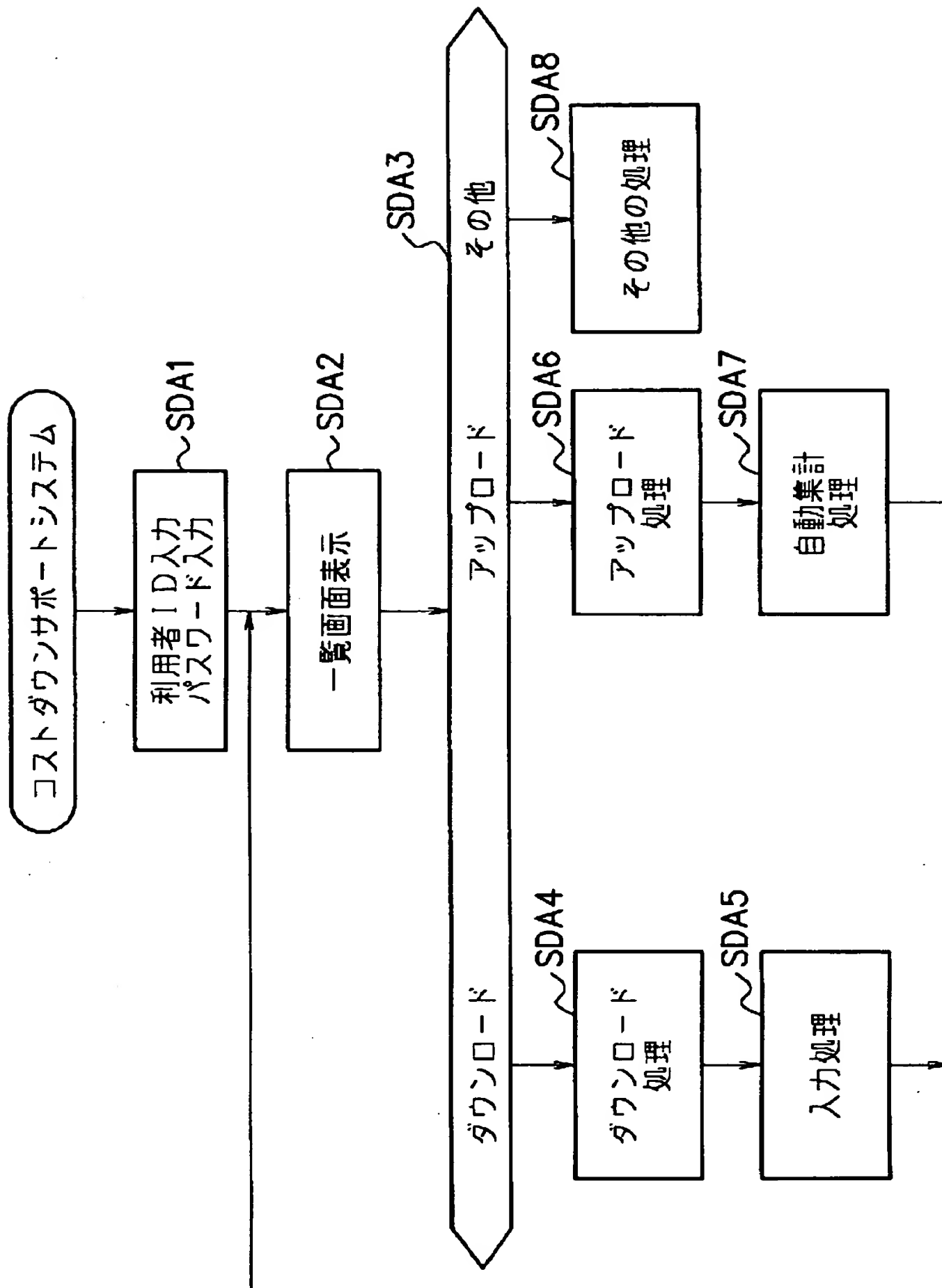


【図 6 6】

データベース

5a	部 番	~ 5aa
	工 程	~ 5ab
	図 番	~ 5ac
	取 引 先	~ 5ad
	検収年月	~ 5ae
	検収総数	~ 5af
	検収単価	~ 5ag
	為替レート	~ 5ah
	コストダウン情報	~ 5ai
	マスタ単価等	~ 5aj
	利 用 者	~ 5ak
	セキュリティ	~ 5al

【図 67】



【図 6 8】

コストダウンサポートシステム

4101 ~ 利用者ID :

4102 ~ パスワード :

4103 ~ ログイン パスワード変更 4104

4105 ~

1. 曜日90日アクセスがない場合は、アクセス権を自動的に抹消させていただきます。
（御利用時に再度、利用申請書の提出が必要になります。）

2. 利用者はセキュリティー保護の為、パスワード変更を月1回必ず実施してください。

【図 6 9】

4112

LoginUser:pmc LoginDate:1998/10/26 IPAddress:150.61.245.99 *1998年9月末現在

4113

Menu BackPage Log Out Help Mail

4114

4121 4122 4123 コストダウンサポートデータ件数一覧〜4131

4111

アップロード〜4132

会社拠点	他の拠点よりも高い部番の検収データ			他の拠点よりも安い部番の検収データ		
	件数	ダウンロード	件数	ダウンロード	件数	ダウンロード
海外事業所	24	メカ部品	54	電子部品	14	メカ部品
A 事業所	379	メカ部品	579	電子部品	197	メカ部品
B 事業所	63	メカ部品	82	電子部品	31	メカ部品
		4134		4135		4136
						4137

【図 7 0】

4141	4141a	4141b	4141c	4141d	4141e	4141f	4141g
会社拠点		部 番	工 程	図 番	取 引 先	検収年月	通貨
C 事業所		87-2841-000	LX	W99003	A 社	1998/05	日本円
D 事業所		F41-5931-004	AS	000012	B 社	1998/05	日本円

【図 7 1】

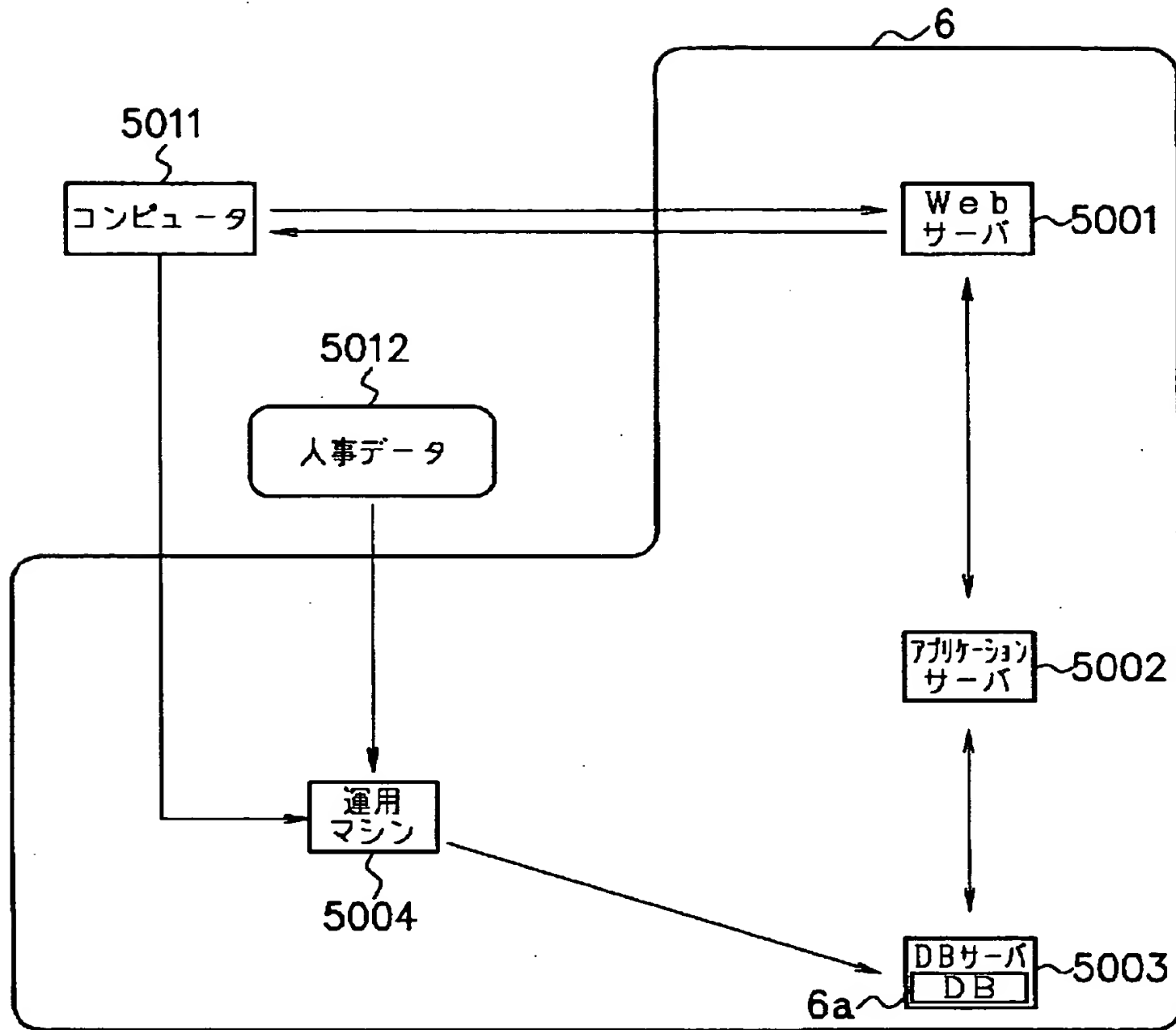
4141	4141a	4141h	4141i	4141j	4141k	4141l	4141m
会社拠点		検収総数量 (該当月内累計)	最新検収単価 (現地通貨)	検収総金額 (現地通貨)	該当月平均 為替レ－ト	最新検収単価 (円換算)	検収総金額 (円換算)
C事業所		40	12	480	1	12	480
D事業所		100	6890	689000	1	6890	689000

【図 7 2】

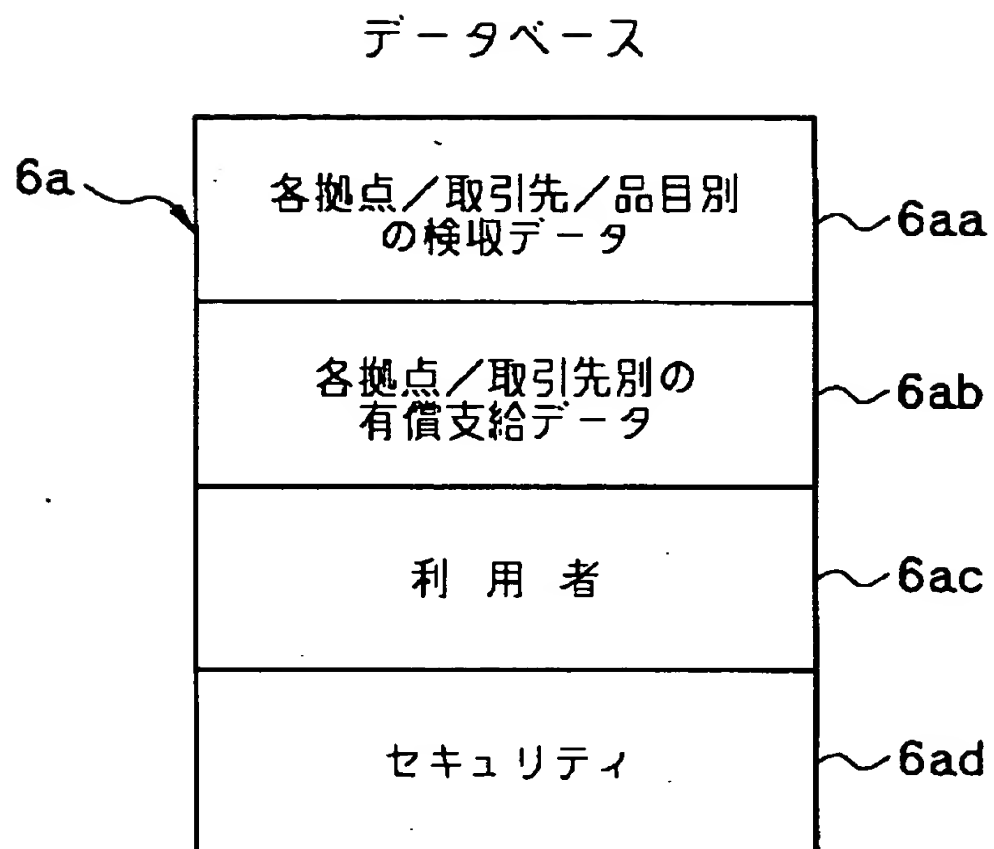
4141	4141a	4141n	4141o	4141p	4141q	4141r
	会社拠点	差額：検収単価の差 （円換算）	差額：検収総金額の差 （円換算）	コストダウン後の単価 （現地通貨）	入力年月日	コストダウン 交渉結果
	C事業所	0.24	9.6	11.5	1998/09/01	1998-10から適用
	D事業所	514.64	51464		1998/09/15	協定価格により不可

【図 7 3】

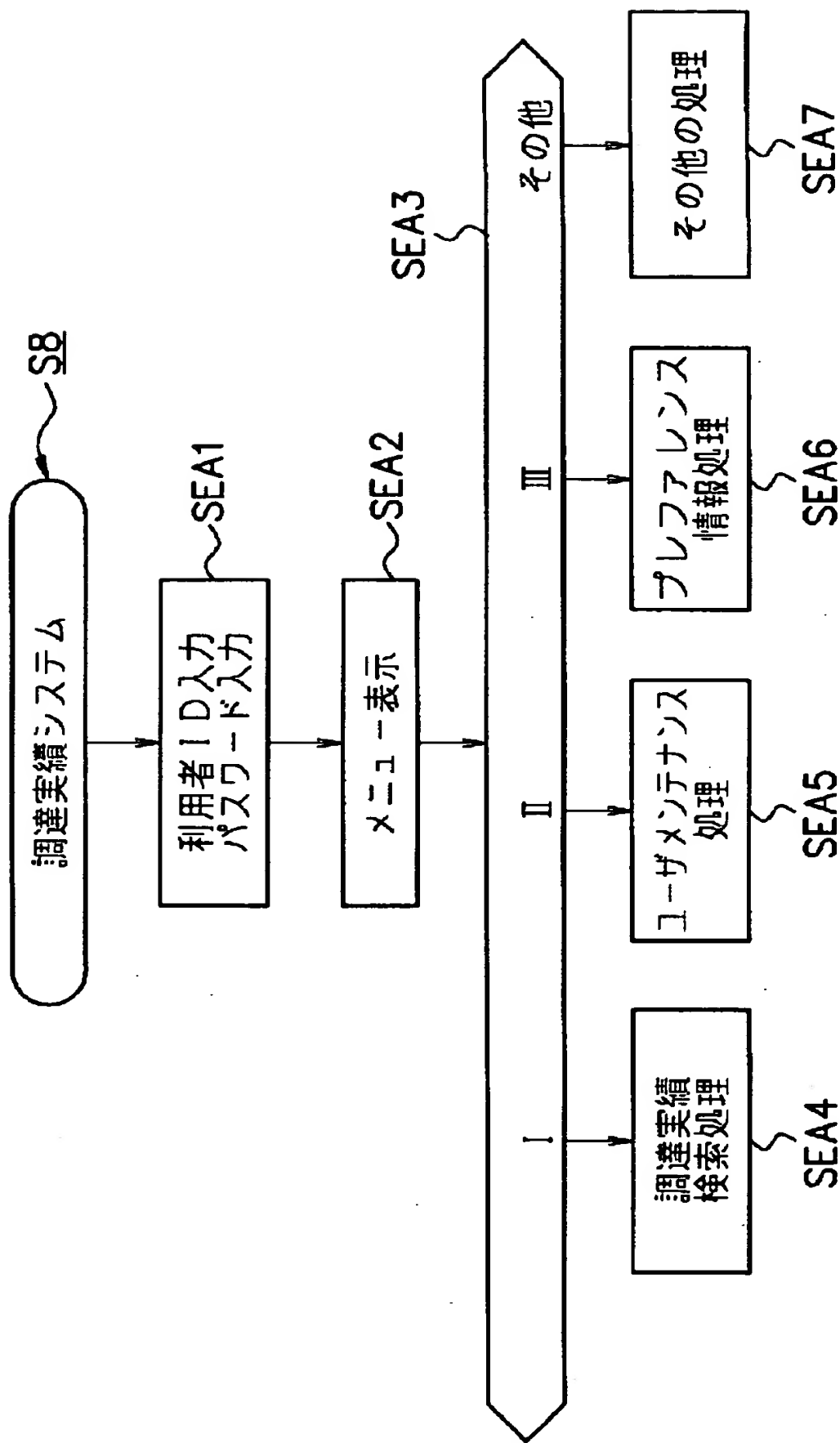
調達実績システム



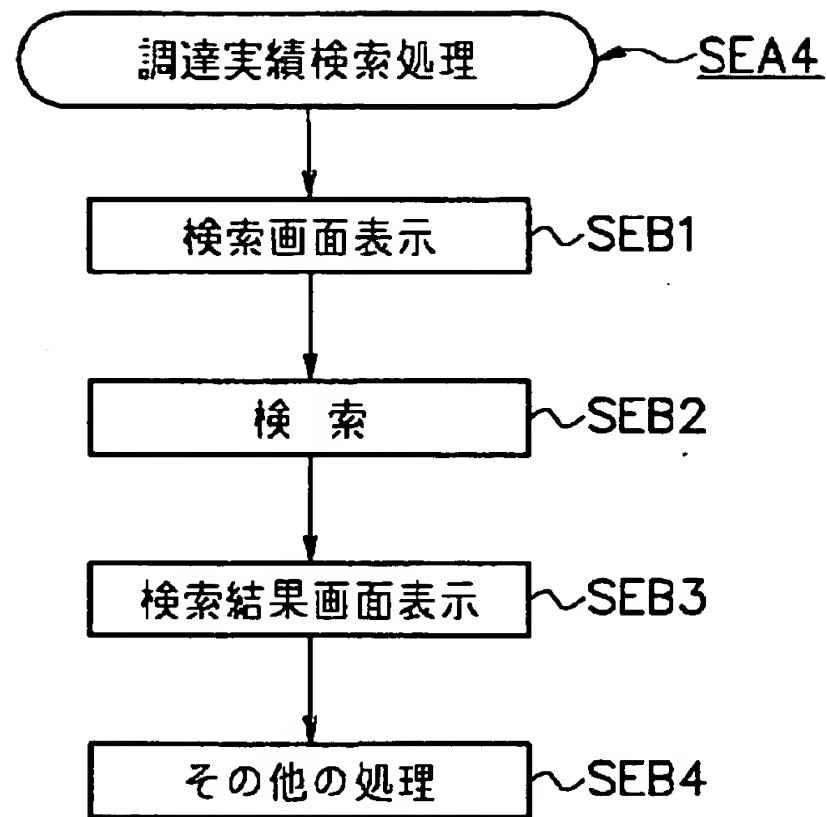
【図 7 4】



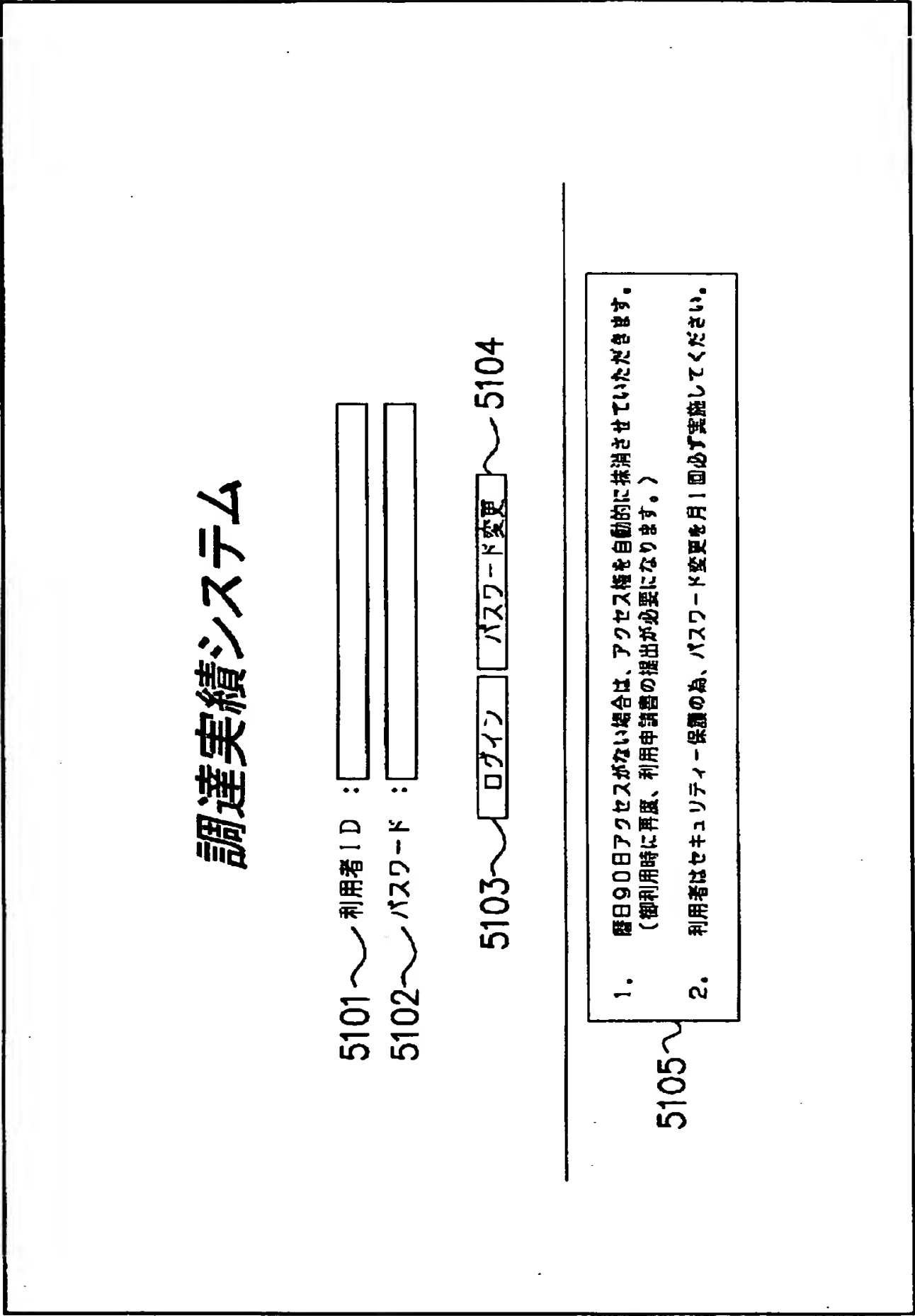
【図 7 5】



【図 7 6】



【図 7 7】



【図 7 8】

5121 5122 5123 5124

Menu BackPage Log Out Mail

5111

1997年12月24日現在

5112 LoginUser: super

5113 LoginDate: 1998/02/26

5114 LoginIP Address: 172.16.30.37

調査実績システム

I 調査実績検索 表示 5131

II ユーザーメンテナンス 更新 5132

III プレファレンス情報 更新 5133

5112
LoginUser: super

5113
LoginDate: 1998/02/26

5114
LoginIP Address: 172.16.30.37

5121
Menu BackPage Log Out Mail

5122
5123
5124

5141

集計方法選択

○ E. 窓口別取引先別購入実績

○ F. 窓口別取引先別購入実績 (有償支給)

○ G. 窓口別品目別購入実績

○ H. 窓口別取引先別品目別購入実績

○ I. 窓口別品目別取引先別購入実績

○ J. 取引別窓口別購入実績

○ K. 取引先別窓口別購入実績 (有償支給)

○ L. 取引先別品目別購入実績

○ M. 取引先別窓口別品目別購入実績

○ N. 取引先別品目別窓口別購入実績

5142

条件入力用補助画面

1. まず、上の「集計方法選択」より、表示したい画面を入力します。

2. 次に、左の条件入力画面に必要な条件を入力します。

「品種品目」と「取引先」の欄には、
品種品目、取引先 ボタンをクリックすることで
ここに条件入力のための補助画面が表示されます。
その中から項目のボタンをクリックすることで、条件入力できます。

3. 条件の入力が済んだら、左の条件入力画面の 検索 ボタンをクリックします。

実績年度	今年度
品目品種	
取引先	
対象範囲	TNCX 関係会社
対象窓口	
検索	条件クリア

7 8

出証特 2 0 0 1 - 3 0 1 6 5 8 9

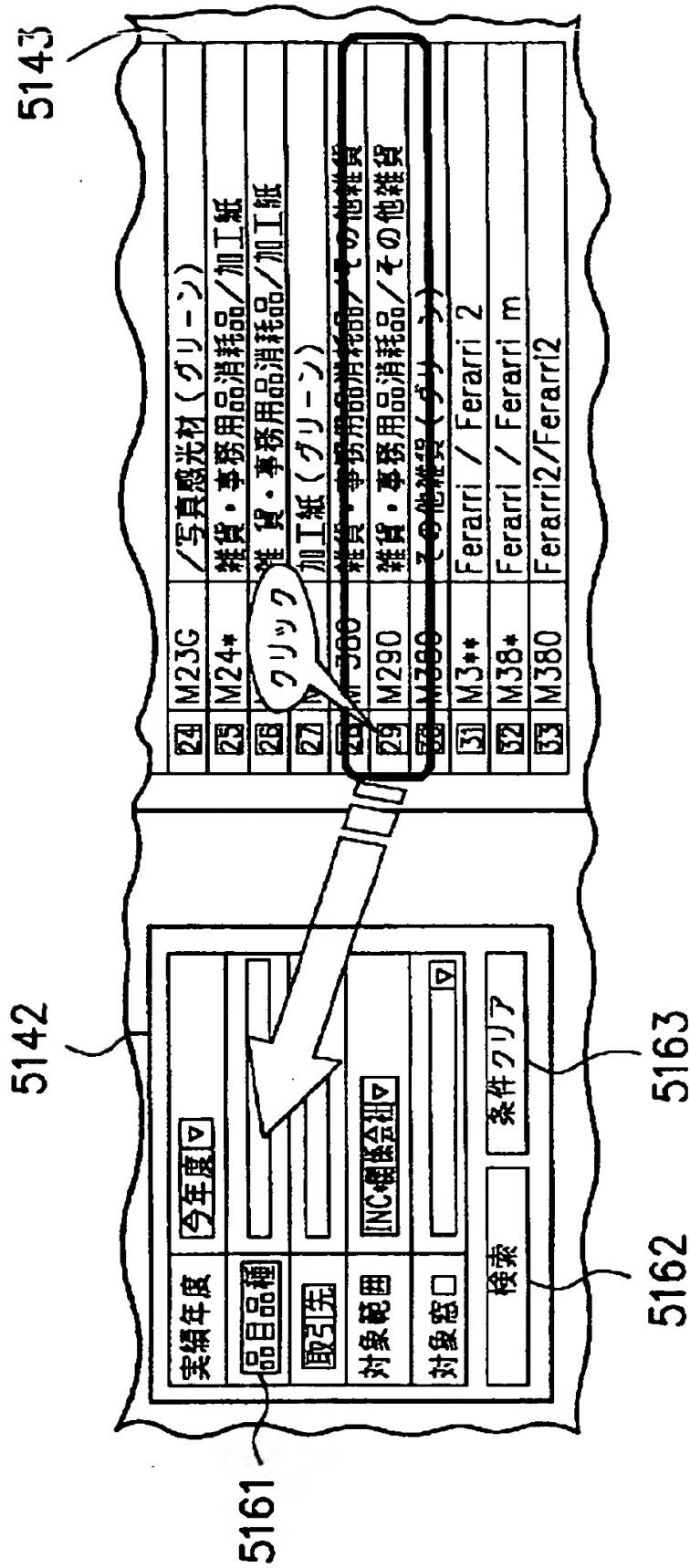
【図 8 0】

5141

5151

集計方法選択	OE : 窓口別取引先別購
OA : 品目別窓口別購入実績	OF : 窓口別取引先別購入
OB : 品目別取引先別購入実績	OG : 窓口別品目別購入実
OC : 品目別窓口別取引先別購入実績	OH : 窓口別取引先別品目
OD : 品目別取引先別窓口別購入実績	OI : 窓口別品目別取引先

【図 8 1】



【図 8 2】

5112
5113
5114
5121

LoginUser: super

LoginDate: 1998/02/26

LoginIP Address: 172.16.30.37

Menu BackPage Log Out Mail

5123

5124

5122

A : 品目別窓口別購入実績

5171

実績年度: 1998年

品目品種: M290 / 雑貨・事務用消耗品 / その他雑貨

対象範囲: INC* 関係会社

単位 / 1000円

5172

拠点・窓口	1月	2月	3月	4月	5月	6月	年間計	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	上期計	下期計
A 事業所	1	2	3	4	6	7	23	
	8	9	10	10	11	12	60	83
B 事業所	2	3	4	5	6	7	27	
	2	3	2	3	2	3	15	6949
C 事業所	20	30	40	50	60	70	268	
	12	46	79	99	65	32	333	346
合計	23	35	47	59	71	83	318	7378
	22	57	91	111	79	47	408	

【図 8 3】

5171

A : 品目別窓口別購入実績		5181
実績年度: 1998年		
品目品種: M290/ 雑貨・事務用消耗品/その他雑貨		
対象範囲: INC* 関係会社		単位/1000円

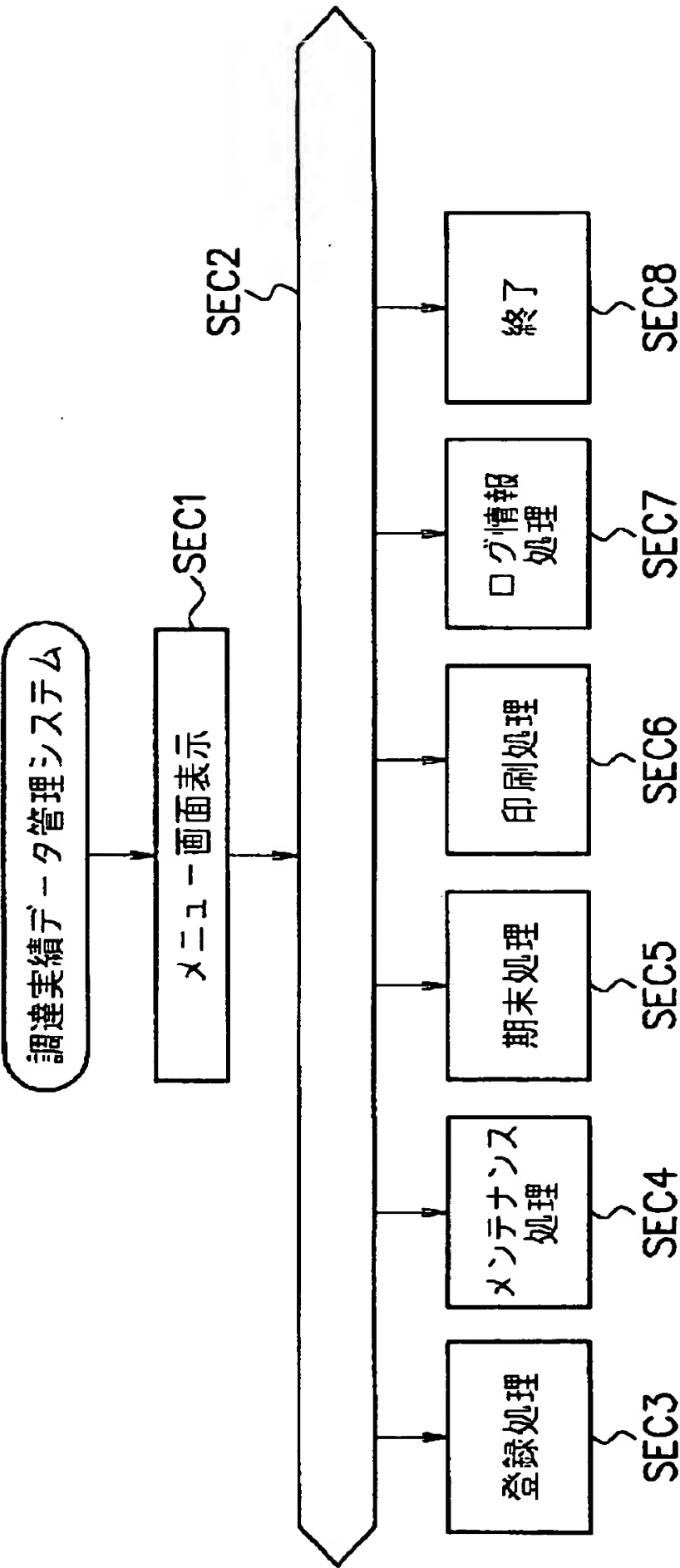
5183 5182

【図 8 4】

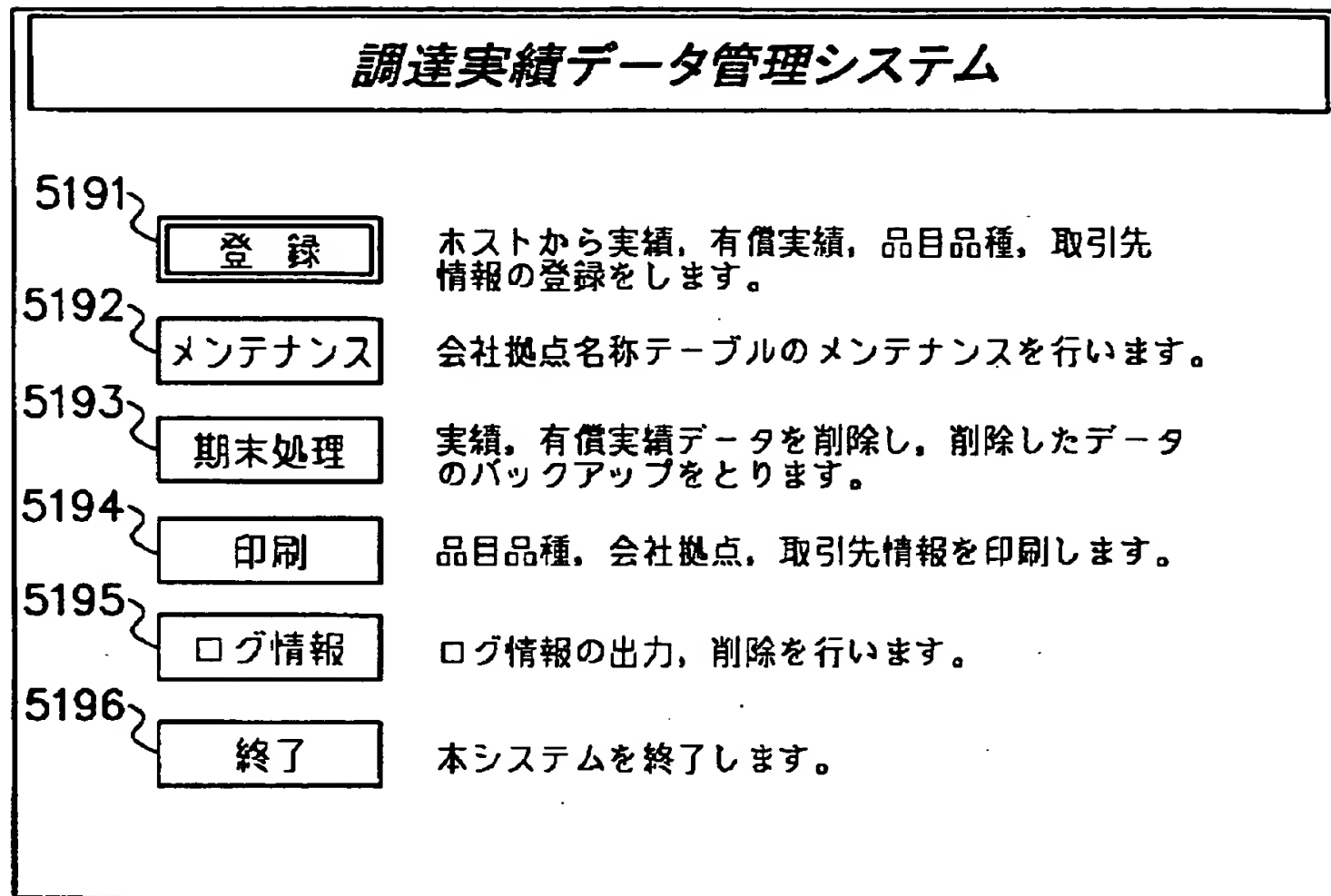
拠点・窓口	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上期計		年間計
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下期計	下期計	
A事業所	1	2	3	4	6	7	23		83
	8	9	10	10	11	12	60		
	2	3	4	5	6	7	27		
B事業所	2	3	2	3	2	3	15		6949
	20	30	40	50	60	70	268		
	12	46	79	99	65	32	333		
C事業所	23	35	47	59	71	83	318		346
	22	57	91	111	79	47	408		
合計									7378

5172~

【図 8 5】



【図 8 6】



【図 8 7】

5201

① 1994 年度のデータを削除します。（複数選択可）
また、削除したデータをテキスト形式で保存します。

5207 削除

	名前	件数
5202 <input type="checkbox"/>	検収データ	2
<input type="checkbox"/>	有償支給データ	2

② 選択したデータをテキスト形式で保存します。
（複数選択可）

5208 削除

	名前	件数
<input type="checkbox"/>	取引先データ	8
5203 <input type="checkbox"/>	品目品種データ	7
<input type="checkbox"/>	会社拠点名称データ	8

設定

5204

実行

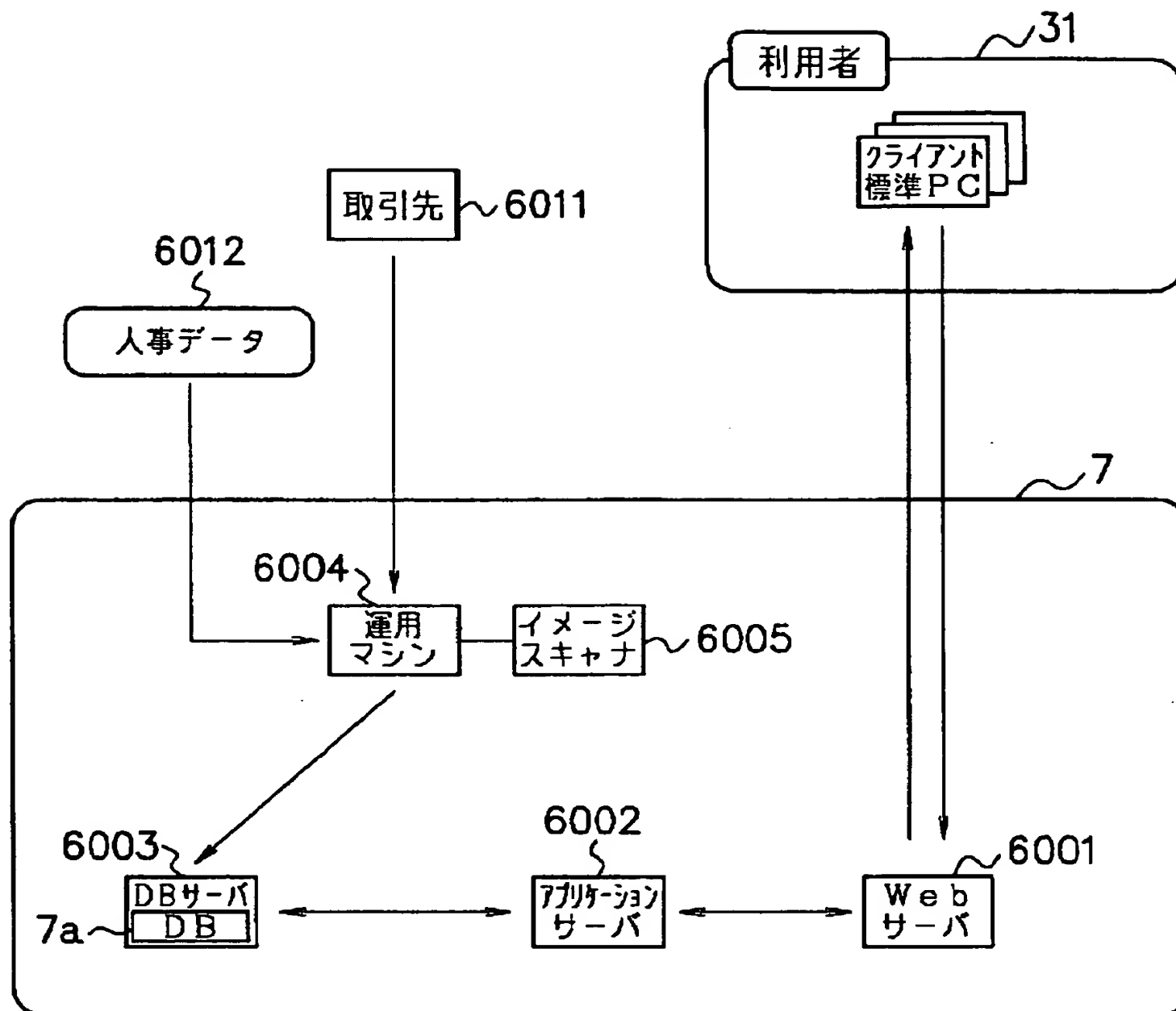
5205

閉じる

5206

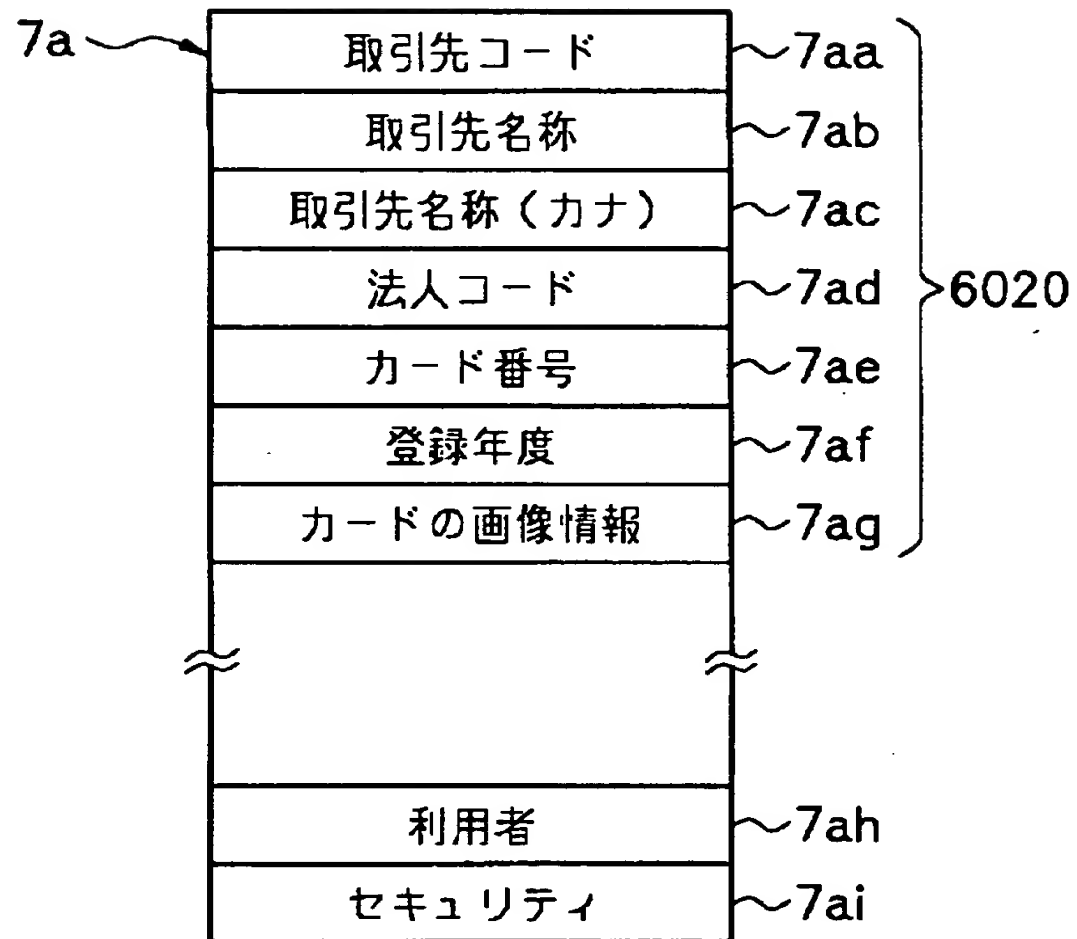
【図 8 8】

取引先カード情報システム

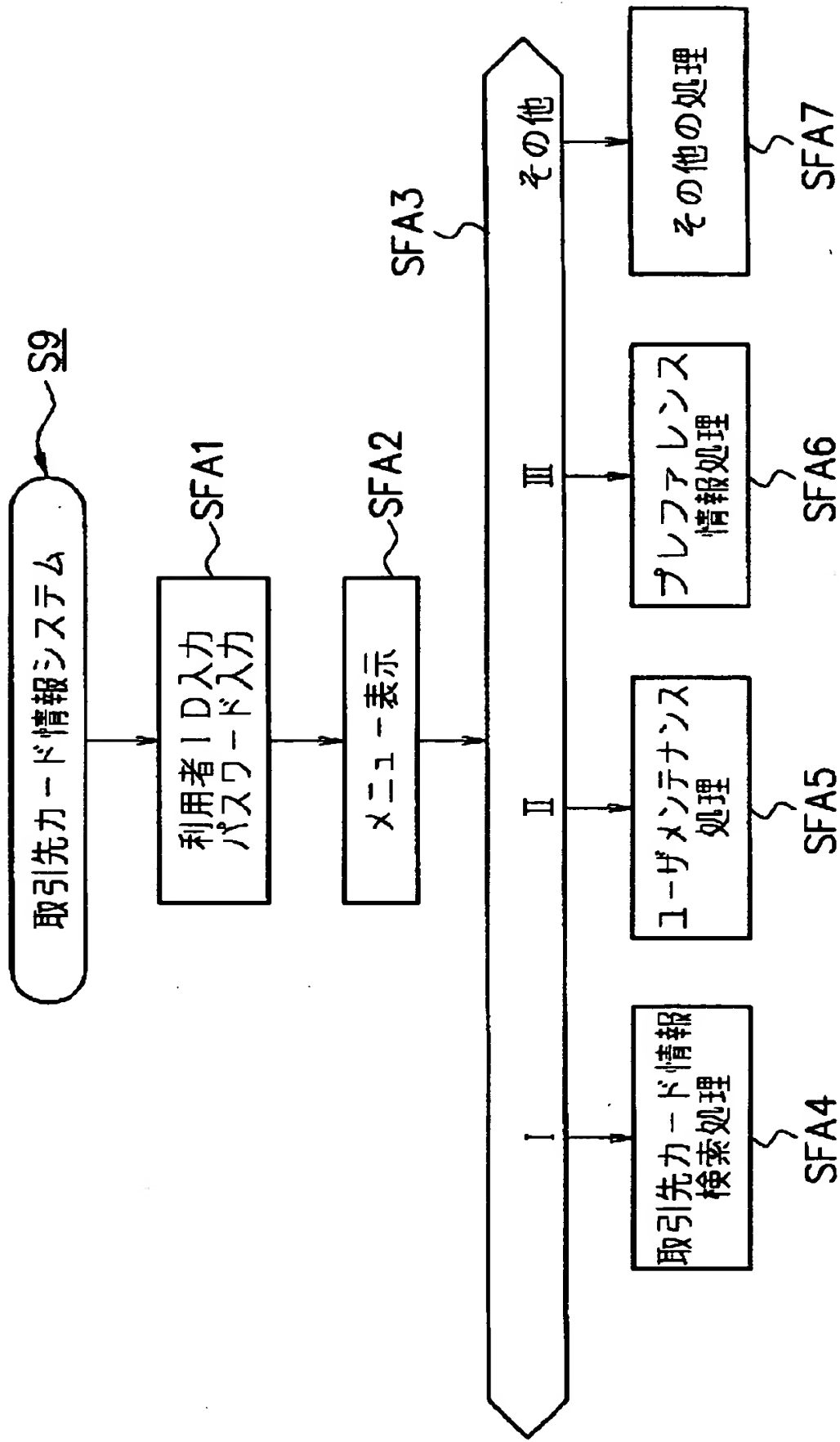


【図 8 9】

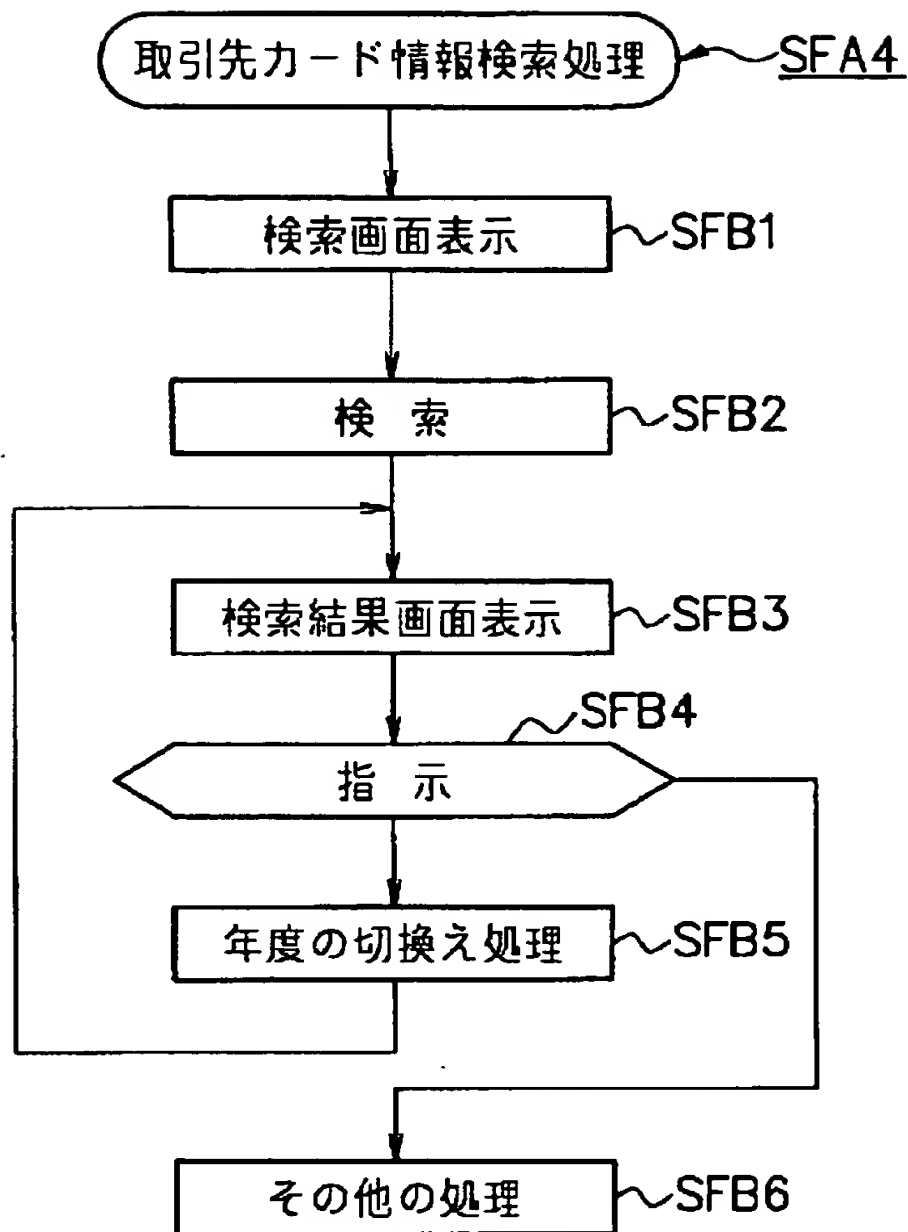
データベース



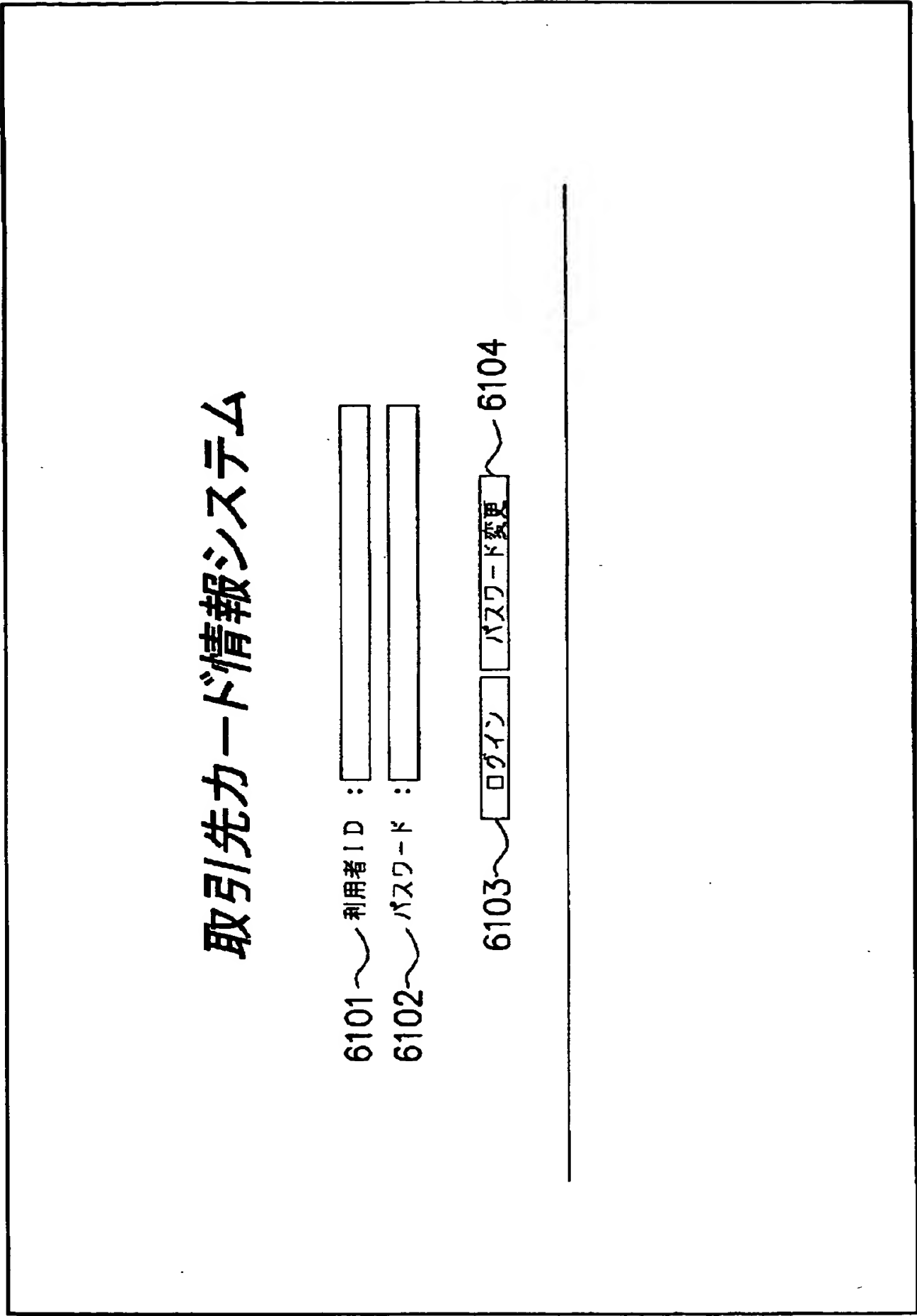
【図 9 0】



【図 9 1】



【図 9 2】



【図 9 3】

6121 6122 6123 6124

Menu BackPage Log Out Mail

6111

1998年01月29日現在

取引先カード情報システム

6112 LoginUser: super

6113 LoginDate: 1998/02/26

6114 LoginIP Address: 172.16.30.37

I 取引先カード情報検索 表示 6131

II ユーザメンテナンス 更新 6132

III プレファレンス情報 更新 6133

【図 9 4】

6112
LoginUser: yamane

6113
LoginDate: 1998/09/02

6114
LoginIP Address: 150.61.245.53

6153

6141
条件入力

6142
年度指定
1998 ☐ 検索するカードの年度も指定してください。

6143
取引先コード
A0

6144
取引先名
取引先コードは大文字半角で入力

6145
取引先名(カナ)
取引先名は(株) (有) 等は省略して入力

6146
検索

6147
条件クリア

1998年度 検索結果

取引先コード	取引先名	取引先名(カナ)
A002	写真制作所	シャシンセイサクジヨ
A003	化学工業(株)	カガクコウギョウ(カ)
A004	計器工業(株)	ケイキコウギョウ(カ)
A005	(有) 精機	(コ) セイキ
A006	設備(株)	セツビ(カ)
A007	(株) 商店	ショウテン(カ)
A008	アクセス(株)	アクセス(カ)
A009	硝子(株)	ガラス(カ)
A010	石油化学(株)	セキユカガク(カ)
A011	(株) 製作所	(カ) セイサクジヨ

6161
取引先カードを見る

6162
ログアウト

【図 9 5】

6112 6113 6114

6171 ~ 検索画面へ 先頭頁 前頁 次頁 最終頁 拡大/縮小 1998 Log OUT

6172 6173 6174 6175 6176 6177 6178

LoginUser: yamane / LoginDate: 1998/09/02 / LoginIP Address: 150.61.245.53

取引コード: A005 取引先名: (有) 精機 取引先名: (カナ) (コ) セイキ 登録枚数: 1/6

取引先コード

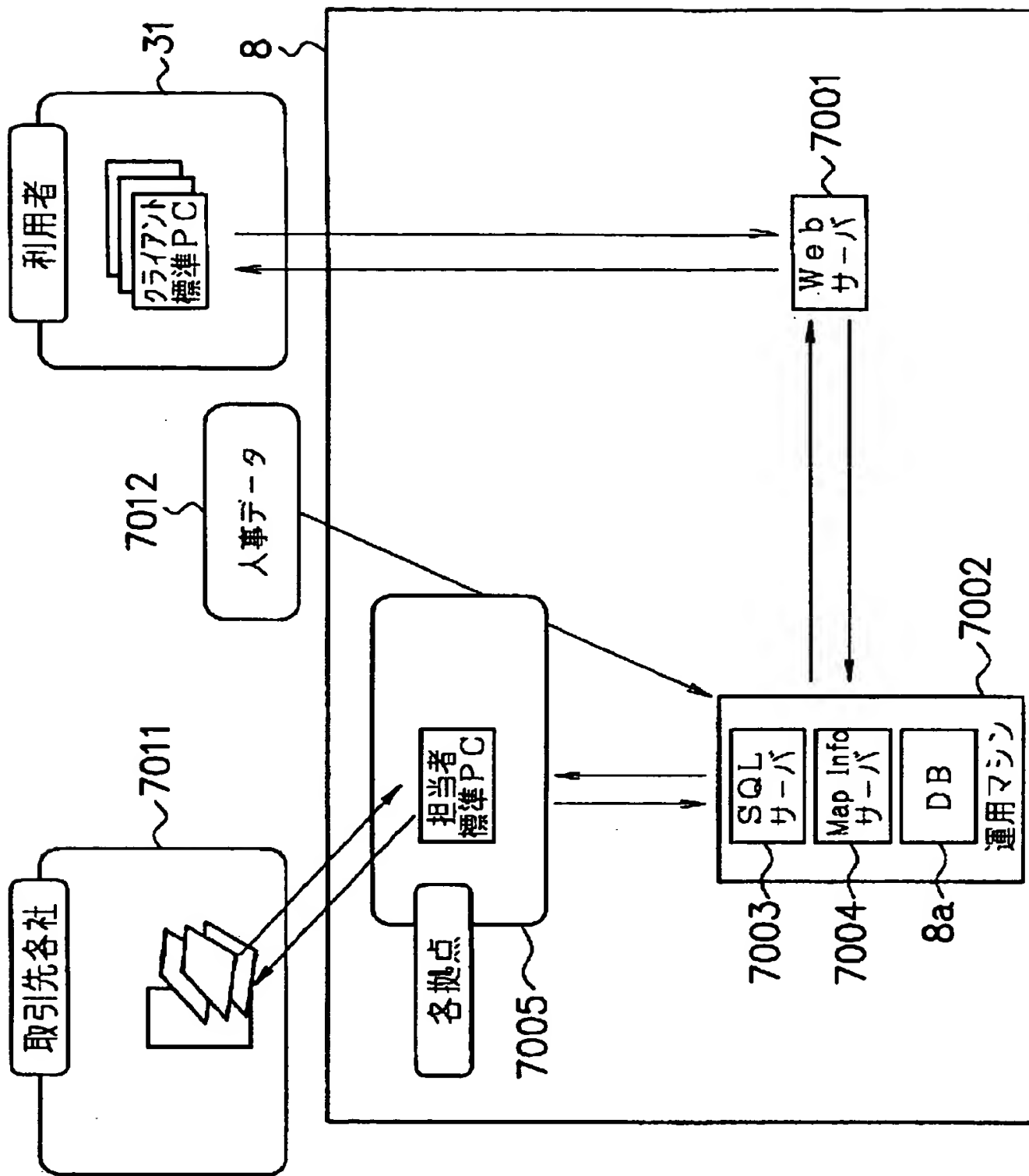
(フリガナ)	作成 年 月 日			
会社名				
本社所在地	有限会社 精機			
代表者	千円	年 月 日	人	年 月
役員	氏名	役職・経歴	株主名	持株比率
			会社との関係	

【図 9 6】

年 度	法 人	取引先
1 9 9 7 年	A 会 社	A 事 業 所
		B 事 業 所
		C 事 業 所
1 9 9 8 年	A 会 社	A 事 業 所
		B 事 業 所
		D 事 業 所

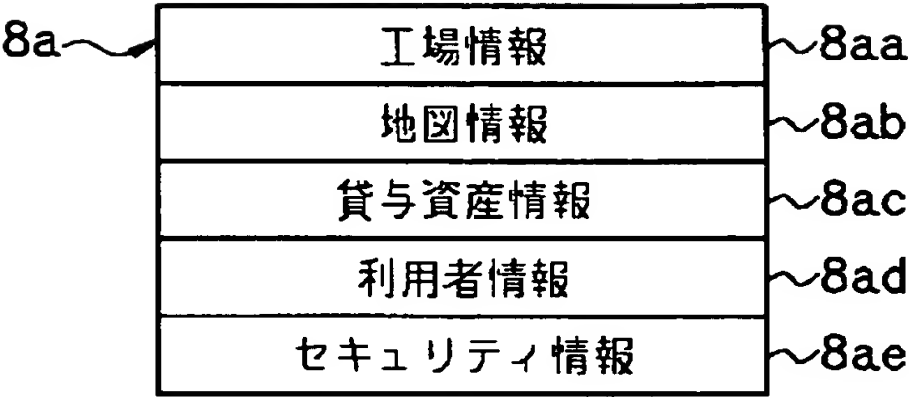
【図 9 7】

取引先マップシステム

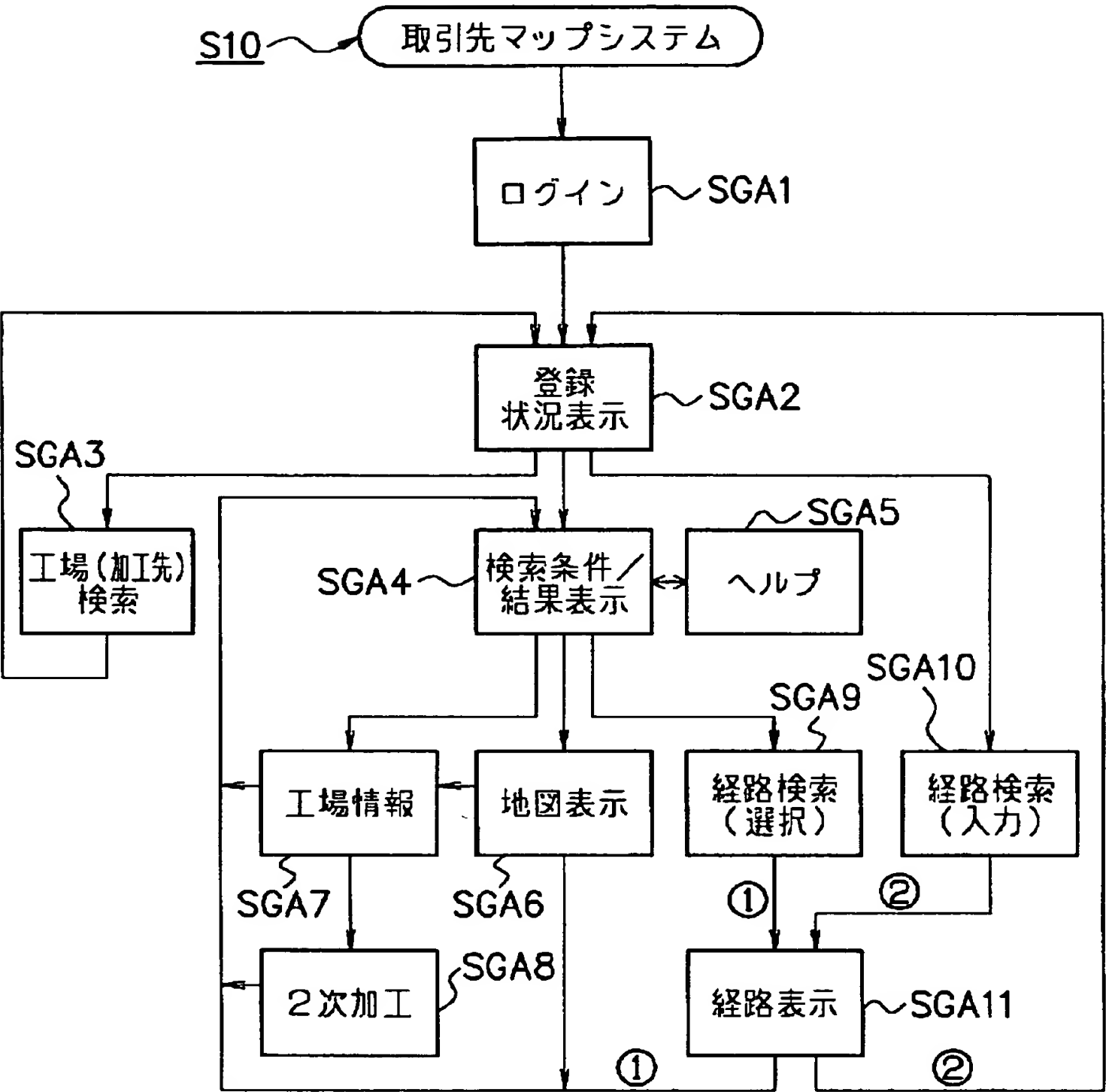


【図 9 8】

データベース



【図 9 9】



【図 1 0 0】

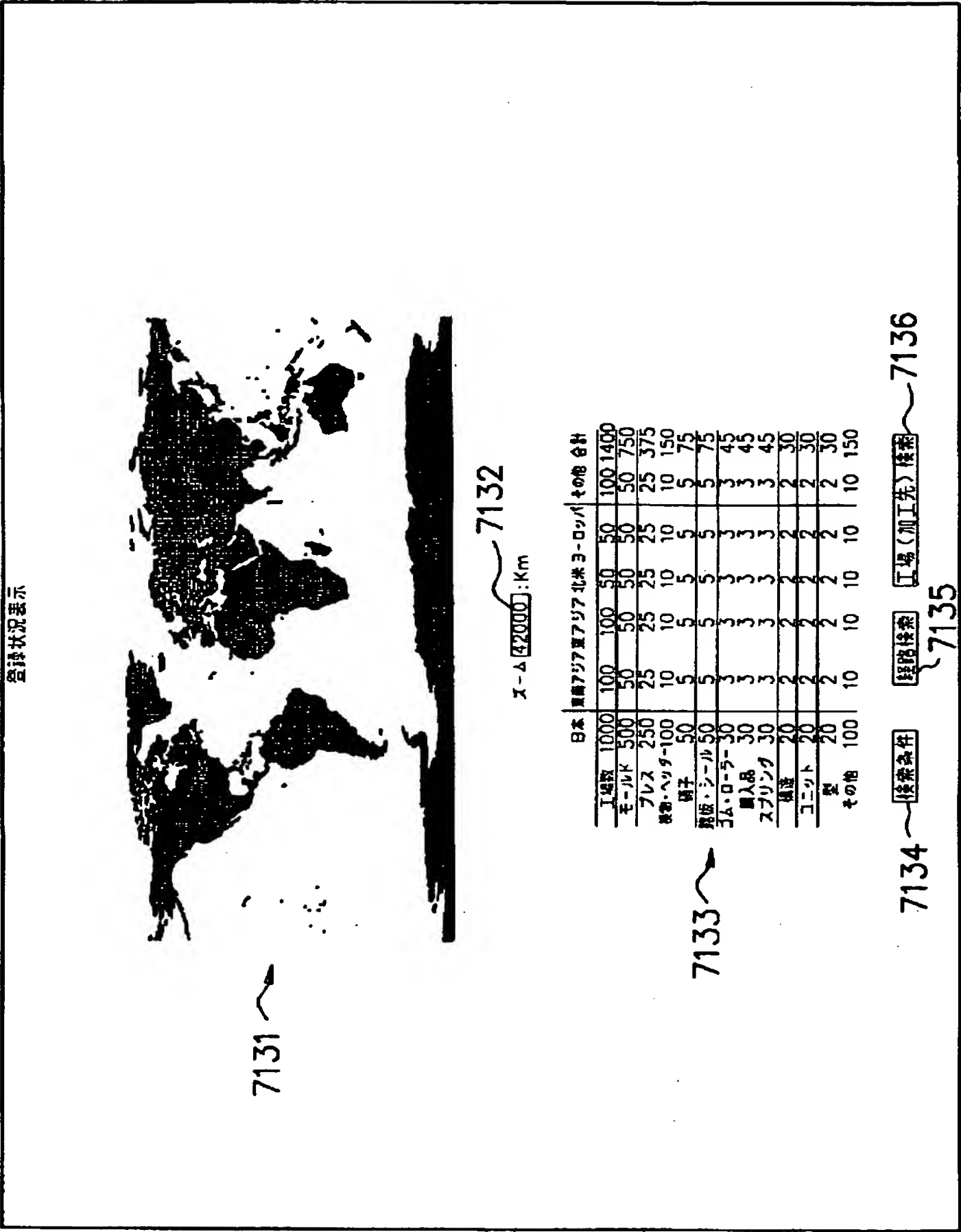
取引先マッピングシステム

7101 ~ 利用者ID :

7102 ~ パスワード :

7103 ~ ログイン パスワード変更 7104

【図 101】



【図 1 0 2】

工場（加工先）検索

工場名（金角カナ）：7141

7142~7143

登録状況表示

7144~

No. 工場名 工場種類 工場住所 TEL 取引先CD 取引先名
1 A 製作所 関係会社 北海道札幌市 999-9999 T552 B 製作所
2 A 製作所 関係会社 福岡県福岡市 999-9999 T552 B 製作所

出証特 2 0 0 1 - 3 0 1 6 5 8 9

【図 104】

▲

▼

検索条件入力／検索結果表示

7170戻る

【検索条件の概要】

検索条件の指定には、「取引先指定」、「地域指定」、「業種指定」そして「購入拠点指定」の4つがあり、「取引先指定」かつ「地域指定」かつ「業種指定」かつ「購入拠点指定」です。
これらの指定を行うことにより、検索する工場をより少なく絞り込む事が可能となります。
指定を全く行わなければすべての工場が検索されますので、ご注意ください。

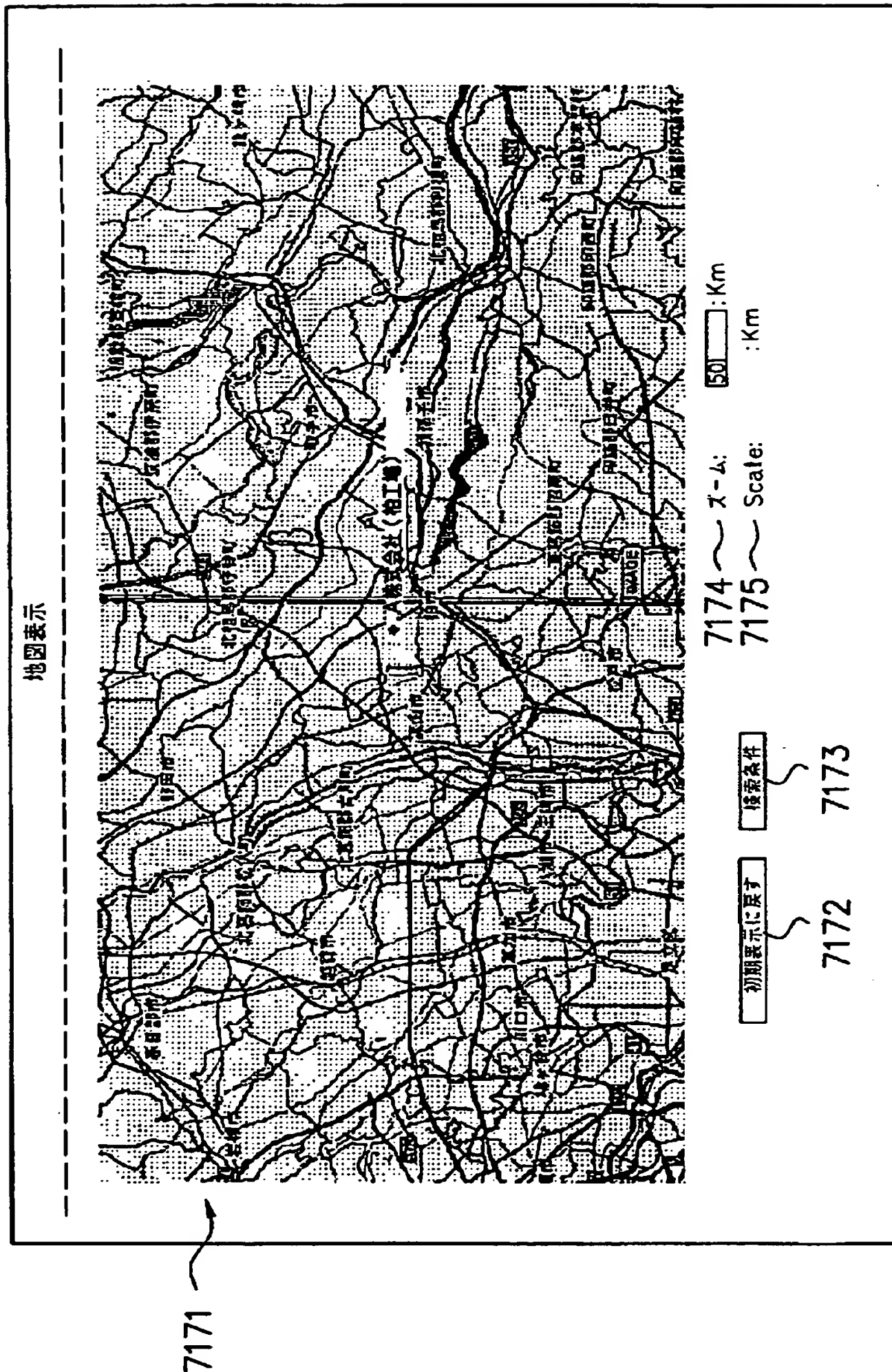
【取引先指定】

- ・「条件なし」、「取引先コード」、「取引先名」のいずれかを指定します。(デフォルトは「条件なし」)
- ・「取引先コード」と「取引先名」は前方一致で検索します。
例えば、
「取引先コード」に「AL」と入力があれば、取引先コードの上位2文字が「AL」の工場を検索し、
「ALC」と入力があれば、取引先コードの上位3文字が「ALC」の工場を検索します。

【地域指定】

- ・「条件なし」、「地域指定」、「基準点指定」のいずれかを指定します。(デフォルトは「条件なし」)
- ・地域指定
1つ、又は2つの地域を○r条件で指定することにより、指定された地域内にある工場を検索します。

【図 105】



【図 106】

工場情報

7181

取引先概要

取引先コード: T562

取引先名称: B製作所 日系

郵便番号: 住所: 鹿児島県鹿児島市

資本金: 480000000円

上場区分: 非上場・未上場

管轄: 役職: 下場区分: 下場 URL: 電話: FAX: E-mail: 調査日: 98/02/18 更新日: 98/04/08

グローバル協力会: 在加盟 会社状況: O

国籍: 日本

調査事業所: C工場

7182

工場概要

工場コード: Q2

工場名: D製作所

郵便番号: 住所: 愛知県岡崎市

業種: プレス 其他

納入実績: A株式会社 A工場 B工場 C工場

工場種類: 関係会社 日系

資本金: 9808000000円

工場所在地: 日本

従業員: 52人

電話: 999-9999

FAX: 調査日: 98/02/13 更新日: 98/04/07

7183

工場設備

No.	設備種類	機械種類	スベック	プレス機械仕様	メーカー名	型式/台数
1	プレス	圧送	200t			1
2	プレス	NCT	30t			1
3	プレス	NCベンダー	400t			1
4	プレス	NCベンダー	200t			1
5	プレス	NCベンダー	150t			2
6	その他設備	リットリングマシン	4X4000		E製作所	1
7	その他設備	リットリングマシン	4X3100		F設備所	1

7184

検索条件

2次加工

7185

【図 107】

2次加工

7191

取引先概要

取引先コード: T552
郵便番号:
資本金: 48000000円
営業:
取引先名称: 日製作所 日系
住所: 東京都港区
上場区分: 非上場・未上場
下場区分: 下場 URL:
役職:
電話:
FAX:
E-mail:
調査日: 98/02/18 更新日: 98/04/08
グローバル協力会: 非加盟 会社状況: O
国産: 日本 調査事務所: C I 地

7192

工場概要

工場コード: 02
郵便番号:
工場名: D 製作所
住所: 愛知県豊田市
納入工場:
A 株式会社 A 工場
A 株式会社 B 工場
A 株式会社 C 工場
主要納入品目:
調査日: 98/02/11 更新日: 98/04/07
工場種類: 関係会社 日系 資本金: 9900000000円
工場所在地: 日本 電話: 999-9999
従業員: 52 (人) FAX: -

7193

2次加工および加工可能特殊材料

検査条件 7194
(O: 自工場で加工実績あり Δ: 自工場以外での加工実績あり ⊙: 両方加工実績あり)

PX	スチット用板	O
PX材料	アーク溶接	O
LX材料	カラー鋼板	O
	アルミ	O
	角材	O
塗装	UV塗料	Δ
	塗料	Δ
	KNメッキ	Δ
	クロムメッキ	Δ
	銅色ニッケルメッキ	Δ

【図 108】

経路検索 (選択)

経路検索 (選択)

目的地点

7201 {

A光岡工場

出発地点

7202 {

No.	案種	取引先CD	取引先名	工場名
<input checked="" type="checkbox"/> 1	モールド	N208	A製作所	A製作所 竹園工場
<input checked="" type="checkbox"/> 2	モールドその他	N208	A製作所	B製作所
<input checked="" type="checkbox"/> 3	プレス組入品ユニット型	T552	C製作所	C製作所 本社
<input checked="" type="checkbox"/> 4	プレスその他	T552	C製作所	D製作所

Total: 4

7203 ~ ☐ 経路検索

☐ 検索条件 ~ 7204

【図 109】

経路検索 (入力)

経路検索 (入力)

目的地点
出発地点

工場コード

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

7211

工場コード

工場コード

工場コード

工場コード

工場コード

工場コード

工場コード

工場コード

工場コード

工場コード

7212 ~ 経路検索 7213

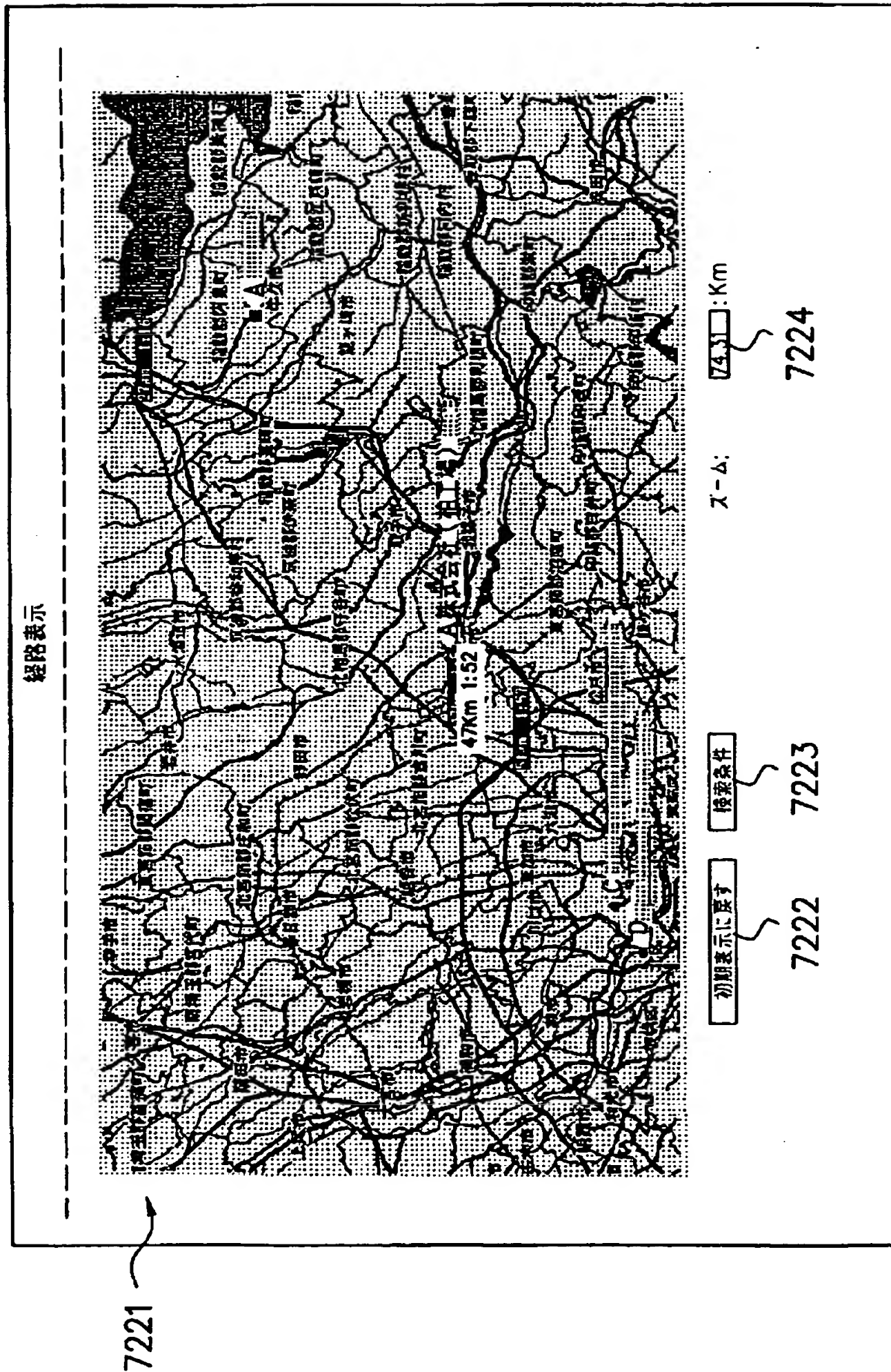
7214

7215 ~ 7216 ~ 7217

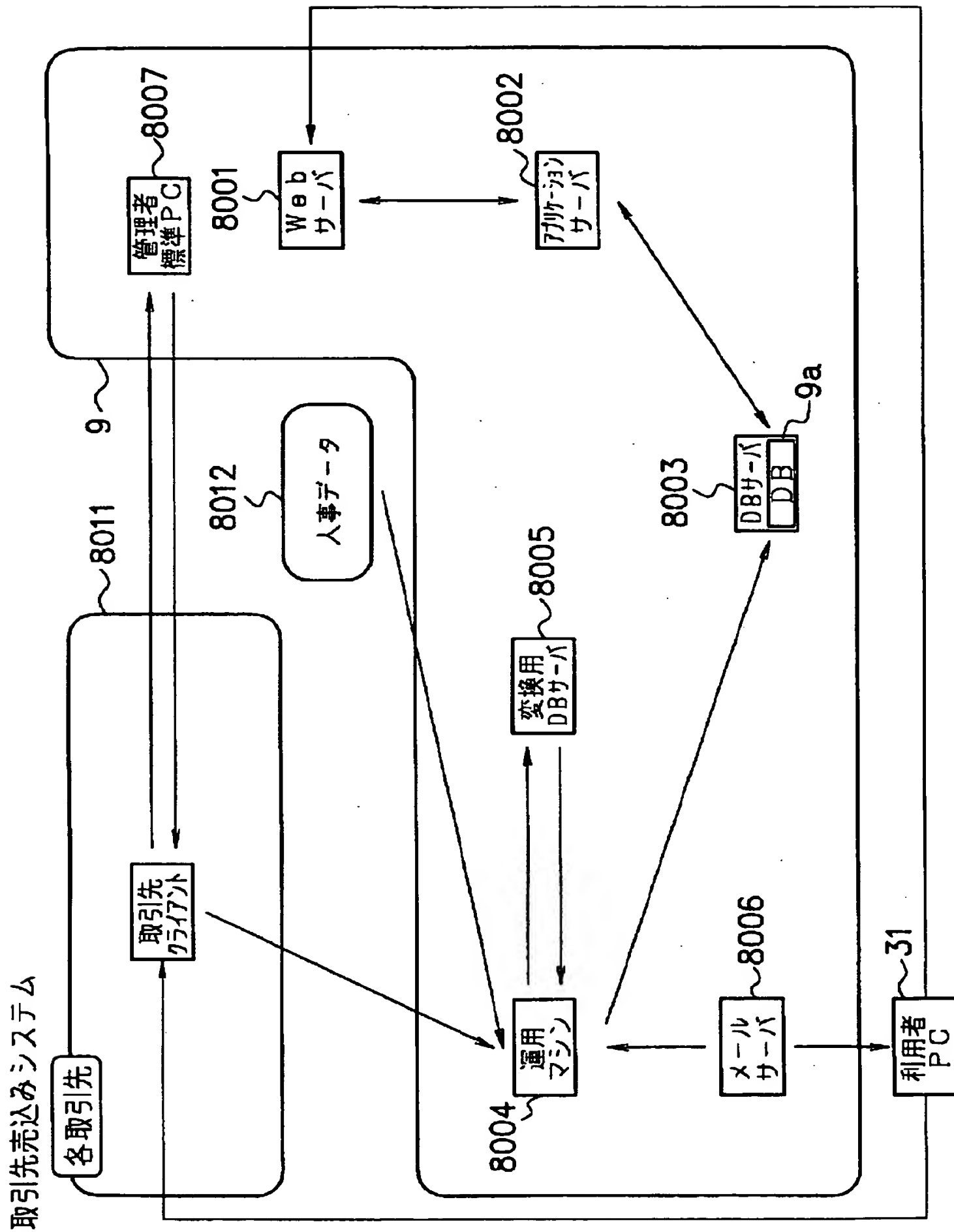
7218

工場コード	工場名	工場コード	工場名
N206	A 製作所	01	A 製作所 桜木工場
N206	A 製作所	02	A 製作所 竹園工場
N206	A 製作所	03	B 製作所
N206	A 製作所	04	C 製作所
N206	A 製作所	05	D 製作所

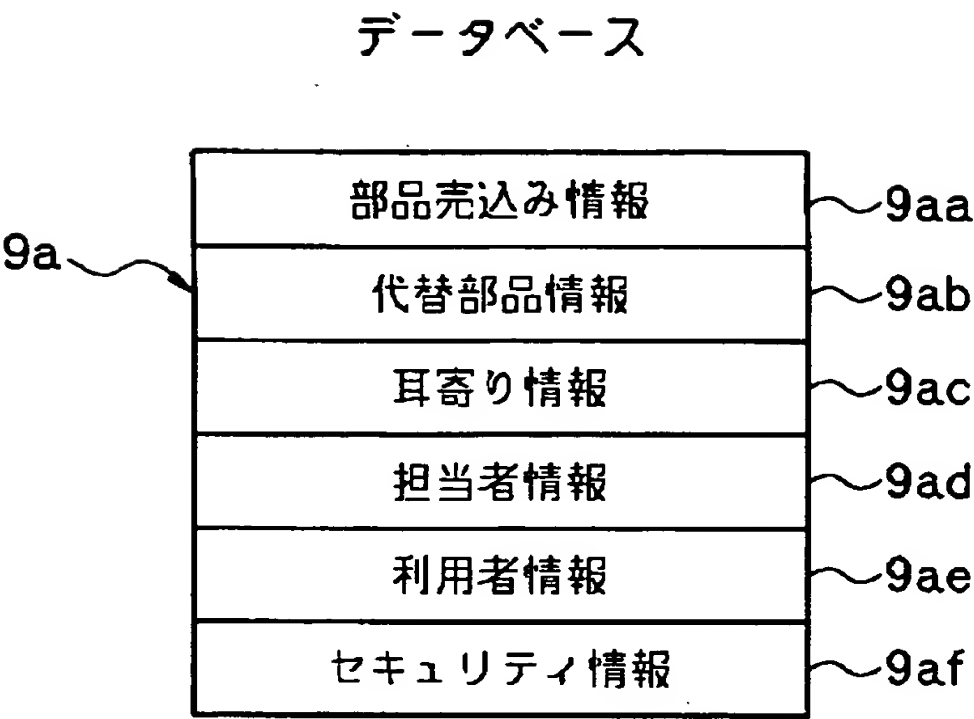
【図 1 1 0】



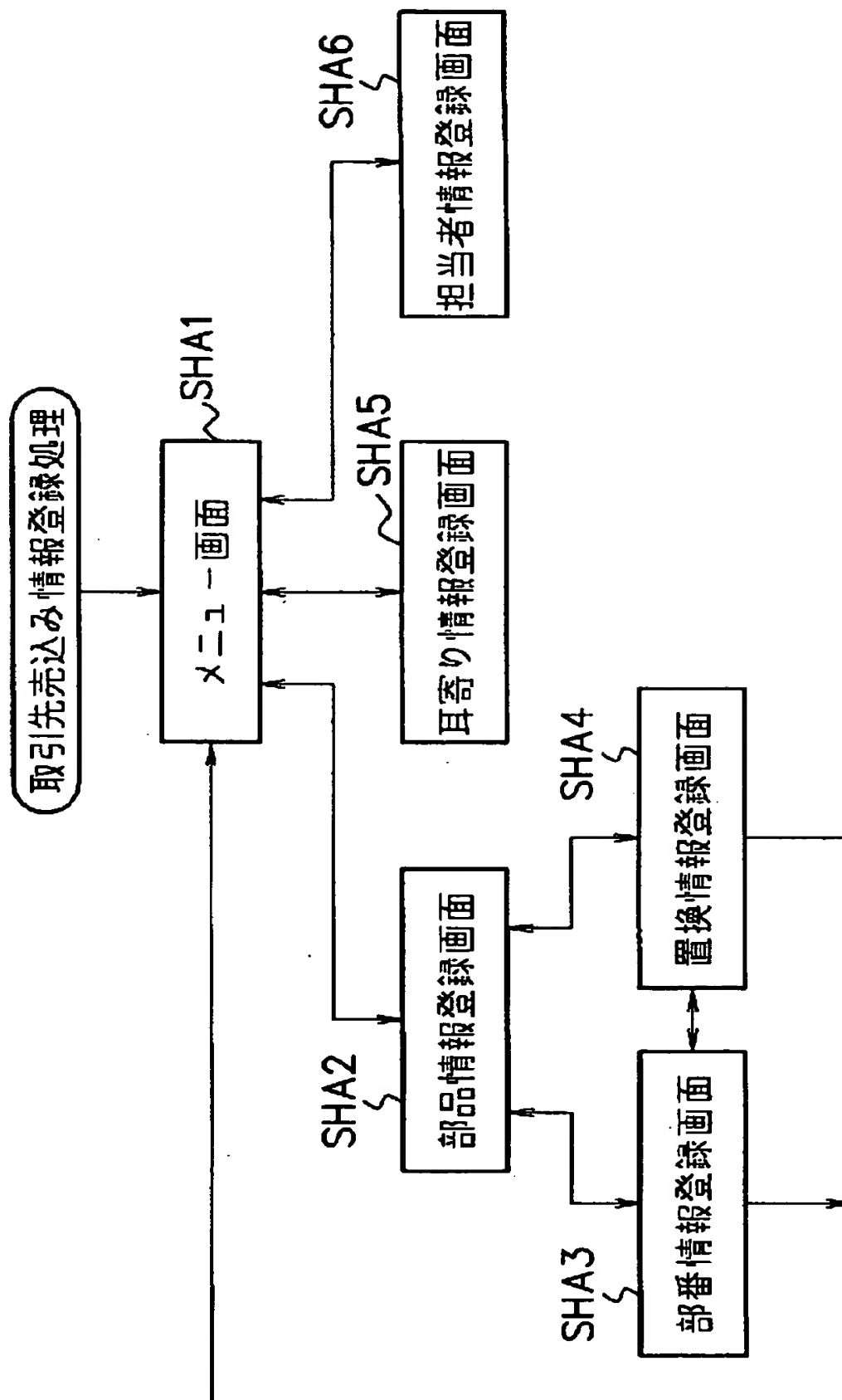
【图 1 1 1】



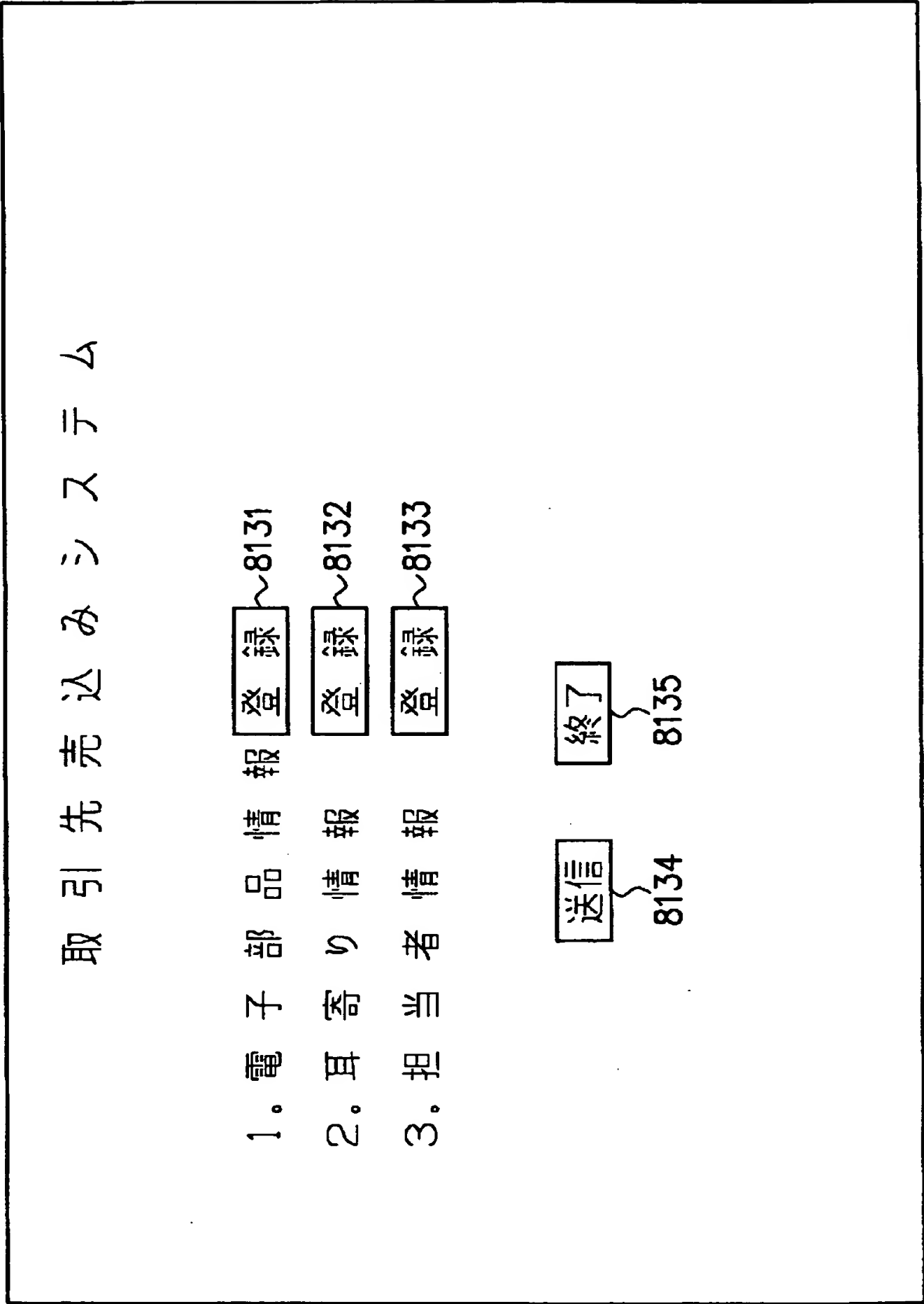
【図 1 1 2】



【图 1 1 3】



【図 1 1 4】



【図 1 1 5】

8141
電子部品情報 [変更] [部品情報]
部品情報
タイトル 電子部品大販売
型名 US0-8000シリーズ
メーカー Image, Inc
機能分類 周辺インタフェース
8145
進捗フラグ
○送信済み
○送信対象
◎承認待ち
○承認却下
□削除フラグ

8142
原産国 前工程① JAPAN 後工程① JAPAN
前工程② 後工程②
前工程③ 後工程③
規制勘定 非該当 (外国為替および外国貿易管理法)
製品状態 現生産

8143
日程情報
保守日程 廃止日程
サンプル日程 ES CS MP
仕様書日程
和文暫定 和文正式
英文暫定 英文正式

8144
紹介文
この度、US0-8000シリーズを大廉価にて拡販することになりました。
おかげさまで、大量の受注をいただく共に生産も順調になり、
歩留まりも大変高まりました。
日ごろの御愛顧にちなみ、大特価を設定いたしましたので、
是非とも各製品への採用をお願いいたたくご案内申し上げます。

8147 8148 8149 8150 8151
部品情報 部番情報 置換情報 入力情報クリア 登録 終了

【図 1 1 6】

8161

電子部品情報 [変更] [部番情報]

部番情報

電子部品大拡張

USO-8000シリーズ

周辺インタフェース

機能分類

進捗フラグ

○送信済み

○送信対象

◎承認待ち

○承認却下

□削除フラグ

8145

8162

社内部番情報

部番

寸法

部番

寸法

① 111-1111-111

111

222-2222-222

222

333-3333-333

333

④ 666-6666-666

666

5

5

8163

商品情報

パッケージ

ABC-P1

品質規格情報

生産情報

納期情報

納入梱包形態

環境配慮

通貨

YEN

数量単位

PCS

8146

8164

参考価格/月

Sample

1K

100K

50

5K

500K

0.00

0.00

0.00

100

10K

1000K

0.00

0.00

0.00

500

50K

5000K

0.00

0.00

0.00

8148

部番情報

部番情報

置換情報

入力情報クリア

登録

終了

8150

8151

【図 1 1 7】

8171

電子部品情報 [変更] [置換情報]

部品情報

進捗フラグ

8145

○送信済み

○送信対象

◎承認待ち

○承認却下

□削除フラグ

電子部品大拡張

USO-8000シリーズ

Image.inc

機能分類

周辺インタフェース

部品情報

①置換可能な型名

123-4567-890

Info-inc

パッケージ

P13-FDD

5003からの置換において細条件。

②置換可能な型名

332-546-55

パッケージ

③置換可能な型名

パッケージ

④置換可能な型名

パッケージ

⑤置換可能な型名

パッケージ

部品情報

部番情報

置換情報

入力情報クリア

登録

終了

8146

8147

8149

8150

8151

【図 1 1 8】

8181

耳寄り情報

耳寄り情報

情報内容

新製品紹介

2000-12-3

進捗フラグ

○送信済み

対象期間

1998/06/08

タイトル

Middlemanのご紹介

詳細

いつもお世話になってます。
この度、取引先売込みシステムが完成いたしました。
そこで、皆様方にもその概要と効用についてご理解いただけたらと思います。

ホームページアドレス

http://middleman.co.jp/index.html

情報削除希望年月

1998/08/08

登録

終了

8150

8151

【図 1 1 9】

担当者情報 [変更]

担当者情報

氏名 [漢字] 山梨 花介 氏名 [英字] Yusuke Yamanashi

mail Address Yusuke@middleman.co.jp

役職名 担当者コード

所属部署名 ソリューション事業部 ネットワークシステム部

連絡先 〒 105***

住所 東京都港区新橋00-000ビル

TEL 03-****-**** FAX 03-****-****

ホームアドレス http://www.middleman.co.jp

送信フラグ

☒ 送信対象

☐ 送信済み

☐ 削除フラグ

8191

8192

8193

8194

8195

8150 8151

我が社内の担当地区 & 事業

我が社に対しての主要取扱品目

システム構築、SE人材派遣

取扱メーカー

① FEI

② アイコム

③ 愛知電機

④ アイティティ

⑤ 伊原電子工業

⑥ 沖ブリンテッドサーキット

⑦ 小倉クラッチ

⑧ フジマイクロ

⑨ 富士マイクロ工業

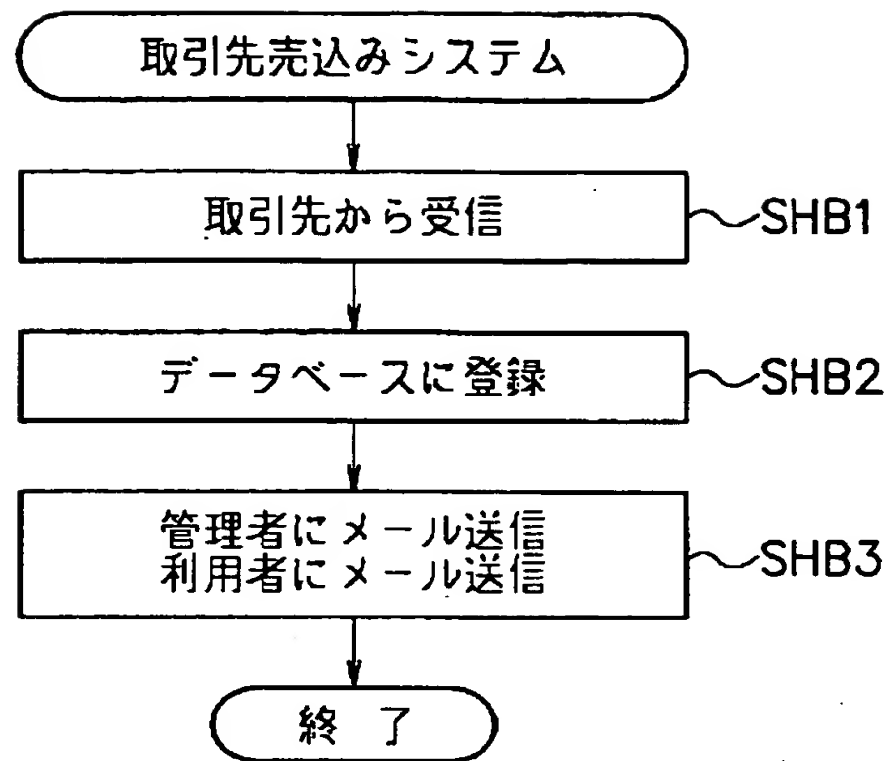
⑩ 双葉電磁機

コメント

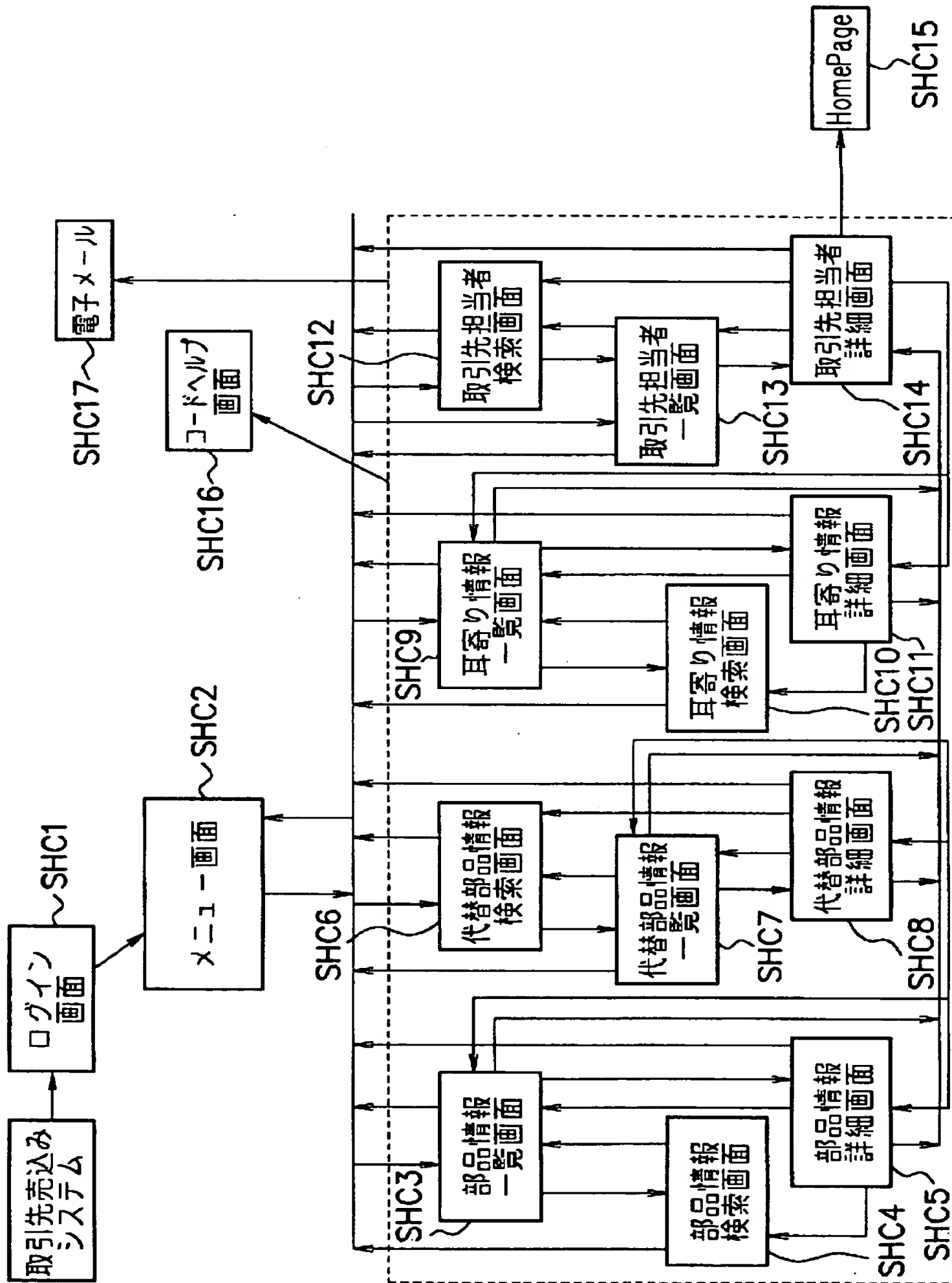
お世話になっております。
私が担当させていただきますので、よろしくお願いいたします。

登録 終了

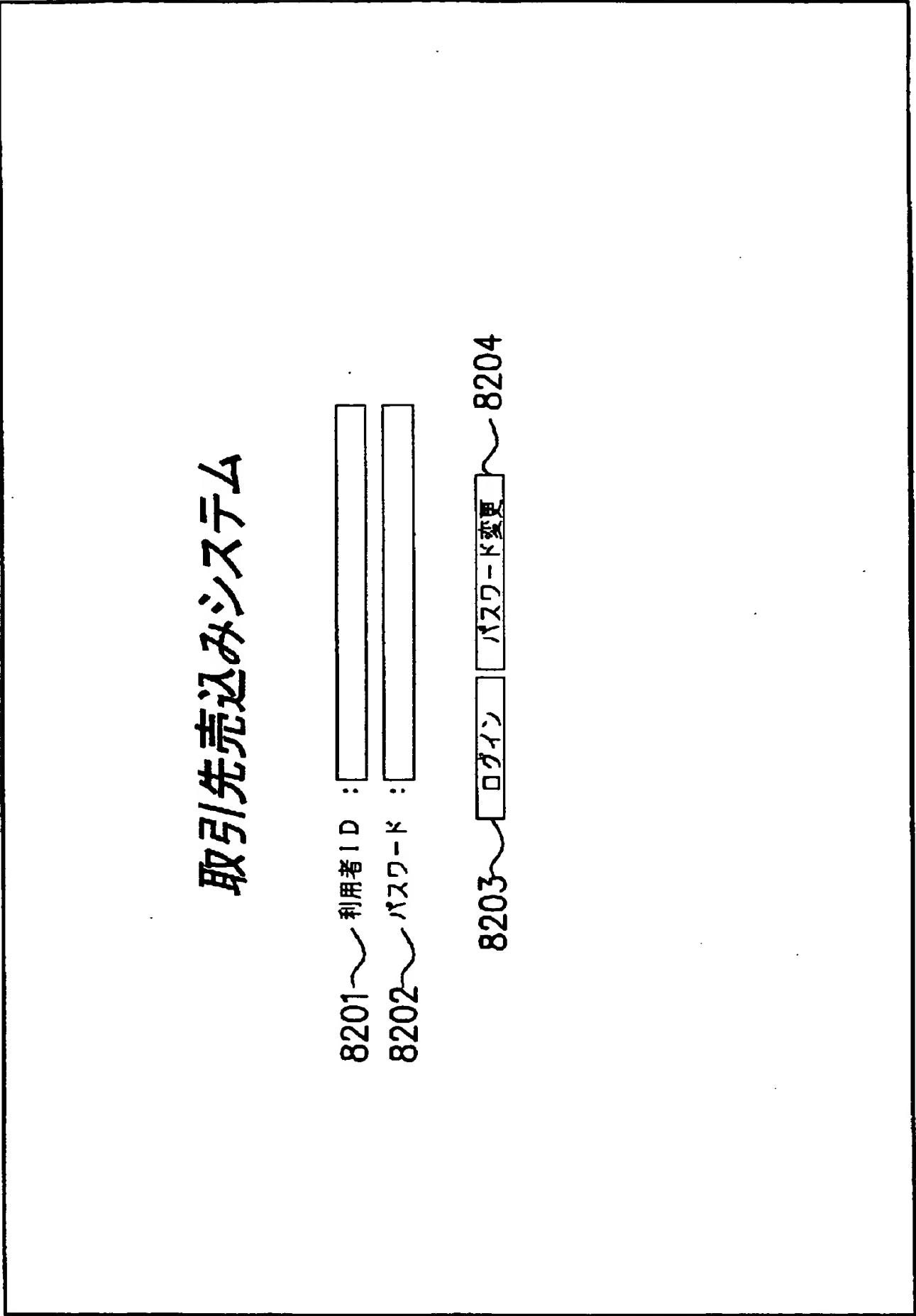
【図 1 2 0】



【図 1 2 1】



【図 1 2 2】



【図 1 2 3】

8121 ~ 8122 ~ 8123 ~ 8124

Menu BackPage Log Out Mail

取引先売込みシステム

8112 8113 8114 ~ 8111

LoginUser: 11111 LoginDate: 1998/10/27 IPAddress: 150.61.245.99 この情報は社外秘です。 ~ 8115

1. 部品売り込み最新情報

2. 代替部品情報検索

3. 耳寄り最新情報

4. 取引先担当者 最新情報

取引先担当者 最新検索

8211

【図 1 2 4】

8121812281238124

Menu

BackPage

Log Out

Mail

811281138114

(1)売込み情報・検索条件入力画面

LoginUser:adminLoginDate:1998/08/26IPAddress:150.61.245.130

※1998年8月25日現在～8111この情報は社外秘です。

8221～

業種:	
メーカーコード:	参照
メーカー名:	参照
型名:	
機能分類コード:	参照
製品状態:	
規制物資:	
原産国・前工程:	
原産国・後工程:	
取引先コード:	参照
取引先名称:	参照
我社部番:	
更新年月日:	=/

8222～

SearchClear

8223

【図 1 2 5】

8121 8122 8123 8124

Menu BackPage Log Out Mail

8112 8113 8114

(1)売込み情報・詳細画面

LoginUser: admin LoginDate: 1998/09/07 IPAddress: 150.61.245.130 *1998年9月6日現在 ~8111 この情報は社外秘です。

保守品のご紹介	
型名	D1111
メーカー	アイティティ
機種	Q0:電気部品
取引先名称	急便(株)
管理部署名	キコウビル(カ)
担当者氏名	永井
原産国前工程1	JP
原産国後工程1	JP
規制物資	非該当(外国為替及び外国貿易管理法)
保守日程	1998-1Q
廃止日程	1998-2Q
サンプル日程ES	1998-1Q
仕様書英文暫定	1998-1Q
仕様書英文正式	1998-1Q
サンプル日程MP	1998-1Q
担当者コード	Q1
原産国前工程3	JP
原産国後工程3	JP
M:保守	
仕様書英文暫定	1998-1Q
仕様書英文正式	1998-1Q
サンプル日程MP	1998-1Q

保守品のご紹介	
我社部番1	WA3-0000-000
我社部番4	WA3-0003-000
我社寸法1	000
我社寸法4	
パッケージ	パッケージ アイワ

【図 1 2 6】

8121 Menu

8122 BackPage

8123 Log Out

8124 Mail

8112 LoginUser: 111111

8113 LoginDate: 1998/10/27

8114 IPAddress: 150.61.245.99

(2) 代替部品情報・検索条件入力画面

8111 1998年10月26日現在 8111 この情報は社外秘です。

8241 代替検索したい型名: (前後方一致)

8242 代替検索したい機能分類コード: 参照 8242

8243 代替検索したいメーカー名称: メーカー名を直接入力して下さい。(前後方一致)

8243 Search

8244 Clear

【図 1 2 7】

コードヘルプ画面

8251～

テーブル	機能分類▼
検索項目	コード▼
一致タイプ	前方一致▼
検索キーワード	

Search ~8252

【図 1 2 8】

8121 8122 8123 8124

Menu BackPage Log Out Mail

8112 8113 8114

8114

(2) 代替部品情報・一覧画面

LoginUser: admin LoginDate: 1998/09/07 *1998年9月6日現在 ~8111

IPAddress: 150.61.245.130 この情報は社外秘です。

表示件数: 50 8261 8262 8263 8264 8265

8266 8267 8268

並び換え: 更新年月日 Sort

更新年月日	検査型名	機能分類	メーカー	型名	メーカー	
1998/08/25	TEST	00100:マイコン	A社	A1111	FEI MICROWAVE INC.	三浦工業
1998/08/25	TEST	00100:マイコン	A社	A1111	FEI MICROWAVE INC.	三浦工業
1998/08/25	TEST	00100:電池	A社	B1111	アイコム	三浦工業
1998/08/25	TEST	00100:リレー	A社	C1111	愛知電機	三浦工業
1998/08/25	TEST	00100:コイル/トランス	A社	D1111	アイティティ	三浦工業
1998/08/25	TEST	00100:コイル/トランス	A社	D1111	アイティティ	三浦工業
1998/08/25	TEST	00100:PNP/ワートラジス	A社	E1111	伊原電子工業	三浦工業
1998/08/25	TEST	00100:テレビ/BS受信用	A社	F1111	フジマイクロ	三浦工業
1998/08/25	TEST	00100:ラジオ/オーディオ用	A社	G1111	二葉電磁気	三浦工業
1998/08/25	TEST	00100:ラジオ/オーディオ用	A社	H1111	二葉電磁気	三浦工業

8268 ~ 検索画面へ

【図 1 2 9】

8121 8122 8123 8124

Menu BackPage Log Out Mail

8112 8113 8114

(3)耳寄り情報・一覧画面

LoginUser: 111111 LoginDate: 1998/10/27 IPAddress: 150.61.245.99

※1998年10月26日現在 ~ 8111

この情報は社外秘です。

表示件数: 2

並び換え: 更新年月日 Sort

8284 8285

No.	担当者名	更新年月日	業種	タイトル	取引先	情報内容	HomePage	対象期間 (開始日)	対象期間 (終了日)
1	高橋 巧	1998/09/09	Q0:電気部品	KGテクノファーム 98のご案内	OO工業株式会社	展示会/研究会開催案内		1998/09/09	1998/11/18
2	高橋 巧	1998/08/27	Q0:電気部品	リユースファスナーの御紹介	OO工業株式会社	新製品紹介		1998/08/27	1998/12/31

8282 8283

検索画面へ ~ 8286

8281

【図 1 3 0】

8121 8122 8123 8124

Menu BackPage Log Out Mail

8112 8113 8114

LoginUser: 111111 LoginDate: 1998/10/27 *1998年10月26日現在 8111

IPAddress: 150.61.245.99 この情報は社外秘です。

(3)耳寄り情報・検索条件入力画面

8271~ 禁種: 参照~8272

取引先コード: 参照~8272

取引先名: 参照~8272

情報内容: 参照~8272

タイトル: 参照~8272

更新年月日: 参照~8272

8274~ Search Clear 8275

【図 1 3 1】

8121 8122 8123 8124

Menu BackPage Log Out Mail

8112 8113 8114

8112 8113 8114

(3)耳寄り情報・詳細画面

LoginUser: 111111 LoginDate: 1998/10/27 IPAddress: 150.61.245.99

この情報は社外秘です。

1998年10月26日現在 ~ 8111

取引先名称 〇〇工業株式会社

所属部署名 東京支店

氏名【漢字】 高橋 巧

業種 〇〇電気部品

情報内容 展示会/研究会開催案内

タイトル KGテクノフェア'98のご案内

取引先コード K356

管理部署コード 01

担当者コード 01

情報番号 01000002

HomePage

詳細文

謹啓、貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

例年、ご好評をいただいております「KGテクノフェア」を、下記要領にて開催致します。

今年は、「新技術・ソリューション」を基本テーマに、国内外の著名な研究者と技術者を講師にお迎えして技術講演と当社の新商品、提案商品の展示を計画しております。

参加ご希望の方に、講演会のご案内と参加申込書をお送り致しますのでご請求下さい。

1. 日 時 11月19日(木)及び11月20日(金) 10:00~17:30

2. 会場 東京体育館

3. 技術講師: 1) 講師 S. ヴァリエル 氏
テーマ「電子機器のEMCと熱対策を考慮した実装設計」
: 2) 講師 遠矢 弘和 氏
テーマ「半導体のEMC対策と設計」
: 3) 講師 上羽 良行 氏
テーマ「電子機器内における振動伝播経路の解析」

4. 展示内容: 電磁環境対策部品、熱対策部品、振動・衝撃・音対策部品、他新商品以上

対象期間 1998/09/09

対象期間 1998/11/18

削除希望年月日 1998/11/18

(開始日)

(終了日)

検索画面へ ~ 8292

8291

【図 1 3 2】

8121
Menu

8122
BackPage

8123
Log Out

8124
Mail

8112
LoginUser:111111

8113
LoginDate:1998/10/27

8114
*1998年10月28日現在
IPAddress:150.61.245.99

(4)取引先担当者情報・検索条件入力画面
8111
この情報は社外秘です。

8301
業種

取引先コード

取引先名

取扱メーカーコード

取扱メーカー名称

参照

参照

参照

参照

参照

8303
Search

Clear

8304

8302
参照

【図 1 3 3】

8121 8122 8123 8124
Menu BackPage Log Out Mail

8112 8113 8114
LoginUser: 11111 LoginDate: 1998/10/27 IPAddress: 150.61.245.99
表示件数: 6

(4)取引先担当者情報・一覧画面
*1998年10月28日現在 ~8111
この情報は社外秘です。

No.	更新年月日	取引先コード	取引先名称	業種	担当者氏名	TEL	E-Mail	管理者マーク
1	1998/10/08	T898	〇〇株式会社	Q0:電気部品	〇〇 〇〇	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇.co.jp	*
2	1998/09/21	N844	〇〇株式会社	T0:電子部品ユニット	〇〇 〇〇	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇.co.jp	*
3	1998/08/28	M322MA	〇〇精密工業株式会社	V0:プレス加工	〇〇 〇〇	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		*
4	1998/08/21	K356	〇〇工業株式会社	Q0:電気部品	〇〇 〇〇	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇.co.jp	*
5	1998/07/21	T691	〇〇電気株式会社	Q0:電気部品	〇〇 〇〇	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		*
6	1998/06/24	U031	株式会社 〇〇〇〇K0:型, 治具, 機械部品		〇〇 〇〇	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		*

検索画面へ ~8314 8313

【図 1 3 4】

8121 8122 8123 8124

Menu BackPage Log Out Mail

8112 8113 8114

(4)取引先担当者情報・詳細画面

LoginUser:11111 LoginDate:1998/10/27 IPAddress:150.61.245.99 *1998年10月26日現在 ~8111 この情報は社外秘です。

8321- 業種 00:電気部品

取引先名称 000株式会社

所属部署名 電子デバイス事業本部 営業部 東京2部2課

担当者役職名 係長

氏名[漢字] 00 00

住所 東京都中央区日本橋0-00-0

郵便番号 1038272 TEL 03-0000-0000 FAX 03-0000-0000

E-Mail jnmachi@mb1.000.co.jp ~8322 HomePage http://www.000.co.jp/~8323

担当地区or事業所 下丸子, 目黒, 玉川, 麹野裾野, 中央研究所, 取手, 阿見, 平塚, 電子, 精機, アナデックス, 化成

取扱メーカー

コメント

取引先コード T898

管理部署コード 01

管理者マーク *

氏名[英字]

03-0000-0000

主要取扱製品

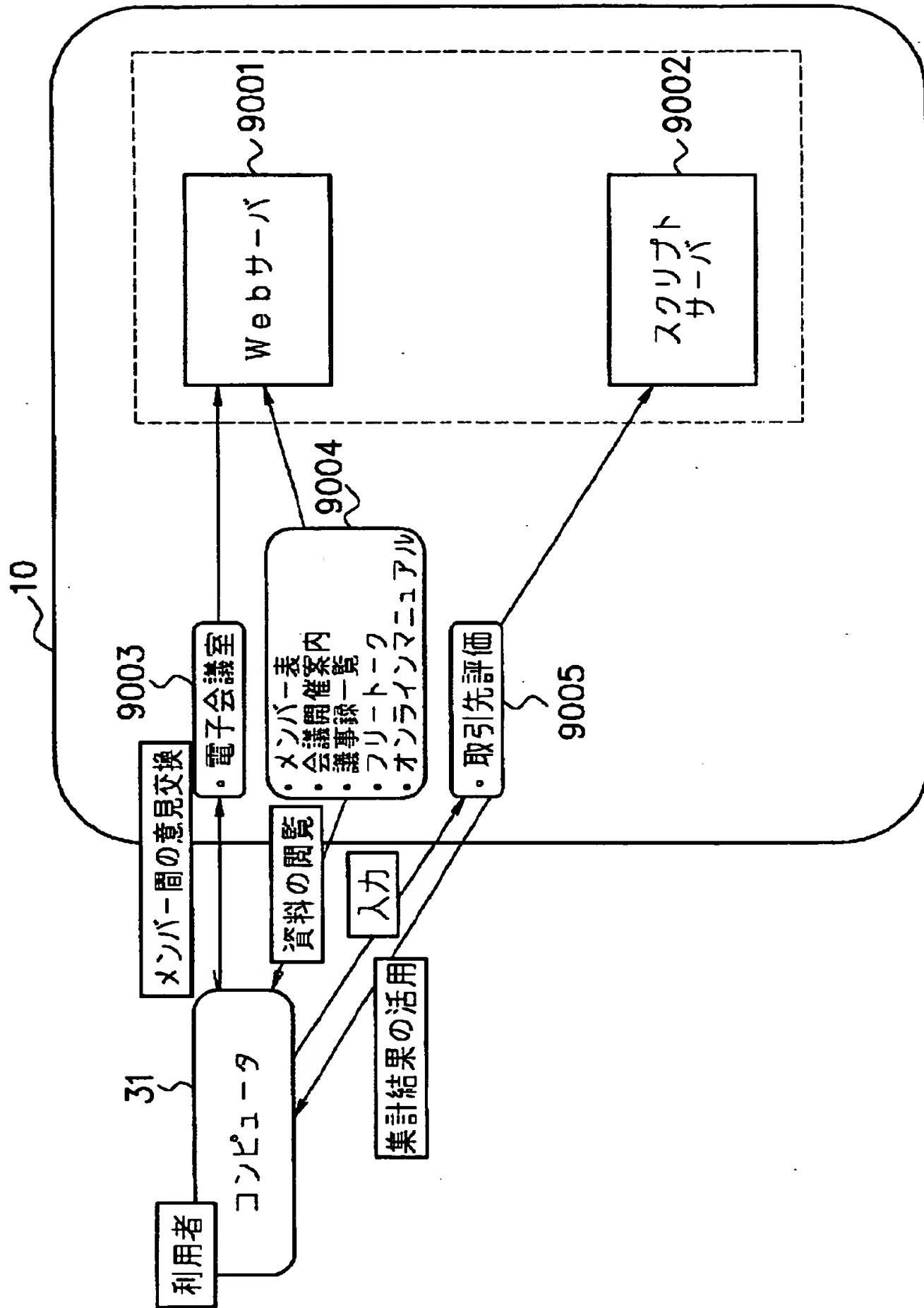
コンデンサ, コイル, フェライトコア, マグネット, センサー, ノイズフィルタ, 電源, BMC部品

更新年月日 1998/10/08 参加申請日 1998/10/03

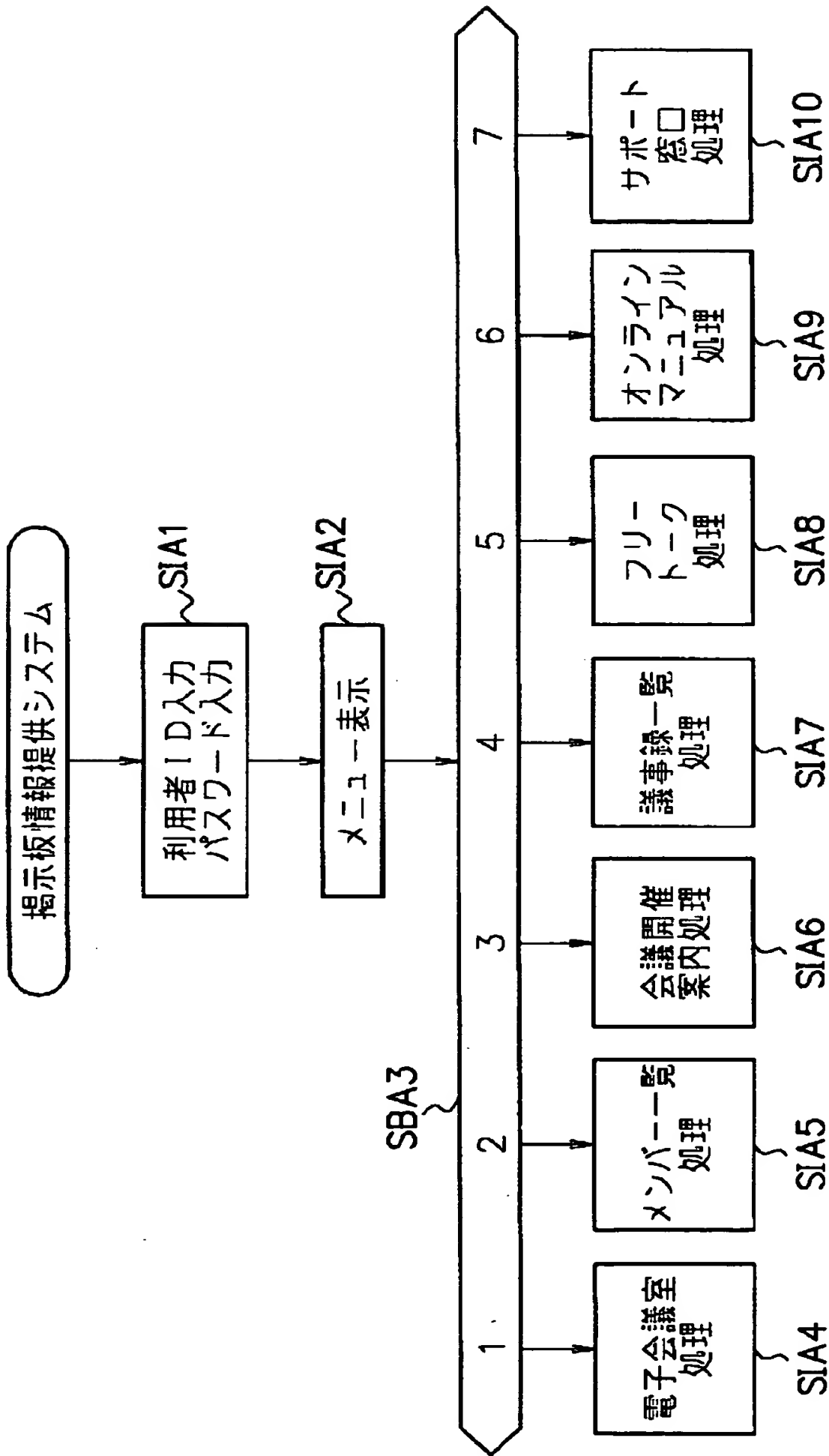
検索画面へ ~8324

【図 1 3 5】

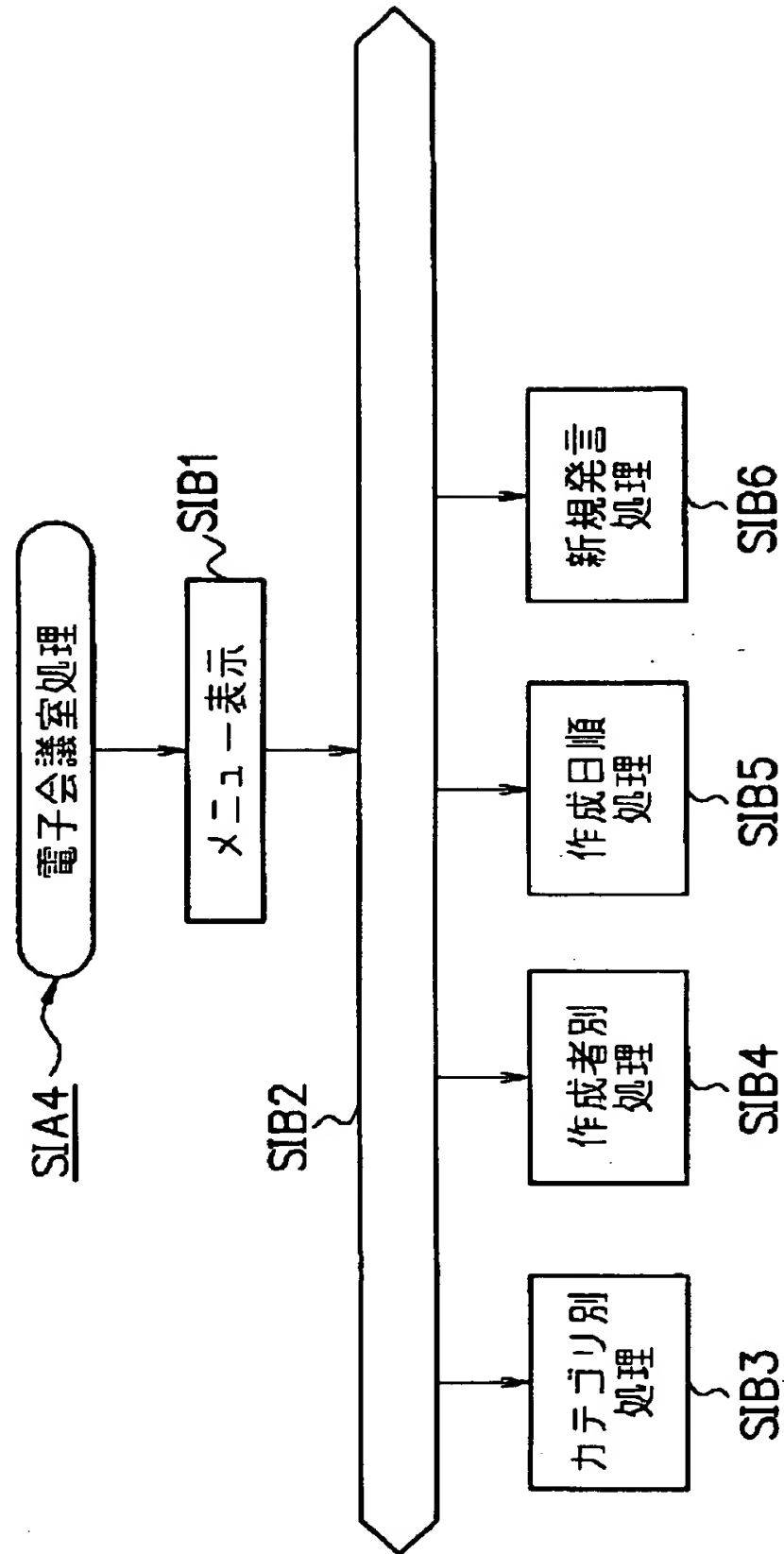
掲示板メールシステム



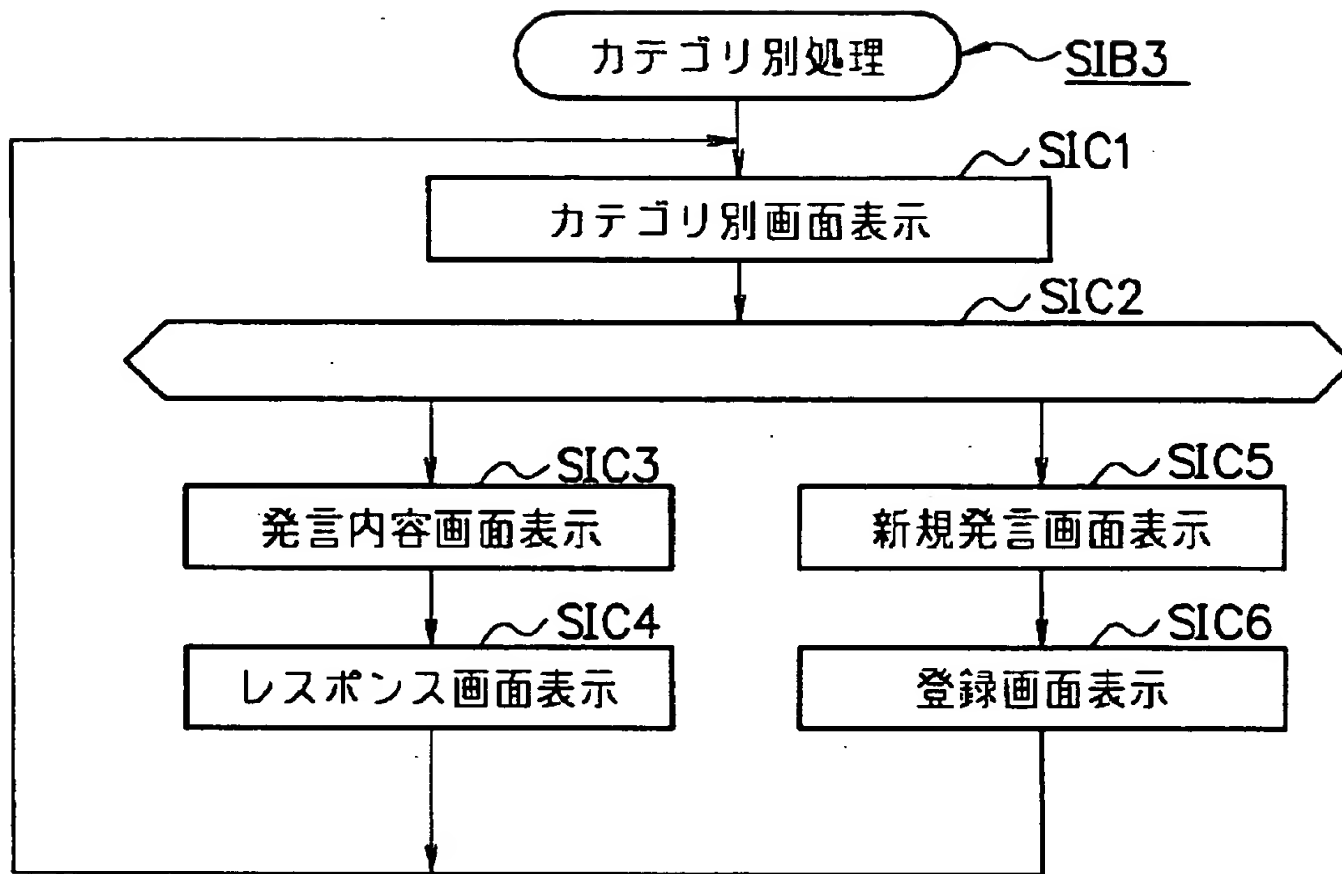
【図 1 3 6】



【図 1 3 7】



【図 138】



【図 1 3 9】

9101

〜

利用者ID

:

9102

〜

パスワード

:

9103

〜

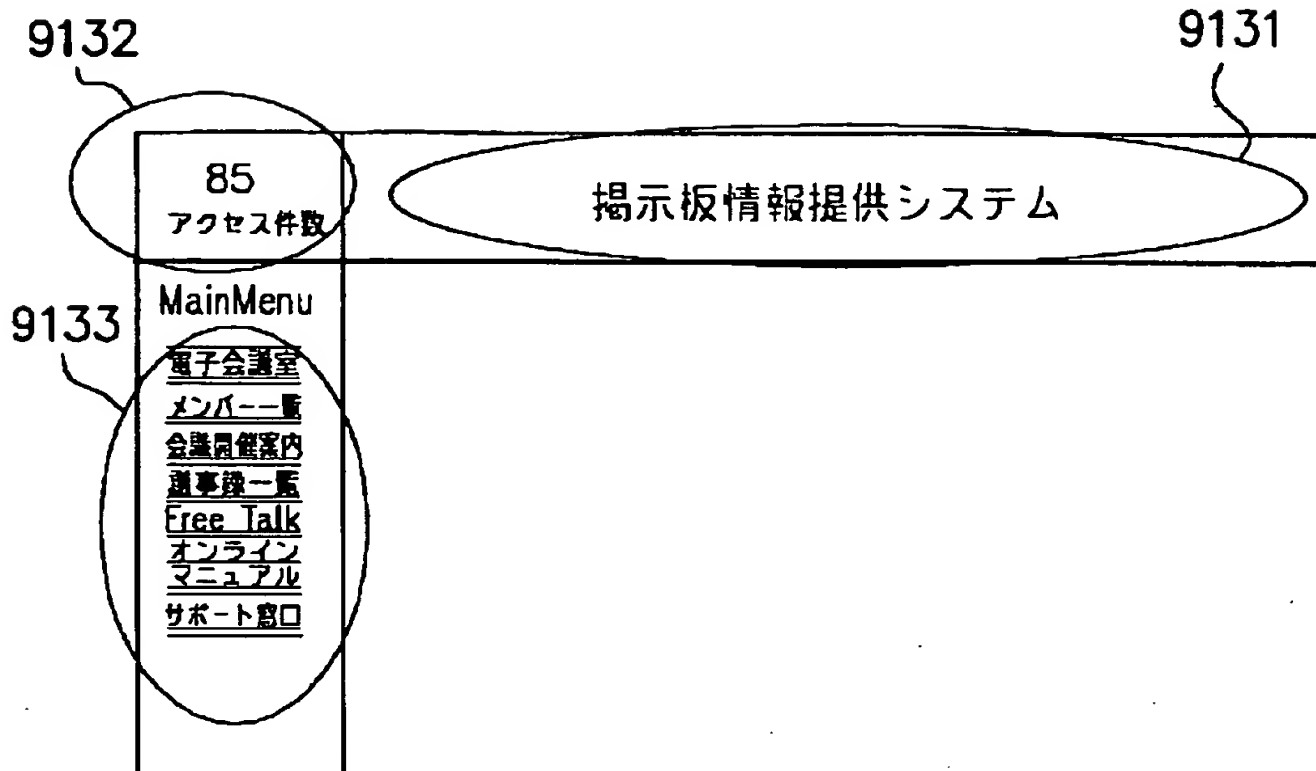
ログイン

パスワード変更

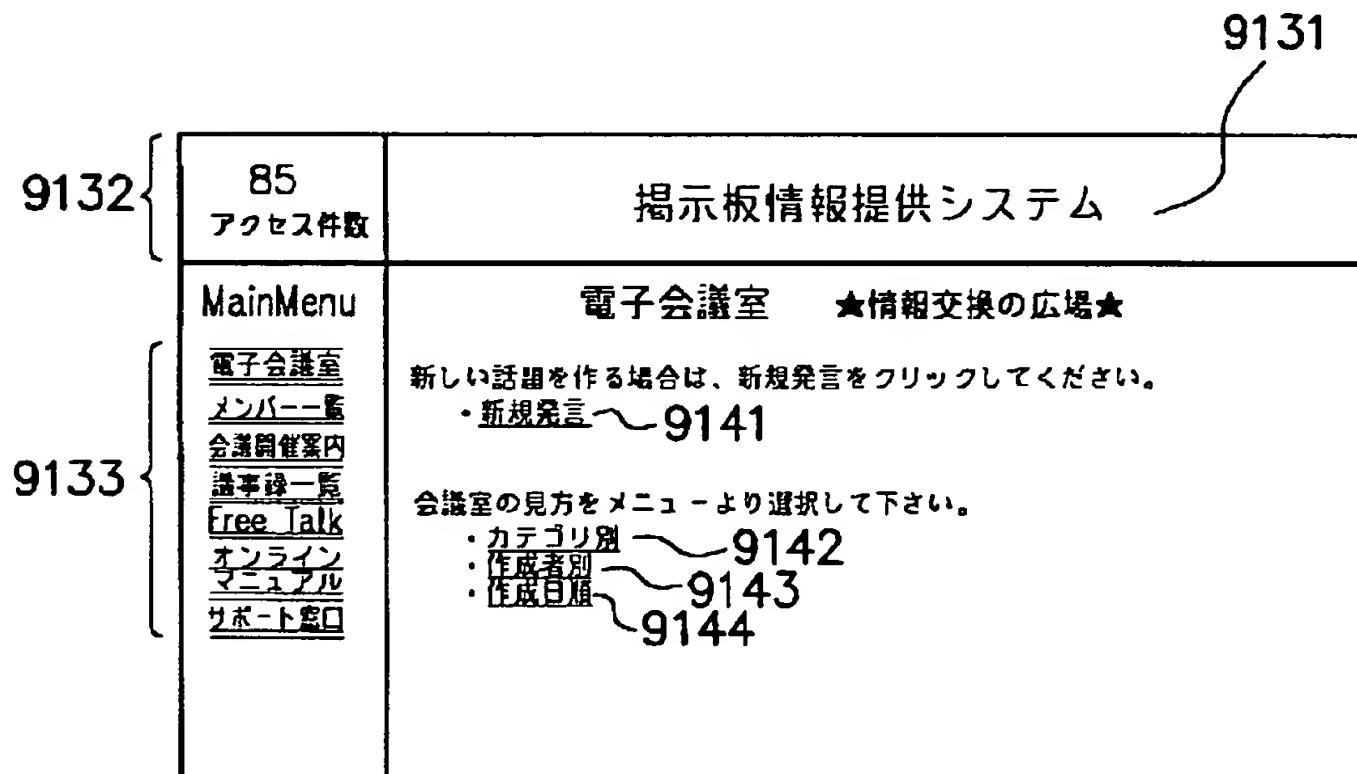
〜

9104

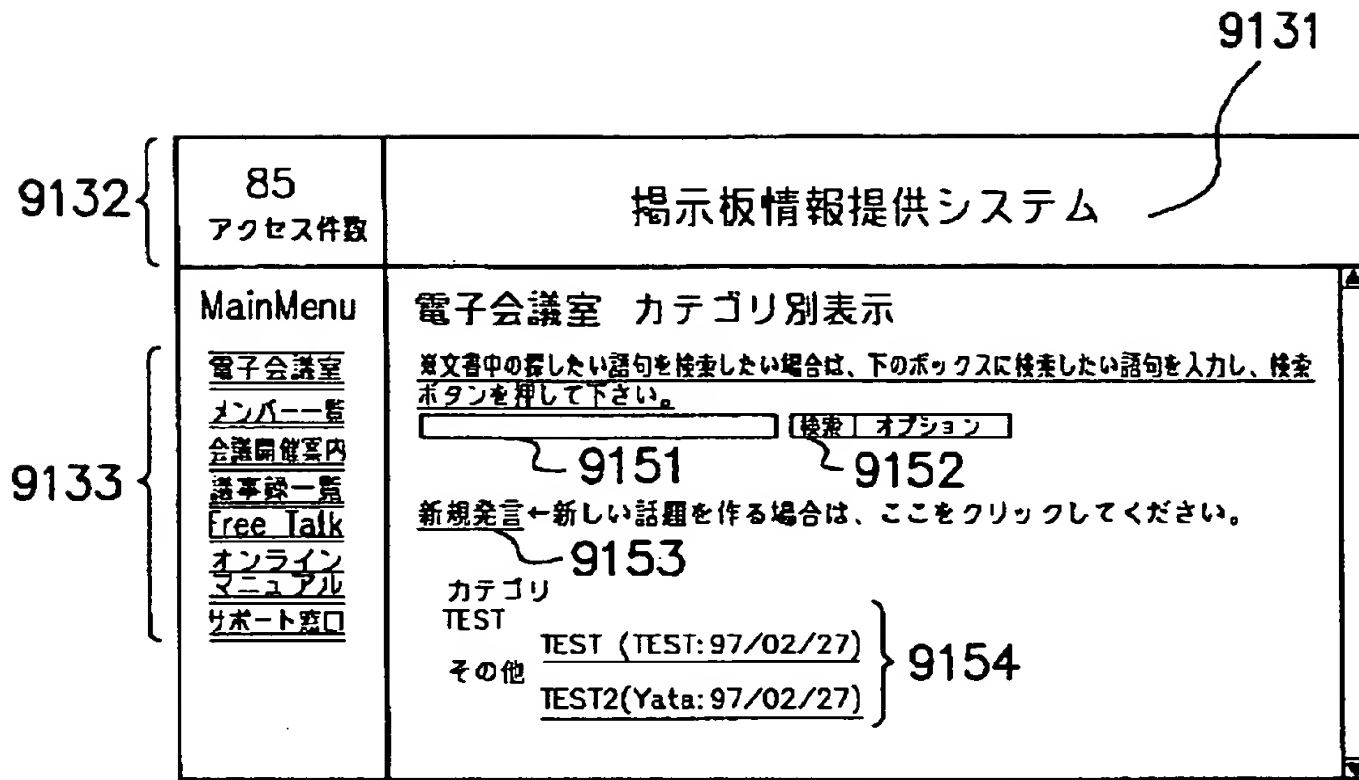
【図 1 4 0】



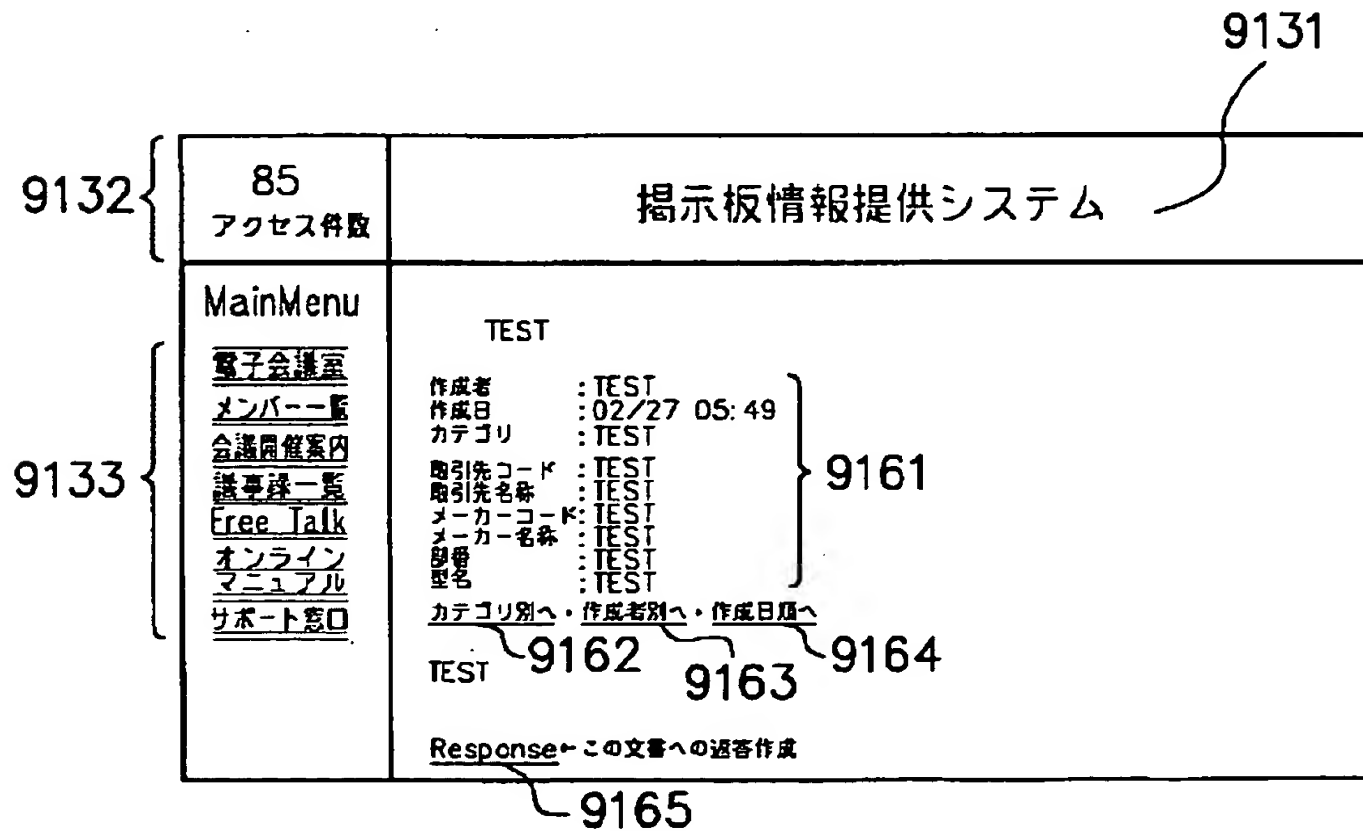
【図 1 4 1】



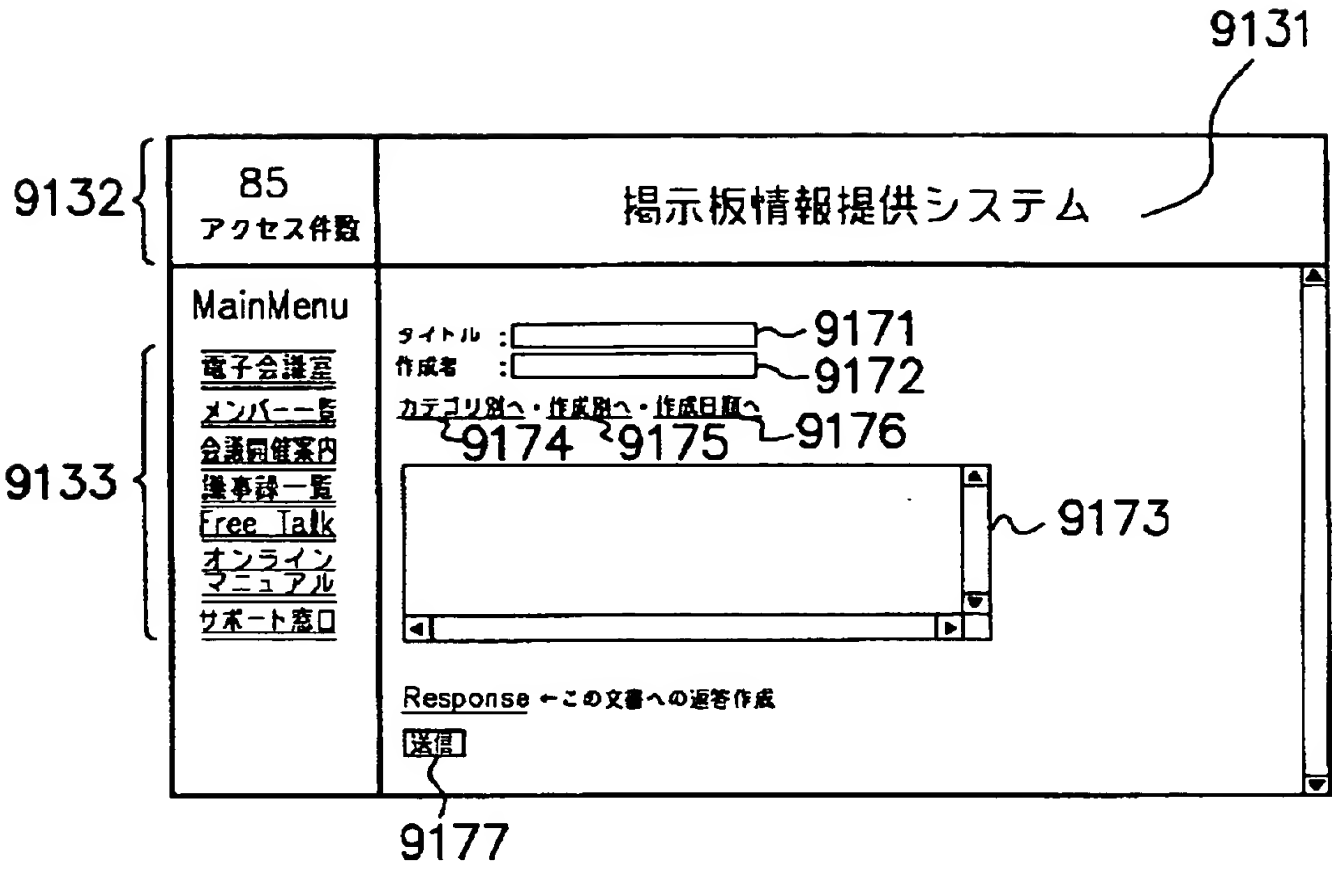
【図 1 4 2】



【図 1 4 3】



【図 1 4 4】



【図 1 4 5】

9131

9132 { 85
アクセス件数

MainMenu

9133 { 電子会議室
メンバー一覧
会議開催案内
議事録一覧
Free Talk
オンライン
マニュアル
サポート窓口

掲示板情報提供システム

9181 { タイトル: (必須)
作成者: (必須/入力例: 山田太郎)
カテゴリ: トラブル情報 (必須)

9182 { ・取引先コード :
・取引先名称 :
・メーカーコード :
・メーカー名称 :
・部署 :
・型名 :

9183 { 内容
(必須)

9184 { 登録

9185 { リセット

【図 1 4 6】

9131

9132 { 85
アクセス件数

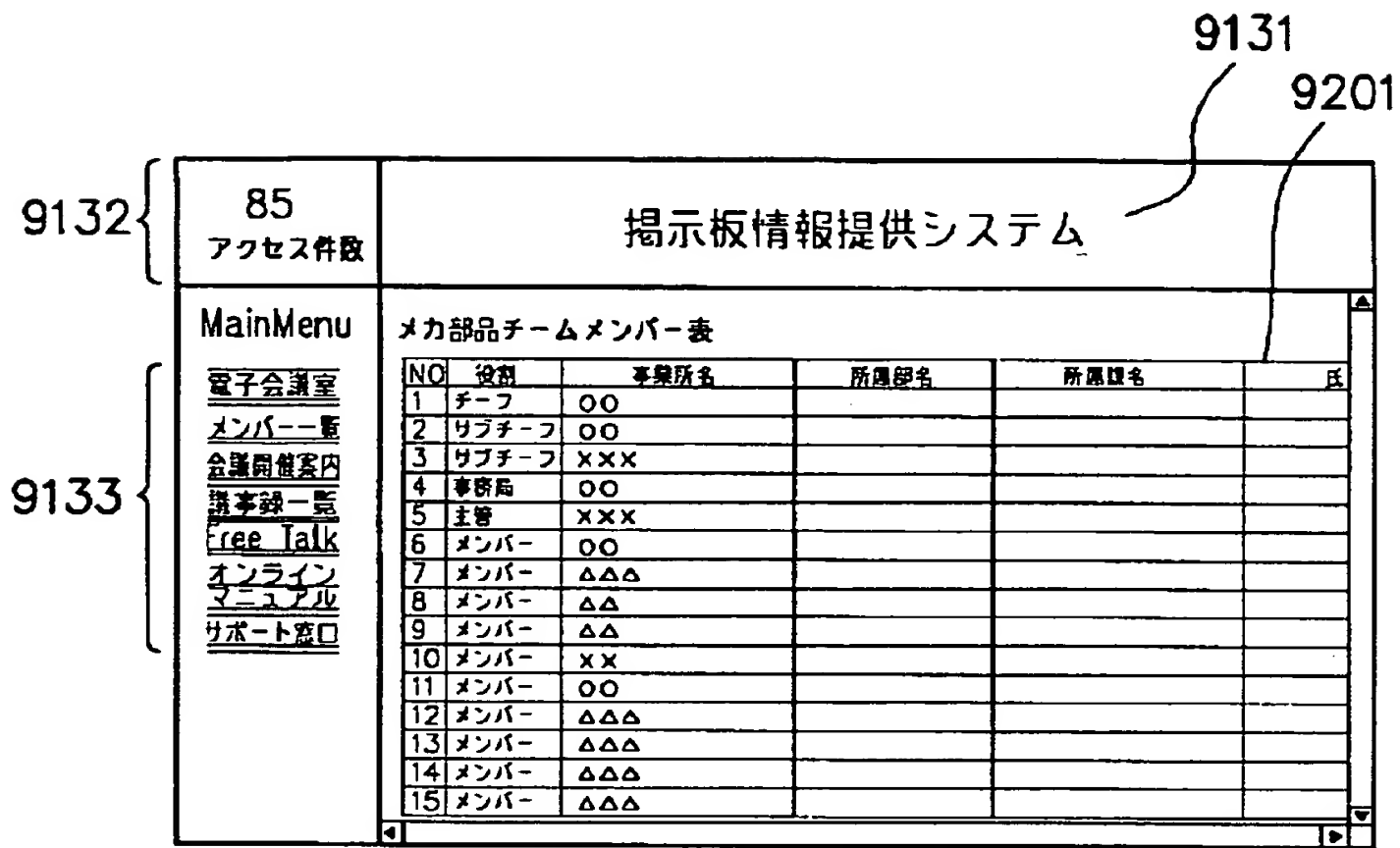
MainMenu

9133 { 電子会議室
メンバー一覧
会議開催案内
議事録一覧
Free Talk
オンライン
マニュアル
サポート窓口

掲示板情報提供システム

あなたが送信した情報は、約5分後に反映されます。
確認する際は、下記のリンク先にアクセスした上で、5分
後に「再読込」して確認してください。
「カテゴリ別」に戻る ~ 9191
「作成者別」に戻る ~ 9192
「作成日順」に戻る ~ 9193

【図 1 4 7】



【図 1 4 8】

9131

9132 { 85
アクセス件数

9133 { MainMenu
電子会議室
メンバー監
会議開催案内
議事録一覧
Free Talk
オンライン
マニュアル
サポート窓口

掲示板情報提供システム

会議開催案内

※文中の探したい語句を検索したい場合は、下のボックスに検索したい語句を入力し、検索
ボタンを押して下さい。

9211

9212

9213

連絡事項
メカ部品チーム第一回会合開催のお知らせ 1996年2月6日

検索 | オプション

【図 1 4 9】

9131

9221

9132 { 85
アクセス件数

9133 { MainMenu
電子会議室
メンバー監
会議開催案内
議事録一覧
Free Talk
オンライン
マニュアル
サポート窓口

掲示板情報提供システム

メカ部品チームメンバ
ー各位

発行元

連絡票

承認

作成

記事(内容:なぜ・なに・どこ・いつ・だれ・どのように、簡潔にわかりやすく、図表を
き...)返事は()不要

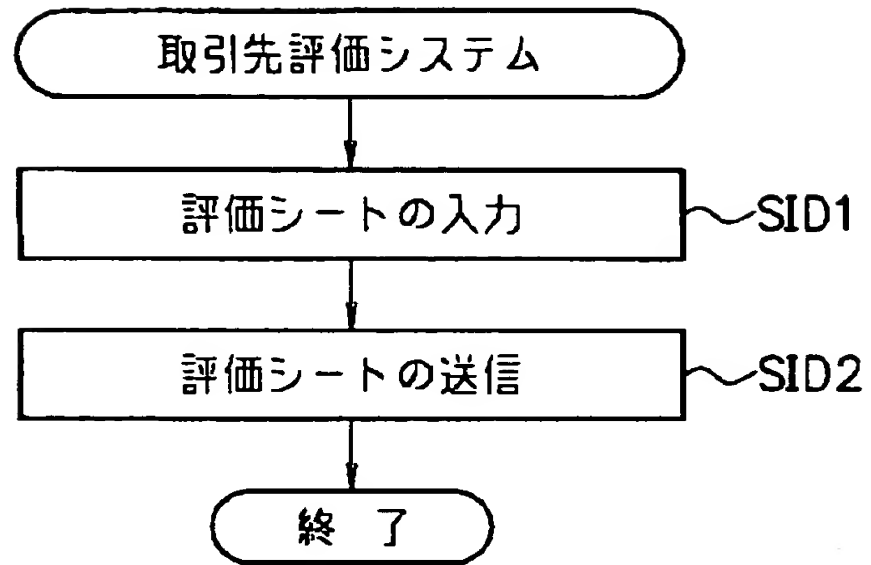
上記の件に付きまして、下記日程にて、第一回の会合を開催いたします。各位におきまし
て、大変お忙しいと存じますが、日程をご調整の上、出席をお願いいたします。
[記]

1. 日時 2月24日(月)

2. 場所 304会議室

3. 議題 (1)メンバー紹介

【図 1 5 0】



【図 1 5 1】

評価対象の取引先

▼

9231

評価者

▼

9232

評価項目	評価点
品 質	<div></div> 9233
コスト	<div></div> 9234
納 期	<div></div> 9235
対応力	<div></div> 9236
技術力	<div></div> 9237

送信

9238

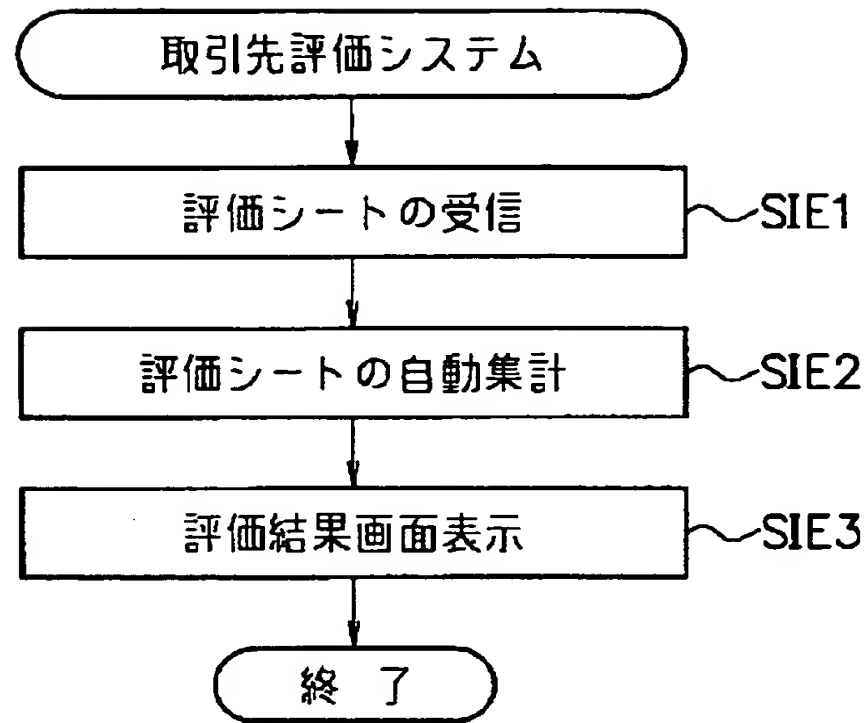
クリア

9239

終了

9240

【図 1 5 2】



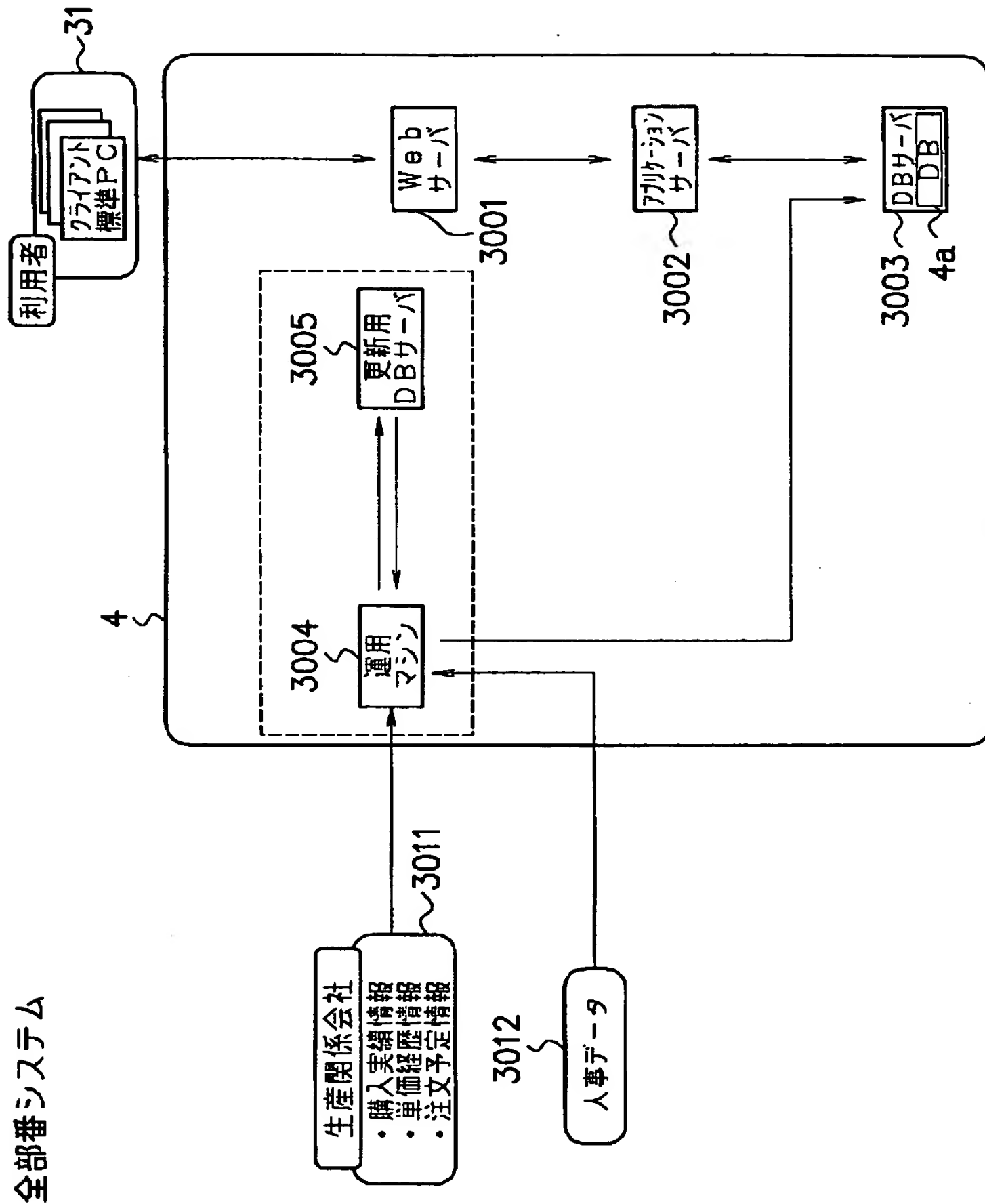
【図 1 5 3】

終了

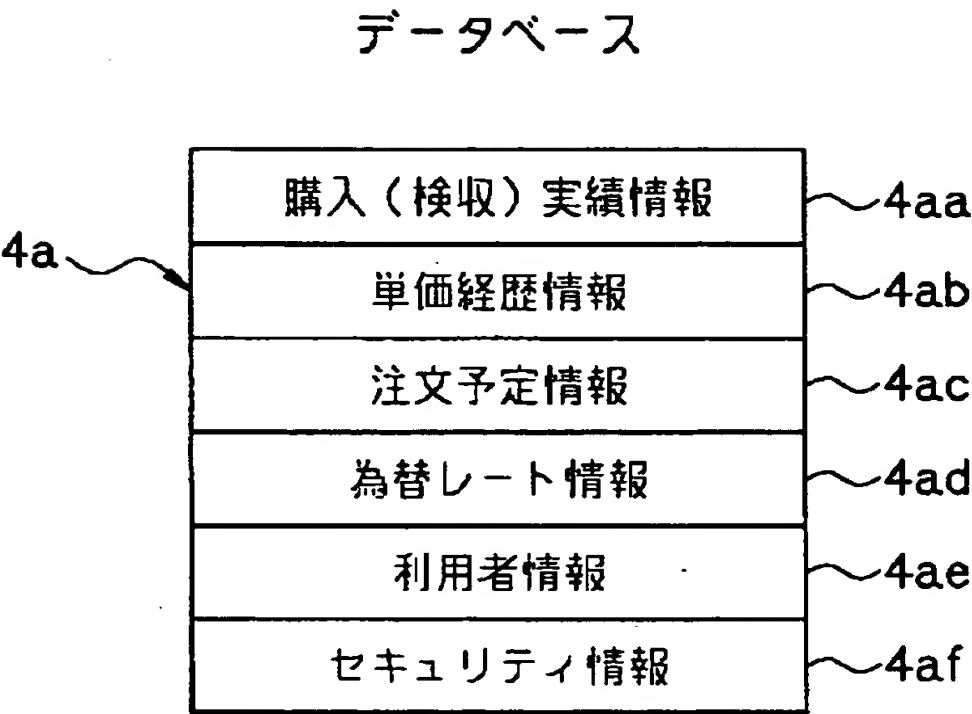
9252

ランキング	取引先名	総合評価点
1	A社	98
2	B社	95
3	C社	92
4	D社	89

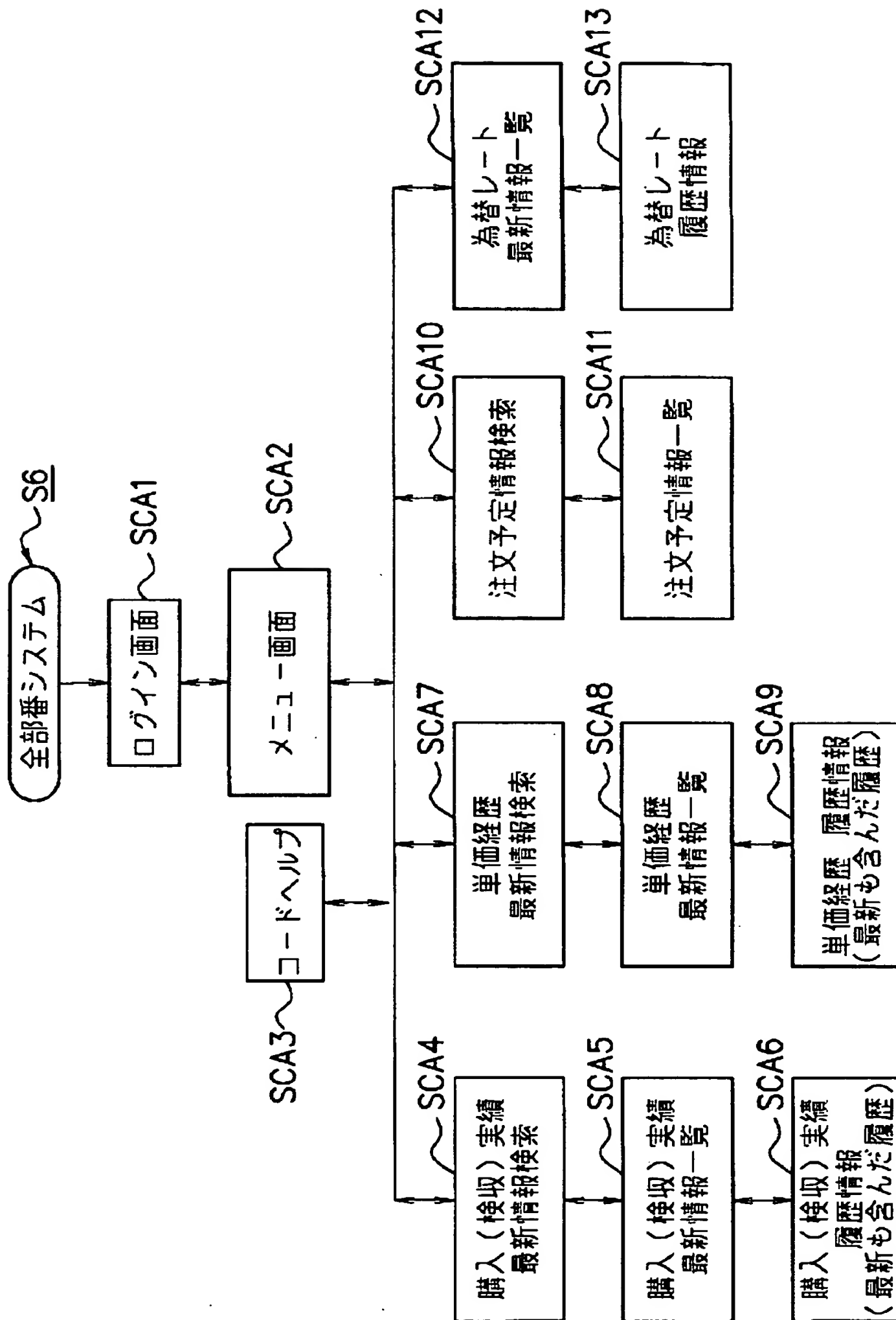
【図 1 5 4】



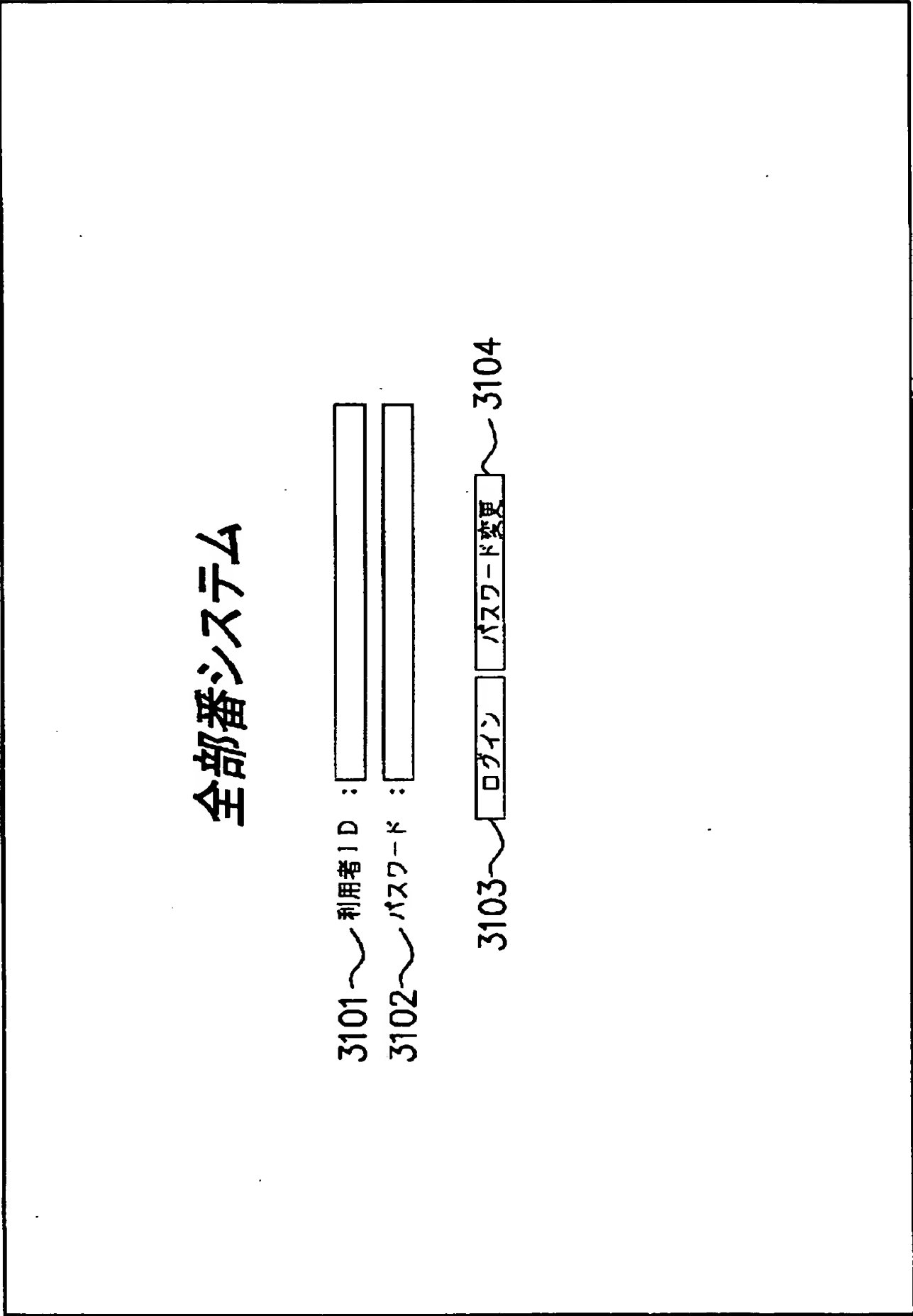
【図 1 5 5】



【図 1 5 6】



【図 1 5 7】



【図 1 5 8】

3121 3122 3123 3124 3125 3126

Menu BackPage Log Out 情報収集拠点 連絡先 Mail

3112 3113

全部番システム

LoginUser: 29611 この情報は社外秘です。 1998年10月末現在 3111

LoginDate: 1997/05/27

IPADdress: 150.61.245.150 3114

1. 『購入（検収）実績情報（最新・履歴）』検索

2. 『単価経歴情報（最新・履歴）』検索

3. 『注文予定情報』検索

4. 『為替レート情報（最新・履歴）』検索

〜3131

【図 1 5 9】

312131223123312431253126

MenuBackPageLog Out情報収集拠点連絡先Mail

3112

(1) 購入 (検収) 実績 最新情報 検索

★1997年06月末現在3111

LoginUser: 29611
LoginDate: 1997/05/27
IPADress: 150.61.245.1503113

この情報は社外秘です。

3114

3141

部署:	
グリーン認定情報:	
型名 (品番) :	
調達拠点:	
原産国:	
品目品種コード:	参照
取引先コード:	参照
取引先名称:	参照
メーカーコード:	参照
メーカー名称:	参照
検収単価 (現地通貨) :	≥
検収単価 (現地通貨) :	≤

3143SearchClear3144

3121	3122	3123	3124	3125	3126
Menu	BackPage	Log Out	情報収集拠点	連絡先	Mail

(1) 購入 (検収) 実績 最新情報一覧

3112 LoginUser: 29611
LoginDate: 1997/05/27
IPAddress: 150.61.245.150

*1997年08月末現在
この情報は社外秘です。

3114

3113

総件数 : 4 3152 { 3153 } 3154 { 3155 }

▲前リスト ▼次リスト □ 番目から表示

リンク先画面 : 検収実績履歴情報

並換え : 指定された項目を追加してソートします。
初期 : 部番 > 寸法 > 検収年月 <

第1ソートキー 指定なし
第2ソートキー 指定なし
第3ソートキー 指定なし

昇順Sort
降順Sort

TTL系

No.	部番	寸法	型名	メーカー	画像グリーン認定推奨認定基点名窓口	取引先	検収年月	検収単価	通関使収数量	原産国	品値	機能分類	図番	訂書工	程オーダー	
1	WAJ-0002		OO	OO			1997/01	OOO	JPY	OO		TTL-Sシリーズ	W99001	O1	PG	118J499J
2	WAJ-0002-000	000	XXX	XXX			1997/01	XXX	JPY	XX		TTL-Sシリーズ	W99001	O1	PG	118J499J
3	WAJ-0002-000	000	OO	OO											有	
4	WAJ-0002-000	000	OO	OO											有	
5	WAJ-0002-000	000	△△△	△△△											有	
6	WAJ-0002-000	000	XX	XX											有	

3163

3162

【図 1 6 1】

312131223123312431253126

MenuBackPageLog Out情報収集拠点連絡先Mail

3112

(1) 購入 (検収) 実績履歴情報 (最新含め 2 4 世代)
この情報は社外秘です。

LoginUser: 29611
LoginDate: 1997/05/27
IPADdress: 150.61.245.150

31133114

会社拠点: (AAAA) 窓口: JA 部署: FH7-1691-000 寸法: 000 工程: PG 品目品種: (コー ド xxxx) XXXXXX
部品名称 (日本語): XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 部品名称 (英語): XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
取引先: (C170) 加工先: メーカー: (コー ド xxxxxx) XXXXXX 型名: 通貨名称: YEN
物品コード:

グリーン認定情報

認定区分	1	認定名称	グリーン	認定日	YYYY/MM/DD
コメント					

検収実績履歴情報

検収年月	検収単価	検収数量	検収金額	図番	訂番	小オーダ	紐オーダ	区分/名	単位	条件	材料費	加工費	管理費	物流費
1997.09	300.00	5.000	1,500,000.00	W99002			599J							
1997.08	300.00	1.000	300,000.00	W99002			599J							
1997.06	300.00	362	110,000.00	W99002										
1997.05	300.00	568	170,000.00	W99002			599J							
1997.05	400.00	695	278,000.00	W99001	01									
1997.04	400.00	5.000	2,000,000.00	W99001	01		599J							
1997.03	400.00	600	240,000.00	W99001	01									
1997.02	400.00	300	120,000.00	W99001	01		599J							

特 2 0 0 0 - 0 4 1 3 5 9

【図 1 6 2】

3121 { Menu } 3122 { BackPage } 3123 { Log Out } 3124 { 情報収集拠点 } 3125 { 連絡先 } 3126 { Mail }

3112 { LoginUser: 29611
LoginDate: 1997/05/27
IPAddress: 150.61.245.150 } (2) 単価経歴 最新情報 検索
*1997年06月現在
この情報は社外秘です。 3111

3114 { 部番 : }
3181 { 型名 : }
3113 { 調達拠点 : }
3114 { 取引先コード : } 参照
3114 { 取引先名称 : } 参照
3114 { メーカーコード : } 参照
3114 { メーカー名称 : } 参照
3114 { 単価経歴 最新適用日
YYYY/MM/DD } 参照

3183 { Search } 3184 { Clear }

出証特 2001-3016589

【図164】

312131223123312431253126

MenuBackPageLog Out情報収集拠点連絡先Mail

(2) 単価経歴 履歴情報 (未来永却 + 過去5世代分)

3112LoginUser: 29611
LoginDate: 1997/05/27 ~ 3113
IPADdress: 150.61.245.150 ~ 3114

1997年06月現在
この情報は社外秘です。 3111

会社拠点 : (AAAA) 窓口 : JA 部番 : FH7-1691-000 寸法 : 000 工程 : PG

部品名称 (日本語) : XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 部品名称 (英語) : XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

取引先 : (C170) 加工先コード : メーカー : (コード XXXXXX) XXXXXX 型名 : 通貨名称 : YEN

グリーン認定情報

認定区分	1	認定名称	グリーン	認定日	YYYY/MM/DD
コメント					

単価マスター履歴情報

切換日	マスター	単価	材料費	加工費	管理費	見積区分コード	当座コード	図番	訂番	オーダー	登録日
1994/10/01		11.00	11.00	0.00	0.00	P81:	0:	W99001		499J	1994/09/10
1992/10/01		13.00	13.00	0.00	0.00	P81:	0:	W99001		499J	1993/08/23

【図 1 6 5】

3121 { Menu

3122 { BackPage

3123 { Log Out

3124 { 情報収集拠点

3125 { 連絡先

3126 { Mail

(3) 「注文予定情報」検索・条件入力画面

3112 { LoginUser:pmc

3113 { LoginDate:1998/11/19

3114 { *1998年9月末現在 ~3111

IPADdress:150.61.245.130

この情報は社外秘です。

3211 ~ 部番

3212 ~ 型名

3213 ~ Search

Clear ~ 3214

【図 1 6 6】

3121 3122 3123 3124 3125 3126

Menu BackPage Log Out 情報収集拠点 連絡先 Mail

3112 3113 3114 *1998年9月末現在~3111

LoginUser:pmc LoginDate:1998/11/19 IPADdress:150.61.245.130 この情報は社外秘です。

3152 3153 3154 3155 初期：部番>寸法>検収年月< 3156 3157 昇順Sort 3159

3158 降順Sort 3160

第1ソートキー指定なし 第2ソートキー指定なし 第3ソートキー指定なし

▲前リスト ▼次リスト 項目から表示

給件数：12 リンク先画面：購入(検収)最新一覧 3161

No.	部番	寸法	工程	団番	型名	メーカー	会社拠点	取引先名
1	0000	000	PG	W99001	△△△△△△△	XXXXXX	AA	T100:
2	0000	009	PG	G00001	△△△△△△△	XXXXXX	AA	N326:
3	0000	009	PG	G00001	△△△△△△△	XXXXXX	AA	S641:
4	0000	009	PG	W99001	△△△△△△△	XXXXXX	BB	N326:

続き→

加工先コード	通貨	1998年10月		1998年11月		1998年12月	
		予定数量	予定金額	予定数量	予定金額	予定数量	予定金額
	JPY	20.00	7,200.00	30.00	10,800.00		
	JPY	1,300.00	14,630.00	440.00	20.00		
	JPY	500.00	120,630.00			160.00	38,400.00
	JPY			4,000.00	72,000.00		

3221 3221

【図 1 6 7】

3121 3122 3123 3124 3125 3126

Menu BackPage Log Out 情報収集拠点 連絡先 Mail

3112

(4) 為替レート最新情報一覧 (月平均)

*1997年06月末現在 3111

LoginUser: 29611

LoginDate: 1997/05/27

IPAddress: 150.61.245.150

3114 3232

3113 3231

この情報は社外秘です。

	FROM	TO	RATE	年月
<input checked="" type="checkbox"/>	AUD (AUSTRALIAN DOLLAR)	YEN	91.85	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	AVB (THAILAND BAHT)	YEN	4.36	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	CAD (CANADIAN DOLLAR)	YEN	87.66	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	CHF (SWISS FRANC)	YEN	84.66	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	DEM (GERMAN MARK)	YEN	73.40	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	FRF (FRENCH FRANC)	YEN	21.75	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	GBP (POUND)	YEN	195.94	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	HKD (HONGKONG DOLLAR)	YEN	15.25	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	JPY (YEN)	YEN	1.00	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	MYR (RINGGIT MALAYSIA)	YEN	47.46	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	NLG (DUTCH GUILDER)	YEN	65.37	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	NZD (NEWZEALAND DOLLAR)	YEN	82.90	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	THB (THAILAND BAHT)	YEN	4.59	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	TWD (NT DOLLAR)	YEN	4.29	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	USD (US DOLLAR)	YEN	118.08	1998/01

【図 1 6 8】

3121 3122 3123 3124 3125 3126

Menu

BackPage

Log Out

情報収集拠点

連絡先

Mail

3112

(4) 為替レート 履歴情報 (月平均-過去120ヶ月分)

LoginUser: 29611

LoginDate: 1997/05/27

IPAddress: 150.61.245.150

3114

3241

通貨:USD (US DOLLAR) →YEN

この情報は社外秘です。

3111

*1997年06月現在

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1997	118.08	123.06	122.68	125.55	119.15	114.33	115.23	117.95	120.81	121.41	0.00	0.00
1996	105.88	105.72	105.90	107.54	106.52	108.93	109.38	107.81	109.77	112.41	112.28	113.87
1995	99.77	98.33	90.87	83.66	85.16	84.54	87.20	94.60	100.45	100.73	102.01	101.89
1994	111.58	106.25	105.12	103.56	103.98	102.71	98.57	99.87	98.85	98.45	98.00	100.20
1993	124.98	121.13	117.12	112.46	110.26	107.34	107.83	103.67	105.26	106.93	107.81	109.67
1992	125.06	127.49	132.72	133.61	130.64	126.84	125.68	126.34	122.73	121.07	123.80	124.02
1991	136.00	136.00	136.00	136.00	136.00	136.00	134.00	134.00	134.00	134.00	134.00	134.00

【図 169】

コードヘルプ画面

3251~

テーブル	品目品種 ▼
検索項目	コード ▼
一致タイプ	前方 ▼
入力エリア	

3252~

Search

総件数: 120 3153 3154 3155

3152~

▲前リスト ▼次リスト 1 番号から表示

3253~

コード	名称
P112	半導体部品: ツェナーダイオード
P113	半導体部品: 発光ダイオード
P114	半導体部品: ダイオードアレー

3254~

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 容易かつ迅速に価格情報を提供することができる価格情報提供システムを提供することを課題とする。

【解決手段】 本発明の価格情報提供システムは、複数の拠点で取り引きする部品又は製品の価格情報を記憶するデータベース（5 a）を基に、各拠点での部品又は製品の価格情報を表示する表示手段（5）を有する。表示手段は、部品又は製品の単価情報、総数量及び総金額を表示することができる。

【選択図】 図 6 5

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001007]

1. 変更年月日 1990年 8月30日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
氏 名 キヤノン株式会社